

(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告第250集

# 下芝五反田遺跡

——奈良平安時代以降編——

北陸新幹線地域埋蔵文化財  
発掘調査報告書第6集

《第3分冊》

1999

群馬県教育委員会  
財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団  
日本鉄道建設公団



(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告第250集

しも しば ご たん だ い せき  
下 芝 五 反 田 遺 跡

—— 奈良平安時代以降編 ——

北陸新幹線地域埋蔵文化財  
発掘調査報告書第6集

《第3分冊》

1999

群馬県教育委員会  
財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団  
日本鉄道建設公団

## 凡 例

1. 出土位置について省略は、下記のとおりである。

床直 床面直上から 5 cm までの範囲である。

埋土 埋没土中、出土位置の明確でないもの。

住居でのグリッドは、85区、86区を省略してある。

R～Tは、85区。A～Qは、86区である。

2. 法量の項の記号、省略は下記のとおりである。

① 口径

② 底径

③ 器高

④ 高台径

摘径 蓋摘の最大径

胴径 瓶・甕等胴部最大径

鏝径 羽釜鏝端部最大径

頸径 長頸壺頸部最小径

## 1号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第15図 PL84	土師器 杯	埋土 1/6	① 11.6 ② 8.0 ③ 3.5	①粗砂粒 ②良好 ③褐色	口唇部は横ナデ、口縁部はナデ、底部は不定方向のヘラ削り。	
2 第15図 PL84	土師器 杯	埋土、E-5 3/4	① 11.2 ② 5.3 ③ 3.8	①細砂粒 ②良好 ③明赤褐色	口縁部に輪積痕が残る。口唇部は横ナデ、口縁部はナデ、底部は不定方向のヘラ削り。	
3 第15図 PL84	土師器 杯	貯蔵穴 ほぼ完形	① 11.4 ② 5.8 ③ 4.0	①細砂粒 ②良好 ③橙色	口縁部に輪積痕が残る。口唇部は横ナデ、口縁部はナデ、底部は不定方向のヘラ削り。	
4 第15図 PL84	土師器 杯	貯蔵穴 口唇部5/6欠	① 11.4 ② 6.2 ③ 4.0	①細砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	口縁部に輪積痕が残る。口唇部は横ナデ、口縁部はナデ、底部は不定方向のヘラ削り。	
5 第16図 PL84	土師器 杯	貯蔵穴 2/3	① 11.6 ② 5.5 ③ 4.0	①細砂粒 ②良好 ③褐色	口唇部は横ナデ、口縁部はナデ、底部は砂底か。内面は斜め方向のナデ。	
6 第16図 PL84	土師器 杯	+14 2/3	① 11.7 ② 6.2 ③ 4.0	①細砂粒 ②良好 ③明赤褐色	口唇部は横ナデ、口縁部はナデ、指頭痕が残る。底部は不定方向のヘラ削りで中央に離れ砂部分が残る。	
7 第16図	土師器 杯	埋土 1/4	① 11.8 ② 5.4 ③ (3.6)	①粗砂粒 ②良好 ③褐色	口唇部は横ナデ、口縁部は中位にヘラ削り、その上下はナデ。底部はヘラ削り。	
8 第16図 PL84	土師器 杯	貯蔵穴 1/2	① 11.9 ② 5.5 ③ 4.1	①細砂粒 ②良好 ③にぶい褐色	口唇部は横ナデ、口縁部は上半がナデ、下半が横方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削りで中央に離れ砂が残る。内面口縁はハケ目	
9 第16図 PL84	土師器 杯	貯蔵穴 ほぼ完形	① 12.0 ② 5.6 ③ 3.8	①粗砂粒 ②良好 ③橙色	口唇部は横ナデ、口縁部は上半がナデ、下半が横方向ヘラ削り。底部は不定方向ヘラ削り中央に離れ砂が残る。内面黒色処理、口縁部ハケ目	
10 第16図	土師器 杯	埋土 1/6	① 12.8	①細砂粒 ②良好 ③橙色	口縁部は上位が横ナデ、中位・下位はナデで中位に指頭痕が残る。	
11 第16図 PL84	須恵器 杯	貯蔵穴 3/4	① 12.3 ② 5.8 ③ 3.7	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部回転糸切り。	
12 第16図 PL84	須恵器 杯	埋土 1/3	① 12.6 ② 6.1 ③ 4.0	①細砂粒 ②還元焰燻 ③明褐灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
13 第16図 PL84	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 11.8	①細砂粒 ②酸火焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回りか。	外面口縁部に墨書、文字判読不能。
14 第16図 PL84	須恵器 椀	埋土、E-3 (水田耕土) 1/4	① 12.3 ②7.2④6.8 ③ 5.2	①細砂粒 ②還元焰燻 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り、高台は貼付。	
15 第16図 PL84	須恵器 椀	埋土 1/3	① 12.4 ②7.2④6.4 ③ 4.9	①粗砂粒 ②酸火焰 ③浅黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り、高台は貼付。	
16 第16図 PL84	須恵器 椀	貯蔵穴 1/2	① 12.6 ②6.2④5.6 ③ 5.1	①細砂粒 ②酸火焰 ③灰黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り、高台は貼付。	
17 第16図 PL85	須恵器 椀	+10 完形	① 13.3 ②6.2④5.7 ③ 5.3	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り、高台は貼付。	
18 第16図 PL85	須恵器 椀	P it 4、+12 1/2	① 13.3 ②6.0④5.7 ③ 4.8	①細砂粒・褐色粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り、高台は貼付。	
19 第16図 PL85	須恵器 椀	貯蔵穴 1/3	① 13.4 ②6.7④5.8 ③ 5.4	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り、高台は貼付。	
20 第16図 PL85	須恵器 椀	貯蔵穴 高台欠	① 13.4 ② 6.8 ③ (4.8)	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付であるが剥落。	

21 第17図 PL85	須恵器 椀	貯蔵穴、カマド 口縁・底部の一 部欠	① 14.1 ②6.8④6.5 ③ 5.2	①細砂粒 ②酸火焰ぎみ ③灰黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り、 高台は貼付。	外面口縁部に墨 書、「物」。
22 第17図 PL85	須恵器 椀	貯蔵穴 3/4	① 14.2 ② 6.6 ③ (4.6)	①細砂粒・褐色粒 ②酸火焰ぎみ ③浅黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り、 高台は貼付であるが剥落。	
23 第17図 PL85	灰釉陶器 椀	埋土 1/6	① 13.3 ②7.1④7.2 ③ 4.4	①微砂粒、水箨 ②還元焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。底部はナデ、高台 は貼付。施釉方法は漬け掛け、釉調はやや緑色 かかった灰色。	大原2号窯式期
24 第17図 PL85	灰釉陶器 椀	埋土、F-4 1/4	① 15.6 ②7.8④7.6 ③ 5.0	①微砂粒、水箨 ②還元焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不 明、高台は貼付。施釉方法は漬け掛け、釉調は 透明感のない緑灰色。	大原2号窯式期
25 第17図 PL85	灰釉陶器 椀	埋土 口縁部片	① 13.8	①微砂粒、水箨 ②還元焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。施釉方法は漬け掛 け釉調は透明感のない灰白色。	口唇部に煤附着 大原2号窯式期
26 第17図 PL85	灰釉陶器 椀	埋土 口縁部片	① 17.6	①微砂粒、水箨 ②還元焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。施釉方法は漬け掛 け、釉調は透明感のない灰色。	大原2号窯式期
27 第17図 PL85	須恵器 長頸壺	埋土 頸部片	頸部径3.1	①細砂粒 ②還元軟質 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回りか。	
28 第17図 PL85	須恵器 鉢	+6・14 1/3	① 37.6 ④ 26.0 ③ 13.8	①細砂粒 ②還元軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不 明脚部は貼付で接合部は横方向のヘラ削り。内 面は底部から口縁部にかけてナデ。	
29 第17図 PL85	土師器 台付甕	Pit4、1住2次 2/3	① 11.2 ④ 8.6 ③ 16.4	①細砂粒・褐色粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	内面に輪積痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部は 上半が横方向、下半は縦方向のヘラ削り。脚部 は貼付で横ナデ。内面胴部はナデ。	
30 第17図	土師器 甕	埋土 口縁部片	① 11.2	①細砂粒・褐色粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	口縁部は横ナデ、胴部は上位が横方向ヘラ削り。 内面胴部は横方向のハケ目。	
31 第17図 PL85	土師器 甕	+9 口縁部片	① 19.0	①細砂粒・褐色粒 ②良好 ③橙色	内面に輪積痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部は 上位が横方向ヘラ削り。内面胴部は横方向のハ ケ目	
32 第17図	土師器 甕	埋土 口縁部片	① 19.8	①細砂粒 ②良好 ③灰黄褐色	口縁部は横ナデ、胴部上位は横方向のヘラ削り。 内面胴部はヘラナデ。	
33 第17図	須恵器 羽釜	埋土 口縁部片	① 14.4	①細砂粒 ②酸火焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転方向不明。罫は貼付。	
34 第17図	須恵器 羽釜	埋土 口縁部片	① 17.6	①粗砂粒 ②酸火焰 ③橙色	ロクロ成形、回転方向不明。罫は貼付。	
挿図番号 図版番号	種 器 類 種	出土位置 残存率	計 測 値 (単位 cm、g)		特 徴 等	石 備 材 考
35第18図 PL86	石製品 凹石	貯蔵穴 一部欠	長(19.0) 幅 14.2 厚 10.3 孔 8.0×8.0×3.4 重 1,290.0		周囲は研磨で丸みをもたせ、凹は回転による擦 痕が見られる。	榛名二ツ岳軽石
36第18図 PL86	石製品 凹石	貯蔵穴 完形	長 29.6 幅 20.7 厚 10.2 孔 5.5×4.5×1.2 重 6,690.0		上面に敲打痕による小孔が5カ所見られる。	粗粒輝石安山岩
37第18図 PL86	石製品 石皿	床直 2/3	長(42.4) 幅 40.4 厚 9.9 重 18,800		全体に擦痕が見られ、中央部の使用頻度が激し いため擦り減っている。	榛名二ツ岳軽石

## 2号住居

挿図番号 図版番号	種 器 類 種	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第21図 PL86	土師器 杯	埋土 口縁部片	① 14.0	①細砂粒 ②良好 ③橙色	口縁部は上位が横ナデ、中位はナデ、下位は斜 め方向のヘラ削り。	
2 第21図 PL86	須恵器 杯	床直、埋土 1/3	① 12.8 ② 5.6 ③ 3.7	①細砂粒 ②酸火焰 ③橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	

3 第21図 PL86	須恵器 杯	+9 完形	① 13.0 ② 6.6 ③ 3.5	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
4 第21図	須恵器 杯	床直 底部付近片	② 6.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
5 第21図 PL86	灰釉陶器 椀	カマド 口縁部片	① 14.6	①微砂粒、水箨 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。施釉方法は刷毛塗りか、釉調は透明感のない灰色。	光ヶ丘1号窯式 期
6 第21図	土師器 甕	+6 口縁部片	① 18.0	①細砂粒 ②良好 ③橙色	口縁部は横ナデ、胴部上位はヘラ削り。	
7 第21図 PL86	土師器 甕	+6・7・10 口縁部片	① 19.4	①細砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	口縁部は横ナデ、胴部上位は横方向のヘラ削り。 内面胴部はヘラナデ。	

### 3号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第23図 PL86	須恵器 杯	掘方 1/5	① 12.0 ② 5.9 ③ 3.6	①細砂粒 ②還元焰軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第23図 PL87	須恵器 椀	埋土 1/2	① 14.1 ②7.2④7.3 ③ 5.6	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法高台貼付時ナデのため不明。	外面底部に墨書 「八木」
3 第23図 PL87	須恵器 椀	床直 2/3	① 14.8 ②6.2④6.2 ③ 5.7	①細砂粒 ②酸火焰ぎみ ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り、高台は貼付。	外面口縁部に墨書、文字判読不能。
4 第23図 PL86	須恵器 椀	掘方 底部片	② 7.0 ④ 6.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り、高台は貼付。	
5 第23図 PL86	須恵器 椀	+7 底部～口縁部 下位片	② 7.6 ④ 7.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り、高台は貼付。	
6 第23図 PL87	須恵器 皿	床直 1/4	① 15.2 ② 5.7 ③ (2.3)	①細砂粒・褐色粒 ②酸火焰 ③明褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付であるが剥落。	
7 第23図 PL87	灰釉陶器 椀	埋土 口縁部片	① 13.8	①微砂粒、水箨 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。施釉方法は刷毛塗りか、釉調は透明感のない黄色をおびた灰色。	
8 第24図	須恵器 鉢	掘方、埋土 口縁部片	① 35.8	①細砂粒 ②還元焰軟質 ③灰黄色	ロクロ成形、回転方向不明。	
9 第24図 PL87	土製品 平瓦	掘方 小片		①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	上面は布目痕、周囲はヘラ削り。側面もヘラ削り下面もヘラ削り。	
挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm、g)		特 徴 等	備 考
10第24図 PL87	鉄器 紡錘車	床直 両端部を欠	長 (16.5)円盤径 5.0 厚 0.6 軸径 0.6～0.7		円盤部は厚さが中心で0.6cm、端部で0.3cmの断面が薄い台形状を呈す。	

### 4号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第27図	土師器 杯	カマド 1/4	① 10.8 ② 6.4 ③ 3.2	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい橙色	口縁部は上位が横ナデ、中位ナデ、下位は横方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。	
2 第27図 PL87	須恵器 椀	+6 1/2	① 12.6 ②6.4④6.0 ③ 5.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り、高台は貼付。	

3 第27図 PL87	須恵器 椀	床直 1/4	① 12.6 ②6.4④5.5 ③ 5.3	①粗砂粒 ②還元焰燻 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回りか。底部切り離し技法不明、高台は貼付。	
4 第27図 PL88	須恵器 椀	+19 1/3	① 13.8 ②6.6④6.3 ③ 5.5	①粗砂粒 ②酸火焰ぎみ ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り、高台は貼付。	
5 第27図 PL88	須恵器 椀	埋土、G-5 1/4	① 13.8 ②7.1④6.4 ③ 5.1	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り、高台は貼付。	
6 第27図 PL88	須恵器 椀	床直、+10 1/4	① 14.2 ②7.3④7.0 ③ 5.8	①細砂粒 ②還元焰燻 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不明、高台は貼付。	
7 第27図 PL88	灰釉陶器 椀	床直、G-4 1/2	① 15.0 ②8.0④7.8 ③ 5.1	①微砂粒、水箨 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデ調整のため不明、高台は貼付。施釉方法は漬け掛け、釉調は透明感のない緑灰色。	大原2号窯式期
8 第27図	土師器 甕	+6 口縁部片	① 15.8	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	口唇部に輪積痕が残る。口縁部は横ナデ、胴部は上位が横方向ヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
9 第28図 PL88	土師器 甕	+9 口縁部～胴部 中位	① 17.8	①細砂粒 ②良好 ③赤褐色	口縁部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ胴部は上位が横方向、中位は斜め方向のヘラ削り内面胴部はヘラナデ。	
10 第27図	土師器 甕	カマド 口縁部片	① 20.0	①細砂粒 ②良好 ③にぶい褐色	口縁部は横ナデ、胴部は上位が横方向ヘラ削り。内面胴部は横方向ハケ目。	
11 第28図	土師器 甕	埋土 口縁部片	① 22.0	①細砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	口縁部は横ナデ、胴部は上位が横方向ヘラ削り。内面胴部は横方向のハケ目。	
12 第28図 PL88	須恵器 甕	床直 口縁部～胴部 上位片	① 19.6	①細砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄橙色	外面の整形は不鮮明。内面胴部は横方向のハケ目	

### 5号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第31図	須恵器 椀	カマド 口縁部片	① 13.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。	
2 第31図 PL88	須恵器 椀	床直 底部片	② 6.2 ④ 6.2	①細砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り、高台は貼付。	
3 第31図 PL88	土師器 台付甕	床直、3住 底部片	② 4.0	①細砂粒 ②良好 ③褐色	胴部下位は縦方向のヘラ削り。内面はヘラナデ。	
4 第31図 PL88	土師器 甕	床直 底部片	② 3.7	①細砂粒 ②良好 ③明赤褐色	胴部下位は縦方向のヘラ削り、底部もヘラ削り。内面はヘラナデ。	
5 第31図	須恵器 甕	床直 胴部片		①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	外面は平行叩き後横方向に3cmほどの間隔でカキ目。内面下半は同心円状アテ具痕が残る。	

### 6号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第34図 PL88	土師器 杯	埋土、B-4 1/3	① 11.6 ② 6.6 ③ 3.7	①細砂粒・褐色粒 ②良好 ③にぶい橙色	口縁部に輪積痕が残る。口縁部は上位が横ナデ、中位はナデ、下位は横方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。	
2 第34図	黒色土器 椀	埋土 口縁部片	① 12.0	①粗砂粒 ②酸火焰 ③橙色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転方向不明。	

3 第34図 PL88	須恵器 杯	床直 2/3	① 11.6 ② 4.2 ③ 3.6	①粗砂粒 ②酸火焰 ③赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
4 第34図 PL88	須恵器 杯	床直 1/3	① 11.6 ② 4.7 ③ 3.5	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
5 第34図 PL88	須恵器 杯	床直 1/2	① 12.0 ② 4.8 ③ 4.8	①粗砂粒 ②酸火焰 ③明赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
6 第34図 PL88	須恵器 杯	床直 3/4	① 12.4 ② 5.0 ③ 4.0	①粗砂粒 ②酸火焰 ③明赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
7 第34図 PL89	須恵器 杯	床直 3/4	① 12.6 ② 5.5 ③ 3.5	①粗砂粒 ②酸火焰 ③赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
8 第34図 PL89	須恵器 杯	埋土、B-4 1/3	① 13.0 ② 7.2 ③ 3.5	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
9 第35図 PL89	須恵器 椀	+19、B-4 2/5	① 13.4 ② 6.6 ③ 4.4	①細砂粒 ②酸火焰ぎみ ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
10 第35図 PL89	須恵器 椀	埋土 2/5	① 11.0 ②6.4④6.2 ③ 4.7	①細砂粒 ②還元焰軟質 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り、高台は貼付。	
11 第35図 PL89	須恵器 椀	埋土 1/4	① 11.6 ②6.8④6.6 ③ 5.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。底部切り離し技法は高台貼付時のナデで不明。	
12 第35図 PL89	須恵器 椀	+15 1/4	① 12.2 ②6.6④6.8 ③ 4.5	①粗砂粒 ②還元焰燻 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回りか。底部切り離し技法は高台貼付時のなでで不明。	
13 第35図 PL89	須恵器 椀	+12 口縁部一部欠	① 12.5 ②6.3④6.2 ③ 4.7	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
14 第35図 PL89	須恵器 椀	+6 ほぼ完形	① 12.5 ②6.0④5.4 ③ 5.3	①粗砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
15 第35図 PL89	須恵器 椀	+15 1/6	① 12.0 ②7.6④6.8 ③ 5.0	①細砂粒 ②酸火焰ぎみ ③浅黄橙色	ロクロ成形、回転右回りか。底部切り離し技法不明、高台は貼付。	
16 第35図 PL89	須恵器 椀	+7 口縁部一部欠	① 13.6 ②6.6④6.0 ④ 4.9	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
17 第35図 PL89	須恵器 椀	カマド 1/4	① 13.4 ②6.2④6.0 ③ 5.1	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。底部切り離し技法不明、高台は貼付。	
18 第35図 PL89	須恵器 椀	床直、+8 1/4	① 14.4 ②7.8④6.7 ③ 4.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
19 第35図 PL89	須恵器 椀	カマド 口縁部一部欠	① 14.2 ②6.8④5.7 ③ 5.0	①粗砂粒、褐色粒 ②酸火焰 ③にぶい赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
20 第35図 PL89	須恵器 椀	床直、+10 口縁部一部・高台一部欠	① 14.2 ② 6.8 ③ 4.6	①粗砂粒 ②酸火焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付であるが打ち欠き剥離面をすり込んでいる。	
21 第35図 PL89	須恵器 椀	埋土 高台一部欠	① 14.4 ②7.4④7.4 ③ 5.9	①粗砂粒、褐色粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
22 第35図 PL89	須恵器 椀 (底部穿孔)	掘方、埋土 1/2	① 14.4 ②7.2④7.0 ③ 5.7	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。焼成前に底部穿孔、孔径0.8cm	
23 第35図 PL89	須恵器 椀 (底部穿孔)	+8 底部片	② 7.4 ④ 7.2	①粗砂粒 ②酸火焰ぎみ ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回りか。底部切り離し技法は高台貼付時のナデで不明。焼成前に底部穿孔、孔径1.4cm	

24 第36図 PL90	須恵器 椀 (底部穿孔)	埋土 底部	② 7.6 ④ 7.5	①粗砂粒 ②酸火焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。焼成前に穿孔、孔径0.7cm。口縁部は打ち欠いた可能性がある。	
25 第36図 PL90	灰釉陶器 小椀	埋土、B-6 1/3	① 9.6 ②9.8④9.2 ③ 3.0	①微砂粒、水箨 ②還元焰焼締め ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデのため不明、高台は貼付。口縁部下半は回転ヘラ削り。施釉方法は刷毛塗りか。	光ヶ丘1号窯式 期
26 第36図 PL90	灰釉陶器 小椀	+26、C-6、B-4 1/2	① 10.0 ②5.2④5.0 ③ 3.2	①微砂粒、水箨 ②還元焰 ③灰オリーブ色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデのため不明、高台は貼付。施釉方法は刷毛塗り釉調は透明感のある灰色。	光ヶ丘1号窯式 期
27 第36図	灰釉陶器 椀	埋土 口縁部片	① 16.0	①微砂粒 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。施釉方法は刷毛塗りか、釉調は透明感のない灰白色。	光ヶ丘1号窯式 期
28 第36図 PL90	灰釉陶器 椀	+8 口縁部下位～ 底部片	② 7.0 ④ 6.2	①微砂粒、水箨 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。内面見込み部に重焼き痕が残る。底部切り離し技法はナデで不明、高台は貼付。施釉方法は刷毛塗りか。	光ヶ丘1号窯式 期
29 第36図 PL90	灰釉陶器 椀	埋土 口縁部下位～ 底部片	② 8.2 ④ 8.0	①微砂粒 ②還元焰焼締め ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。内面見込み部に重焼き痕が残る。底部切り離し技法はナデで不明、高台は貼付。施釉方法は刷毛塗りか。	光ヶ丘1号窯式 期
30 第36図 PL90	灰釉陶器 椀	埋土 底部	② 8.4 ④ 8.0	①微砂粒 ②還元焰 ③灰オリーブ色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明、高台は貼付。施釉方法は刷毛塗り、釉調は透明感のない灰色。	光ヶ丘1号窯式 期
31 第36図	須恵器 長頸壺	埋土 底部片	② 8.6 ④ 9.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。底部切り離し技法不明、高台は貼付。	
32 第36図 PL90	須恵器 短頸壺	埋土 底部片	② 14.0 ④ 14.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不明、高台は貼付。胴部最下位に1条の凸帯が巡る。	
33 第36図 PL90	土師器 甕	埋土 口縁部～胴部 上位片	① 18.0	①細砂粒 ②良好 ③にぶい橙色	口縁部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ胴部上位は横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
34 第36図 PL90	土師器 台付甕	埋土 脚部片	② 5.0 ④ 9.4	①細砂粒 ②良好 ③褐色	脚部は接合。接合部分から脚部は横ナデ。	
35 第36図 PL90	須恵器 甕	+27、A-5・B-4 ・C-4 口縁部	① 41.4	①粗砂粒、小礫 ②還元焰 ③黄灰色	口縁部は波状文(4条)が施されている(段数不明)	
36 第36図	須恵器 甕	+21 底部片	② 16.0	①粗砂粒、白色粒 ②還元焰 ③灰色	胴部はナデ、底部はヘラ削り。内面胴部はナデ。	
37 第36図	須恵器 羽釜	埋土 口縁部～胴部 上位片	① 22.0 鏝径 25.0	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形。鏝は貼付。口唇部に凹線が1条巡る。	

## 7号住居

挿図番号 図版番号	種類	出土位置 残存率	法量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1 第39図	土師器 杯	埋土 口縁部片	① 14.6	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	口縁部は上位が横ナデ、中位はナデ、下位は横方向のヘラ削り。	
2 第39図 PL90	須恵器 杯	床直 完形	① 11.4 ② 6.4 ③ 3.6	①細砂粒 ②酸火焰ぎみ ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は不定方向へのヘラ削り。	
3 第39図 PL90	須恵器 椀	床直 口縁部一部欠	① 12.2 ② 5.7 ③ 4.1	①粗砂粒 ②還元焰燻 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	外面口縁部に墨書、「物」
4 第40図 PL90	須恵器 椀	床直 完形	① 12.4 ②6.4④5.4 ③ 6.9	①粗砂粒、小礫 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
5 第40図 PL90	須恵器 椀	床直 ほぼ完形	① 13.4 ②7.1④6.6 ③ 4.5	①細砂粒 ②酸火焰ぎみ ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	外面口縁部に墨書、「万得」。

6 第40図 PL90	須恵器 椀	カマド 口縁部片	① 14.6	①細砂粒、褐色粒 ②酸火焰 ③淡黄色	ロクロ成形、回転右回りか。高台は剥離。	
7 第40図 PL91	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 15.6	①細砂粒、褐色粒 ②酸火焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回りか。	
8 第40図 PL91	須恵器 椀	埋土 口縁部下位～ 底部片	② 8.2 ④ 7.4	①粗砂粒 ②還元焰燻 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り、高台は貼付。	
9 第40図	須恵器 羽釜	埋土 口縁部片	① 19.8	①細砂粒 ②酸火焰ざみ ③にぶい褐色	ロクロ成形、鏝は貼付。	

### 8号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第43図 PL91	土師器 杯	+13、埋土 1/2	① 10.8 ② 5.0 ③ 4.6	①細砂粒 ②良好 ③赤褐色	口縁部に輪積痕が残る。口唇部は横ナデ、口縁部はナデ、底部は不定方向のヘラ削り。	
2 第43図 PL91	土師器 杯	+16 1/6	① 12.0 ② 7.7 ③ (3.7)	①細砂粒 ②良好 ③にぶい褐色	口縁部に輪積痕が残る。口唇部は横ナデ、口縁部は上半がナデ、下半が横方向のヘラ削り、底部は不定方向のヘラ削り。	
3 第43図	土師器 杯	+13 口縁部片	① 12.0 ② 7.0 ③ (3.3)	①細砂粒 ②良好 ③橙色	口縁部に輪積痕が残る。口唇部は横ナデ、口縁部は上半がナデ、下半が横方向のヘラ削り、底部は不定方向のヘラ削り。	
4 第43図	土師器 杯	埋土 口縁部片	① 12.0 ② 7.6 ③ (3.8)	①細砂粒、褐色粒 ②良好 ③橙色	口縁部に輪積痕が残る。口唇部は横ナデ、口縁部は上半がナデ、下半が横方向のヘラ削り、底部は不定方向のヘラ削りか。	
5 第43図 PL91	土師器 杯	+ 8 1/5	① 12.4 ② 6.4 ③ 3.1	①粗砂粒、白色粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	口唇部は横ナデ、口縁部は上半がナデ、下半が横方向のヘラ削り底部は不定方向のヘラ削り。	
6 第43図 PL91	土師器 杯	埋土 1/5	① 12.2 ② 7.6 ③ 4.0	①細砂粒 ②良好 ③鈍い褐色	口唇部は横ナデ、口縁部は上位・下位に横方向のヘラ削り、中位はナデ、底部は不定方向のヘラ削りで中央に離れ砂部分が残る。	
7 第43図 PL91	土師器 杯	床直、+24 1/3	① 12.7 ② 8.0 ③ 4.4	①細砂粒、褐色粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	口縁部に輪積痕が残る。口縁部は上半が横ナデ、下半はナデで一部に横方向のヘラ削り、底部は不定方向のヘラ削り。	
8 第43図 PL91	土師器 椀	+ 8・11、埋土 1/5	① 13.6 ②5.4④6.0 ③ 6.5	①細砂粒、褐色粒 ②良好 ③にぶい褐色	口縁部に輪積痕が残る。口唇部は横ナデ、口縁部は上半がナデ、下半が横方向のヘラ削り、高台は貼付。	
9 第43図 PL91	黒色土器 椀	カマド 底部欠	① 13.6	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい褐色	内面黒色処理であるが二次焼成により剥落か。ロクロ成形、回転右回り。内面口縁部に放射状暗文状のヘラ磨き。	
10 第43図	黒色土器 椀	埋土 口縁部片	① 14.6	①細砂粒 ②酸火焰 ③明赤褐色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転右回りか。内面口縁部は縦方向、横方向の粗いヘラ磨き。	
11 第43図 PL91	須恵器 杯	埋土 1/5	① 11.4 ② 5.8 ③ 3.4	①細砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
12 第44図 PL91	須恵器 杯	埋土 2/3	① 12.0 ② 6.2 ③ 3.1	①細砂粒、白色粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
13 第44図	須恵器 杯	+14、埋土 1/5	① 13.2 ② 7.6 ③ 3.7	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
14 第44図 PL91	須恵器 杯	床直、埋土 1/5	① 13.8 ② 8.0 ③ 3.3	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
15 第44図 PL91	須恵器 杯	+15 底部	② 5.8	①細砂粒 ②還元焰 ③暗灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後ナデ。	

16 第44図 PL91	須恵器 椀	埋土 1/2	① 12.0 ② 5.2 ③ 4.5	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
17 第44図 PL92	須恵器 椀	床直 完形	① 10.6 ②6.4④6.0 ③ 4.8	①粗砂粒 ②還元焰燻 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切りか。高台は貼付。	
18 第44図 PL92	須恵器 椀	床直 完形	① 10.6 ②6.4④6.0 ③ 4.8	①粗砂粒 ②還元焰燻 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切りか。高台は貼付。	
19 第44図 PL92	須恵器 椀	床直 口縁部一部欠	① 10.8 ②6.6④6.4 ③ 4.5	①粗砂粒 ②酸火焰ぎみ ③にぶい褐色	内面に粘土紐巻き上げ痕が残る。ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不明、高台は貼付。	
20 第44図 PL92	須恵器 椀	埋土、A-5 1/3	① 12.6 ②5.8④5.2 ③ 4.6	①細砂粒 ②還元焰燻 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
21 第44図 PL92	須恵器 椀	埋土 1/4	① 12.4 ② 6.4	①細砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付であるが剥落。	
22 第44図 PL92	灰釉陶器 椀	埋土 口縁部片	① 16.6	①微砂粒 ②還元焰焼締め ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。施釉方法不明、釉調は透明感のない灰色。	大原2号窯式期
23 第44図 PL92	灰釉陶器 皿	埋土 口縁部片	① 13.7	①微砂粒 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。口縁部下半は回転ヘラ削り。施釉方法は漬け掛け、釉調はやや緑色をおびた灰色。	大原2号窯式期
24 第44図 PL92	灰釉陶器 皿	埋土 底部片	② 7.0 ④ 6.8	①微砂粒、水箒 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明、高台は貼付。施釉方法は漬け掛け、釉調はやや緑色をおびた灰色。	大原2号窯式期
25 第44図 PL92	灰釉陶器 皿	埋土 底部	② 7.0 ④ 6.8	①微砂粒 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明、高台は貼付。口縁部下半は回転ヘラ削り。施釉方法は漬け掛け。	大原2号窯式期
26 第44図 PL92	灰釉陶器 皿	埋土、B-3 底部片	② 8.2 ④ 7.6	①微砂粒 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明、高台は貼付。施釉方法は漬け掛けか、釉調はやや緑色をおびた灰色。	大原2号窯式期
27 第44図 PL92	灰釉陶器 短頸壺	埋土、T-5、A-5 口縁部～胴部上位片	① 10.2	①微砂粒、小礫 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。施釉方法不明、釉調はやや緑色をおびた灰色。	
28 第44図 PL92	須恵器 短頸壺	床直 口縁部～胴部上位片	① 16.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。内面胴部はナデ。	
29 第44図 PL92	須恵器 羽釜	カマド、床直 口縁部～胴部中位片	① 21.2 鏝径 24.6	①細砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。鏝は貼付。胴部中位は斜め方向のヘラ削り。	
30 第44図 PL92	須恵器 甕	埋土 口縁部片	① 25.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形。器面剥落。	
31 第45図 PL92	須恵器 甕	埋土 口縁部片		①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、口縁部は沈線による区画と波状文が施文。	
32 第45図 PL92	須恵器 甕	カマド 胴部下半片	② 16.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形。内面に輪積痕が残る。胴部最下位に回転ヘラ削り。	
挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm、g)	特 徴 等		石 備 材 備 考
33第45図 PL93	石製品 鈿帯巡方	カマド 完形	縦 3.5 横 3.7 厚 0.6 重 17.8	裏面に留め具用の孔が4カ所、そのうち1カ所に銅線状のものが残存		橄欖岩

## 9号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第48図 PL93	須恵器 杯	床直 1/2	① 12.0 ② 6.8 ③ 3.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	

2 第48図 PL93	須恵器 杯	+10、埋土 1/3	① 12.8 ② 5.7 ③ 3.7	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第48図 PL93	須恵器 杯	床直 2/3	① 12.8 ② 6.8 ③ 3.9	①粗砂粒 ②酸焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
4 第48図 PL93	須恵器 杯	埋土 1/3	① 13.2 ② 9.0 ③ 3.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部ヘラ切り後回転ヘラ削り。	
5 第48図 PL93	須恵器 椀	+9 1/3	① 11.0 ② 5.7 ③ 4.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切りか。	
6 第48図 PL93	須恵器 椀	+7 1/3	① 13.4 ②6.2④5.4 ③ 4.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。底部切り離し技法不明、高台は貼付。口縁部下位はヘラナデ。	
7 第48図 PL93	須恵器 椀	埋土 1/4	① 14.0 ②7.2④6.6 ③ 5.0	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
8 第48図 PL93	須恵器 椀	床直、+9、埋土 高台欠	① 14.8 ② 7.0 ③ (5.3)	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付であるが剥落。	
9 第48図	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 13.9	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。	
10 第348図	須恵器 椀	+17 口縁部片	① 17.7	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。	
11 第48図	須恵器 椀	埋土 底部	② 6.2 ④ 5.6	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
12 第48図 PL93	須恵器 椀	床直 底部	② 9.2 ④ 9.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。内面底部器面が剥離しておりその面に回転糸切りが見られる。	
13 第48図 PL93	灰釉陶器 皿	カマド 1/6	① 14.2 ②7.4④6.8 ③ 2.8	①微砂粒 ②還元焰焼締め ③灰オリーブ色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け、釉調は透明感のない灰色。	大原2号窯式期
14 第48図 PL93	灰釉陶器 皿	埋土 口縁部片	① 15.6	①微砂粒、水箨 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形。施釉方法は刷毛塗りか、釉調は透明感のない灰色。	大原2号窯式期
15 第49図 PL94	土師器 甕	カマド、床直、 +10 1/5	① 19.8 ② 8.0 ③ 28.4	①細砂粒 ②やや軟質 ③浅黄橙色	口縁部は横ナデ、胴部は中位から下位にかけて縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
16 第48図 PL94	土師器 甕	床直 口縁部～胴部 上位片	① 19.6	①細砂粒 ②良好 ③明赤褐色	口縁部に輪積痕が残る、口縁部から頸部は横ナデ胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
17 第48図 PL94	土師器 甕	埋土 口縁部～胴部 上位片	① 20.0	①細砂粒 ②良好 ③赤褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
18 第49図 PL94	土師器 甕	埋土 口縁部～胴部 上位片	① 20.0	①細砂粒 ②良好 ③明赤褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はハケ目。	
19 第49図 PL94	土師器 甕	カマド、床直 口縁部～胴部 上位片	① 19.8	①細砂粒 ②良好 ③明赤褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
20 第49図 PL94	須恵器 羽釜	床直、+6・10口 縁部～胴部 上位片	① 19.0 鏝径 21.2	①粗砂粒 ②酸焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形。鏝は貼付。胴部は下位から鏝へ向けてのヘラ削り。	
21 第49図	土師器 杯	床直 混入品 1/5	① 12.8 ② 10.0 ③ 4.1	①微砂粒 ②軟質 ③にぶい黄橙色	口縁部は上半が横ナデ、下半はヘラ削り。底部もヘラ削り。内面は口縁部に放射状、底部に螺旋状暗文。	
挿図番号 図版番号	種類	出土位置 残存率	計測値 (単位 cm、g)	特徴等	備考	
22第48図 PL94	鉄器 刀子	+10 刀子片	長 (8.7) 幅 1.0 厚 0.4		刀身と刀歯の厚みは僅かである。	

## 10号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第51図 PL94	須恵器 杯	埋土 1/3	① 12.2 ② 6.8 ③ 4.1	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第51図 PL94	須恵器 杯	埋土 1/5	① 12.8 ② 7.8 ③ 4.1	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第51図	須恵器 杯	埋土 1/6	① 12.2 ② 7.0 ③ 3.1	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
4 第51図	須恵器 杯	+13 1/3	① 13.4 ② 9.0 ③ 2.7	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
5 第51図 PL95	須恵器 杯	+6 口縁部一部欠	① 13.4 ② 7.4 ③ 3.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
6 第51図 PL95	須恵器 椀	床直 ほぼ完形	① 15.0 ②7.2④6.8 ③ 5.3	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
7 第51図 PL95	須恵器 椀	床直 完形	① 16.0 ②8.4④8.2 ③ 5.3	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	内面にウルシ付着。
8 第51図 PL95	須恵器 皿	床直 完形	① 13.0 ②6.2④5.6 ③ 3.7	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
9 第51図	灰釉陶器 皿	埋土 底部片	② 7.4 ④ 7.0	①微砂粒 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。施釉方法は不明。	大原2号窯式期
10 第51図	須恵器 短頸壺	埋土 口縁部片	① 11.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。	
11 第51図 PL95	土師器 甕	埋土 口縁部～胴部 上位片	① 17.8	①細砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部上位は横方向のヘラ削り。内面胴部はハケ目。	
12 第52図 PL95	土師器 台付甕	+8、埋土 胴部下半片	② 5.4	①細砂粒 ②良好 ③にぶい褐色	胴部下半は縦方向のヘラ削り。脚部との接合部は横ナデか。内面胴部はヘラナデ。	
13 第52図 PL95	須恵器 甕	床直 口縁部～胴部 中位片	頸径19.4	①粗砂粒 ②還元焰 ③褐灰色	胴部の一部に自然釉が付着。外面は平行叩き。内面にはアテ具痕が残る。	
14 第51図 PL95	土師器 杯	埋土 混入品 1/3	① 12.4 ② 8.8 ③ 4.2	①細砂粒 ②やや軟質 ③橙色	底部に粘土紐巻き上げ痕が残る。口縁部は上半がナデ、下半が横方向のヘラ削り、底部は不定方向のヘラ削り。	

## 11号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第54図	土師器 杯	埋土 口縁部片	① 11.4 ② 7.4 ③ (3.0)	①細砂粒 ②良好 ③にぶい黄褐色	口縁部中ほどに1条の凹線が巡る。口縁部は上半が横ナデ、下半がナデ、底部はヘラ削り。	
2 第54図 PL95	土師器 杯	埋土、22住 1/4	① 12.8 ② 10.4 ③ 3.3	①細砂粒 ②良好 ③にぶい黄褐色	口縁部は上半が横ナデ、下半がナデ、底部は不定方向のヘラ削り。	
3 第54図	土師器 甕	埋土 口縁部片	① 13.8	①細砂粒 ②良好 ③にぶい褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
4 第54図	土師器 甕	床直 胴部下位片		①細砂粒 ②良好 ③にぶい褐色	胴部は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	

## 12号住居

挿図番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第56図 PL96	須恵器 杯	床直 1/5	① 10.6 ② 5.2 ③ 3.4	①細砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第56図 PL96	須恵器 杯	埋土、20・23住 1/3	① 11.8 ② 5.4 ③ 3.4	①粗砂粒 ②還元焰燻 ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第56図 PL96	須恵器 椀	床直 2/3	① 12.2 ②6.6④5.4 ③ 5.6	①細砂粒、褐色粒 ②酸火焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
4 第56図 PL96	須恵器 椀	床直 1/5	① 12.8 ②6.4④6.8 ③ 4.5	①細砂粒 ②酸火焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不明、高台は貼付。	
5 第56図 PL96	須恵器 椀	+7、埋土 1/4	① 14.0 ②7.2④6.5 ③ 5.4	①細砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
6 第56図 PL96	須恵器 椀	床直 3/4	① 15.4 ② 7.9 ③ (5.9)	①粗砂粒 ②酸火焰ざみ ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付であるが下半を打ち欠いている。	
7 第56図	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 12.8	①細砂粒 ②還元焰 ③褐色	ロクロ成形、回転右回りか。	
8 第56図 PL96	須恵器 椀	床直、埋土 口縁部片	① 15.4	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回りか。	
9 第57図	須恵器 椀	床直 底部片	② 6.4 ④ 6.4	①粗砂粒 ②還元焰 ③褐色	ロクロ成形、回転右回りか。底部切り離し技法はナデで不明、高台は貼付。	
10 第57図 PL96	須恵器 椀	床直 底部	② 6.4 ④ 6.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
11 第57図 PL96	須恵器 椀	+7 口縁部下半	② 6.2	①粗砂粒 ②酸火焰ざみ ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後ナデ調整。高台は貼付であるが剥落。	
12 第57図 PL96	須恵器 椀	床直、埋土 高台片	④ 11.2	①細砂粒 ②酸火焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形、回転右回りか。高台は貼付。	
13 第57図	灰釉陶器 椀	埋土 口縁部片	① 13.0	①微砂粒 ②還元焰焼締め ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回りか。施釉方法は漬け掛け釉調は透明感のない灰色。	大原2号窯式期
14 第57図 PL96	灰釉陶器 椀	床直、G-3 底部	② 7.4 ④ 7.0	①微砂粒 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け、釉調は透明感のない灰色。	大原2号窯式期
15 第57図	灰釉陶器 椀	埋土 底部片	② 8.0 ④ 7.6	①微砂粒 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。施釉方法は不明。	大原2号窯式期
16 第57図	灰釉陶器 椀	+7 底部片	② 9.0 ④ 8.2	①微砂粒 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	大原2号窯式期
17 第57図 PL96	須恵器 羽釜	床直、埋土、 22住 1/5	① 18.0 ② 4.8 ③ 22.8	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、鐙は貼付。胴部は縦方向、底部付近は斜め方向のヘラ削り。内面胴部の下位はナデ。	
18 第57図 PL96	須恵器 羽釜	床直、+8・9 口縁部～胴部 下位片	① 19.8 鐙径 21.6	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形、鐙は貼付。胴部は下半が縦方向のヘラ削り。	
19 第57図 PL97	須恵器 羽釜	床直、+8、 埋土、G-3・4 口～胴中位片	① 20.2 鐙径 23.6	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形、鐙は貼付。	
20 第57図 PL97	須恵器 羽釜	床直、+10 G-3 口～胴下位片	① 21.0 鐙径 24.0	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形、鐙は貼付。胴部は下半が斜め方向のヘラ削り。	

21 第57図	須恵器 羽釜	埋土 胴部下位片	② 8.0	①粗砂粒、小礫 ②酸火焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形。胴部下位は縦方向のヘラ削り。	
22 第58図 PL97	須恵器 甕	埋土 口縁部～頸部片	① 46.4 頸径37.4	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形。頸部で胴部と口縁部を接合、接合部はナデ。口縁部の一部もナデ。	

### 13号住居

挿図番号 図版番号	種 器 類 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第61図	土師器 杯	埋土 口縁部片	① 10.8 ② 9.0 ③ (2.8)	①細砂粒 ②良好 ③にぶい橙色	内面口唇部に1条の凹線が巡る。口縁部は上半が横ナデ、下半がナデ、底部はヘラ削り。	
2 第61図	須恵器 椀	床直 口縁部片	① 12.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。	
3 第61図	須恵器 椀	埋土 底部片	② 7.8 ④ 6.4	①細砂粒 ②還元焰 ③浅黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
4 第61図	土師器 甕	カマド掘方 口縁部片	① 11.8	①細砂粒 ②良好 ③明褐色	内面に輪積痕が残る。口縁部は上半が横ナデ、胴部上位は横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ	
挿図番号 図版番号	種 器 類 種	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm, g)		特 徴 等	石 材 考
5 第61図 PL97	石製品 管玉	埋土 完形	長0.8 重	径0.6 孔0.2		蛇紋岩

### 14号住居

挿図番号 図版番号	種 器 類 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第64図 PL97	須恵器 杯	床直、埋土 2/3	① 10.2 ② 6.0 ③ 3.1	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第64図 PL97	須恵器 杯	床直、+9 1/5	① 10.4 ② 4.6 ③ 2.8	①粗砂粒 ②還元焰燻 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第64図 PL97	須恵器 杯	貯蔵穴 3/4	① 11.0 ② 4.5 ③ 4.7	①細砂粒 ②酸火焰 ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
4 第64図	須恵器 杯	埋土 口縁部片	① 11.8 ② 5.8 ③ 3.5	①粗砂粒 ②還元焰燻 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
5 第65図 PL97	須恵器 椀	貯蔵穴 口縁部一部欠	① 11.0 ② 3.8 ③ 3.9	①粗砂粒 ②還元焰燻 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
6 第65図 PL97	須恵器 椀	貯蔵穴 完形	① 11.6 ② 5.1 ③ 4.1	①粗砂粒 ②還元焰 ③浅黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
7 第65図 PL98	須恵器 椀	床直、埋土 1/2	① 12.6 ② 5.4 ③ 4.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
8 第65図 PL98	須恵器 椀	床直、+7、埋土 1/2	① 10.8 ②7.0④5.8 ③ 4.2	①細砂粒 ②還元焰燻 ③暗オリーブ灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
9 第65図 PL98	須恵器 椀	+7 口縁部・高台 一部欠	① 12.0 ②6.4④6.2 ③ 4.8	①粗砂粒 ②還元焰燻 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	外面口縁部に墨書「物」
10 第65図 PL98	須恵器 椀	貯蔵穴 完形	① 11.8 ②6.0④5.8 ③ 5.1	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	

11 第65図 PL98	須恵器 椀	貯蔵穴 1/3	① 11.8 ②7.5④5.8 ③ 4.3	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
12 第65図 PL98	須恵器 椀	床直 2/3	① 12.0 ②7.6④7.0 ③ 4.4	①粗砂粒 ②酸火焰ぎみ ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
13 第65図 PL98	須恵器 椀	貯蔵穴、+12 1/3	① 12.4 ②6.3④6.0 ③ 4.5	①細砂粒 ②酸火焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
14 第65図 PL98	須恵器 椀	床直 1/4	① 12.6 ②6.8④6.4 ③ 4.7	①粗砂粒、小礫 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
15 第65図	須恵器 椀	床直 1/6	① 12.8 ②7.5④7.0 ③ 5.3	①細砂粒 ②還元焰軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。底部切り離し技法不明、高台は貼付。	
16 第65図 PL98	須恵器 椀	貯蔵穴 3/4	① 12.2 ② 6.4 ③ (4.6)	①粗砂粒、小礫 ②酸火焰ぎみ ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付であるが剥落。	
17 第65図 PL98	須恵器 椀	カマド、床直 +7 底部欠	① 15.0 ② 8.0 ③ (5.4)	①粗砂粒、褐色粒 ②酸火焰 ③橙色	ロクロ成形、回転右回り。	
18 第65図 PL98	灰釉陶器 椀	埋土、E-7 底部～口縁部下 位	② 7.2 ④ 6.8	①微砂粒、水簸 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。口縁部下位は回転ヘラ削り。施釉方法は刷毛塗りか。	光ヶ丘1号窯式 期
19 第65図 PL98	灰釉陶器 皿	埋土 底部片	② 9.4 ④ 8.6	①微砂粒、水簸 ②還元焰焼締め ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回りか。底部切り離し技法はナデで不明、高台は貼付。施釉方法は刷毛塗りか、釉調はやや緑色をおびた灰色。	光ヶ丘1号窯式 期
20 第65図	灰釉陶器 皿	埋土 底部片	② 7.1 ④ 6.8	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。底部切り離し技法はナデで不明、高台は貼付。施釉方法は不明。	
21 第65図 PL98	須恵器 長頸壺	埋土、15住、D-6 E-5・6、F-5・6 胴部上位片	頸径 7.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形。頸部と胴部は接合であるが接合部は不鮮明。	
22 第65図	須恵器 甌	床直 底部片	② 15.4	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形。内面に輪積痕が残る。	
23 第65図 PL98	須恵器 羽釜	埋土、E-6 口縁部～胴部上 位片	① 20.0 鏝径 23.6	①細砂粒 ②酸火焰 ③浅黄色	ロクロ成形。鏝は貼付。	
24 第65図	須恵器 甕	床直 胴部下位片		①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形。外面に自然釉付着。	
挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm、g)		特 徴 等 徴	石 材 備 考
25第65図 PL98	石製品 砥石	+9 1/2	長(9.0) 幅 5.8 厚 1.4～4.4 重 215		各面に擦痕が見られ、中ほどの使用頻度が激しく著しく擦り減っている。	砥沢石

### 15号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第68図 PL99	須恵器 椀	+8 完形	① 12.4 ② 6.2 ③ 4.5	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第68図 PL99	須恵器 椀	床直 3/4	① 13.0 ②6.0④5.4 ③ 5.9	①粗砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
3 第68図 PL99	須恵器 椀	埋土 口縁部小片		①細砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形。	外面口縁部に墨書、文字判読不能。
4 第68図	須恵器 皿	埋土 口縁部片	① 13.6 ②8.9④9.8 ③ 2.1	①細砂粒 ②酸火焰ぎみ ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回りか。高台は貼付。	

## 16号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第70図	土師器 杯	埋土 口縁部片	① 13.6	①細砂粒 ②良好 ③褐色	口縁部は上半がナデ、下半が横方向のヘラ削り。 内面は斜放射状暗文。	
2 第70図	須恵器 蓋(杯・椀)	埋土 口縁部片	① 11.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。摘みは貼付か。	
3 第70図	須恵器 蓋(杯・椀)	埋土 口縁部片	① 11.6	①細砂粒 ②酸焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。摘みは貼付。	
4 第70図	須恵器 蓋(杯・椀)	埋土 口縁部片	① 17.6	①細砂粒 ②還元焰軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。	
5 第70図 PL99	須恵器 杯	埋土、17住、T-3 1/4	① 13.3 ② 7.8 ③ 4.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転ヘラ削り。	
6 第70図 PL99	須恵器 杯	床直、埋土 18住、A-4 1/2	① 13.6 ② 8.0 ③ 4.6	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
7 第70図 PL99	須恵器 椀	カマド 1/2	① 14.2 ② 5.8 ③ 4.1	①細砂粒 ②還元焰軟質 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切りか。	
8 第70図 PL99	須恵器 椀	埋土 底部～口縁部中 位片	② 7.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
9 第70図 PL99	須恵器 椀	T-4 高台一部欠	① 11.8 ②6.0④5.8 ③ 4.5	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
10 第70図 PL99	須恵器 耳皿	埋土、17住 1/3	① 12.0 ②6.2④6.2 ③ 2.5	①細砂粒 ②還元焰軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm、g)		特 徴 等	備 考
11第70図 PL99	鉄器 釘	埋土 先端付近片	長 (3.2) 厚 0.5×0.6		中心部に空洞部分がある。	

## 17号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第73図 PL99	土師器 杯	+6・9 1/2	① 12.0 ② 8.0 ③ 3.8	①細砂粒 ②良好、やや軟質 ③にぶい橙色	口縁部は上半が横ナデ、下半が横方向のヘラ削り、 底部は不定方向のヘラ削り。内面口縁部は 斜放射状暗文。	
2 第73図	土師器 杯	埋土 口縁部片	① 17.2	①細砂粒 ②良好 ③明褐色	口縁部は上位が横ナデ、中位・下位は横方向の ヘラ削り。内面口縁部は斜放射状暗文。	
3 第73図	須恵器 蓋(杯・椀)	埋土 口縁部片	① 18.4	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。	
4 第73図 PL99	土師器 甕	+9 口縁部～胴部 上位片	① 15.8	①細砂粒 ②良好 ③明褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部上位は横方向の ヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
5 第73図 PL99	土師器 甕	埋土、T-4 口縁部～胴部 上位片	① 20.6	①細砂粒 ②良好 ③にぶい橙色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部上位は横方向の ヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
6 第73図 PL99	土師器 甕	+9・12、埋土 口縁部～胴部 上位片	① 21.8	①細砂粒 ②良好 ③にぶい黄褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部上位は横方向の ヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	

## 18号住居

挿図番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第76図 PL100	須恵器 杯	カマド 1/3	① 12.4 ② 7.0 ③ 3.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第76図 PL100	須恵器 杯	+7、埋土、 17住 2/3	① 12.9 ② 7.7 ③ 3.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第76図 PL100	須恵器 杯	埋土 1/3	① 13.6 ② 7.2 ③ 3.3	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
4 第76図 PL100	須恵器 椀	埋土 1/4	① 15.4 ②8.2④7.7 ③ 5.3	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
5 第76図 PL100	須恵器 椀	+22 底部	② 8.4 ④ 8.6	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
6 第76図 PL100	須恵器 椀	埋土 底部片	② 6.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
7 第76図 PL100	灰釉陶器 椀	カマド、埋土 2/3	① 16.6 ②8.1④7.6 ③ 5.5	①微砂粒、小礫 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。内面見込み・高台疊 付に重焼き痕が残る。底部切り離し技法は回転 ナデで不明。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け。	大原2号窯式期
8 第76図 PL100	灰釉陶器 皿	カマド 口縁部片	① 15.8 ② 6.2	①微砂粒 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。施釉方法は漬け掛 けか、釉調はやや緑色をおびた灰色。	大原2号窯式期
9 第76図	土師器 甕	埋土 口縁部片	① 18.6	①細砂粒 ②良好 ③にぶい褐色	口縁部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナ デ胴部上位は横方向のヘラ削り。	
10 第76図	土師器 甕	カマド 口縁部片	① 19.8	①細砂粒 ②良好 ③にぶい橙色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向 のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
11 第76図 PL100	土師器 甕	埋土、T-4 口縁部～胴部上 位片	① 20.0	①細砂粒 ②良好 ③明赤褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向 のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	

## 19号住居

挿図番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第79図 PL100	須恵器 杯	+8、19・20住 口縁部・底部 の一部欠	① 11.6 ② 6.4 ③ 3.5	①細砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第79図 PL100	須恵器 椀	床直 1/2	① 12.2 ②3.0④5.6 ③ 4.4	①粗砂粒・小礫 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不 明、高台は貼付。	
3 第79図 PL101	須恵器 椀	カマド 3/4	① 12.8 ②6.6④6.0 ③ 4.7	①細砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
4 第79図 PL101	須恵器 椀	+12 口縁部片	① 12.8	①細砂粒 ②酸焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回りか。	
5 第79図 PL101	須恵器 椀	カマド 1/3	① 14.0 ② 6.8 ③ (4.0)	①細砂粒 ②酸焰ぎみ ③暗褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ナデで不明。高台は貼付であるが剥落。	
6 第79図 PL101	須恵器 椀	カマド 底部～口縁部 下半	② 3.6 ④ 3.6	①細砂粒・小礫 ②酸焰ぎみ ③明黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ナデで不明。高台は貼付。	
7 第79図 PL101	須恵器 椀	床直 1/2	① 16.2 ② 7.8 ③ (5.5)	①細砂粒 ②還元焰軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付であるが剥落、剥落後高台貼付箇所 を研磨し平坦にしている。	

8 第79図 PL101	須恵器 椀	+13 2/3	① 17.2 ② 8.0 ③ (6.7)	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切りか。 高台は貼付であるが剥落。	
9 第79図	須恵器 椀	掘方 高台片	④ 10.8	①細砂粒 ②酸火焰ぎみ ③浅黄色	ロクロ成形、回転方向不明。高台は貼付。	
10 第79図 PL101	須恵器 羽釜	カマド 1/4	① 24.4 ② 8.0 ③ 24.8	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。罫は貼付。胴部下位 は縦方向のヘラ削り。底部はナデ。	
11 第79図 PL101	須恵器 羽釜	+17、12住 胴部下半片		①粗砂粒 ②酸火焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転方向不明。胴部下半は縦方向 のヘラ削り。	
12 第79図 PL101	須恵器 羽釜	カマド、+13 埋土 胴部下半片		①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転方向不明。胴部下位は縦方向 のヘラ削り。	
13 第79図 PL101	須恵器 羽釜	カマド、+13 底部	② 7.6	①細砂粒 ②酸火焰ぎみ ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 胴部下位は縦方向のヘラ削り。	
14 第80図 PL101	土製品 丸瓦	カマド 小片		①粗砂粒・長石 ②還火焰 ③灰色	内面は布目痕で周辺部ヘラ削り。端部もヘラ削り 外面はヘラナデ。	

## 20号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第82図 PL102	須恵器 椀	+15 完形	① 12.7 ② 6.3 ③ 4.0	①細砂粒 ②還火焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後 周辺部をナデ整形。	
2 第82図 PL102	須恵器 椀	埋土 完形	① 12.8 ②5.6④4.5 ③ 4.9	①粗砂粒 ②還火焰軟質 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
3 第82図 PL102	須恵器 椀	床直 1/3	① 13.4 ②8.1④7.2 ③ 4.3	①粗砂粒 ②還火焰燻 ③オリーブ黒色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り、 周辺部は高台貼付時のナデ。	
4 第82図 PL102	灰釉陶器 皿	床直 1/5	① 13.0 ②7.0④6.6 ③ 2.8	①微砂粒 ②還火焰焼締め ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不 明、高台は貼付。施釉方法は刷毛塗りか、釉調 は透明感のない灰色。	光ヶ丘1号窯式 期
5 第82図 PL102	土師器 甕	埋土、F-4 口縁部片	① 17.6	①細砂粒 ②良好 ③明褐色	口縁部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナ デ、胴部上位は横方向のヘラ削り。	
6 第82図 PL102	須恵器 甕	床直、+7、12住 E-4、F-3、G-3・ 4胴部上位片	頸径47.0	①細砂粒 ②還火焰 ③灰色	胴部外面平行叩き、内面同心円状アテ具痕が残 る。頸部にて胴部と口縁部を接合。	

## 21号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第84図 PL102	土師器 杯	埋土 口縁部～底部 片	① 11.8 ② 9.0 ③ 2.5	①細砂粒 ②良好 ③にぶい橙色	口縁部は上半が横ナデ、下半がナデ、底部は不 定方向のヘラ削り。	
2 第84図 PL102	土師器 杯	床直 口縁部下半～ 底部片	② 9.0	①細砂粒・褐色粒 ②やや軟質 ③にぶい橙色	口縁部は上半が横ナデ、下半が横方向のヘラ削 り、底部は不定方向のヘラ削り。内面口縁部に 斜放射状暗文。	
3 第84図 PL102	須恵器 杯蓋	貯蔵穴 口縁部一部・ 摘一部欠	① 14.0 摘径 3.8 ③ 3.5	①細砂粒 ②還火焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。摘みは貼付。天井部 は中程まで回転ヘラ削り。	
4 第84図 PL102	須恵器 杯	周溝上の壁際 口縁部一部欠	① 12.1 ② 8.7 ③ 3.3	①細砂粒 ②還火焰 ③褐灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	

5 第84図	須恵器 杯	埋土 口縁部片	① 13.6 ② 8.0 ③ 4.1	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。底部は回転ヘラ削りか。	
6 第84図 PL102	須恵器 短頸壺	床直、埋土 胴部下半～底部	② 11.0 ④ 11.2	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③灰白色	胴部に輪積痕が残る。ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不明、高台は貼付。内面底部に指頭痕が残る。	

### 22号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第86図 PL102	土師器 杯	埋土、B-3 1/4	① 12.0 ② 10.2 ③ (3.7)	①細砂粒・褐色粒 ②やや軟質 ③橙色	口縁部は上半が横ナデ、下半が横方向のヘラ削り 底部は不定方向のヘラ削り。	
2 第86図 PL102	須恵器 杯蓋	埋土、A-4 天井部	摘径 2.3	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。摘みは貼付。天井部 中ほどは回転ヘラ削り。	
3 第86図 PL102	須恵器 杯蓋	+9・24、埋土 口縁部片	① 19.6	①細砂粒 ②酸火焰ぎみ ③浅黄色	ロクロ成形、回転右回りか。内外面の色調の違いは 焼成時の重焼き痕か。	
4 第86図	須恵器 杯	埋土 口縁部片	① 12.6	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。	
5 第86図	須恵器 杯	埋土 口縁部片	① 12.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。	
6 第86図	須恵器 杯	埋土 底部片	② 11.8 ④ 10.6	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転ヘラ削り。 高台は貼付。	

### 23号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第89図 PL103	須恵器 杯	床直 口縁部一部欠	① 11.2 ② 5.0 ③ 3.4	①細砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第89図 PL103	須恵器 杯	床直 口縁部一部欠	① 11.6 ② 6.1 ③ 3.7	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第89図 PL103	須恵器 椀	床直 1/4	① 11.8 ② 5.1 ③ 3.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
4 第89図 PL103	須恵器 椀	床直、+13、 24住 1/4	① 13.2 ② 7.2 ③ 4.7	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
5 第89図 PL103	須恵器 椀	床直 完形	① 11.9 ②7.3④7.0 ③ 4.9	①粗砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
6 第89図 PL103	須恵器 椀	床直 1/4	① 11.9 ②5.9④6.0 ③ 4.8	①粗砂粒 ②還元焰燻 ③黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
7 第89図 PL103	須恵器 椀	床直、埋土 3/4	① 12.6 ②5.0④4.4 ③ 4.8	①細砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
8 第89図 PL103	須恵器 椀	床直 4/5	① 13.2 ②8.0④9.0 ③ 6.2	①粗砂粒 ②酸火焰ぎみ ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切りか。 高台は貼付。	
9 第90図 PL103	須恵器 椀	床直 3/4	① 14.2 ②7.8④8.8 ③ 7.3	①粗砂粒 ②酸火焰ぎみ ③灰黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は 高台貼付時のナデで不明。	

10 第90図 PL103	須恵器 椀	+6、埋土 1/2	① 11.7 ② 5.8 ③ (3.9)	①粗砂粒 ②酸火焰 ③浅黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付であるが剥落。	
11 第90図 PL103	須恵器 椀	床直、埋土 1/4	① 12.8 ② 5.2 ③ (4.5)	①細砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不明、高台は貼付であるが剥落。	
12 第90図 PL103	灰釉陶器 椀	床直 2/3	① 12.2 ②7.0④6.2 ③ 4.2	①微砂粒 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不明、口縁部下位は回転ヘラ削り。施釉方法は漬け掛け釉調は透明感のない灰色。	大原2号窯式期
13 第90図 PL103	須恵器 羽釜	カマド 口縁部～胴部上位片	① 18.0 鏝径 21.8	①粗砂粒 ②酸火焰ぎみ ③褐灰色	ロクロ成形。鏝は貼付。胴部の一部にヘラ削り痕が残る。	
14 第90図 PL104	須恵器 羽釜	+9 口縁部～胴部中位片	① 20.0 鏝径 23.5	①粗砂粒・褐色粒 ②酸火焰 ③橙色	ロクロ成形。鏝は貼付、鏝の下面にヘラのあった痕跡が残る。	
15 第90図 PL103	須恵器 羽釜	床直、埋土 口縁部～胴部上位片	① 20.8 鏝径 25.7	①粗砂粒 ②酸火焰ぎみ ③にぶい褐色	ロクロ成形。鏝は貼付。	
16 第90図 PL104	須恵器 羽釜	床直 胴部下半片	胴径 22.0	①粗砂粒 ②酸火焰ぎみ ③にぶい黄橙色	ロクロ成形。胴部下位は縦方向のヘラ削り。	
17 第90図 PL104	須恵器 羽釜	床直 胴部下半片		①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形。胴部下位は斜め方向のヘラ削り、最下位は横方向のヘラ削り。	
18 第90図	須恵器 甕	+7 口縁部片	① 21.8	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③灰色	ロクロ成形。	
19 第90図 PL104	須恵器 甕	床直 口縁部片	① 25.0	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③灰色	ロクロ成形。	
挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm、g)	特 徴 等	石 材 備 考	
20第90図 PL104	石製品 凹石	床直 完形か	重 11.2 幅 8.2 厚 7.3 孔 2.0×1.0×0.4 重 560.0		軽石を球状に加工し、上面に敲打痕が4カ所見られる。	榛名ニッ岳軽石

## 24号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第92図 PL104	土師器 杯	埋土 1/5	① 11.8 ② 6.2 ③ 3.2	①粗砂粒・褐色粒 ②良好 ③にぶい橙色	口縁部は上位が横ナデ、中位はナデ、下位は横方向のヘラ削り、底部は不定方向のヘラ削り。	
2 第92図	土師器 杯	埋土 口縁部片	① 11.8	①細砂粒・褐色粒 ②良好 ③橙色	口唇部は横ナデ、口縁部は上半がナデ、下半が横方向のヘラ削り。	
3 第92図	須恵器 杯	埋土 底部片	② 6.2	①細砂粒・小礫 ②酸火焰 ③明褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
4 第92図	須恵器 杯	床直 底部	② 6.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
5 第92図 PL104	須恵器 椀	+20 1/5	① 14.0 ② 7.0 ③ (4.5)	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付であるが剥落。	
6 第92図	須恵器 椀	埋土 底部片	② 6.8 ④ 5.4	①細砂粒 ②酸火焰 ③橙色	ロクロ成形、回転右回りか。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
7 第92図 PL104	須恵器 椀	+18 底部片	② 7.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付であるが剥落。	
8 第92図	須恵器 羽釜	埋土 口縁部～胴部上位小片	① 25.0 鏝径 29.0	①粗砂粒 ②酸火焰ぎみ ③黄灰色	ロクロ成形。鏝は貼付。	

9 第93図	須恵器 双子壺	埋土		①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	胴部とは貼付。整形はナデ。	
10 第93図 PL104	土製品 平瓦	+10 小片		①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	側面、上面周囲はヘラ削り、上面内部は布目が残る。下面はヘラナデ。	
11 PL104	土製品 鞆羽口	埋土 端部小片		①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	炉内に入る端部で若干の鉄分の付着が見られる。	

### 25号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第94図 PL104	須恵器 椀	床直、埋土 完形	① 12.6 ② 6.8 ③ 4.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第96図	須恵器 椀	埋土 底部片	② 6.2	①細砂粒 ②還元焰軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第96図 PL104	須恵器 椀	床直、埋土 ほぼ完形	① 13.4 ②7.0④6.6 ③ 5.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	内面口縁部墨書「物」
4 第96図	須恵器 椀	埋土 底部片	② 6.8 ④ 6.0	①細砂粒 ②還元焰燻 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不明、高台は貼付。	
5 第96図 PL104	灰釉陶器 椀	埋土 口縁部片	① 13.8	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。施釉方法は漬け掛け、釉調はやや緑色をおびた灰色。	大原2号窯式期
6 第96図 PL104	灰釉陶器 皿?	埋土 底部片	② 8.0 ④ 7.4	①微砂粒 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明、高台は貼付。内面見込み部に輪積痕が残る。	大原2号窯式期
7 第96図 PL104	灰釉陶器 長頸壺	埋土、9土坑、 A-8、D-7・12 口縁部～頸部	頸径 7.0	①微砂粒 ②還元焰やや軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。施釉方法は不明、釉調は透明感のある緑灰色。	
8 第96図	須恵器 甕	埋土 口縁部片		①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	口縁部は波状文(単位7条)。	

### 26号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第99図	土師器 杯	埋土 口縁部片	① 11.8 ② 7.8 ③ (2.9)	①細砂粒 ②良好 ③赤褐色	口縁部は上半が横ナデ、下半がナデ。	
2 第99図	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 13.8	①細砂粒 ②還元焰ぎみ ③浅黄色	ロクロ成形、回転方向不明。	
3 第100図	須恵器 椀	埋土 底部片	② 7.4 ④ 7.0	①細砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転方向不明。高台は貼付。	
4 第100図 PL105	土師器 甕	カマド、埋土 口縁部～胴部上 位片	① 20.8	①細砂粒 ②良好 ③明赤褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
5 第100図 PL105	土師器 台付甕	埋土、F-8 脚部片	② 4.2 ④ 9.7	①細砂粒 ②良好 ③明赤褐色	脚部に輪積痕が残る。整形は内外面とも横ナデ。	

27号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第103図	土師器 杯	埋土 1/5	① 10.8 ② 6.0 ③ (3.1)	①細砂粒・褐色粒 ②良好 ③橙色	口唇部は横ナデ、口縁部は上半がナデ、下半が横方向のヘラ削り、底部は不定方向のヘラ削り。	
2 第103図 PL105	土師器 杯	貯蔵穴、+7 完形	① 11.8 ② 6.6 ③ 3.8	①細砂粒 ②良好 ③明赤褐色	口縁部は上位が横ナデ、中位はナデ、下位は横方向のヘラ削り。底部は中心部に砂底が残り、周囲をヘラ削り。	
3 第103図 PL105	須恵器 椀	床直 1/3	① 12.8 ② 6.0 ③ 4.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
4 第103図	須恵器 椀	埋土 底部片	② 6.8	①粗砂粒 ②酸焰 ③橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
5 第103図	須恵器 椀	埋土 口縁部～高台片	① 13.8 ②6.6④6.2 ③ 4.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。底部切り離し技法不明。高台は貼付。	
6 第104図 PL105	須恵器 椀	床直 口縁部下半～底部	② 7.0 ④ 6.5	①粗砂粒 ②還元焰やや軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
7 第104図 PL105	灰釉陶器 小椀	埋土 口縁部片	① 11.6	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。施釉方法は刷毛塗りか、釉調は透明感のない灰色。	光ヶ丘1号窯式期
8 第104図 PL105	灰釉陶器 皿	埋土 口縁部片	① 13.6	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。施釉方法は刷毛塗りか、釉調はやや緑色をおびた灰色。	光ヶ丘1号窯式期
9 第104図 PL105	土師器 甕	カマド、埋土 口縁部～胴部上位片	① 17.6	①細砂粒 ②良好 ③暗褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はハケ目。	
10 第104図 PL105	土師器 甕	床直、埋土 口縁部～胴部上位片	① 19.8	①細砂粒 ②良好 ③暗赤褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はハケ目(単位12条)。	
11 第104図	土師器 甕	カマド、埋土 口縁部～胴部上位片	① 19.8	①細砂粒 ②良好 ③暗赤褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。	
12 第104図 PL105	土師器 甕	カマド、埋土 胴部下位～底部	② 4.2	①細砂粒 ②良好 ③暗褐色	胴部下位は縦方向のヘラ削り、底部もヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
13 第104図 PL105	土師器 台付甕	床直、埋土 1/2	① 12.4 ② 5.4 ③ (15.5)	①粗砂粒・褐色粒 ②良好 ③暗赤褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上半が横方向、下半は縦方向のヘラ削り。脚部接合部は横ナデ。内面胴部はヘラナデ。	
14 第104図	須恵器 甕	カマド 口縁部小片		①粗砂粒・白色粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。口縁部には数段にわたり波状文(単位8～)。	

28号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第105図	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 11.6	①細砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転方向不明。	
2 第105図 PL105	須恵器 椀	床直 底部	② 6.2 ④ 5.6	①細砂粒 ②酸焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は高台貼付時のナデで不明。	
3 第105図 PL105	須恵器 椀	床直 底部	② 6.8 ④ 6.0	①細砂粒 ②酸焰 ③明赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	

## 29号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第108図 PL106	土師器 杯	埋土 1/4	① 11.4 ② 8.8 ③ (4.3)	①粗砂粒 ②良好 ③橙色	口唇部は横ナデ、口縁部は上位・下位が横方向のヘラ削り、中位はナデ。底部はヘラ削り。	
2 第108図 PL106	土師器 杯	掘方 1/4	① 12.0 ② 6.2 ③ (4.3)	①粗砂粒 ②良好 ③橙色	口縁部に輪積痕が残る。口縁部は上位が横ナデ、中位はナデ、下位はヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。	
3 第109図 PL106	須恵器 杯蓋	床直 口縁部欠	摘径 4.0	①粗砂粒・小礫 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。摘みは貼付。天井部中ほどは回転ヘラ削り。内面研磨でロクロ痕磨耗、摘みは上部を擦り削り平坦面を作っている。	転用硯か
4 第109図 PL106	須恵器 杯	+11、埋土 1/5	① 10.8 ② 6.2 ③ 3.7	①細砂粒・褐色粒 ②還元焰ぎみ ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回りか。底部は回転ヘラ削り	
5 第109図 PL106	須恵器 椀	+12 完形	① 13.1 ② 7.4 ③ 3.7	①粗砂粒 ②還元焰ぎみ ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
6 第109図 PL106	須恵器 椀	カマド、30住 完形	① 12.8 ② 6.5 ③ 3.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
7 第109図 PL106	須恵器 椀	床直 完形	① 12.8 ② 6.2 ③ 4.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
8 第109図 PL106	須恵器 椀	埋土 1/4	① 14.6 ② 7.2 ③ 5.2	①細砂粒 ②還元焰ぎみ ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
9 第109図 PL106	須恵器 椀	カマド、30住 口縁部一部欠	① 12.0 ②6.8④6.2 ③ 4.7	①細砂粒 ②還元焰軟質 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
10 第109図 PL106	須恵器 椀	床直、30住 完形	① 13.5 ②7.0④6.1 ③ 4.9	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	焼成時の歪みが大きい。ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
11 第109図 PL106	須恵器 椀	埋土 1/4	① 13.6 ②7.0④6.8 ③ 4.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③浅黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
12 第109図 PL106	須恵器 椀	カマド 完形	① 13.6 ②6.5④6.0 ③ 5.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	焼成時の歪みが大きい。ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は高台貼付時のナデで不明。	
13 第109図 PL106	須恵器 椀	カマド、埋土 30住 3/4	① 13.5 ②7.6④6.4 ③ 5.4	①細砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	焼成時の歪みが大きい。ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
14 第109図 PL106	須恵器 椀	埋土 2/3	① 13.6 ②6.4④5.4 ③ 5.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
15 第109図 PL107	須恵器 椀	+24、埋土、 G-9 1/4	① 13.8 ②6.6④6.4 ③ 5.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。底部切り離し技法不明。高台は貼付。	
16 第109図 PL107	須恵器 椀	床直 高台一部欠	① 13.8 ②7.8④7.2 ③ 5.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
17 第110図 PL107	須恵器 椀	床直 完形	① 13.8 ②7.7④7.0 ③ 5.3	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
18 第110図 PL107	須恵器 椀	埋土、30住 1/4	① 14.4 ②6.8④6.6 ③ 5.3	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	口唇部に窪み有り。ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
19 第110図 PL107	須恵器 椀	床直、埋土 43住 1/4	① 14.4 ②6.7④6.2 ③ 5.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
20 第110図	土師器 甕	埋土 口縁部片	① 21.8	①細砂粒 ②良好 ③にぶい褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部上位は横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	

21 第110図 PL107	土師器 甕	カマド、床直 埋土 胴部下位片	② 4.2	①細砂粒 ②良好 ③明赤褐色	胴部下位は縦方向のへらけずり、底部はへら削り、内面胴部はへらナデ。	
22 第110図 PL107	土師器 甕	埋土 胴部下位	② 4.0	①細砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	胴部下位は縦方向のへらけずり、底部はへら削りであるが一部砂底が残る。内面胴部はへらナデ。	
23 第110図 PL107	土師器 台付甕	カマド、30住 脚部	② 4.2 ④ 8.0	①細砂粒 ②良好 ③赤褐色	脚部は横ナデ。	
24 第110図 PL107	須恵器 羽釜	カマド、30住 口縁部片	① 16.0 鏝径 18.6	①細砂粒 ②酸火焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形。鏝は貼付。	
25 第110図 PL107	須恵器 羽釜	+18、埋土、 30住 口縁部～胴部	① 21.4 鏝径 25.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形。鏝は貼付。	
26 第110図 PL107	須恵器 羽釜	+28、埋土 31住、G-10 口縁部～胴部	① 21.8 鏝径 25.8	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい赤褐色	ロクロ成形。鏝は貼付。	
27・28 第110図 PL107	須恵器 甕	カマド、+14 27住、G-9・10 口～胴・底部片	① 21.2 ② 14.0	①粗砂粒 ②酸火焰 ③黄灰色	ロクロ成形。胴部中位に縦方向のへら削り。底部の整形は磨耗のため不明。	
29 第111図 PL107	須恵器 甕	+7、30住 口縁部片	① 43.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	口縁部はロクロ成形。	
30 第110図 PL107	須恵器 甕	埋土、G-10 頸部～胴部上位 片		①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	口縁部はロクロ成形。胴部は平行叩き。	

### 30号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第114図	土師器 杯	埋土 1/5	① 11.8 ② 9.6 ③ (2.8)	①細砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	口縁部は上半が横ナデ、下半がナデ、底部は不定方向のへら削り。	
2 第114図 PL108	土師器 杯	掘方 1/4	① 12.0 ② 9.8 ③ 3.2	①細砂粒 ②良好 ③橙色	口縁部は上半が横ナデ、下半がナデ、底部は不定方向のへら削り。	外面底部に墨書「の」。
3 第114図 PL108	須恵器 杯	埋土、G-9・10 1/4	① 12.4 ② 7.4 ③ 3.5	①細砂粒 ②還元焰 ③紫灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。口縁部に輪積痕が残る。口縁部は横ナデ。	
4 第114図	土師器 甕	床直 口縁部片	① 24.0	①細砂粒 ②良好 ③にぶい黄橙色		

### 31号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第117図 PL108	土師器 杯	カマド、埋土 4/5	① 11.4 ② 5.8 ③ 3.5	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	口縁部に輪積痕が残る。口縁部は上位がナデ、下半が横方向のへら削り、中位にナデが残る。底部は不定方向のへら削り。	
2 第117図	土師器 杯	床直、G-11 1/4	① 12.0 ② 7.0 ③ (3.4)	①粗砂粒 ②良好 ③明褐色	口縁部に輪積痕が残る。口縁部は上位がナデ、下半が横方向のへら削り、中位にナデが僅かに残る。底部は不定方向のへら削り。	
3 第117図 PL108	須恵器 椀	床直 1/4	① 11.8 ②7.0④6.5 ③ 4.8	①細砂粒・小礫 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付で雑な成形。	
4 第117図 PL108	須恵器 椀	床直、+6、 埋土 1/4	① 12.5 ②7.4④6.8 ③ 5.6	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切りか。高台は貼付。	

5 第117図 PL108	須恵器 椀	+ 6、30住 3/4	① 13.0 ②6.3④6.0 ③ 5.3	①細砂粒 ②酸火焰ぎみ ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
6 第117図 PL108	須恵器 椀	床直 1/3	① 13.0 ②6.5④6.1 ③ 5.4	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
7 第117図 PL108	須恵器 椀	埋土、G-10 1/4	① 13.6 ②6.8④5.8 ③ 5.6	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。底部切り離し技法 不明。高台は貼付。	
8 第117図 PL108	須恵器 椀	+ 6 1/4	① 14.0 ②6.8④5.6 ③ 5.3	①細砂粒 ②還元焰燻 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
9 第117図 PL108	灰釉陶器 椀	+ 9 底部片	② 6.6 ④ 6.2	①微砂粒 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ナデで不明。高台は貼付。施釉方法不明。	大原2号窯式期
10 第117図	須恵器 短頸壺	床直 底部	② 15.0 ④ 13.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は一定方向後周 辺部を回転ヘラ削り。高台は貼付。	
11 第118図	土師器 甕	床直 口縁部片	① 12.8	①細砂粒 ②良好 ③明褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部上位は横方向の ヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
12 第118図 PL108	土師器 甕	床直 口縁部片	① 17.0	①細砂粒 ②やや軟質 ③橙色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向 のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm、g)	特 徴 等	備 考	
13第118図 PL108	鉄器 用途不明	床直 1/2	長 (7.6) 幅 1.6 厚 0.6~0.7		先端部欠損、頸部はやや肥厚している。	
14第118図 PL108	鉄器	+ 6 1/2	長 (4.3) 幅 0.4~0.9		中ほどの中心部は空洞化している。	

### 32号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第121図 PL108	土師器 杯	カマド 口縁部片	① 11.8	①細砂粒 ②軟質 ③明褐色	口縁部は上半がナデ、下半が横方向のヘラ削り。	
2 第121図	須恵器 杯蓋	カマド 口縁部小片	① 17.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。	
3 第121図 PL108	須恵器 杯	床直 1/4	① 10.2 ② 6.0 ③ 4.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。口縁部最下位に1段 の回転ヘラ削り。底部は回転ヘラ削り。	
4 第121図 PL108	須恵器 杯	埋土 1/4	① 13.0 ② 9.0 ③ 3.7	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転ヘラ削り。	
5 第121図	須恵器 杯	カマド 1/6	① 13.0 ② 8.0 ③ 3.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。底部は回転ヘラ削 り外面に自然釉付着。	
6 第121図 PL108	須恵器 椀	埋土 1/2	① 11.0 ②6.2④6.2 ③ 5.1	①粗砂粒 ②酸火焰ぎみ ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	混入品
7 第121図 PL108	土師器 甕	カマド、埋土、 T-6泥流上面 口縁部~胴片	① 22.8	①細砂粒 ②良好 ③にぶい褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向 のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
8 第121図 PL109	土師器 甕	カマド、埋土 口縁部~胴部中 位片	① 23.0	①細砂粒 ②良好 ③橙色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向、 中位は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	

## 33号住居

挿図番号 図版番号	種器 種類	出土位置 残存率	法量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1 第124図 PL109	土師器 杯	床直、+13、 埋土 ほぼ完形	① 11.6 ② 6.7 ③ 3.7	①細砂粒・褐色粒 ②良好 ③明赤褐色	口縁部に輪積痕が残る。口唇部は横ナデ、口縁部は上半がナデ、下半が横方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。	
2 第124図 PL109	土師器 杯	カマド 4/5	① 11.6 ② 5.5 ③ 4.4	①細砂粒・褐色粒 ②良好 ③明赤褐色	口縁部に輪積痕が残る。口縁部は上位が横ナデ、中位はナデ、下位は横方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。	
3 第124図 PL109	土師器 杯	カマド 1/2	① 11.8 ② 6.4 ③ 3.9	①細砂粒・褐色粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	口縁部に輪積痕が残る。口唇部は横ナデ、口縁部は上半がナデ、下半が横方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。	
4 第124図 PL109	土師器 椀	床直 2/3	① 14.4 ②7.0④6.4 ③ 6.0	①粗砂粒・褐色粒 ②良好 ③にぶい橙色	口縁部は上位が横ナデ、中位はナデ、下位は斜め方向のヘラ削り。底部はナデ、高台は貼付。	
5 第124図 PL109	黒色土器 椀	カマド、床直 +6、埋土 3/4	① 15.7 ②6.8④7.4 ③ 5.8	①細砂粒 ②還元焰 ③オリーブ黒色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転右回り。底部はナデ。高台は貼付。内面放射状に花卉状の暗文を施文。	
6 第124図	黒色土器 椀	埋土 口縁部片	① 14.6	①細砂粒 ②還元焰 ③灰褐色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転右回りか。内面は縦方向のヘラ磨き後花卉状の暗文を施文。	
7 第124図	黒色土器 椀	+9・22・24 口縁部片	① 14.6	①細砂粒 ②還元焰 ③褐灰色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転右回りか。内面は縦方向のヘラ磨き。	
8 第124図 PL109	須恵器 椀	+5、埋土、 E-10 1/5	① 12.0 ② 6.0 ③ 4.1	①粗砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
9 第124図 PL109	須恵器 椀	埋土 1/4	① 13.5 ② 6.5 ③ 3.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
10 第124図 PL109	須恵器 椀	+11、埋土 口縁部一部欠	① 12.3 ②6.6④6.3 ③ 5.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	焼成時の歪みが大きい。ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
11 第124図 PL109	須恵器 椀	+8、E-10 1/2	① 12.6 ②6.6④5.8 ③ 5.7	①粗砂粒 ②還元焰燻 ③灰褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
12 第124図 PL109	須恵器 椀	+10、埋土 1/2	① 13.2 ②6.2④5.8 ③ 5.7	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
13 第124図 PL109	須恵器 椀	+8 1/5	① 13.4 ②7.6④7.0 ③ 4.7	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
14 第124図 PL109	須恵器 椀	埋土、E-9 3/4	① 13.5 ②7.3④7.2 ③ 5.1	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
15 第124図 PL110	須恵器 椀	床直 口縁部一部欠	① 14.3 ②6.2④6.0 ③ 4.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	焼成時の歪みが大きい。ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
16 第124図 PL110	須恵器 椀	+7、埋土 1/4	① 15.2 ②7.7④7.2 ③ 5.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
17 第124図 PL110	須恵器 椀	+9、埋土 1/3	① 13.6 ② 7.3 ③ (5.3)	①粗砂粒 ②酸焰ぎみ ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不明、高台は貼付であるが剥落。	
18 第124図 PL110	須恵器 椀	+7・8、E-9 1/4	① 13.8 ② 7.0 ③ (5.1)	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付であるが剥落。	
19 第125図 PL110	灰釉陶器 椀	+23、埋土 1/5	① 13.8 ②6.8④6.5 ③ 5.4	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。口縁部は回転ヘラ削り。施釉方法は漬け掛け、釉調は透明感のある緑灰色	大原2号窯式期
20 第125図 PL110	灰釉陶器 皿	+18、埋土、 1/2	① 12.4 ②6.1④5.9 ③ 3.1	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け、釉調はやや緑色をおびた灰色。	大原2号窯式期

21 第125図 PL110	灰釉陶器 皿	+14 1/4	① 12.6 ②6.6④6.0 ③ 2.8	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け、釉調はやや緑色をおびた灰色。	大原2号窯式期
22 第125図 PL110	灰釉陶器 皿	埋土、E-10・18 口縁部片	① 13.0	①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。施釉方法は漬け掛け、釉調はやや緑色をおびた灰色。	大原2号窯式期
23 第125図 PL110	灰釉陶器 長頸壺	埋土、25・34・35 住 頸部～胴部片	頸径 6.8 胴径 16.2	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。頸部接合は二段。施釉方法は不明、釉調は透明感のない緑灰色。	
24 第125図	灰釉陶器 長頸壺	埋土、34住、 E-9 胴部下半片	② 7.6 ④ 7.0	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。胴部は回転ヘラ削り。施釉方法は漬け掛け、釉調は透明感のない灰色。	
25 第125図 PL110	須恵器 長頸壺	埋土 胴部下半片	② 5.0 ④ 3.6	①細砂粒 ②還元焰 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
26 第125図 PL110	須恵器 長頸壺	床直、+8・9・15・ 17、埋土 E-9・10 口縁部欠	②8.0④8.0 頸径 5.2 胴径 15.7	①細砂粒 ②還元焰 ③暗灰褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。胴部下位は回転ヘラ削り、頸部は二段接合。自然釉付着。	
27 第125図 PL110	須恵器 長頸壺	+7・12・16、34住 E-9・10 胴部上半片	胴径 24.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。自然釉付着。	
28 第125図 PL111	土師器 甕	床直、埋土 口縁部～胴部 上位片	① 19.0	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい橙色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部上位は横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
29 第125図 PL110	土師器 甕	+14、埋土、E-9 口縁部～胴部 上位片	① 20.8	①細砂粒 ②良好 ③にぶい橙色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部上位は横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
30 第125図 PL110	土師器 台付甕	カマド、+13、埋 土口縁部～胴部 中位片	① 11.6 胴径 13.8	①粗砂粒 ②良好 ③橙色	頸部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向、中位は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
31 第127図 PL111	須恵器 広口壺	カマド、床直、+ 8～23、34住 1/6	① 31.4 ② 15.8 ③ 43.7	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③灰褐色	ロクロ成形、回転方向不明。内面に輪積痕が残る。頸部は接合。底部はナデ。内面胴部は指ナデが残る。	
32 第125図 PL111	須恵器 広口壺	床直、埋土、 E-9・10 口縁部片	① 22.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。	
33 第125図 PL111	須恵器 広口壺	+9、埋土 口縁部片	① 22.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。	
34 第126図 PL111	須恵器 広口壺	床直、+6・7・11・ 22、E-10 底部	② 15.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。底部はヘラナデ。胴部下位は回転ヘラ削り。内面に指ナデが残る。	
35 第126図 PL111	須恵器 甕	床直、+7・11・34 住、E・F-9・10口 縁部～胴片	① 23.0 頸径 17.0 胴径 35.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	口縁部はロクロ成形、胴部は平行叩き。内面胴部は同心円状アテ具痕が残るが単位・形状等は不明。	
36 第126図 PL112	須恵器 甕	床直、+6～19 E-9・10 口縁部～胴片	① 37.2 頸径 29.6 胴径 49.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	口縁部はロクロ成形。胴部上半は縦方向のヘラナデ、下半は縦方向のヘラ削り。	
37 第126図 PL111	須恵器 円面硯	+9・19 硯面の1/2と脚 部欠	硯径 13.8	①細砂粒・黒色粒 ②還元焰 ③灰色	硯面周囲は2状の凸帯が巡り、脚部は9カ所の透かしと透かしの間に2～4条の凹線が施されている。硯面は擦り込まれている。	
挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm、g)	特 徴 等	備 考	
38第127図 PL112	鉄器 刀子	埋土 完形	長 19.5 茎幅 0.4～0.9 身幅 0.5～1.7 厚 0.5		茎部が湾曲している。	
39第127図 PL112	鉄器 刀子	床直 刀身部大半欠	長 (8.2) 茎幅 0.5～0.8 身幅 1.3 厚 0.2～0.4		茎部長さは4.9cm。	
40第127図 PL112	鉄器 鎌	+17 ほぼ完形	長 14.6 身幅 (3.8) 身厚 0.6 柄長 8.8 柄厚 0.3～0.6		鎌身は長三角形式。篋被は関で片面に木質部が付着。	
41第127図 PL112	鉄器 鎌	+18 茎大部分欠	長 (10.3) 身長 8.4 身幅 4.1 身厚 0.3 篋被幅 0.9×0.7		鎌身は長三角形式。篋被は関。	
42第127図 PL112	鉄器 鎌	+17 茎・身片方欠	身長 8.5 幅 (4.8) 厚 0.2 篋被幅 0.4×0.4		鎌身は雁又式。篋被は関。	

43第127図 PL112	鉄器 鎌	埋土 身〜箆被	長 (7.8) 幅 0.5 厚 0.5	鎌身は柳葉式。箆被は不明瞭。身断面は鎬。	
44第127図 PL112	鉄器 鎌	+ 8 柄	幅 0.6 厚 0.3		
45第127図 PL112	鉄器 釘	埋土 先端部欠損	長 (6.0) 幅 1.0、0.3~0.5	頭部は折り曲げ。	
46第127図 PL112	鉄器 鉾	埋土 先端部欠損	長 (3.9) 頭部茎 2.0×2.0 針部幅 0.5×0.5	頭部は円形に近く、針部は断面四角形を呈す。	
47第127図 PL112	鉄製品 門金具	カマド 完形	縦 7.5 横 4.5 幅 0.7 厚 0.3	形態は長方形を呈し、下部で重なりが見られる。	

### 34号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第130図 PL113	黒色土器 椀	埋土 口縁部片	① 15.2	①細砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄橙色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転右回りか。内面は上半が横方向、下半が縦方向のへら磨き。	
2 第130図 PL113	黒色土器 椀	埋土 底部	② 5.3	①細砂粒 ②酸火焰 ③にぶい橙色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。内面に雑な放射状暗文。	
3 第130図	黒色土器 鉢	+ 8 口縁部片	① 18.0	①粗砂粒・褐色粒 ②酸火焰 ③明褐色	内面黒色処理。ロクロ成形。内面は横方向のへら磨き後花弁状暗文を施文。	
4 第130図 PL113	須恵器 杯	埋土 1/4	① 11.6 ② 6.0 ③ 3.5	①細砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
5 第130図 PL113	須恵器 杯	貯蔵穴 口縁部一部欠	① 11.6 ② 5.6 ③ 3.9	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	焼成時の歪みが大きい。ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
6 第130図 PL113	須恵器 杯	床直 完形	① 13.0 ② 6.3 ③ 4.1	①細砂粒・白色粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
7 第130図 PL113	須恵器 椀	+14 口縁部一部欠	① 11.8 ② 5.5 ③ 4.3	①粗砂粒・褐色粒 ②酸火焰 ③橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
8 第130図 PL113	須恵器 椀	埋土 3/4	① 10.8 ②5.6④5.4 ③ 5.5	①粗砂粒 ②酸火焰ぎみ ③灰褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
9 第130図 PL113	須恵器 椀	+11 3/4	① 11.4 ②5.6④5.5 ③ 4.5	①細砂粒 ②酸火焰 ③浅黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
10 第130図	須恵器 椀	埋土 1/5	① 11.4 ②5.9④5.2 ③ 4.5	①細砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不明、高台は貼付。	
11 第130図 PL113	須恵器 椀	床直 完形	① 11.8 ②6.4④5.8 ③ 4.5	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
12 第131図 PL113	須恵器 椀	埋土 1/5	① 12.0 ②7.2④6.7 ③ 4.7	①粗砂粒 ②酸火焰ぎみ ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
13 第131図 PL113	須恵器 椀	床直 高台大部分欠	① 12.1 ②6.0④5.4 ③ 4.5	①粗砂粒 ②酸火焰 ③明褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
14 第131図 PL113	須恵器 椀	カマド、+ 6 1/2	① 12.2 ②6.0④5.7 ③ 4.9	①細砂粒 ②酸火焰燻 ③にぶい赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
15 第131図 PL113	須恵器 椀	+ 6 口縁部一部欠	① 12.8 ②7.4④6.9 ③ 4.6	①粗砂粒 ②酸火焰 ③浅黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
16 第131図 PL113	須恵器 椀	貯蔵穴 1/3	① 13.8 ②6.3④6.1 ③ 5.1	①粗砂粒 ②酸火焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	

17 第131図 PL114	須恵器 椀	床直、+6・12 口縁部	① 13.7	①粗砂粒・褐色粒 ②酸火焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。	
18 第131図 PL114	須恵器 椀	カマド、貯蔵穴 口縁部	① 17.8	①粗砂粒・褐色粒 ②酸火焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。	
19 第131図 PL114	灰釉陶器 椀	埋土、E-10 口縁部片	① 16.6	①微砂粒 ②還元火焰 ③灰白色	ロクロ成形。施釉方法は漬け掛け、釉調はやや緑色をおびた灰色。	大原2号窯式期
20 第131図 PL114	灰釉陶器 椀	カマド、E-9 底部片	② 7.0 ④ 6.5	①微砂粒 ②還元火焰 ③褐灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。施釉方法は漬け掛けか、釉調はやや緑色をおびた灰色。	大原2号窯式期
21 第131図 PL114	灰釉陶器 皿	床直 底部片	② 8.4 ④ 8.2	①微砂粒、水皸 ②還元火焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。	大原2号窯式期
22 第131図	灰釉陶器 長頸壺	埋土、E-9 頸部片	頸径 6.0	①微砂粒 ②還元火焰焼締め ③灰色	ロクロ成形。施釉方法不明、釉調はやや緑色をおびた灰色。内面に漆付着。	
23 第131図 PL114	灰釉陶器 長頸壺	床直、E・F-10 底部	② 8.6 ④ 8.4	①微砂粒 ②還元火焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。施釉方法不明。内外面に漆付着。	
24 第131図 PL114	土師器 甕	埋土 口縁部～胴部 上位片	① 12.0	①細砂粒 ②良好 ③褐灰色	胴部上位に輪積痕が残る。ロクロ成形。	
25 第131図 PL114	土師器 甕	貯蔵穴 口縁部～胴部 上半片	① 12.6	①細砂粒 ②良好 ③灰黄色	内面胴部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部上半は横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
26 第131図 PL114	須恵器 羽釜	+16 口縁部～胴部 上位片	① 21.0 鏝径 24.4	①細砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形。内面に輪積痕が残る。鏝は貼付。	
27 第132図 PL114	須恵器 羽釜	床直 口縁部～胴部 上位片	① 27.6 鏝径 31.2	①粗砂粒 ②還元火焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形。口縁部に輪積痕が残る。鏝は貼付。	
28 第131図 PL114	須恵器 羽釜	+12 底部片	② 7.4	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄橙色	胴部下位は斜め方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。内面はヘラナデ。	
29 第131図	須恵器 甕	床直 口縁部片	① 19.8	①粗砂粒 ②還元火焰 ③灰色	ロクロ成形。	
30 第131図	須恵器 広口壺	床直、埋土、 E-10 頸部～口縁部	頸径 15.0	①粗砂粒 ②還元火焰 ③灰黄色	内面に輪積痕が残る。ロクロ成形。	
挿図番号 図版番号	種 器 類 種	出土位置 残存率	計 測 値 (単位 cm、g)		特 徴 等	備 考
31第131図 PL114	鉄器 釘	埋土 先端部欠損	長(5.2) 幅 0.4~0.6 頭部 1.4×0.9 厚 0.2		頭部は折り曲げ	
32第131図 PL114	鉄器 釘	埋土 頭部・先端欠	長(4.5) 幅 0.5~0.8		頭部は折り曲げか	
33第131図 PL114	鉄器 釘	+18 頭部・先端欠	長(4.5) 幅 0.4~0.7			

### 35号住居

挿図番号 図版番号	種 器 類 種	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第134図	黒色土器 椀	埋土 口縁部片	① 13.0	①粗砂粒 ②酸火焰 ③浅黄橙色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転方向不明。内面横方向のヘラ磨き。	
2 第134図 PL114	須恵器 椀	埋土 2/3	① 10.2 ② 5.4 ③ 3.7	①粗砂粒 ②酸火焰 ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第134図 PL114	須恵器 椀	埋土、142住 G-12 1/2	① 12.8 ②6.1④5.2 ③ 4.6	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	

4 第134図 PL115	須恵器 椀	+13、埋土 口縁部一部欠	① 14.2 ②6.8④7.6 ③ 5.6	①細砂粒 ②酸火焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
5 第134図 PL115	須恵器 椀	カマド 2/3	① 14.2 ②6.2④8.2 ③ 6.0	①粗砂粒、褐色粒 ②酸火焰 ③橙色	焼成時の歪みが大きい。ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切りか。高台は貼付。	
6 第134図 PL115	灰釉陶器 輪花椀	埋土 口縁部片	① 17.8	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形。口唇部に1状の凹線が巡る。輪花はごく僅かな盛り上がりである。施釉方法は漬け掛けか、釉調はやや緑色をおびた灰色。	虎溪山1号窯式 期
7 第134図 PL115	灰釉陶器 長頸壺	埋土、110住 頸部上欠、胴部 ～底部1/2	②7.0④7.4 頸径 5.0 胴径 14.6	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。頸部二段接合。施釉方法は漬け掛け、釉調はやや緑色をおびた灰色。	虎溪山1号窯式 期
8 第134図	土師器 甕	埋土 口縁部～胴部 上位片	① 10.8	①細砂粒 ②酸火焰 ③橙色	ロクロ成形。内面胴部はヘラナデ。	
9 第134図	須恵器 羽釜	埋土 口縁部～胴部 上位片	① 19.6 鑄径 22.2	①粗砂粒 ②酸火焰 ③浅黄橙色	ロクロ成形。鑄は貼付。	

### 36号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第138図 PL115	土師器 杯	埋土 3/4	① 11.8 ② 6.0 ③ 3.8	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい褐色	口縁部は上位が横ナデ、中位はナデ、下位は横方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。	
2 第138図 PL115	土師器 椀	カマド 2/3	① 14.8 ②6.2④5.8 ③ 4.8	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形、回転右回り。口唇部は横ナデ、口縁部は上位・中位がナデ、下位は横方向のヘラ削り底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
3 第138図 PL115	土師器 椀	カマド、37住 口縁部片	① 15.8 ② 6.8	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄橙色	口縁部上位と高台との接合部は横ナデ、口縁部中位・下位はヘラナデ。内面下位はヘラナデ。	
4 第138図 PL115	黒色土器 椀	カマド 底部	② 6.8 ④ 6.2	①粗砂粒 ②酸火焰 ③黄橙色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。内面は横方向のヘラ磨き。	
5 第138図 PL115	須恵器 杯	カマド 口縁部下半片	② 6.0	①細砂粒 ②還元焰軟質 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。底部切り離し技法不明。	内面口縁部に刻書「卍」。
6 第138図 PL115	須恵器 椀	埋土、37住 口縁部片	① 12.6 ② 6.4 ③ (4.5)	①粗砂粒 ②酸火焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切りか。高台は貼付。	
7 第138図 PL115	灰釉陶器 皿	カマド ほぼ完形	① 11.8 ②6.5④6.0 ③ 2.2	①微砂粒、水簸 ②還元焰 ③白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。施釉は施されていない。	虎溪山1号窯式 期
8 第138図 PL116	須恵器 長頸壺か	+8・11 胴部下半～底部	② 12.4 ④ 12.4	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
9 第138図 PL116	土師器 甕	床直、埋土 1/3	① 17.0 ② 8.0 ③ 10.1	①粗砂粒 ②良好 ③灰黄褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位・中位が横方向、下位は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
10 第138図 PL115	土師器 甕	カマド 口縁部～胴部上 位片	① 19.8	①粗砂粒 ②良好 ③明褐色	胴部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ。内面胴部はヘラナデ。	
11 第138図 PL115	土師器 甕	カマド 口縁部～胴部上 位片	① 23.6	①粗砂粒 ②良好 ③明赤褐色	内面に輪積痕が残る。ロクロ成形。	
12 第138図 PL116	須恵器 羽釜	カマド、37住 1/3	① 18.0 ② 9.8 ③ 13.4	①粗砂粒 ②やや軟質 ③橙色	内外面に輪積痕が残る。鑄は貼付。胴部・底部の整形は不明。	
13 第138図 PL116	須恵器 羽釜	+11、埋土、 37住 口縁部～胴片	① 22.0 鑄径 26.0	①粗砂粒 ②酸火焰 ③明褐色	ロクロ成形、回転方向不明。鑄は貼付。胴部は底部から鑄へ向けての縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	

14 第138図 PL116	須恵器 羽釜	カマド 口縁部～胴部中 位片	① 22.8 鏝径 28.0	①粗砂粒 ②酸火焰 ③明褐色	ロクロ成形、回転方向不明。鏝は貼付。胴部は 底部から鏝へ向けての縦方向のへら削り。	
15 第139図	土師器 甕	カマド 口縁部～胴部上 半片	① 26.8 胴径 36.4	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形。胴部上半は横・縦方向のへら削り。 り。	
16 第138図 PL116	土師器 甕	埋土 口縁部～胴部上 位片	① 15.6	①粗砂粒 ②酸火焰 ③灰黄褐色	ロクロ成形。	

### 37号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第140図	須恵器 椀	床直 2/3	① 14.0 ②6.8④6.4 ③ 5.3	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
2 第140図 PL116	須恵器 椀	カマド、埋土 2/3	① 14.3 ② 7.4 ③ (4.3)	①粗砂粒 ②還元火焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付であるが剥落。	
3 第140図 PL116	須恵器 椀	カマド、床直、 埋土 1/2(口唇部欠)	① (16.4) ②7.6④7.4 ③ (6.5)	①粗砂粒 ②還元火焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
4 第140図	須恵器 長頸壺	床直、埋土 胴部下半片	② 9.0 ④ 10.8	①細砂粒 ②還元火焰 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。底部切り離し技法 不明。高台は貼付。外面自然釉付着。	
5 第140図 PL117	須恵器 壺	+12・17 口縁部～胴部上 半片	① 15.0 胴径 23.8	①細砂粒 ②還元火焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。内面頸部はへらナ デ。	
6 第149図 PL117	土師器 甕	カマド、埋土 口縁部～胴部上 位片	① 16.6	①細砂粒、褐色粒 ②良好 ③橙色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向 のへら削り。内面胴部は横方向のハケ目。	
7 第140図 PL117	土師器 甕	カマド 口縁部～胴部上 位片	① 16.8	①細砂粒 ②良好 ③褐色	内面に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、 胴部は上位が横方向のへら削り。内面胴部はへ らナデ。	
8 第141図 PL117	土師器 甕	カマド、埋土 口縁部～胴部上 位片	① 18.6	①細砂粒 ②良好 ③橙色	頸部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、 胴部は上位が横方向のへら削り。内面胴部は横 方向のハケ目。	
9 第141図	土師器 甕	埋土 口縁部～胴部上 位片	① 22.8	①細砂粒、褐色粒 ②良好 ③明褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向 のへら削り。内面胴部は横方向のハケ目。	

### 38号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第144図	土師器 杯	埋土 1/5	① 11.8 ② 6.0 ③ 3.2	①粗砂粒、褐色粒 ②良好 ③明赤褐色	口縁部は上位が横ナデ、中位はナデ、下位が横 方向のへら削り。底部は不定方向のへら削りか。	
2 第144図 PL117	土師器 杯	床直、埋土 1/4	① 13.8 ② 6.8 ③ 4.2	①粗砂粒、褐色粒 ②良好 ③赤褐色	口縁部は上位が横ナデ、中位はナデと横方向へ の指ナデ、下位は横方向へのへら削り。底部は 不定方向のへら削り。	
3 第144図 PL117	須恵器 椀	床直、埋土 2/3	① 13.6 ② 6.2 ③ 4.4	①粗砂粒 ②還元火焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
4 第144図 PL117	須恵器 椀	床直、埋土 1/2	① 13.8 ② 6.2 ③ 5.3	①粗砂粒 ②還元火焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
5 第144図 PL117	須恵器 椀	埋土 1/2	① 12.6 ②5.6④5.0 ③ 4.7	①粗砂粒 ②還元火焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	

6 第144図 PL117	須恵器 椀	+6 1/2	① 13.0 ②7.4④6.6 ④ 4.7	①細砂粒 ②酸火焰ぎみ ③にぶい橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
7 第144図 PL117	須恵器 椀	+11、埋土、 A-10 口縁部一部欠	① 13.8 ②7.2④6.8 ③ 4.8	①粗砂粒、小礫 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
8 第144図 PL117	須恵器 椀	+6 1/2	① 14.0 ②6.2④5.9 ③ 5.3	①粗砂粒、小礫 ②酸火焰 ③淡黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ナデで不明。高台は貼付。	
9 第144図 PL117	須恵器 椀	床直、+9、 埋土、B-10 1/5	① 16.0 ②7.3④6.8 ③ 4.3	①粗砂粒、小礫 ②還元焰軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
10 第144図 PL117	灰釉陶器 椀	床直 口縁部一部欠	① 14.4 ②7.3④6.6 ③ 4.3	①細砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ナデで不明。高台は貼付。施釉方法は刷毛塗り、 釉調はやや緑色をおびた灰色。	光ヶ丘1号窯式 期
11 第144図 PL118	土師器 甕	床直、+9、埋土 口縁部～胴部中 位片	① 16.8	①細砂粒 ②良好 ③赤褐色	内面胴部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横 ナデ、胴部は上位が横方向、中位は斜め方向の ヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
12 第144図 PL118	土師器 甕	床直、埋土 口縁部～胴部上 位片	① 20.0	①細砂粒 ②良好 ③赤褐色	頸部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、 胴部上位は横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラ ナデ。	
13 第144図 PL118	土師器 甕	+8、埋土 口縁部～胴部上 位片	① 22.0	①細砂粒 ②良好 ③赤褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向 のヘラ削り。内面胴部は上位が横方向のハケ目。	
14 第144図 PL118	土師器 甕	埋土 胴部下位片	② 5.0	①細砂粒 ②良好 ③赤褐色	胴部下位は縦方向のヘラ削り。底部は一定方向 のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
15 第144図 PL118	土師器 甕	+10 胴部下位片	② 6.0	①細砂粒 ②良好 ③褐色	胴部下位は縦方向のヘラ削り。底部は砂底部分 が残る。内面胴部はヘラナデ。	
16 第144図 PL118	土師器 甕	床直 口縁部～胴部上 位片	① 19.8	①細砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向 のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm、g)	特 徴 等	石 材 備 考	
17第144図 PL118	石製品 砥石	埋土 完形	長 9.7 幅 4.1 厚 0.9~1.4 重 61.0	表裏に擦痕が見られる。	砥沢石	
18第145図 PL118	鉄器 鉤	+7 両端欠損	長 (24.0) 厚 0.7×0.6	断面多角形を呈しており、残存部の右端が僅か に曲がることから鉤の一部と推定される。		

### 39号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第148図 PL118	土師器 杯	カマド、+12 口縁部片	① 13.0 ② 9.2 ③ (3.4)	①細砂粒 ②軟質 ③にぶい橙色	口縁部は上半がナデ、下半が横方向のヘラ削り。 底部は不定方向のヘラ削りか。	
2 第148図 PL118	須恵器 杯	床直、埋土 1/5	① 11.8 ② 8.0 ③ 3.5	①細砂粒 ②還元焰 ③褐灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転ヘラ削り。	
3 第148図 PL118	須恵器 杯	+13 3/4	① 13.0 ② 8.2 ③ 4.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後 周囲をナデ。	
4 第148図 PL118	須恵器 椀	埋土 1/5	① 12.0 ② 6.1 ③ 4.5	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
5 第148図 PL118	須恵器 椀	埋土 1/5	② 7.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
6 第148図 PL118	灰釉陶器 長頸壺	埋土、E-10 底部～胴部下 位片	② 7.6 ④ 8.0	①微砂粒 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。底部切り離し技法 はナデで不明。高台は貼付。胴部下位は回転ヘ ラ削り。施釉方法は不明。	

7 第148図 PL118	土師器 甌	床直 口縁部～胴部上 位片	① 23.0	①粗砂粒、褐色粒 ②良好 ③にぶい橙色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部上位は頸部に向 けての縦方向へラ削り。内面胴部はへらナデ。	
8 第148図 PL118	土師器 甌	+10、埋土 口縁部～胴部上 位片	① 16.8	①細砂粒 ②良好 ③赤褐色	頸部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、 胴部は上位が横方向のへら削り。内面胴部はへ らナデ。	
9 第148図 PL118	土師器 甌	+15・17、埋土口 縁部～胴部中位 片	① 20.6 胴径 21.0	①細砂粒 ②良好 ③にぶい橙色	口縁部から頸部は横ナデで中ほどにナデ部分が 残る。胴部は上位が横方向、中位は斜め方向の へら削り。内面胴部はへらナデ。	
10 第148図	土師器 甌	埋土 底部片	② 3.8	①細砂粒 ②良好 ③橙色	胴部下位は縦方向のへら削り。底部は不定方向 のへら削り。内面胴部はへらナデ。	
11 第148図	土師器 甌	埋土 底部片	② 5.0	①細砂粒 ②良好 ③にぶい橙色	胴部下位は縦方向のへら削り。底部は不定方向 のへら削り。内面胴部はへらナデ。	
12 第148図	須恵器 甌	+12 口縁部片	① 26.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形。	
挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm、g)		特 徴 等	石 材 備 考
13第148図 PL118	石製品 凹石	+13 完形	長 14.0 幅 10.8 厚 6.1 孔 7.0×7.0×2.1 重 500.0		凹は回転による擦痕が見られる。	榛名二ツ岳軽石

#### 40号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第151図 PL119	土師器 杯	床直 ほぼ完形	① 12.4 ② 8.7 ③ 3.7	①細砂粒 ②良好 ③明赤褐色	口唇部は横ナデ、口縁部はナデ。底部は不定方 向のへら削り。	
2 第151図	土師器 杯	埋土 口縁部片	① 12.8 ② 8.4 ③ (2.9)	①細砂粒 ②良好 ③明赤褐色	口縁部は上半が横ナデ、下半がナデ、底部は不 定方向のへら削り。	
3 第151図	土師器 杯	+13 口縁部片	① 12.8 ② 9.0 ③ (3.3)	①細砂粒、褐色粒 ②良好 ③にぶい橙色	口縁部は上半が横ナデ、下半が横方向のへら削 り、底部は不定方向のへら削り。	
4 第151図 PL119	土師器 杯	貯蔵穴埋土 ほぼ完形	① 12.8 ② 9.0 ③ 4.1	①細砂粒 ②良好 ③にぶい橙色	口縁部は上半が横ナデ、下半が横方向のへら削 り横ナデ下にナデが僅かに残る。底部は不定方 向のへら削り。	
5 第151図 PL119	須恵器 杯蓋	貯蔵穴 完形	① 17.1 摘径 4.1 ③ 4.1	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。摘みは貼付。天井部 中ほどは回転へら削り。外面に重焼き痕が見ら れる	
6 第151図 PL119	須恵器 杯蓋	貯蔵穴埋土、 T-12、A-12 1/5	① 17.6	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。天井部中ほどは回転 へら削り。	
7 第151図	須恵器 杯	埋土 口縁部片	① 10.6 ② 6.0 ③ 3.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。底部は回転糸切り 後周囲を回転へら削り。	
8 第151図 PL119	須恵器 杯	床直 完形	① 10.5 ② 5.1 ③ 3.6	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	焼成時の歪みがある。ロクロ成形、回転右回り。 底部は回転糸切り。	
9 第151図 PL119	須恵器 杯	床直、埋土 1/2	① 11.6 ② 7.0 ③ 3.1	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
10 第151図 PL119	須恵器 杯	床直、埋土 3/4	① 11.8 ② 6.6 ③ 3.1	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転へら削り。	
11 第151図 PL119	須恵器 杯	貯蔵穴 3/4	① 12.1 ② 6.6 ③ 3.9	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転へら切り 後周囲をへら調整。	
12 第152図 PL119	須恵器 杯	床直、埋土 口縁部一部欠	① 12.6 ② 7.7 ③ 4.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	

13 第152図 PL119	須恵器 杯	床直、埋土 口縁部一部欠	① 12.8 ② 8.0 ③ 3.4	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
14 第152図	須恵器 杯	埋土 1/6	① 12.6 ② 9.0 ③ 4.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
15 第152図 PL119	須恵器 杯	貯蔵穴埋土 口縁部一部欠	① 13.2 ② 7.0 ③ 3.5	①細砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
16 第152図	須恵器 杯	カマド、埋土 1/6	① 13.8 ② 8.0 ③ 3.4	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
17 第152図 PL119	須恵器 碗	床直 1/3	② 9.0 ④ 9.2	①細砂粒 ②還元焰軟質 ③白色	外面は器面の剥離が激しい。ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
18 第152図 PL119	須恵器 皿	床直 底部	② 7.0 ④ 6.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
19 第152図 PL119	須恵器 短頸壺蓋	+37 1/5	① 14.4	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。罽・凸帯は貼付。天井部に自然釉付着。	
20 第152図	土師器 甕	カマド 口縁部片	① 19.8	①細砂粒 ②良好 ③にぶい橙色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
21 第152図 PL120	土師器 台付甕	床直 1/2	② 4.5 ④ 10.2 胴径 15.2	①細砂粒 ②良好 ③にぶい黄橙色	胴部は上半が横方向、下半は縦方向のヘラ削り。脚部は横ナデ。内面胴部はヘラナデ。	
22 第152図 PL120	須恵器 甕	床直 底部片	② 20.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。胴部下位に1状の凹線が巡りその下位は横方向のヘラ削り。底部はヘラナデ。	
挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm、g)	特 徴 等	石 備 材 備 考	
23第152図 PL120	石製品 紡錘車	+23 ほぼ完形	表径 4.6 裏径 4.6 厚 1.0 孔 1.0 重 34.0	表面端部の一部が欠損。表裏に細かい擦痕が見られる。	蛇文岩	
24第152図 PL120	鉄器 刀子	貯蔵穴 柄の端部欠損	長 (15.8) 身長 13.4 幅 0.9~1.3 厚 0.2~0.3	柄の断面は逆台形状を呈す。		

#### 41号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第155図 PL120	黒色土器 碗	+10 口縁部片	① 15.0	①細砂粒 ②還元焰 ③褐灰色	内外面黒色処理。ロクロ成形。内外面とも横方向ヘラ磨き。	
2 第155図 PL120	黒色土器 碗	+22 底部片	② 6.7 ④ 6.2	①細砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄褐色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転右回りか。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。内面は格子状ヘラ磨き。	
3 第156図 PL120	黒色土器 碗	カマド、埋土 底部へ口縁部 下半	② 7.0 ④ 6.6	①細砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄橙色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。内面は口縁部が横方向、底部が縦方向のヘラ磨き。	
4 第156図 PL120	須恵器 碗	+10 口縁部片	① 18.0	①細砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回りか。	
5 第156図 PL120	須恵器 碗	床直 底部	② 7.0 ④ 7.3	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
6 第156図	須恵器 皿	埋土 底部片	② 7.2 ④ 7.5	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
7 第156図	須恵器 甕	埋土、D-13 底部片	② 21.6	①粗砂粒 ②酸火焰 ③橙色	ロクロ成形、回転方向不明。	

8 第156図 PL120	土師器 甕	埋土 口縁部片	① 19.8	①粗砂粒 ②酸火焰 ③明赤褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は横方向のヘラ削り。内面胴部は横方向のハケ目。	
9 第156図 PL120	須恵器 羽釜	カマド 底部一部欠	① 20.4 ② 9.0 ③ 24.2	①粗砂粒、小礫 ②酸火焰 ③淡黄色	ロクロ成形。鏝は貼付。胴部下位は斜め方向のヘラ削り。底部はヘラナデか。	
10 第156図 PL120	須恵器 羽釜	+22 口縁部～胴部 中位片	① 23.0 鏝径 24.0	①粗砂粒 ②酸火焰 ③灰黄褐色	ロクロ成形。鏝は貼付。	
11 第156図	須恵器 羽釜	カマド 口縁部～胴部 上位片	① 19.0 鏝径 24.4	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形。鏝は貼付。	

#### 42号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第159図 PL120	須恵器 椀	カマド、26土坑 1/3	① 12.0 ② 5.6 ③ 3.6	①細砂粒 ②還元焰燻 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第159図 PL120	須恵器 椀	床直 完形	① 11.4 ② 6.1 ③ 4.1	①粗砂粒 ②酸火焰 ③淡黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第159図 PL120	須恵器 椀	床直 完形	① 12.4 ② 5.7 ③ 4.4	①粗砂粒 ②酸火焰 ③橙色	口縁部中ほどに輪積痕が残る。ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
4 第159図 PL120	須恵器 椀	床直、26土坑 口縁部一部欠	① 11.4 ②6.8④5.8 ③ 5.1	①粗砂粒 ②酸火焰ぎみ ③にぶい黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
5 第159図 PL121	須恵器 椀	カマド、26土坑 1/3	① 12.4 ②6.5④5.7 ③ 4.7	①細砂粒 ②還元焰燻 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後周囲をナデ。高台は貼付。	
6 第159図 PL121	須恵器 椀	床直、26土坑 口縁部大部分 ・高台欠	① 11.7 ② 7.0 ③ (4.2)	①細砂粒 ②酸火焰ぎみ ③灰黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後ナデ。高台は貼付であるが剥落。	
7 第159図 PL121	須恵器 羽釜	床直 口縁部～胴部 上位片	① 19.2 鏝径 22.8	①粗砂粒 ②酸火焰ぎみ ③灰色	ロクロ成形。鏝は貼付。	
8 第159図 PL121	須恵器 羽釜	カマド 口縁部～胴部 上位片	① 27.0 鏝径 29.0	①粗砂粒 ②酸火焰 ③橙色	ロクロ成形。鏝は貼付。	
9 第159図 PL121	須恵器 羽釜	床直、埋土、 26土坑 胴部下半片	② 6.0	①粗砂粒 ②酸火焰 ③灰黄褐色	胴部に輪積痕が残る。ロクロ成形。胴部下位は斜め方向のヘラ削り。	
10 第160図 PL121	土製品 平瓦	カマド、26土坑 1/4	厚 1.8	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい橙色	上面は布目。下面はヘラナデ。周囲はヘラ削り。	
挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm、g)	特 徴 等	石 材 備 考	
11第160図 PL121	石製品 凹石	床直 完形か	長 24.9 幅 20.6 厚 13.2 孔 7.3×6.8×3.0 重 3,800.0	側面は一部研磨され平坦面を作っている。凹は回転による擦痕が見られる。	榛名二ッ岳軽石	

#### 43号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第163図 PL121	須恵器 杯蓋	埋土 摘～天井部片	摘径 1.6	①細砂粒 ②酸火焰 ③淡黄色	ロクロ成形、回転方向不明。摘みは貼付で周囲はナデ、回転ヘラ削り。	
2 第163図 PL121	須恵器 杯	+12、埋土 1/4	① 13.6 ② 7.5 ③ 3.3	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	

3 第163図 PL122	須恵器 椀	埋土 1/4	① 10.8 ② 4.2 ③ 4.4	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。底部切り離し技法はナデで不明。	
4 第163図 PL122	須恵器 椀	+23、埋土 1/2	① 12.3 ② 5.4 ③ 4.0	①多量の砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。	
5 第163図 PL122	須恵器 椀	+23、埋土 1/2	① 12.6 ②7.2④6.6 ③ 4.3	①細砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付で雑な整形。	
6 第163図 PL122	須恵器 椀	+3、埋土 1/3	① 13.7 ②6.8④6.8 ③ 5.1	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
7 第163図 PL122	須恵器 椀	埋土 1/4	① 14.8 ②7.4④6.8 ③ 4.7	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
8 第163図 PL122	須恵器 椀	+10 口縁部一部・ 高台欠	① 12.3 ② 6.8 ③ (3.9)	①粗砂粒 ②還元焰 ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付であるが剥落。	
9 第163図 PL122	須恵器 椀	貯蔵穴 高台欠	① 13.0 ② 6.3 ③ (5.1)	①粗砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付であるが剥落。	
10 第163図 PL122	須恵器 椀	カマド 1/2	① 13.4 ② 5.0 ③ (4.4)	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後ナデ。高台は貼付であるが剥落。	
11 第163図 PL122	須恵器 椀	+36 1/2	① 13.7 ② 7.0 ③ (4.5)	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付であるが剥落。	
12 第164図 PL122	須恵器 椀	カマド 1/3	① 19.8 ② 8.0 ③ (7.7)	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付であるが剥落。	
13 第164図 PL122	須恵器 椀 (底部穿孔)	床直 口縁部上半欠	② 7.5 ④ 8.0 孔径 0.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	底部に焼成前の穿孔有。ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
14 第163図 PL122	須恵器 皿	埋土 1/4	① 12.8 ②7.9④7.7 ③ 3.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
15 第163図 PL122	須恵器 皿	貯蔵穴 3/4	① 13.6 ②6.4④6.0 ③ 3.6	①細砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄橙色	焼成時の歪みが大きい。ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
16 第164図 PL122	灰釉陶器 椀	埋土 口縁部片	① 13.8	①微砂粒 ②還元焰 ③灰オリーブ色	ロクロ成形、回転方向不明。施釉方法は刷毛塗り、釉調はやや緑色をおびた灰色。	光ヶ丘1号窯式期
17 第164図 PL122	灰釉陶器 椀	埋土 口縁部片	① 14.0	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。施釉方法は刷毛塗りか、釉調は透明感のある灰色。	光ヶ丘1号窯式期
18 第164図 PL122	灰釉陶器 椀	埋土 口縁部片	① 16.0	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。施釉方法は刷毛塗りか、釉調は透明感のある灰色。	光ヶ丘1号窯式期
19 第164図 PL122	灰釉陶器 皿	埋土 底部片	② 8.2 ④ 7.8	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	光ヶ丘1号窯式期
20 第164図 PL123	灰釉陶器 長頸壺	埋土、68・104住 口縁部欠、胴部 1/2	②9.0④9.0 頸径 4.6 胴径 15.8	①細砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ、高台は貼付。胴部中位以下は回転ヘラ削り。施釉方法は刷毛塗りか、釉調は透明感のない灰色	光ヶ丘1号窯式期
21 第164図 PL123	須恵器 長頸壺	カマド、埋土 B-10・11 頸部片	頸径 5.5	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。頸部と胴部は二段接合。	
22 第164図 PL123	須恵器 短頸壺蓋	埋土、B-12 1/6	① 11.8 鏝径 13.0 ③ (2.7)	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。鏝と凸帯は貼付。天井部に自然釉付着。	
23 第164図 PL123	須恵器 短頸壺	埋土、A-11、 B-12、C-11 口縁部～胴片	① 8.0 胴径 13.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。口唇端部に僅かな凹線が見られる。外面胴部に自然釉付着。	

24 第164図 PL123	土師器 甕	カマド 口縁部～胴部 上位片	① 18.6	①細砂粒 ②良好 ③にぶい橙色	頸部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
25 第164図 PL123	土師器 甕	カマド 口縁部～胴部 中位片	① 19.8 胴径 22.4	①細砂粒 ②良好 ③にぶい橙色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
26 第164図 PL123	土師器 甕	カマド 口縁部～胴部 中位片	① 20.0 胴径 22.0	①細砂粒 ②良好 ③橙色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
27 第164図 PL123	土師器 甕	カマド、埋土 口縁部～胴部 中位片	① 22.6 胴径 23.6	①細砂粒 ②良好 ③浅黄褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向、中位は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
28 第164図 PL123	土師器 台付甕	床直、埋土 口縁部～胴部 上位片	① 12.6 胴径 14.0	①細砂粒 ②良好 ③にぶい橙色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm、g)		特 徴 等	備 考
29第164図 PL123	鉄器 鏃	埋土 柄	長 (7.0) 幅 0.8 厚 0.4		先端部、断面長方形。	
30第164図 PL123	鉄器 棒状	+21 両端欠損	長 (4.6) 厚 0.6~0.8		頭部付近片か	
31 第165図	土師器 杯	埋土 1/5	① 10.8 ② 6.8 ③ (3.5)	①細砂粒 ②良好 ③明赤褐色	口唇部は横ナデ、口縁部はナデ。底部は不定方向のヘラ削り。	
32 第165図 PL123	黒色土器 碗	+12・13 1/3	① 14.0 ②7.2④7.2 ③ 7.0	①細砂粒 ②酸火焰 ③黒色	内外面黒色処理。ロクロ成形、回転方向不明。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。内面は横方向のヘラ磨き。	
33 第165図 PL123	黒色土器 碗	埋土 1/4	② 6.2 ④ 6.0	①細砂粒 ②酸火焰 ③黒色	内外面黒色処理。ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。内外面の口縁部にヘラ磨き。	
34 第165図 PL123	須恵器 杯	+11 完形	① 9.2 ② 4.6 ③ 2.9	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
35 第165図 PL123	須恵器 杯	床直 ほぼ完形	① 10.5 ② 5.7 ③ 3.3	①粗砂粒、褐色粒 ②酸火焰 ③橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
36 第165図 PL123	須恵器 杯	埋土 1/6	① 11.2 ② 5.8 ③ 3.3	①粗砂粒、小礫 ②酸火焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形、回転方向不明。底部切り離し技法不明。	
37 第165図 PL123	須恵器 杯	貯蔵穴、埋土 完形	① 11.4 ② 5.6 ③ 4.3	①粗砂粒、褐色粒 ②酸火焰 ③浅黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切りで使用時の磨減が見られる。	
38 第165図 PL123	須恵器 碗	カマド、埋土 口縁部一部・ 高台大部分欠	① 11.2 ②6.6④6.8 ③ 4.5	①粗砂粒、小礫 ②酸火焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
39 第165図 PL124	須恵器 碗	+18・21、埋土 2/3	① 12.0 ②6.4④5.6 ③ 4.8	①粗砂粒 ②酸火焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
40 第165図 PL124	須恵器 碗	+ 9 2/3	① 11.8 ② 6.0 ③ (4.5)	①粗砂粒 ②酸火焰 ③浅黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後ナデ。高台は貼付であるが剥落。高台剥落後も使用したのか剥落部分が磨減。	
41 第165図 PL124	須恵器 碗	埋土 1/4	① 13.6 ②6.0④5.6 ③ 5.3	①細砂粒 ②酸火焰 ③赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	黒色土器の可能性あり。
42 第165図 PL124	須恵器 碗	+19・20・22 埋土 1/3	① 14.6 ② 7.0 ③ (8.6)	①細砂粒 ②酸火焰 ③浅黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。口唇部は平坦面をもち、口縁部中ほどに凹線が1条巡る。	
43 第165図 PL124	緑釉陶器 稜碗	埋土 口縁部中位小片		①微砂粒 ②還火焰 ③灰色	内面の稜より上部には陰刻花文が施文、形状は不明。	東海産
44 第165図 PL124	須恵器 羽釜	+19・20・22埋土 64・139住 口縁部～胴片	① 19.0 銜径 23.2	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形。鏝は貼付。口唇部は内傾する平坦面をもつ。胴部下半は底部からの縦方向のヘラ削り	

45 第165図 PL124	須恵器 羽釜	カマド、+9 64住、32土坑 口縁部～胴片	① 19.0 鏝径 23.4	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形。鏝は貼付。口唇部は内傾する平坦面をもつ。胴部下半は底部からの縦方向のヘラ削り	
46 第165図 PL124	須恵器 羽釜	カマド、+9・10、 26・139住、34土 坑口縁部～胴片	① 20.2 鏝径 25.2	①粗砂粒 ②酸火焰 ③褐色	胴部に輪積痕が残る。ロクロ成形。鏝は貼付。口唇部は内傾する平坦面をもつ。胴部下半は底部からの縦方向のヘラ削り。	

#### 44号住居

挿図番号 図版番号	種 器 類 種	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備 考
1 第168図 PL124	須恵器 杯	床直、埋土 口縁部一部欠	① 13.0 ② 6.2 ③ 3.4	①粗砂粒 ②還元火焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第168図 PL124	須恵器 椀	貯蔵穴 2/3	① 12.4 ② 5.2 ③ 3.9	①粗砂粒 ②酸火焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第168図 PL124	須恵器 椀	埋土 1/4	① 13.0 ② 5.5 ③ 4.2	①細砂粒 ②還元火焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
4 第168図 PL124	須恵器 椀	カマド 1/3	① 13.2 ② 8.0 ③ 3.6	①細砂粒 ②還元火焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
5 第168図 PL124	須恵器 椀	埋土 1/5	① 13.2 ②7.9④7.2 ③ 5.1	①細砂粒 ②還元火焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
6 第168図	須恵器 椀	埋土 1/5	① 13.8 ②7.0④6.4 ③ 4.4	①細砂粒 ②還元火焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
7 第168図 PL125	須恵器 椀	周溝、埋土 口縁部上半1/2 欠	① 15.0 ②8.2④7.5 ③ 4.8	①粗砂粒 ②還元火焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。周囲はナデ。高台は貼付。	
8 第168図 PL125	須恵器 椀	+17 底部	② 7.9 ④ 7.6	①細砂粒 ②還元火焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
9 第168図 PL125	須恵器 椀	カマド、埋土 1/2	① 13.4 ②6.4④6.0 ③ 5.0	①粗砂粒、褐色粒 ②酸火焰 ③橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
10 第168図 PL125	須恵器 椀	+6 完形	① 13.8 ②6.6④6.4 ③ 5.7	①粗砂粒、褐色粒 ②酸火焰 ③にぶい赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
11 第168図 PL125	須恵器 皿	床直、埋土 1/3	① 14.2 ② 8.0	①細砂粒 ②還元火焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付であるが剥落。	
12 第168図 PL125	須恵器 皿	埋土 底部片	② 8.2 ④ 7.8	①細砂粒、黒色粒 ②還元火焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
13 第169図 PL125	灰釉陶器 椀	埋土、F-11、 P・R-10・T-11 1/3	② 8.0 ④ 7.9	①細砂粒 ②還元火焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。施釉は内面のみ全面に施され、釉調はやや緑色をおびた灰色。	黒笹14号窯式期
14 第169図	灰釉陶器 皿	埋土 底部片	② 7.3 ④ 6.5	①微砂粒 ②還元火焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。施釉方法不明。	光ヶ丘1号窯式期～大原2号窯式期
15 第169図	須恵器 長頸壺	埋土 口縁部片	① 9.8	①細砂粒 ②還元火焰 ③灰色	ロクロ成形。	
16 第169図	土師器 甕	カマド 口縁部～胴部中 位片	① 11.0 胴径 12.8	①細砂粒 ②良好 ③橙色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上半が横方向、下半は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
17 第169図 PL125	土師器 甕	床直、+7・12 口縁部～胴部 中位片	① 19.8 胴径 24.2	①粗砂粒、褐色粒 ②良好 ③褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向、中位は斜め方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ	

18 第169図	土師器 甕	床直、+6・10埋 土 胴部片	胴径 24.0 ② (4.6)	①粗砂粒、褐色粒 ②良好 ③橙色	胴部は上位が横方向、中位は斜め方向、下位は縦方向のヘラ削り。	
19 第169図 PL125	土師器 台付甕	カマド、床直 +12・13、埋土 3/4	① 11.8 ④ 10.0 ③ 17.4	①粗砂粒、褐色粒 ②良好 ③明赤褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位～中位が横方向、下位は縦方向のヘラ削り。脚部は貼付で接合部分から下は横ナデ。内面胴部はヘラナデ。	

#### 45号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第172図 PL125	須恵器 椀	床直 完形	① 11.8 ② 4.8 ③ 3.8	①粗砂粒 ②還元焰燻 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第172図 PL125	須恵器 椀	床直、埋土 口縁部一部欠	① 11.6 ②6.0④5.6 ③ 4.3	①細砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
3 第172図 PL125	須恵器 椀	+6 完形	① 11.8 ②6.3④5.6 ③ 4.6	①粗砂粒、小礫 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後ナデ。高台は貼付。	
4 第172図 PL125	須恵器 椀	カマド 口縁部上半2/3 欠	① 12.0 ②6.0④5.4 ③ 4.9	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後周辺をナデ。高台は貼付。	
5 第172図 PL126	灰釉陶器 椀	+8、C-11 1/2	① 16.4 ②7.8④7.4 ③ 5.9	①微砂粒 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。口縁部下位は回転ヘラ削り。施釉方法は漬け掛け、釉調は緑灰色。	大原2号窯式期末
6 第172図 PL126	須恵器 羽釜	床直 口縁部～胴部 中位片	① 20.4 鏝径 24.0	①細砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	胴部に輪積痕が残る。ロクロ成形。鏝は貼付。胴部下半は底部からの縦方向ヘラ削り。	
7 第172図 PL126	須恵器 羽釜	床直 口縁部～胴部 上位片	① 20.6 鏝径 24.8	①細砂粒 ②還元焰 ③橙色	ロクロ成形。鏝は貼付。口唇部は平坦面をもつ。	
8 第172図 PL126	須恵器 羽釜	カマド 口縁部～胴部 上位片	① 21.0 鏝径 23.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形。鏝は貼付。口唇部は平坦面をもつ。	

#### 47号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第176図	土師器 杯	埋土 口縁部片	① 10.0 ② 8.0 ③ (3.1)	①細砂粒 ②良好 ③にぶい黄褐色	口縁部は上半が横ナデ、下半がナデ、底部は不定方向のヘラ削りか。	
2 第176図 PL126	須恵器 椀	貯蔵穴 3/4	① 12.8 ②6.5④5.9 ③ 5.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
3 第176図 PL126	須恵器 椀	貯蔵穴 底部～口縁部 下半	② 6.0 ④ 5.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③暗灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
4 第176図	灰釉陶器 椀	埋土 底部片	② 7.1 ④ 6.7	①微砂粒、水簸 ②還元焰焼締め ③灰白色	内面見込みに重焼き痕。ロクロ成形、回転右回りか。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	大原2号窯式期
5 第176図 PL126	灰釉陶器 皿	埋土、43住、 C-11 1/4	① 12.4 ②6.8④6.2 ③ 3.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け、釉調は緑色をおびた灰色。	大原2号窯式期

## 48号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第179図 PL126	須恵器 椀	埋土 1/5	① 13.0 ②7.3④6.7 ③ 4.1	①粗砂粒 ②酸火焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
2 第179図 PL126	須恵器 椀	カマド、+6 4/5	① 13.4 ②6.7④5.8 ③ 5.1	①粗砂粒 ②酸火焰 ③橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
3 第179図	須恵器 椀	+17 底部片	② 8.6 ④ 8.8	①細砂粒 ②還火焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
4 第179図 PL126	灰釉陶器 稜椀	埋土 口縁部片	① 17.8 稜径 13.0	①微砂粒 ②還火焰焼締め ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。稜の内面側に凹線が巡る。施釉方法は刷毛塗り、釉調は透明感のない灰色。	光ヶ丘1号窯式期
5 第179図	灰釉陶器 椀	埋土 底部片	② 6.8 ④ 6.6	①微砂粒 ②還火焰 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。施釉方法は不明、釉調は透明感のない灰色。	大原2号窯式期

## 49号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第182図	土師器 椀	埋土 口縁部片	① 13.8	①粗砂粒 ②やや軟質 ③橙色	口唇部は横ナデ、口縁部は上半が横ナデ、下半がヘラ削り。	
2 第182図 PL126	須恵器 皿	+6 口縁部一部欠	① 10.0 ② 5.2 ③ 2.5	①粗砂粒 ②酸火焰 ③橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第182図 PL126	須恵器 羽釜	カマド 口縁部～胴部 上位片	① 22.0 鏝径 23.2	①粗砂粒 ②酸火焰 ③明赤褐色	ロクロ成形。鏝は貼付。	

## 50号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第185図 PL126	須恵器 椀	カマド 完形	① 12.6 ②6.5④6.0 ③ 4.9	①細砂粒 ②還火焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
2 第185図 PL126	須恵器 椀	床直、+6、埋土 3/4	① 13.2 ②6.6④6.0 ③ 5.0	①細砂粒 ②酸火焰 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
3 第185図 PL127	須恵器 椀	+24、埋土 3/4	① 13.8 ②7.0④6.7 ③ 5.3	①細砂粒 ②酸火焰 ③黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
4 第185図 PL127	須恵器 椀	カマド 口唇部・高台 一部欠	① 13.0 ②6.2④5.5 ③ 5.3	①細砂粒 ②還火焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
5 第185図 PL127	須恵器 椀	カマド 口唇部・高台 一部欠	① 13.5 ② 7.3 ③ (4.2)	①細砂粒 ②還火焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後周囲をナデ。高台は貼付。	
6 第185図	灰釉陶器 椀	埋土 底部片	② 7.4 ④ 6.8	①微砂粒、水簾 ②還火焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。施釉方法は不明。	大原2号窯式期
7 第185図	灰釉陶器 椀	埋土 底部片	② 8.4 ④ 8.0	①微砂粒、水簾 ②還火焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。施釉方法は不明。	大原2号窯式期
8 第185図 PL127	須恵器 羽釜	+7、埋土 口縁部～胴部 中位片	① 21.2 鏝径 24.2	①粗砂粒、褐色粒 ②酸火焰 ③にぶい褐色	内面口縁部に輪積痕が残る。ロクロ成形。鏝は貼付。胴部下半は底部からの縦方向のヘラ削り。	

## 51号住居

挿図番号 図版番号	種 器 類 種	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備 考
1 第188図	土師器 杯	埋土 口縁部片	① 14.2	①粗砂粒 ②良好 ③赤褐色	口縁部は上半が横ナデ、下半がナデ。口唇部に煤が付着。	
2 第188図 PL127	須恵器 椀	床直、埋土 口縁部一部欠	① 12.3 ② 5.6 ③ 3.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第188図 PL127	須恵器 椀	埋土 底部～口縁部中 位片	② 6.8	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③褐灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
4 第188図	須恵器 椀	埋土 底部～口縁部上 位片	② 8.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
5 第188図 PL127	須恵器 皿	+12、90住 1/5	① 12.8 ②7.5④7.6 ③ 2.9	①細砂粒 ②還元焰軟質 ③褐灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
6 第188図 PL127	須恵器 皿	カマド、埋土 1/4	① 13.4 ②7.6④8.0 ③ 2.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
7 第188図 PL127	土師器 杯	埋没土 底部片		①細砂粒 ②軟質 ③橙色	底部ヘラ削り後「+」の刻書	混入品

## 52号住居

挿図番号 図版番号	種 器 類 種	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備 考
1 第191図 PL127	須恵器 椀	カマド 1/2	① 9.7 ② 5.0 ③ 3.3	①粗砂粒 ②酸焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り、 一部口縁部下位まで及んでいる。	
2 第191図 PL127	須恵器 椀	カマド 1/2	① 10.6 ② 6.8 ③ 3.4	①粗砂粒 ②酸焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第191図 PL127	須恵器 椀	床直 1/2	① 12.8 ② 6.8 ③ 4.1	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
4 第191図 PL128	須恵器 椀	掘方、埋土 2/3	① 13.0 ② 5.7 ③ 4.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
5 第191図 PL128	須恵器 椀	カマド、埋土 2/3	① 14.0 ② 7.2 ③ 5.4	①粗砂粒 ②酸焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 口唇部は横ナデ、口縁部は内外面ともロクロ水 引き痕をナデ調整。	内面底部に刻書 「大」
6 第191図 PL128	須恵器 椀	+6、A-12 1/2	① 11.4 ②7.2④6.6 ③ 3.4	①粗砂粒 ②酸焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
7 第191図 PL128	須恵器 椀	+12・18、埋土 口縁部一部欠	① 12.0 ②6.1④5.8 ③ 4.7	①粗砂粒 ②酸焰ざみ ③灰オリーブ色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
8 第191図 PL128	須恵器 椀	床直 1/2	① 12.0 ②6.0④5.9 ③ 4.5	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ナデで不明。高台は貼付。	
9 第191図 PL128	須恵器 椀	カマド 1/2	① 12.0 ②6.5④6.5 ③ 4.1	①粗砂粒、褐色粒 ②酸焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は口縁部最下部に貼付。	
10 第191図 PL128	須恵器 椀	床直 口縁部一部欠	① 13.2 ②7.0④6.3 ③ 5.4	①粗砂粒、小礫 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 口縁部下半に横方向の指ナデ。	
11 第191図 PL128	須恵器 椀	+13 2/3	① 10.6 ②6.0④5.5 ③ 4.2	①粗砂粒 ②酸焰 ③明赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	

12 第191図 PL128	須恵器 椀	+11 1/2	① 11.6 ②6.6④6.4 ③ 4.7	①粗砂粒、小礫 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
13 第191図 PL128	須恵器 椀	+15 口縁部一部欠	① 11.6 ②6.7④6.6 ③ 4.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
14 第191図 PL128	須恵器 椀	カマド、埋土 3/4	① 11.4 ②6.8④6.3 ③ 4.7	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
15 第191図 PL128	須恵器 椀	掘方、埋土 1/3	① 12.0 ②6.7④6.3 ③ 4.4	①細砂粒 ②酸火焰軟質 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ナデで不明。高台は貼付。	
16 第192図 PL128	須恵器 椀	+14、埋土 45住、B-11 2/3	① 12.2 ②7.5④7.4 ③ 5.5	①粗砂粒、褐色粒 ②酸火焰軟質 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後 周囲をナデ。高台は貼付。	
17 第192図 PL128	須恵器 椀	カマド 2/3	① 12.0 ②6.9④6.5 ③ 4.9	①粗砂粒 ②酸火焰 ③淡黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
18 第192図 PL128	須恵器 椀	カマド 2/3	① 12.0 ②7.4④7.8 ③ 5.5	①粗砂粒、褐色粒 ②酸火焰 ③橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。口縁部はヘラナデ。	
19 第192図 PL128	須恵器 椀	カマド 口縁部一部欠	① 13.4 ②6.4④6.3 ③ 6.5	①粗砂粒、小礫 ②酸火焰 ③にぶい赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
20 第192図 PL128	灰釉陶器 椀	+ 8、A-11 底部～口縁部片	② 8.0 ④ 7.6	①微砂粒 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。内面見込み部に重焼き 痕。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付 施釉方法は漬け掛け、釉調は緑色をおびた灰色。	大原2号窯式期
21 第192図 PL129	灰釉陶器 皿	床直 底部片	② 6.1 ④ 5.6	①微砂粒 ②還元焰焼締め ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ナデで不明。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け か、釉調はやや緑色をおびた灰色。	大原2号窯式期
22 第192図 PL129	灰釉陶器 皿	床直 底部	② 7.8 ④ 7.0	①微砂粒 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ナデで不明。高台は貼付。施釉方法は刷毛塗り、 釉調は透明感のない灰色。	光ヶ丘1号窯式 期
23 第192図 PL129	緑釉陶器 椀	埋土 口縁部小片	①14cm前後	①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	外面口唇部に緑彩。釉調は濃緑色。	黒笹90号窯式期
24 第192図 PL129	土師器 甕	+17、埋土、 口縁部～胴部 上位片	① 18.0	①細砂粒 ②良好 ③暗赤褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部上位は横方向の ヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
25 第192図 PL129	土師器 甕	+9、埋土、A-11 口縁部～胴部 上位片	① 18.2	①細砂粒 ②良好 ③暗赤褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部上位は横方向の ヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
26 第192図	土師器 脚付鍋?	埋土 脚部接合部片		①粗砂粒 ②良好 ③にぶい黄褐色	整形はナデ。	
挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm、g)	特 徴 等	石 備 材 考	
27第192図 PL129	石製品 砥石	埋土 1/3	重 (17.6) 幅 5.5～7.7 厚 2.3～4.3 重 720.0	各面に擦痕がみられ、端部が中央より擦り減っ ている。	砥沢石	

### 53号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第194図 PL129	土師器 杯	埋土 1/3	① 12.1 ② 7.6 ③ 3.6	①粗砂粒、褐色粒 ②良好 ③褐色	成形は粗雑で口縁部の歪み大きい。口唇部は 横ナデ、口縁部はナデ。底部は不定方向のヘラ 削り。	
2 第194図 PL129	須恵器 杯	埋土 1/5	① 12.0 ② 8.0 ③ 3.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第194図 PL129	須恵器 杯	埋土 2/3	① 12.3 ② 6.0 ③ 3.3	①細砂粒、褐色粒 ②酸火焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	

4 第194図 PL129	須恵器 杯	埋土、63住 2/3	① 12.6 ② 6.2 ③ 3.9	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
5 第194図 PL129	須恵器 杯	埋土、63住 1/4	① 15.6 ② 8.4 ③ 4.1	①細砂粒 ②還元焰軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
6 第194図 PL129	須恵器 椀	床直、埋土 底部～口縁部 下半	② 7.2 ④ 6.4	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
7 第194図 PL129	須恵器 皿	埋土 1/6	① 13.6 ②8.6④9.0 ③ 3.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
8 第194図 PL129	須恵器 皿	+ 8, 埋土 底部	② 8.0 ④ 8.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。口縁部は故意の打ち欠きか。	
9 第194図	土師器 甕	埋土 口縁部片	① 17.0	①細砂粒 ②良好 ③褐色	口唇部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナ デ胴部上位は横方向のヘラ削り。内面胴部はヘ ラナデ。	
10 第194図 PL129	土師器 甕	埋土 底部片	② 3.4	①細砂粒 ②良好 ③にぶい橙色	胴部下位は縦方向のヘラ削り、底部もヘラ削り。 内面胴部はハケ目。	
11 第194図 PL129	土師器 甕	埋土 底部片	② 4.0	①細砂粒 ②良好 ③にぶい褐色	胴部下位は縦方向のヘラ削り、底部もヘラ削り。 内面ハケ目(単位など不鮮明)。	
12 第194図	須恵器 甕	+ 8 口縁部片	① 25.0	①細砂粒 ②還元焰 ③褐灰色	ロクロ成形。	
13 第194図 PL129	土製品 土錘	埋土 ほぼ完形	全長 3.5 幅 0.95 孔径 0.30	①微砂粒 ②酸焰 ③黒褐色	外面はナデ整形。	

#### 54号住居

挿図番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第196図 PL130	須恵器 杯	床直 口縁部一部欠	① 12.9 ② 6.9 ③ 3.3	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第196図 PL130	須恵器 杯	埋土、53住 1/2	① 13.6 ② 8.0 ③ 3.5	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第196図 PL130	須恵器 杯	カマド 1/4	① 13.8 ② 8.0 ③ 3.5	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
4 第196図 PL130	須恵器 皿	床直 1/6	① 14.8 ②8.0④8.0 ③ 2.3	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切りか。 高台は貼付。	
5 第196図	土師器 甕	床直 口縁部～胴部上 位片	① 18.8	①細砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向 のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
挿図番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm, g)		特 徴 等	備 考
6 第198図 PL130	鉄器 刀子	周溝 柄端部欠損	長 (12.4) 身幅 0.9~1.8 柄幅 0.5~1.2 厚 0.2~0.4		刀身が僅かに湾曲している。	

#### 55号住居

挿図番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第200図 PL130	土師器 杯	カマド 底部片	② 9.2	①細砂粒 ②軟質 ③橙色	底部に粘土紐巻き上げ痕が残る。口縁部下位・ 底部はヘラ削りが施されているが方向・単位不 鮮明。内面口縁部は斜放射状暗文。	

2 第200図 PL130	須恵器 杯	埋土 1/4	① 11.5 ② 7.0 ③ 3.6	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転ヘラ切り後ヘラナデ。	
3 第200図 PL130	須恵器 杯	+11 完形	① 12.4 ② 8.0 ③ 4.0	①粗砂粒、小礫 ②還元焰 ③灰白色	焼成時の歪みが大きい。ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
4 第200図 PL130	須恵器 椀	+8・12 埋土、50住 口縁部一部欠	① 10.9 ②6.3④6.5 ③ 5.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転ヘラ切り。高台は貼付。	
5 第200図 PL130	須恵器 椀	床直 口縁部・高台 一部欠	① 11.2 ②6.9④6.8 ③ 5.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転ヘラ切り後回転ヘラ削り。高台は貼付。	
6 第200図 PL130	須恵器 椀	+6 ほぼ完形	① 11.2 ②6.4④6.6 ③ 5.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転ヘラ切り。高台は貼付。	
7 第200図 PL131	須恵器 横瓶	カマド、66住 D-13 胴部1/3	胴径 25.6 端部径 11.6	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	端部は粘土板による閉塞、内面に指ナデ痕が残る。外面は平行叩き、一部に自然釉が付着。	
8 第201図 PL130	土師器 甕	カマド、50住 口縁部～胴部上 位片	① 19.6	①細砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	口縁部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
9 第201図 PL130	土師器 甕	カマド、埋土 口縁部～胴部上 位片	① 20.2	①細砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	頸部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
10 第201図 PL131	土師器 甕	カマド、50住 口縁部～胴部下 位片	① 22.3 胴径 22.4	①細砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	頸部・胴部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向、中位～下位は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
11 第201図 PL131	土師器 甕	カマド、50・51住 D-14 1/4	① 20.4 ② (4.0) ③ 27.8	①細砂粒 ②良好 ③にぶい橙色	口唇部、内面胴部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向、中位～下位は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
12 第201図 PL131	土師器 甕	カマド、50住 1/3	① 24.0 胴径 34.0 残高 25.5	①粗砂粒、小礫 ②良好 ③にぶい橙色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向、中位は縦方向、下位は横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
13 第202図 PL131	須恵器 甕	床直 口縁部下半片	頸径 35.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	口縁部と胴部は接合。外面は凹線による区画を行いその内部に波状文を施文。内面はヘラナデ。	
14 第202図 PL131	須恵器 甕	埋土 胴部片	② 20.2 胴径 38.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	胴部は平行叩き、底部はヘラ削りであるが方向・単位は不鮮明。内面は平行状アテ具痕が残る。	

## 56号住居

挿図番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存率	法量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1 第205図	須恵器 杯	埋土 1/6	① 12.0 ② 6.0 ③ 3.9	①粗砂粒、褐色粒 ②酸焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第205図	須恵器 杯	埋土 底部片	② 6.0	①細砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第205図 PL131	須恵器 短頸壺	埋土 完形	① 4.1 ②4.8④5.2 ③ 6.6	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。胴部下位は回転ヘラ削り。	
4 第205図 PL131	土師器 甕	床直、埋土 口縁部～胴部中 位片	① 18.2 胴径 20.0	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい橙色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
5 第205図 PL131	土師器 甕	カマド 口縁部～胴部上 位片	① 31.0	①粗砂粒、褐色粒 ②やや軟質 ③にぶい橙色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	

## 57号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第208図 PL132	須恵器 椀	+7、埋土 1/3	① 14.8 ②8.0④6.3 ③ 4.8	①細砂粒 ②酸火焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
2 第208図	灰釉陶器 椀	埋土 口縁部小片		①微砂粒 ②還元焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。口縁部下位は回転 ヘラ削り。施釉方法は漬け掛け、釉調は透明感 のない灰色。	虎渓山1号窯式 期
3 第208図 PL132	須恵器 甕	+3 口縁部～胴部上 位片	① 26.8	①粗砂粒、褐色粒 ②酸火焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形。断面に輪積痕が観察できる。	
4 第208図	須恵器 羽釜	埋土 口縁部～胴部上 位片	① 18.7 鏝径 21.2	①粗砂粒 ②酸火焰 ③黄灰色	ロクロ成形。鏝は貼付。	
5 第208図	須恵器 羽釜	埋土 口縁部～胴部上 位片	① 21.6 鏝径 24.6	①粗砂粒 ②酸火焰 ③明黄褐色	ロクロ成形。鏝は貼付。内面に輪積痕が残る。	

## 58号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第211図 PL132	黒色土器 杯	カマド 1/4	① 10.0 ② 5.4 ③ (3.4)	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄褐色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転右回り。底部 はナデ。高台は貼付であるが剥落。内面は底 部が放射状、口縁部は横方向のヘラ磨き。	
2 第211図 PL132	黒色土器 椀	埋土 底部	② 7.0 ④ 6.2	①粗砂粒 ②酸火焰 ③黄灰色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転右回り。底部 はナデ。高台は貼付。内面は底部がヘラ磨き、 口縁部は器面剥離で不鮮明であるがヘラ磨き か。	
3 第211図 PL132	黒色土器 椀	カマド 底部	② 8.0 ④ 7.8	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい褐色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転右回り。底部 切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。内面 はヘラ磨き。	
4 第211図 PL132	須恵器 杯	床直 完形	① 9.0 ② 4.5 ③ 3.0	①粗砂粒、褐色粒 ②酸火焰 ③橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
5 第211図 PL132	須恵器 椀	埋土 底部	② 5.8 ④ 5.6	①粗砂粒 ②還元焼締め ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
6 第211図 PL132	灰釉陶器 椀	+30 底部片	② 8.2 ④ 8.4	①微砂粒 ②還元焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ナデで不明。高台は貼付。施釉方法は漬け掛 けか、釉調はやや緑色をおびた灰色。	内外面の一部に 漆付着。 大原2号窯式期
7 第211図 PL132	土師器 甕	カマド 口縁部～胴部上 位片	① 25.0	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい橙色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は下位からの頸 部への縦方向ヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
8 第211図 PL132	須恵器 羽釜	カマド 口縁部～胴部中 位片	① 16.4 鏝径 23.8	①粗砂粒、褐色粒 ②酸火焰 ③にぶい赤褐色	ロクロ成形。鏝は貼付。胴部は横方向のヘラ削 り。	
9 第211図 PL132	須恵器 羽釜	カマド 口縁部～胴部下 位片	① 21.0 鏝径 26.0 胴径 25.6	①粗砂粒、褐色粒 ②酸火焰 ③明赤褐色	ロクロ成形。鏝は貼付。胴部は下位と一部中程 に底部から上位へ向けての縦方向ヘラ削り。	
10 第211図 PL132	須恵器 羽釜	カマド、床直、+ 8、埋土 口縁部～胴片	① 21.6 鏝径 26.0 胴径 26.8	①粗砂粒 ②酸火焰 ③明赤褐色	口縁部は楕円形に歪んでいる。ロクロ成形。鏝 は貼付。	
11 第211図 PL132	須恵器 羽釜	カマド、F-13 口縁部～胴部下 位片	① 21.6 鏝径 23.6	①粗砂粒、褐色粒 ②酸火焰 ③明赤褐色	内外面に輪積痕が残る。ロクロ成形。鏝は貼付。 胴部は下位から鏝へ向けての縦方向ヘラ削り。	
12 第211図 PL132	須恵器 羽釜	カマド 口縁部～胴部上 位片	① 21.8 鏝径 27.0	①粗砂粒、褐色粒 ②酸火焰 ③にぶい赤褐色	ロクロ成形。鏝は貼付。胴部は下位から鏝へ向 けての縦方向ヘラ削り。	

## 59号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第213図 PL133	須恵器 杯	床直 完形	① 9.0 ② 5.0 ③ 2.4	①粗砂粒、褐色粒 ②酸火焰 ③黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第213図 PL133	須恵器 杯	床直、埋土 口縁部一部欠	① 9.6 ② 5.6 ③ 3.5	①粗砂粒 ②還元焼成 ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第213図 PL133	灰釉陶器 段皿	床直、G-13 2/3	① 13.6 ②8.2④7.8 ③ 2.9	①微砂粒 ②還元焼成 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部はナデ。高台は貼付。口縁部下位は回転ヘラ削り。施釉方法は漬け掛け、釉調はやや緑色をおびた灰色。	大原2号窯式期
4 第213図	灰釉陶器 長頸壺	埋土 底部片	② 8.8 ④ 8.0	①微砂粒 ②還元焼成 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。施釉方法不明。	
5 第213図 PL133	須恵器 羽釜	+15 口縁部～胴部上 位片	① 20.6 鏝径 23.6	①粗砂粒 ②還元焼成 ③黒褐色	ロクロ成形。鏝は貼付。	

## 60号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第215図 PL133	須恵器 椀	床直 完形	① 9.8 ② 5.2 ③ 3.3	①粗砂粒 ②酸火焰 ③浅黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は砂底か、磨減で不鮮明。	
2 第215図	須恵器 椀	床直 口縁部下半片	② 5.7 ④ 5.4	①細砂粒 ②還元焼成 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
3 第215図 PL133	灰釉陶器 椀	床直、+10 F-11 1/4	① 15.8 ②7.9④7.8 ③ 6.3	①微砂粒 ②還元焼成 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部はナデ。高台は貼付。口縁部下位は回転ヘラ削り。口唇部に凹線が巡る。釉調はやや緑色をおびた灰色。	虎溪山1号窯式期
4 第215図 PL133	灰釉陶器 椀	+10、埋土 口縁部片	① 14.8	①微砂粒 ②還元焼成 ③灰白色	ロクロ成形。口唇部に凹線が巡る。施釉方法は漬け掛けか、釉調はやや緑色をおびた灰色。	虎溪山1号窯式期
5 第215図 PL133	灰釉陶器 椀	床直 底部片	② 8.4 ④ 8.0	①微砂粒 ②還元焼成 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。口縁部下位は回転ヘラ削り。施釉方法不明。	大原2号窯式期
6 第215図 PL133	灰釉陶器 椀	+26 底部片	② 10.0 ④ 9.6	①微砂粒 ②還元焼成 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。施釉方法不明、釉調は透明感のない灰色。	虎溪山1号窯式期
7 第215図 PL133	灰釉陶器 小皿	埋土 1/6	① 11.6 ②7.4④7.0 ③ 2.0	①微砂粒 ②還元焼成 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。施釉方法不明、釉調は透明感のない灰色。	虎溪山1号窯式期
8 第215図	灰釉陶器 皿	埋土 口縁部下半～底 部片	② 7.2 ④ 6.4	①微砂粒 ②還元焼成 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。施釉方法不明、釉調は透明感のない灰色。	大原2号窯式期
9 第215図 PL133	須恵器 羽釜	床直 口縁部～鏝片	① 21.8 鏝径 24.6	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい赤褐色	ロクロ成形。内面に輪積痕が残る。鏝は貼付。	
10 第215図 PL133	土師器 杯	埋土 1/5	① 15.0 ② 8.6 ③ (3.9)	①細砂粒 ②良好 ③にぶい褐色	口縁部は上半が横ナデ、下半は横方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。内面は口縁部に斜放射状、底部に螺旋状暗文。	混入品

## 61号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第218図 PL133	黒色土器 椀	カマド 1/4	① 12.0 ②6.0④6.2 ③ 5.0	①細砂粒 ②酸火焰 ③にぶい橙色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転右回り。底部はナデ。高台は貼付。内面は底部と口縁部で若干方向が異なるが全面にヘラ磨き。	

2 第218図 PL133	灰釉陶器 椀	埋土 底部片	② 9.0 ④ 8.4	①微砂粒、水簸 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。施釉方法不明。	大原2号窯式期
3 第218図 PL133	灰釉陶器 長頸壺	床直 胴部上半片	頸径 8.0 胴径 28.8	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。頸部と胴部は2段接合。内面胴部に指頭痕が残る。施釉方法は漬け掛けか、釉調は透明感のない緑灰色。	
4 第219図	須恵器 羽釜	カマド 口縁部～胴部上 位片	① 23.0 鏝径 26.6	①細砂粒 ②酸火焰 ③にぶい赤褐色	ロクロ成形。鏝は貼付。	
挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm、g)		特 徴 等	石 材 備 考
5 第219図 PL133	石製品 砥石	埋土 1/6程度か	長 (5.8) 幅 5.1~6.0 厚 1.6~2.5 重 114.0		表裏側面に擦痕、端部は敲打痕が見られる。	砥沢石

### 63号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第223図	土師器 杯	埋土 口縁部片	① 13.4	①細砂粒 ②良好 ③橙色	口縁部は上半が横ナデ、下半は横方向のヘラ削り	
2 第223図 PL134	須恵器 杯蓋	+13 天井部片	摘径 4.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。摘みは貼付。天井部中ほどは回転ヘラ削り。	
3 第223図 PL134	須恵器 杯蓋	埋土、53・54住 口縁部片	① 13.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。天井部は中程まで回転ヘラ削り。	
4 第223図 PL134	須恵器 杯	床直 口縁部一部欠	① 12.6 ② 7.4 ③ 3.5	①細砂粒 ②還元焰軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
5 第223図 PL134	須恵器 杯	埋土 1/4	① 13.2 ② 7.0 ③ 3.5	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
6 第224図 PL134	須恵器 杯	床直、埋土 1/3	① 14.4 ② 10.0 ③ 4.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転ヘラ削り。	
7 第224図 PL134	須恵器 杯	埋土 口縁部下半片	② 8.4	①細砂粒 ②還元焰 ③褐色	ロクロ成形、回転右回りか。底部はヘラ削り。	
8 第224図 PL134	須恵器 椀	床直 3/4	① 15.5 ②7.8④7.7 ③ 5.3	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色、灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
9 第224図 PL134	須恵器 椀	床直、+16 底部	② 8.0 ④ 8.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後ナデか。高台は貼付。	
10 第224図 PL134	須恵器 皿	+21 口縁部一部欠	① 13.8 ②9.2④9.6 ③ 2.7	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
11 第224図 PL134	土師器 甕	埋土、53住 口縁部～胴部上 位片	① 19.4	①細砂粒 ②良好 ③明赤褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
12 第224図 PL134	土師器 甕	床直 口縁部～胴部上 位片	① 19.6	①細砂粒 ②良好 ③橙色	口縁部から頸部は横ナデ、中ほどにナデ部分が残る。胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
13 第224図 PL134	土師器 甕	+6 胴部下位～底部 片	② 3.0	①細砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	胴部下位は縦方向のヘラ削り。底部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
14 第224図 PL134	土師器 甕	埋土 胴部下位～底部 片	② 4.0	①細砂粒 ②良好 ③黒褐色	胴部下位は縦方向のヘラ削り。底部は一定方向へのヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
15 第224図 PL134	土師器 台付甕	+6 脚部片	④ 8.2	①細砂粒 ②良好 ③にぶい褐色	脚部は内外面ともナデ。	

## 64号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第227図 PL135	黒色土器 椀	床直、+8 1/4	① 13.8 ②6.4④7.0 ③ 6.1	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい赤褐色	内面黒色処理であるが二次焼成を受けたのか吸炭が剥落。ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後周囲をナデ。高台は貼付。	
2 第227図 PL135	須恵器 椀	床直 完形	① 12.0 ② 5.2 ③ 4.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第227図	須恵器 椀	埋土 底部片	② 5.2	①粗砂粒 ②酸火焰 ③橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
4 第227図 PL135	須恵器 椀	床直 完形	① 11.6 ②6.7④7.4 ③ 6.2	①粗砂粒 ②酸火焰 ③橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
5 第227図 PL135	須恵器 椀	床直 2/3	① 14.4 ②6.4④7.6 ③ 7.3	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
6 第227図 PL135	須恵器 椀	埋土、B-11 底部	② 6.4 ④ 5.5	①粗砂粒 ②還元焰燻 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
7 第227図 PL135	須恵器 椀	床直 底部～口縁部下 半	② 7.4 ④ 6.6	①粗砂粒 ②酸火焰ざみ ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
8 第227図 PL135	須恵器 椀	床直 底部片	② 7.0 ④ 6.5	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
9 第227図 PL135	灰釉陶器 椀	床直 1/2	① 12.8 ②6.6④6.0 ③ 3.9	①微砂粒 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後周囲をナデ。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け、釉調は透明感のない灰色。	大原2号窯式期
10 第227図	須恵器 長頸壺	床直 底部片	② 10.0 ④ 8.2	①粗砂粒、小礫 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付で端部を研磨している。	
11 第227図 PL135	須恵器 羽釜	床直 口縁部～胴部上 位片	① 21.0 鏝径 24.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形。鏝は貼付。内面に輪積痕が残る。	
挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm、g)		特 徴 等	備 考
12第227図 PL135	鉄器 釘	+8 両端部欠損	長 (5.7) 厚 0.6~0.7		断面多角形を呈す。	

## 65号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第230図 PL135	灰釉陶器 椀	埋土 口縁部片	① 14.8	①微砂粒 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。施釉方法は漬け掛け、釉調は透明感のない灰色。	大原2号窯式期
2 第231図 PL135	土師器 甕	カマド 口縁部～胴部上 位片	① 20.0	①細砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	頸部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
3 第231図 PL135	土師器 甕	床直、44・119住 口縁部～胴部中 位片	① 21.8 胴径 21.2	①粗砂粒、褐色粒 ②良好 ③明赤褐色	内外面に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ胴部は上位が横方向、中位は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
4 第231図 PL135	須恵器 羽釜	埋土 口縁部～鏝片	① 18.4 鏝径 22.4	①細砂粒 ②酸火焰ざみ ③にぶい橙色	ロクロ成形。鏝は貼付。	

## 66号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第234図 PL136	須恵器 杯	+13、埋土 1/3	① 13.8 ② 8.0 ③ 3.9	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後 周辺をヘラナデ。	
2 第234図 PL136	須恵器 杯	+ 8 底部片	② 5.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第234図	須恵器 杯	埋土 底部片	② 6.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 口縁部に重焼き痕が見られる。外面に自然釉付 着。	
4 第234図	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 14.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。	
5 第234図	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 15.8 ② (8.3)	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。	
6 第234図 PL136	須恵器 椀	+ 8 底部	② 7.0 ④ 6.6	①細砂粒 ②酸焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
7 第234図 PL136	土師器 甕	埋土 口縁部～胴部上 位片	① 18.0	①細砂粒 ②良好 ③明褐色	頸部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、 胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘ ラナデ。	
8 第234図	土師器 甕	埋土 底部片	② 3.0	①細砂粒 ②良好 ③明褐色	胴部下位は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラ ナデ。	

## 67号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第237図 PL136	黒色土器 椀	カマド 1/3	① 16.9 ②9.0④9.0 ③ 6.8	①粗砂粒、褐色粒 ②酸焰 ③浅黄橙色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転右回り。底部は 回転ヘラ削り。高台は貼付。内面は口唇部横方向 底部・口縁部に3～5単位の斜格子状ヘラ磨き。	
2 第237図 PL136	須恵器 椀	埋土 完形	① 10.0 ② 5.2 ③ 3.5	①粗砂粒、小礫 ②酸焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第237図 PL136	須恵器 椀	+ 6、埋土 3/4	① 11.1 ② 4.8 ③ 3.4	①細砂粒、褐色粒 ②酸焰 ③明赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
4 第237図 PL136	須恵器 椀	カマド、+ 9 埋土 1/3	① 10.6 ②6.2④6.4 ③ 4.3	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。底部切り離し技法 はナデで不明。高台は貼付。口縁部は内外面と も丁寧な整形でロクロ痕が残らない。	
5 第237図 PL136	須恵器 椀	床直、埋土 1/2	① 11.0 ②5.8④6.0 ③ 4.5	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。口縁部は内外面とも丁寧な整形で ロクロ痕が残らない。	
6 第237図 PL136	須恵器 椀	カマド、E-18 1/3	① 13.3 ②6.0④5.6 ③ 5.1	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ナデで不明。高台は貼付。	
7 第237図	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 14.4 ② 6.0 ③ (4.1)	①細砂粒 ②酸焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
8 第237図	灰釉陶器 椀	埋土 口縁部片	① 15.6	①微砂粒 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。施釉方法不鮮明、 釉調は透明感のある灰色。	大原2号窯式期
9 第237図	灰釉陶器 椀	埋土 底部片	② 7.4 ④ 7.0	①微砂粒、水簸 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後 周囲をナデ。高台は貼付。施釉方法不明、釉調 はやや緑色をおびた灰色。	大原2号窯式期
10 第237図 PL136	須恵器 短頸壺	カマド 底部片	② 14.0 ④ 13.4	①粗砂粒、褐色粒 ②酸焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転ヘラ削り 後周囲はナデ。高台は貼付。	

11 第237図 PL136	須恵器 羽釜	カマド、埋土 口縁部～胴部中 位片	① 18.0 鏝径 22.2	①粗砂粒、褐色粒 ②酸火焰 ③橙色	ロクロ成形。鏝は貼付。	
12 第237図 PL136	須恵器 羽釜	カマド、埋土 胴部下位～底部 片	② 6.6	①粗砂粒 ②還元火焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。胴部下半は斜め方向、 最下位は横方向のヘラ削り。底部はヘラナデ。	
挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm、g)		特 徴 等	石 材 備 考
13第237図 PL136	石製品 砥石	カマド 2/3	長 (10.2) 幅 3.0～4.2 厚 1.6～3.4 重 153.0		表裏・側面に敲打痕が見られる。	砥沢石

### 68号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第240図 PL137	土師器 杯	カマド 1/2	① 12.2 ② 6.6 ③ 3.2	①細砂粒、褐色粒 ②良好 ③にぶい褐色	口縁部は上半が横ナデ、下半が横方向のヘラ削り。 底部は不定方向のヘラ削り。	
2 第240図 PL137	須恵器 椀	埋土 2/3	① 14.0 ② 6.0 ③ 4.3	①細砂粒 ②還元火焰 ③褐灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第240図 PL137	須恵器 椀	埋土 1/4	① 14.2 ② 6.7 ③ (4.3)	①細砂粒 ②酸火焰	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	外面口縁部下位 に刻書「大」。
4 第240図 PL137	須恵器 椀	床直 2/3	① 11.0 ②6.3④5.8 ③ 5.1	①粗砂粒 ②還元火焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
5 第241図	須恵器 椀	埋土、84住 1/5	① 14.0 ②7.2②6.2 ③ 5.0	①粗砂粒 ②還元火焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不 明。高台は貼付。	
6 第241図	須恵器 椀	カマド 底部片	② 7.4 ④ 7.4	①細砂粒 ②還元火焰燻 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ナデで不明。高台は貼付。	
7 第241図 PL137	須恵器 皿	カマド、床直 2/3	① 13.2 ②8.2④6.6 ③ 3.0	①細砂粒 ②還元火焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
8 第241図	灰釉陶器 椀	埋土、84住 口縁部片	① 13.8	①微砂粒 ②還元火焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。施釉方法不明、釉 調はやや緑色をおびた灰色。	光ヶ丘1号窯式 期
9 第241図 PL137	須恵器 甕	床直、埋土、 84住、H-14 口縁部～胴片	頸径 16.0	①細砂粒 ②還元火焰 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。胴部に自然釉附着。	

### 69号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第244図 PL137	須恵器 杯	+10、埋土 3/4	① 11.4 ② 6.3 ③ 3.7	①細砂粒 ②還元火焰 ③灰白色	焼成時の歪みが見られる。ロクロ成形、回転右 回り。底部は回転糸切り。	
2 第244図 PL137	須恵器 椀	カマド 1/4	① 12.8 ②6.2④5.4 ③ 4.8	①粗砂粒 ②還元火焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回りか。底部切り離し技法 不明。高台は貼付。	
3 第244図 PL137	須恵器 椀	埋土 1/4	① 12.0 ② 6.7 ③ (4.1)	①細砂粒 ②酸火焰ぎみ ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ナデで不明。高台は貼付であるが剥落。	
4 第244図 PL137	須恵器 椀	床直、+15 1/5	① 17.6 ② 9.0 ③ (5.5)	①粗砂粒 ②還元火焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付であるが剥落。	
5 第244図 PL137	須恵器 椀	埋土、H-I-16 口縁部片	① 13.2	①粗砂粒 ②還元火焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回りか。	

6 第244図 PL138	須恵器 椀	カマド 底部	② 6.8 ④ 7.0	①粗砂粒 ②還元焰ざみ ③暗赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
7 第244図	灰釉陶器 輪花椀	埋土 口縁部片	① 17.0	①微砂粒、水箨 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。口縁部下位は回転 ヘラ削り。施釉方法は漬け掛け、釉調は透明感 のない灰色。	大原2号窯式期
8 第244図	灰釉陶器 椀	カマド 底部片	② 7.8 ④ 7.8	①微砂粒 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。底部切り離し技法 はナデで不明。高台は貼付。	大原2号窯式期
9 第244図 PL138	土師器 甕	床直、+9・12 I-16 1/4	① 20.9 ② 8.5 ③ 17.9	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい黄褐色	口唇部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナ デ。胴部は縦方向のヘラ削り。内面は頸部が横 方向のハケ目、胴部はヘラナデ。	
10 第244図 PL138	須恵器 羽釜	床直、+7 口縁部～胴部上 位片	① 18.0 鏝径 21.2	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形。鏝は貼付。	
11 第244図 PL138	須恵器 羽釜	カマド、H-16 口縁部～胴部中 位片	① 20.2 鏝径 24.0 胴径 23.3	①粗砂粒 ②酸火焰 ③灰黄色	ロクロ成形。鏝は貼付。胴部下半は縦方向のヘ ラ削りか。	
12 第244図 PL138	須恵器 羽釜	床直、埋土 口縁部～胴部中 位片	① 23.2 鏝径 25.3 胴径 24.8	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形。鏝は貼付。胴部中位に横方向のヘ ラ削りが一部見られる。	
13 第244図 PL138	須恵器 羽釜	床直、埋土 口縁部～胴部下 位片	① 24.0 鏝径 28.0 胴径 26.0	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形。鏝は貼付。胴部は下位に縦方向の ヘラ削り。	
14 第245図 PL138	須恵器 羽釜	カマド 口縁部～胴部中 位片	① 25.0 鏝径 29.2 胴径 28.4	①粗砂粒 ②酸火焰 ③浅黄色	ロクロ成形。鏝は貼付。胴部中位は縦方向のヘ ラ削り。	
15 第245図 PL138	須恵器 羽釜	床直、埋土 胴部片		①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形。鏝は貼付。胴部下位は縦方向のヘ ラ削り。	
16 第245図 PL138	須恵器 甕	床直 底部片	② 17.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形。底部は不定方向のヘラ削り。胴部 下位はヘラナデ。	

### 70号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第248図 PL138	黒色土器 椀	+17 底部	② 6.4 ④ 5.6	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄褐色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転右回り。底部 切り離し技法不明。高台は貼付。内面はヘラ磨 き。	
2 第248図 PL138	黒色土器 椀	埋土 底部～口縁部下 半	② 6.6 ④ 6.3	①細砂粒 ②酸火焰 ③にぶい褐色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転右回り。底部 切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。内面 はヘラ磨き。	
3 第248図 PL139	須恵器 杯	埋土 1/2	① 10.2 ② 5.0 ③ 3.1	①粗砂粒 ②還元焰 ③褐灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
4 第248図 PL139	須恵器 杯	+20、埋土 1/3	① 11.8 ② 5.8 ③ 3.5	①細砂粒 ②酸火焰 ③橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
5 第248図 PL139	須恵器 椀	カマド 1/5	① 11.8 ②7.5④6.5 ③ 4.7	①細砂粒 ②還元焰ざみ ③灰黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ナデで不明。高台は貼付。	
6 第248図 PL139	須恵器 椀	埋土 2/3	① 11.2 ②5.7④5.0 ③ 4.6	①細砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転ヘラ削り。 高台は貼付。	
7 第248図 PL139	須恵器 椀	+10 ほぼ完形	① 11.8 ②5.7④5.6 ③ 4.9	①粗砂粒 ②酸火焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
8 第248図 PL139	須恵器 椀	+20 1/4	① 12.0 ②6.8④7.0 ③ 5.5	①細砂粒 ②酸火焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不 明、高台は貼付。口縁部はヘラナデ。	

9 第248図 PL139	須恵器 椀	埋土 1/3	① 11.0 ②5.5④5.5 ③ 4.6	①粗砂粒 ②酸火焰ぎみ ③明褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
10 第248図 PL139	須恵器 椀	埋土 1/4	① 11.4 ②6.2④5.8 ③ 4.8	①細砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
11 第248図 PL139	須恵器 椀	+8、埋土 2/3	① 12.0 ②6.2④6.2 ③ 4.7	①粗砂粒、小礫 ②酸火焰 ③にぶい赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
12 第248図 PL139	須恵器 椀	カマド 1/3	① 12.2 ②6.7④6.5 ③ 5.0	①細砂粒 ②酸火焰ぎみ ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ナデで不明。高台は貼付。	
13 第248図 PL139	須恵器 椀	+10 1/4	① 12.5 ②7.5④7.1 ③ 5.2	①細砂粒 ②還元焰燻 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
14 第248図 PL139	須恵器 椀	埋土 1/4	① 12.6 ②7.0④6.0 ③ 5.4	①細砂粒 ②還元焰燻 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部はナデ。高台は 貼付。	
15 第249図 PL139	須恵器 椀	埋土 1/4	① 12.4 ②6.4④6.0 ③ 5.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
16 第249図 PL139	須恵器 椀	床直 1/4	① 13.0 ②7.2④6.6 ③ 5.3	①細砂粒 ②還元焰ぎみ ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
17 第249図 PL139	須恵器 椀	+11、埋土 1/4	① 14.2 ② 8.2 ③ (4.8)	①粗砂粒 ②酸火焰 ③明赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部はナデ。高台は 貼付。	
18 第249図 PL139	須恵器 椀	埋土 1/4	① 16.6 ②8.4④6.0 ③ 5.9	①粗砂粒、褐色粒 ②酸火焰 ③橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付で端部を研磨し器高を低くしてい る。	
19 第249図 PL139	須恵器 椀	+11、埋土 1/3	① 19.0 ②9.1④9.4 ③ 8.9	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転ヘラ削り。 高台は貼付。	
20 第249図 PL140	灰釉陶器 椀	埋土、E-18 底部～口縁部下 半片	② 7.0 ④ 6.6	①微砂粒 ②還元焰 ③淡黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ナデで不明。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け、 釉調は透明感のない緑灰色。	大原2号窯式期
21 第249図 PL140	灰釉陶器 椀	床直 底部片	② 7.2 ④ 6.2	①微砂粒、水箨 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ナデで不明。高台は貼付。施釉方法不明、釉調 は透明感のない灰色。	大原2号窯式期
22 第249図 PL140	灰釉陶器 椀	埋土 底部片	② 7.8 ④ 7.2	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。底部切り離し技法は ナデで不明。高台は貼付。内面見込み部に重焼 き痕。施釉方法不明、釉調は透明感のない灰色。	大原2号窯式期
23 第249図 PL140	灰釉陶器 長頸壺	埋土、C-12 頸部下半片	頸径 7.2	①微砂粒 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。胴部と頸部は二段 接合。施釉方法不明、釉調は透明感のない灰色。	
24 第249図 PL140	須恵器 羽釜	+26 口縁部～胴部上 位片	① 20.0 鏝径 24.4	①粗砂粒 ②酸火焰 ③黒褐色	内面に輪積痕が残る。ロクロ成形。鏝は貼付。	
25 第249図 PL140	須恵器 羽釜	床直 口縁部～胴部上 位片	① 20.3 鏝径 23.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③褐灰色	ロクロ成形。鏝は貼付。	
26 第249図 PL140	須恵器 羽釜	床直、+20、埋土 口縁部～胴部中 位片	① 22.0 鏝径 25.4	①粗砂粒 ②酸火焰 ③橙色	ロクロ成形。鏝は貼付。	
27 第249図 PL140	須恵器 羽釜	埋土 口縁部～胴部上 位片	① 23.8 鏝径 27.8	①粗砂粒 ②酸火焰 ③橙色	ロクロ成形。鏝は貼付。	
28 第249図 PL140	須恵器 羽釜	カマド、埋土 胴部～底部	② 6.8	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は不定方向のヘ ラ削り。胴部下位は縦方向のヘラ削り。	

挿図番号 図版番号	種 器 類 種	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm、g)	特 徴 等	備 考
29第249図 PL140	鉄器 鏃 2点	+16 共に茎端部欠	L長 8.9 関幅 0.7 厚 0.3 R長 8.6 関幅 0.9 厚 0.3	2点とも柳葉式で篋被は関。	
30第249図 PL140	鉄製品 紡錘車	+22 上軸欠	長 (11.0) 軸径 0.4~0.5 円盤径 6.4×6.2 厚 0.4	下軸の端部も欠損。	

### 71号住居

挿図番号 図版番号	種 器 類 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第252図 PL141	須恵器 椀	埋土 1/4	① 13.0 ②7.6④7.4 ③ 5.1	①細砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後 周辺をヘラナデ。高台は貼付。	
2 第253図 PL141	須恵器 椀	埋土 底部	② 7.0 ④ 6.4	①細砂粒 ②還元焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ナデで不明。高台は貼付。	
3 第253図 PL141	灰釉陶器 椀	+ 9 1/4	① 15.8 ②8.0④7.5 ③ 4.8	①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法ナデ で不明。高台は貼付。口縁部下位は回転ヘラ削り 施釉方法は漬け掛け、釉調は透明感のない灰色。	大原2号窯式期
4 第253図 PL141	灰釉陶器 椀	掘方、102住 口縁部片	① 16.8	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。口縁部下位は回転 ヘラ削り。施釉方法不明、釉調は透明感のない 灰色	大原2号窯式期
5 第253図 PL141	灰釉陶器 椀	掘方、埋土、 91住 口縁部片	① 16.8	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。口縁部下位は回転 ヘラ削り。施釉方法不明、釉調は透明感のない 灰色	大原2号窯式期
6 第253図 PL141	灰釉陶器 椀	埋土、95・105住 底部片	② 8.2 ④ 7.6	①細砂粒 ②還元焰 ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ナデで不明。高台は貼付。底部下位は回転ヘラ 削り施釉方法は漬け掛け、釉調はやや緑灰色。	大原2号窯式期
7 第253図 PL141	灰釉陶器 椀	+15 底部～口縁部下 半片	② 9.0 ④ 8.0	①微砂粒、水簸 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転ヘラ削り。 高台は貼付。口縁部下半は回転ヘラ削り。施釉 方法不明。	大原2号窯式期
8 第253図 PL141	灰釉陶器 椀	+ 7 底部～口縁部下 位片	② 9.0 ④ 8.6	①微砂粒、小礫 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ナデで不明。高台は貼付。施釉方法不明、釉調 は透明感のない灰色。	大原2号窯式期
9 第253図 PL141	灰釉陶器 段皿	+ 8 1/4	① 14.0 ②7.6④7.2 ③ 2.4	①微砂粒 ②還元焰焼締め ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転ヘラ削り。 高台は貼付。施釉方法は漬け掛けか、釉調はや や緑色をおびた灰色。	大原2号窯式期
10 第253図 PL141	須恵器 羽釜	+ 8 口縁部～胴部上 位片	① 18.0 鏝径 19.4	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形。鏝は貼付。	
11 第253図 PL141	須恵器 羽釜	カマド 口縁部～胴部中 位片	① 17.0 鏝径 20.8 胴径 20.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③黒褐色	ロクロ成形。鏝は貼付。胴部に輪積痕が残る。	
12 第253図 PL141	須恵器 羽釜	+13 口縁部～胴部中 位片	① 22.0 鏝径 26.6 胴径 26.2	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③にぶい橙色	ロクロ成形。鏝は貼付。	
13 第253図 PL141	須恵器 羽釜	埋土 底部片	② 6.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形。胴部下位は縦方向のヘラ削り。底 部は不定方向のヘラ削り。	

### 72号住居

挿図番号 図版番号	種 器 類 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第256図 PL141	土師器 杯	埋土 口縁部片	① 13.0	①粗砂粒 ②良好 ③褐色	口縁部に輪積痕が残る。口縁部は上位が横ナデ、 中位はナデ、下位は横方向のヘラ削り。	
2 第256図	須恵器 椀	埋土 底部～口縁部下 半片	② 6.0	①細砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	

3 第256図 PL141	須恵器 椀	カマド 1/4	① 13.6 ②7.0④6.8 ③ 5.1	①粗砂粒 ②還元火焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
4 第256図	須恵器 椀	埋土 底部～口縁部下 半片	② 6.8 ④ 6.0	①細砂粒 ②還元火焰軟質 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部はナデ。高台は貼付。	
5 第256図 PL141	須恵器 椀	埋土 底部	② 6.4 ④ 6.3	①細砂粒 ②還元火焰燻し ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
6 第256図	須恵器 椀	カマド 底部片	② 7.2 ④ 6.4	①細砂粒、黒色粒 ②還元火焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
7 第256図	須恵器 羽釜	埋土 口縁部～胴部上 位片	① 16.5 銜径 19.8	①粗砂粒 ②酸火焰 ③灰黄色	ロクロ成形。銜は貼付。	
8 第256図	須恵器 甕	+28 口縁部片	頸径 13.0	①細砂粒 ②還元火焰 ③灰黄色	ロクロ成形。胴部と頸部は二段接合。	
9 第256図 PL141	須恵器 甕	カマド 口縁部～胴部上 位片	① 25.0	①粗砂粒 ②還元火焰軟質 ③灰色	ロクロ成形。内面に輪積痕が残る。	

### 73号住居

挿図番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第258図 PL142	須恵器 椀	+14 口縁部一部欠	① 11.7 ②5.7④4.8 ③ 4.8	①粗砂粒 ②還元火焰 ③灰黄色	内面に輪積痕が残る。ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
2 第258図 PL142	須恵器 椀	+14、53・54住 4/5	① 14.0 ②6.5②5.7 ③ 5.4	①粗砂粒 ②還元火焰 ③灰黄色	焼成時の歪みが見られる。ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	

### 74号住居

挿図番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第261図 PL142	須恵器 椀	床直 完形	① 11.4 ② 5.6 ③ 3.9	①粗砂粒 ②還元火焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第261図 PL142	須恵器 椀	埋土 口唇部1/2欠	① 12.0 ② 6.4 ③ 3.9	①粗砂粒、小礫 ②還元火焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第261図 PL142	須恵器 椀	床直 口唇部1/2欠	① 11.8 ②6.0④5.8 ③ 3.7	①粗砂粒、小礫 ②還元火焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
4 第261図 PL142	須恵器 椀	埋土、53住、 B-11 口縁部一部欠	① 11.8 ②6.8④6.2 ③ 4.5	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
5 第261図 PL142	須恵器 椀	床直 口唇部1/2欠	① 12.4 ②6.2④5.6 ③ 5.2	①粗砂粒 ②還元火焰燻 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
6 第261図 PL142	須恵器 椀	埋土、B-11 1/3	① 13.2 ②5.8④5.0 ③ 4.5	①粗砂粒、褐色粒 ②酸火焰 ③褐灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
7 第261図 PL142	灰釉陶器 椀	+11 口縁部片	① 14.8 ② 7.6 ③ (4.1)	①微砂粒 ②還元火焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。施釉方法は漬け掛け、釉調はやや緑色をおびた灰色。	大原2号窯式期
8 第261図 PL142	灰釉陶器 皿	床直 底部片	② 7.0 ④ 6.2	①微砂粒 ②還元火焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転ヘラナデ。高台は貼付。口縁部下位は回転ヘラ削り。内面に重焼き痕が残る。施釉方法不明。	大原2号窯式期

9 第261図	須恵器 羽釜	埋土 口縁部～胴部上 位片	① 20.8 罎径 24.2	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形。罎は貼付。内面に輪積痕が残る。	
挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm、g)		特 徴 等	備 考
10第261図 PL142	鉄器 釘	埋土 端部欠	長 (6.0) 厚 0.5×0.5 頭部 0.7×0.7		頭部は折り曲げ。	

75号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第263図 PL142	須恵器 椀	埋土 1/4	① 12.2 ② 6.1 ③ 4.2	①細砂粒 ②酸火焰ぎみ ③浅黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後 周囲をナデ。	
2 第263図 PL142	須恵器 椀	埋土 3/4	① 12.7 ② 6.7 ③ 3.9	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後 周囲をナデ。	
3 第263図	須恵器 椀	埋土 1/5	① 12.8 ② 6.0 ③ 3.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
4 第263図 PL142	須恵器 椀	掘方、82土坑 口縁部一部欠	① 13.4 ②7.2④6.8 ③ 5.2	①粗砂粒、小礫 ②酸火焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
5 第263図 PL142	須恵器 椀	貯蔵穴 口唇部大半欠	① 14.4 ②6.1④5.5 ③ 5.3	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後 ナデ。高台は貼付。	外面口縁部に墨 書、「神」。
6 第263図 PL142	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 14.4	①細砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転方向不明。	外面口唇部に刻 書、「大」。
7 第263図 PL143	須恵器 椀	床直 口縁部片	① 13.6 ② 6.4 ③ (5.6)	①粗砂粒 ②酸火焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不 明高台は貼付であるが剥落か。	
8 第264図 PL143	須恵器 椀	床直、埋土 底部	② 6.8 ④ 6.8	①細砂粒 ②酸火焰 ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
9 第264図 PL143	灰釉陶器 椀	埋土 口縁部片	① 14.8	①微砂粒 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。口縁部下位は回転 ヘラ削り。施釉方法は漬け掛け、釉調は透明感 のない灰色。	大原2号窯式期
10 第264図 PL143	灰釉陶器 椀	埋土 口縁部片	① 16.0	①微砂粒 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。施釉方法不明、釉 調はやや緑色をおびた灰色。	大原2号窯式期
11 第264図 PL143	灰釉陶器 皿	埋土 底部片	② 8.0 ④ 7.5	①微砂粒 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。底部切り離し技法 はナデで不明。高台は貼付。	大原2号窯式期
12 第264図 PL143	土師器 甕	+ 8 口縁部～胴部上 位片	① 23.6 胴径 28.0	①粗砂粒 ②酸火焰 ③褐色	ロクロ成形。内面胴部はヘラナデ。	
13 第264図 PL143	須恵器 羽釜	貯蔵穴、87住 口縁部～胴部上 位片	① 17.8 罎径 22.0	①粗砂粒 ②酸火焰 ③褐色	ロクロ成形。罎は貼付。口唇部に凹線が1条巡 る	
14 第264図 PL143	須恵器 甕	床直 底部片	② 16.0	①粗砂粒 ②酸火焰 ②にぶい黄橙色	ロクロ成形。底部はヘラナデ。	
挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm、g)		特 徴 等	石 備 材 考
15第264図 PL143	石製品 砥石	+ 6 1/2	長 7.7 幅 3.3～4.8 厚 1.4～2.6 重 96.0		表裏・側面に擦痕が見られ、中ほどが激しく擦 り減っている。	砥沢石

## 76号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第267図 PL143	須恵器 椀	床直、埋土 1/2	① 14.4 ② 5.8 ③ 5.9	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	焼成時の歪みが大き。ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。底部に輪積痕が残る。	
2 第267図 PL143	須恵器 椀	+ 8 口縁部一部欠	① 12.6 ②6.5④5.2 ③ 4.4	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
3 第267図 PL143	須恵器 椀	カマド、埋土 口縁部一部欠	① 13.1 ②7.3④6.6 ③ 5.0	①粗砂粒 ②酸焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
4 第267図 PL143	須恵器 椀	+11 1/4	① 13.6 ②7.1④6.6 ③ 5.1	①粗砂粒、小礫 ②酸焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
5 第267図 PL143	須恵器 椀	カマド、埋土 口縁部一部・高台欠	① 13.0 ② 6.8 ③ (4.1)	①粗砂粒 ②酸焰 ③浅黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付であるが剥落。	
6 第267図 PL143	須恵器 椀	+11 口縁部下半～高台片	② 6.0 ④ 7.8	①細砂粒 ②酸焰 ③褐色	ロクロ成形、回転右回りか。高台は貼付。	
7 第267図 PL144	灰釉陶器 椀	+11 口縁部片	① 16.8	①微砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回りか。施釉方法は漬け掛け、釉調は透明感のある緑灰色。	虎浜山1号窯式期
8 第267図 PL144	灰釉陶器 椀	掘方 底部片	② 6.9 ④ 6.4	①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。施釉方法不明、釉調は透明感のない灰色。	大原2号窯式期 ～虎浜山1号窯式期
9 第267図 PL144	灰釉陶器 段皿	+11 1/4	① 13.2 ②7.6④7.1 ③ 2.1	①微砂粒 ②還元焰焼締め ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け、釉調は透明感のない緑灰色。	大原2号窯式期
10 第267図 PL144	須恵器 羽釜	カマド、埋土 口縁部～胴部中位片	① 16.6 鏝径 21.0 胴径 20.0	①粗砂粒 ②酸焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形。鏝は貼付。	
挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm、g)		特 徴 等	石 材 備 考
11第367図 PL144	石製品 砥石	床直 両端部を欠く	長 (17.5) 幅 6.8 厚 3.0～4.2 重 600.0		表裏に若干の擦痕が見られる。	牛伏砂岩

## 77号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第269図 PL144	須恵器 椀	埋土 1/2	① 10.5 ② 5.2 ③ 4.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第269図 PL144	須恵器 椀	埋土 底部～口縁部下 半片	② 7.0	①細砂粒 ②酸焰 ③橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第270図 PL144	須恵器 椀	埋土 1/5	① 12.8 ②6.5④5.3 ③ 4.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
4 第270図 PL144	須恵器 椀	埋土 1/5	① 14.2 ②9.0④8.6 ③ 5.0	①細砂粒、黒色粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不明高台は貼付。	
5 第270図 PL144	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 16.0 ② 7.6 ③ (6.3)	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。	
6 第270図 PL144	須恵器 椀	埋土、79住 底部～口縁部下 位片	② 5.2 ④ 5.4	①粗砂粒 ②酸焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	

7 第270図 PL144	須恵器 椀	掘方 底部～口縁部下 位片	② 6.1 ④ 5.9	①細砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
8 第270図	灰釉陶器 椀	埋土 底部片	② 6.0 ④ 5.6	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。高台は貼付。	大原2号窯式期
9 第270図 PL144	須恵器 羽釜	+20、埋土 口縁部～胴部上 位片	① 18.6 罅径 22.6	①粗砂粒 ②酸火焰 ③橙色	ロクロ成形。罅は貼付。	
10 第270図 PL144	須恵器 羽釜	埋土 口縁部～胴部上 位片	① 19.0 罅径 22.4	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	内外面に輪積痕が残る。ロクロ成形。罅は貼付。	
11 第270図 PL144	須恵器 羽釜	床直 口縁部～胴部上 位片	① 22.6 罅径 24.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形。罅は貼付。	
12 第270図 PL144	須恵器 羽釜	+14 底部	② 7.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。胴 部下位は縦方向、最下位は横方向のヘラ削り。	
挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm、g)		特 徴 等	石 備 材 考
13第270図 PL144	石製品 砥石	埋土 2/3	長 (8.6) 幅 2.5～4.3 厚 2.0～2.3 重 84.0		表裏・側面に擦痕が見られる。	砥沢石

### 78号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第273図 PL145	須恵器 杯	+29 完形	① 9.6 ② 4.9 ③ 2.9	①粗砂粒 ②酸火焰 ③橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第273図 PL145	須恵器 杯	+ 8 ほぼ完形	① 10.2 ② 5.5 ③ 2.6	①粗砂粒 ②酸火焰 ③橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第273図 PL145	須恵器 杯	+ 7 ほぼ完形	① 9.4 ② 5.5 ③ 3.3	①細砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
4 第273図 PL145	須恵器 杯	カマド 3/4	① 10.0 ② 4.7 ③ 3.0	①細砂粒 ②酸火焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
5 第273図 PL145	須恵器 椀	掘方、埋土 1/3	① 9.4 ② 5.2 ③ 3.5	①粗砂粒 ②酸火焰 ③橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
6 第273図 PL145	須恵器 椀	床直、埋土 1/2	① 10.4 ② 5.5 ③ 3.4	①細砂粒 ②酸火焰 ③浅黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
7 第273図 PL145	須恵器 椀	+ 8 口縁部一部欠	① 13.2 ② 7.0 ③ 4.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③褐灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は静止糸切り。	
8 第273図 PL145	須恵器 椀	+26、埋土 口縁部一部欠	① 10.9 ②6.2④6.0 ③ 4.6	①細砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後 周囲は高台は貼付時のナデ。	
9 第273図 PL145	灰釉陶器 椀	埋土 口縁部片	① 13.8	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。施釉方法不明、釉 調は透明感のある緑灰色。	
10 第273図 PL145	灰釉陶器 椀	埋土、115住 底部	② 7.0 ④ 6.4	①微砂粒 ②還元焰焼締め ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。高 台は貼付。施釉方法は漬け掛けか、釉調は透明 感のない灰色。	大原2号窯式期
11 第273図 PL145	須恵器 鉢	+ 6、埋土、 70・71住 口縁部片	① 25.5	①細砂粒 ②酸火焰 ③橙色	ロクロ成形、回転方向不明。	
12 第274図 PL145	須恵器 羽釜	カマド 口縁部～胴部中 位片	① 19.8 罅径 24.4 胴径 22.8	①粗砂粒 ②酸火焰 ③明褐色	ロクロ成形、回転方向不明。胴部下半は縦方向 のヘラ削り。	

13 第274図 PL145	須恵器 羽釜	カマド 口縁部～胴部上 位片	① 20.8 鏝径 25.2 胴径 24.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形。鏝は貼付。	
14 第274図 PL146	須恵器 羽釜	カマド 1/2	① 21.4 ② 9.3 ③ 25.0	①粗砂粒 ②酸火焰 ③橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。鏝は貼付。胴部下位は斜め方向、最下位は横方向のヘラ削り。	
15 第274図 PL145	須恵器 羽釜	カマド 口縁部～胴部下 位片	① 22.0 鏝径 26.0 胴径 24.8	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形。鏝は貼付。胴部下位は斜め方向のヘラ削り。	

### 79号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第277図 PL146	須恵器 椀	埋土 底部～口縁部下 半片	② 8.2 ④ 9.0	①粗砂粒 ②酸火焰ぎみ ③褐灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
2 第277図 PL146	須恵器 皿	カマド 2/3	① 11.6 ② 6.8 ③ 1.2	①細砂粒 ②酸火焰 ③明赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第277図 PL146	灰釉陶器 椀	カマド、+6 1/2	① 15.6 ②7.2④7.0 ③ 6.8	①微砂粒 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。口唇部に凹線が1条巡る施釉方法は漬け掛け、釉調は透明感のある灰色。	虎溪山1号窯式 期
4 第277図 PL146	須恵器 羽釜	カマド 口縁部～胴部中 位片	① 23.2 鏝径 27.7 胴径 27.7	①粗砂粒 ②酸火焰 ③橙色	ロクロ成形。内外面に輪積痕が残る。鏝は貼付。胴部は底部への縦方向ヘラ削り。	
5 第277図 PL146	須恵器 羽釜	+8・9 胴部片		①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形。胴部下半は縦方向のヘラ削り。	

### 80号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第280図 PL146	土師器 杯	カマド、床直、 埋土 3/4	① 11.8 ② 9.0 ③ 3.4	①細砂粒 ②良好 ③にぶい黄褐色	口縁部に輪積痕が残る。口縁部は上半が横ナデ、下半がナデ、底部は不定方向のヘラ削り。	
2 第280図 PL146	土師器 杯	埋土 1/4	① 12.5 ② 9.3 ③ 3.5	①細砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	口縁部は上半が横ナデ、下半がナデ、底部は不定方向のヘラ削り。	
3 第280図 杯	土師器 杯	カマド、埋土 1/5	① 14.0 ② 9.8 ③ 3.5	①細砂粒 ②良好 ③にぶい橙色	口縁部は上半が横ナデ、下半がナデ、底部は不定方向のヘラ削り。	
4 第280図 PL147	須恵器 杯	貯蔵穴 口唇部一部欠	① 13.4 ② 7.2 ③ 3.7	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
5 第280図 PL147	須恵器 杯	カマド、埋土 口唇部一部欠	① 13.8 ② 7.7 ③ 3.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
6 第280図 PL147	須恵器 椀	埋土 口唇部一部欠	① 13.5 ② 6.5 ③ 4.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	焼成時の歪みが大きい。ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
7 第280図 PL147	須恵器 椀	床直 ほぼ完形	① 16.4 ②9.1④9.5 ③ 6.4	①細砂粒、小礫 ②還元焰軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	外面底部に墨書 「上」。
8 第280図 椀	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 14.7 ② 7.7 ③ (4.2)	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。	
9 第280図 椀	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 15.4 ② 7.8 ③ (4.8)	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。	

10 第280図 PL147	須恵器 皿	貯蔵穴 完形	① 13.6 ②8.4④8.2 ③ 3.1	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
11 第280図 PL147	土師器 甕	カマド、埋土 口縁部～胴部上 位片	① 19.0	①細砂粒 ②良好 ③明褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向 のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
12 第280図 PL147	土師器 甕	+7、埋土 口縁部～胴部上 位片	① 22.0	①細砂粒 ②良好 ③明褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向 のヘラ削り。	
13 第280図 PL147	土師器 台付甕	貯蔵穴、埋土 脚部欠	① 11.0 ② 4.6 胴径 12.4	①細砂粒 ②良好 ③にぶい橙色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上半が横方向、 下半は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	

### 81号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第282図 PL147	須恵器 椀	床直、埋土 底部～口縁部下 半片	② 7.4	①粗砂粒、褐色粒 ②還元焰 ③橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	内外面の口縁部 に墨書「上」、内 面底部刻書「上」
2 第282図 PL147	須恵器 皿	+7 口唇部一部欠	① 13.8 ②7.8④7.6 ③ 2.5	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	

### 82号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第285図	灰釉陶器 皿	埋土 底部片	② 7.0 ④ 6.2	①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。底部切り離し技法 はナデで不明。高台は貼付。施釉方法不明、釉 調は透明感のない緑灰色。	光ヶ丘1号窯式 期
2 第285図 PL147	土師器 甕	カマド 口縁部～胴部下 位片	① 18.2 胴径 22.0	①細砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上半が横方向、 下半は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
3 第285図 PL147	土師器 甕	+15・18 口縁部～胴部中 位片	① 18.8 胴径 22.0	①細砂粒 ②良好 ③にぶい褐色	頸部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、 頸部に指頭痕が残る。胴部は上半が横方向、下 半は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	

### 83号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第288図 PL148	土師器 杯	カマド 完形	① 12.2 ② 6.6 ③ 4.0	①粗砂粒、小礫 ②良好 ③赤褐色	口縁部は上位が横ナデ、中位はナデ、下位は横 方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。	
2 第288図 PL148	須恵器 椀	カマド 口唇部一部欠	① 13.3 ② 7.3 ③ 4.1	①粗砂粒、小礫 ②還元焰やや軟質 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第288図 PL148	須恵器 椀	+38、N-10 1/3	① 14.2 ② 7.0 ③ 3.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
4 第288図 PL148	須恵器 椀	+9 口縁部一部欠	① 14.6 ② 8.2 ③ 4.8	①粗砂粒 ②還元焰やや軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
5 第288図 PL148	須恵器 椀	カマド、+22 1/2	① 11.8 ②7.2④5.2 ③ 5.0	①細砂粒 ②還元焰軟質 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回りか。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
6 第288図 PL148	須恵器 椀	カマド 口縁部一部欠	① 12.2 ②7.7④6.9 ③ 5.1	①粗砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	

7 第288図 PL148	須恵器 椀	埋土 1/4	① 13.6 ②7.8④7.2 ③ 4.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
8 第288図 PL148	須恵器 椀	カマド、42・83・ 152住、M-10 1/2	① 13.7 ②7.0④6.5 ③ 5.4	①細砂粒 ②還元焰 ③浅黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
9 第288図 PL148	須恵器 椀	カマド 3/4	① 13.7 ②6.7④6.3 ③ 4.7	①細砂粒 ②酸焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
10 第288図 PL148	須恵器 椀	カマド、埋土 ほぼ完形	① 13.8 ②6.3④6.3 ③ 5.1	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
11 第288図 PL148	須恵器 椀	カマド 口縁部一部欠	① 14.2 ②6.6④5.6 ③ 5.2	①細砂粒 ②還元焰やや軟質 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
12 第288図 PL148	須恵器 椀	床直 1/5	① 17.8 ② 8.8 ③ (6.0)	①細砂粒 ②還元焰燼 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不 明。高台は貼付であるが剥落。	
13 第289図 PL148	土師器 甕	カマド 胴部一部欠	① 18.8 ② 3.4 ③ 26.8	①細砂粒 ②良好 ③橙色	内面胴部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナ デ、頸部に指頭痕が残る。胴部は上半が横方向、 下半は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
14 第289図 PL149	土師器 甕	カマド 口縁部～胴部中 位片	① 18.0 胴径 21.4	①細砂粒 ②良好 ③明赤褐色	頸部に輪積痕が残り上下に凹線が2条巡る。口 縁部から頸部は横ナデ、胴部は上半が横方向・ 縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
15 第289図 PL149	土師器 甕	床直、+22 口縁部～胴部中 位片	① 18.2 胴径 21.2	①細砂粒 ②良好 ③明赤褐色	頸部に輪積痕が残る。口縁部は横ナデ、頸部は ナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴 部はヘラナデ。	
16 第289図 PL149	土師器 甕	+22・26・27 口縁部～胴部上 位片	① 18.6	①粗砂粒 ②良好 ③橙色	口唇部・頸部に輪積痕が残る。口縁部から頸部 は横ナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内 面胴部はヘラナデ。	
17 第289図 PL149	土師器 甕	カマド 底部～胴部上 位片	② 4.0 胴径 20.2	①細砂粒 ②良好 ③橙色	胴部は上半が横方向、下半は縦方向、底部付近 は斜め方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ 削り。内面胴部はヘラナデ。	
18 第289図 PL149	須恵器 甕	カマド、床直、+ 17～26、M・N -10 1/5	② 17.0 頸径 15.4 ③(25.0～)	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。輪積痕が残る。胴部 は上位に回転ヘラ削り、底部付近は横方向のヘ ラ削り。内面底部付近は強いナデ。	
挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm、g)	特 徴 等	石 備 材 備 考	
19第289図 PL149	石製品 砥石	床直 完形	長 10.6 幅 1.5～2.8 厚 2.2～3.0 重 104.0	表裏・側面に擦痕が見られる。		
20第289図 PL149	石器 敲き石	+20 完形	長 14.3 幅 6.2 厚 5.6 重 820.0	両端部に敲打痕がみられ、側面中ほどは表面が 剥落している。		

## 84号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第292図 PL149	土師器 杯	床直 1/3	① 12.2 ② 8.7 ③ 3.7	①細砂粒 ②良好 ③明褐色	口縁部は上半が横ナデ、下半が横方向のヘラ削 り。底部は不定方向のヘラ削り。	
2 第292図	土師器 杯	埋土 口縁部片	① 13.2 ② 10.0	①細砂粒 ②良好 ③褐色	口縁部は上半が横ナデ、下半がナデ、底部は不 定方向のヘラ削り。	
3 第292図 PL149	須恵器 杯	+11 完形	① 12.8 ② 6.8 ③ 3.7	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
4 第293図 PL150	須恵器 杯	+6、埋土 口縁部一部欠	① 13.4 ② 7.6 ③ 3.5	①粗砂粒、褐色粒 ②還元焰 ③灰白色	焼成時の歪みが見られる。ロクロ成形、回転右 回り。底部は回転糸切り。	
5 第293図 PL150	須恵器 杯	+7、埋土、 68住 1/4	① 13.8 ② 7.6 ③ 3.3	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	

6 第293図 PL150	須恵器 椀	+6・7、埋土 3/4	① 13.8 ② 5.8 ③ 4.0	①粗砂粒、褐色粒 ②酸火焰ぎみ ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
7 第293図 PL150	須恵器 椀	+6 口縁部一部欠	① 13.6 ② 7.0 ③ 4.1	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
8 第293図 PL150	須恵器 椀	床直、+6、 埋土 3/4	① 14.8 ② 7.2 ③ 5.4	①粗砂粒、褐色粒 ②酸火焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
9 第293図 PL150	須恵器 椀	床直、埋土 1/4	① 14.2 ②6.9④6.8 ③ 5.8	①粗砂粒 ②還元焰燻 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
10 第293図 PL150	須恵器 椀	+6、埋土 ほぼ完形	① 14.4 ②8.1④7.7 ③ 5.1	①粗砂粒、小礫 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
11 第293図 PL150	須恵器 椀	床直 1/2	① 14.7 ②7.2④6.5 ③ 5.5	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
12 第293図 PL150	須恵器 椀	埋土 1/4	① 15.6 ②7.9④7.1 ③ 5.1	①細砂粒 ②還元焰やや軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
13 第293図 PL150	須恵器 椀	床直、68住 口縁部上半欠	② 7.8 ④ 7.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
14 第293図 PL150	土師器 甕	+6・13、埋土頸 部～胴部下位片	頸径 16.6 胴径 20.0	①粗砂粒 ②良好 ③橙色	内面胴部に輪積痕が残る。頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向、中位～下位は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
15 第293図 PL150	土師器 甕	+6、埋土 胴部上半片	頸径 19.4 胴径 22.4	①粗砂粒 ②良好 ③明赤褐色	頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向、中位は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
16 第293図 PL150	土師器 甕	埋土 底部～胴部下位 片	② 5.4	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	胴部下位は縦方向のヘラ削り。底部は一定方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
17 第294図 PL150	須恵器 甕	床直、埋土、 68住、H-15 口縁部～胴片	① 16.0 頸径 12.8 胴径 22.4	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。	
挿図番号 図版番号	種 類 種 類	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm、g)	特 徴 等	石 備 材 考	
18第294図 PL150	石製品 凹石	+18 周囲欠損	長 11.4 幅 8.3 厚 4.3 孔 7.5×5.5×2.7 重 120.0	周囲は打ち欠いている。凹は回転による擦痕が見られる。	榛名二ツ岳軽石	

### 85号住居

挿図番号 図版番号	種 類 種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第297図 PL151	須恵器 杯	床直 完形	① 12.8 ② 7.2 ③ 3.9	①細砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	焼成時の歪みが大きい。ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第297図 PL151	須恵器 杯	+13 底部	② 7.4	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第297図 PL151	須恵器 椀	+11 底部	② 7.9 ④ 8.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
4 第297図 PL151	土師器 甕	カマド、埋土 口縁部～胴部上 位片	① 21.6 胴径 24.0	①細砂粒 ②良好 ③橙色	頸部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向、中位は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
5 第297図 PL151	土師器 台付甕	カマド 胴部下位片	② 5.2	①細砂粒 ②良好 ③にぶい橙色	胴部は縦方向のヘラ削り。脚部との接合部は横ナデ。内面胴部はヘラナデ。	

## 86号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第300図	黒色土器 椀	+9、埋土 口縁部片	① 14.0	①細砂粒 ②酸火焰 ③黒褐色	内外面黒色処理。ロクロ成形、回転方向不明。 内面は横方向のヘラ磨き。	
2 第300図	黒色土器 椀	埋土、116住 口縁部片	① 14.6	①細砂粒 ②酸火焰 ③にぶい橙色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転方向不明。口 唇部の一部と内面は横方向のヘラ磨き。	
3 第300図	黒色土器 椀	+6、117住 底部	② 7.8	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい褐色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転右回り。底部 は回転糸切り後ナデ。口縁部は横方向のヘラ磨 き。内面はヘラ磨き。	
4 第300図 PL151	黒色土器 椀	+16 底部	② 7.2 ④ 7.6	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄褐色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転右回り。底部 切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。内面 はヘラ磨き。	
5 第300図 PL151	須恵器 椀	+6、埋土 1/2	① 10.8 ② 5.7 ③ (3.3)	①粗砂粒 ②酸火焰 ③橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付であるが剥落。	
6 第300図 PL151	須恵器 椀	埋土 1/4	① 15.8 ② 7.4 ③ (5.6)	①粗砂粒、褐色粒 ②酸火焰 ③明黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
7 第300図	須恵器 椀	+8 底部	② 5.8 ④ 7.2	①細砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ナデで不明。高台は貼付。	
8 第300図 PL151	灰釉陶器 椀	埋土 口縁部片	① 15.0	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。口縁部下位は回転 ヘラ削り。施釉方法は漬け掛けか、釉調はやや 緑色をおびた灰色。	虎溪山1号窯式 期
9 第300図 PL151	灰釉陶器 椀	カマド 底部片	② 7.0 ④ 6.3	①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ナデで不明。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け、 釉調は透明感のない灰色。	大原2号窯式期
10 第300図 PL151	灰釉陶器 椀	埋土 底部片	② 8.0 ④ 8.0	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ナデで不明。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け、 釉調は透明感のある灰色。	大原2号窯式期 ～虎溪山1号窯 式期
11 第300図 PL151	灰釉陶器 皿	埋土 底部片	② 6.9 ④ 6.5	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ナデで不明。高台は貼付。施釉方法不明、釉調 は透明感のない灰色。	虎溪山1号窯式 期
12 第300図 PL151	須恵器 長頸壺	+7 胴部下位片	② 12.2 ④ 12.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。底部切り離し技法 はナデで不明。高台は貼付。胴部下位は回転ヘ ラ削り。	
13 第300図	須恵器 羽釜	+7、116住 口縁部～胴部上 位片	① 19.8 鏝径 23.1	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形。鏝は貼付。内外面胴部に輪積痕が 残る。	
14 第300図 PL151	須恵器 羽釜	+6・8 口縁部～胴部上 位片	① 19.8 鏝径 24.0	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形。鏝は貼付。口唇部は横ナデ。内面 に輪積痕が残る。	
15 第300図 PL151	須恵器 羽釜	+8 口縁部～胴部上 位片	① 21.6 鏝径 26.8	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形。鏝は貼付。口縁部に輪積痕が残る。	
16 第300図	須恵器 羽釜	埋土 口縁部～胴部上 位片	① 25.4 鏝径 28.6	①細砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形。鏝は貼付。内面はヘラナデ。	
17 第300図 PL151	須恵器 甕	埋土 口縁部片		①粗砂粒 ②還元焰 ③黒褐色	口縁部はロクロ成形。口唇部下に凸帯が1条巡 る。凸帯は貼付。口縁部上位は凹線により区画 され波状文が施されている。	
挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm、g)		特 徴 等	備 考
18 第300図 PL151	鉄器 鎌	+18 歯・茎一部欠	長 (8.1) 幅 (3.8) 厚さ 0.4 茎 0.4		雁又式小型	
19 PL151	銅製品 不明	埋土 一部片	長 (3.0) 幅 (2.0) 厚 0.2			

87号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第303図 PL152	黒色土器 椀	+14 底部片	② 7.6	①粗砂粒 ②酸火焰 ③黒褐色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転右回りか。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付であるが剥落。内面はヘラ磨き。	
2 第304図 PL152	須恵器 椀	カマド 2/3	① 10.4 ② 5.0 ③ 3.3	①粗砂粒 ②酸火焰 ③橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第303図 PL152	灰釉陶器 椀	埋土 口縁部片	① 15.8	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。口縁部下位は回転ヘラ削り。施釉方法不明、釉調はやや緑色をおびた灰色。	大原2号窯式期
4 第303図 PL152	灰釉陶器 椀	埋土 口縁部片	① 16.8	①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。施釉方法不明、釉調は透明感のある灰色。	大原2号窯式期
5 第304図 PL152	灰釉陶器 椀	埋土 口縁部片	① 17.8	①微砂粒 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。口縁部下半は回転ヘラ削り。施釉方法不明、釉調は透明感のない灰色	大原2号窯式期
6 第304図 PL152	須恵器 羽釜	カマド 口縁部～胴部上位片	① 18.0 鏝径 21.2	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形。鏝は貼付。	
7 第304図 PL152	須恵器 羽釜	カマド 口縁部～胴部上位片	① 20.0 鏝径 23.6	①粗砂粒 ②酸火焰 ③橙色	ロクロ成形。鏝は貼付。	
8 第304図 PL152	須恵器 羽釜	カマド 底部～胴部下位片	② 6.4	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形、回転右回りか。胴部は縦方向のヘラ削り、底部もヘラ削り。	

88号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第307図 PL152	須恵器 椀	カマド、床直 4/5	① 13.4 ② 6.2 ③ 5.3	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第307図 PL152	須恵器 椀	カマド 1/4	① 14.8 ②9.1④7.7 ③ 5.5	①細砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
3 第307図 PL152	須恵器 椀	埋土 1/3	① 17.0 ②7.7④7.2 ③ 5.3	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
4 第307図	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 13.8 ② 7.0 ③ (4.6)	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不明。高台は貼付であるが剥落。	
5 第307図 PL152	灰釉陶器 椀	埋土 1/3	① 14.4 ②6.9④6.3 ③ 3.7	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。高台は貼付。施釉方法は刷毛塗り、釉調は透明感のない灰色。	光ヶ丘1号窯式期

89号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第310図 PL152	土師器 杯	+10 完形	① 11.8 ② 7.2 ③ 3.7	①細砂粒 ②良好 ③にぶい橙色	口縁部は上半が横ナデ、下半が横方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。	外面口縁部に墨書、「宅」か。
2 第310図 PL152	須恵器 椀	床直、L-16 口縁部一部欠	① 14.2 ②9.0④8.1 ③ 5.3	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
3 第310図	須恵器 椀	床直、L-16 口縁部小片		①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。	内外面口縁部に墨書、文字判読不能。

4 第310図 PL153	土師器 甕	カマド、床直、 +8、L-16 胴部片	頸径 19.6 胴径 22.7	①細砂粒 ②良好 ③橙色	頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向、中位は斜め方向、下位は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
5 第310図 PL153	須恵器 椀	+7 口縁部片	① 11.7 ② 4.6 ③ (3.4)	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不明。高台は貼付であるが剥落。	混入品
6 第310図 PL153	須恵器 椀	床直 口縁部片	① 12.8	①粗砂粒 ②酸火焰 ③橙色	ロクロ成形、回転右回りか。	混入品

### 90号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第313図 PL153	須恵器 椀	埋土 1/4	① 14.7 ②6.8④6.7 ③ 5.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不明。高台は貼付。	
2 第313図	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 13.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。	
3 第313図 PL153	須恵器 椀	埋土 底部	② 6.9 ④ 6.5	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
4 第313図	土師器 甕	埋土 口縁部片	① 16.0	①細砂粒 ②やや軟質 ③橙色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部上位は横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	

### 91号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第316図 PL153	土師器 杯	埋土 1/4	① 11.6 ② 5.6 ③ 4.0	①細砂粒 ②良好 ③にぶい褐色	口縁部に輪積痕が残る。口縁部は上半が横ナデ、下半がナデ、底部は砂底が残る。	
2 第316図 PL153	土師器 杯	床直 ほぼ完形	① 11.2 ② 5.2 ③ 3.7	①細砂粒 ②良好 ③明赤褐色	口唇部は横ナデ、口縁部は上半がナデ、下半が横方向のヘラ削り、底部は不定方向のヘラ削り、中央部に離れ砂が残る。	
3 第316図 PL153	土師器 杯	床直、+9 1/2	① 11.8 ② 5.9 ③ 3.3	①細砂粒 ②良好 ③にぶい橙色	口唇部は横ナデ、口縁部は上半がナデ、下半が横方向のヘラ削り、底部は不定方向のヘラ削り。中央部に離れ砂が残る。	
4 第316図 PL153	土師器 杯	床直、埋土 ほぼ完形	① 11.4 ② 7.0 ③ 3.6	①細砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	口唇部は横ナデ、口縁部は上半が横ナデ、下半が横方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。中央部に離れ砂が残る。	
5 第317図 PL153	須恵器 椀	埋土 1/2	① 13.7 ②7.4④6.5 ③ 5.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
6 第317図 PL153	灰釉陶器 椀	床直 口縁部一部欠	① 15.2 ②7.8④7.2 ③ 5.2	①微砂粒 ②還元焰焼締め ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。高台は貼付。施釉方法は刷毛塗り、釉調は透明感のない灰色。	光ヶ丘1号窯式期
7 第317図 PL153	灰釉陶器 椀	埋土 底部	② 8.2 ④ 7.4	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。高台は貼付。施釉方法は刷毛塗り、で底部にも一刷毛施釉、釉調は透明感のない灰色	光ヶ丘1号窯式期(古)
8 第317図 PL154	土師器 甕	+9・16、埋土、 71住 口縁部～胴片	① 19.8 胴径 21.6	①粗砂粒 ②良好 ③赤褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向、中位～下位は縦方向のヘラ削り。内面胴部は上位がハケ目、中位以下がヘラナデ。	
9 第317図 PL154	須恵器 羽釜	+14・17・21、 埋土、71住 口縁部～胴片	① 18.3 鑄径 22.8 胴径 23.6	①粗砂粒 ②酸火焰ぎみ ③にぶい橙色	ロクロ成形、回転右回り。鑄下に輪積痕が残る。鑄は貼付。胴部下位は底部への縦方向ヘラ削り。	
10 第317図 PL154	須恵器 甕	床直、+8、埋土 底部～胴部下半 片	② 19.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	胴部は僅かに平行叩き痕が残る、底部付近は横方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削りか。内面はヘラナデ。	

## 92号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第319図	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 14.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。	
2 第319図 PL154	土師器 甕	床直、+5、埋土 口縁部～胴部中 位片	① 19.8 頸径 18.8 胴径 21.6	①細砂粒 ②良好 ③橙色	頸部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向、中位は斜め方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	

## 93号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第322図 PL154	土師器 甕	カマド、110住口 縁部～胴部上位 片	① 19.8	①粗砂粒 ②良好 ③褐色	口縁部から頸部は横ナデであるが口縁部下半にはヘラ削りが及んでいる。胴部上位は横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
2 第322図 PL154	土師器 甕	カマド、110住口 縁部～胴部上位 片	① 21.2	①粗砂粒 ②良好 ③赤褐色	内外面に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向、中位は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	

## 94号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第325図 PL154	須恵器 杯	+7 完形	① 9.6 ② 3.8 ③ 2.1	①細砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第325図	須恵器 杯	埋土 1/5	① 9.4 ② 4.0 ③ 2.9	①細砂粒 ②酸火焰軟質 ③にぶい橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第325図 PL154	須恵器 杯	床直 完形	① 10.1 ② 4.6 ③ 3.2	①細砂粒 ②酸火焰 ③浅黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	口唇部と底部に煤付着。
4 第325図 PL154	須恵器 椀	床直 口縁部一部欠	① 14.2 ② 7.2 ③ (4.5)	①粗砂粒、褐色粒 ②酸火焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付で端部を打ち欠いている。	
5 第325図 PL154	灰釉陶器 椀	+10 口縁部一部欠	① 14.6 ②6.5④6.3 ③ 5.9	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。内面底部にトチン痕。底部は回転糸切り。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け、釉調はやや緑色をおびた灰色。	丸石2号窯式期
6 第325図	灰釉陶器 椀	埋土 底部片	② 8.6 ④ 8.0	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切りか。高台は貼付。施釉方法不明、釉調は透明感のない灰色。	
7 第325図	土師器 甕	埋土 胴部下位片	② 5.0	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい橙色	胴部は斜め方向へのヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
8 第325図 PL154	須恵器 羽釜	埋土 胴部下位片	② 10.0	①粗砂粒 ②酸火焰 ③灰黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。胴部は縦方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。	
9 第325図 PL154	須恵器 羽釜	床直 胴部下位片	② 13.0	①粗砂粒 ②酸火焰 ③灰黄褐色	ロクロ成形、回転方向不明。残存部分の胴部は横方向と縦方向のヘラ削りが見られる。	

## 95号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第328図 PL155	黒色土器 椀	カマド 1/2	① 14.0 ②8.0④7.6 ③ 5.9	①粗砂粒 ②酸火焰 ③赤褐色	本来は内面黒色処理か。ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。高台は貼付。内面は口縁部横方向、底部は放射状ヘラ磨き。	

2 第328図 PL155	須恵器 椀	埋土 1/4	① 11.8 ② 5.0 ③ 3.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第328図 PL155	須恵器 椀	埋土 底部～口縁部下 半片	② 6.4	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
4 第328図 PL155	須恵器 椀	カマド 1/4	① 12.8 ②6.2④6.2 ③ 4.5	①細砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
5 第328図 PL155	須恵器 椀	埋土 1/2	① 12.8 ②6.6④6.4 ③ 4.9	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
6 第328図 PL155	須恵器 椀	床直 口唇部一部欠	① 13.8 ②7.0④6.3 ③ 5.3	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
7 第328図 PL155	須恵器 椀	埋土、91住 1/3	① 13.8 ②6.4④6.0 ③ 5.5	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
8 第328図 PL155	須恵器 椀	床直 1/2	① 14.4 ②6.3④5.3 ③ 4.7	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
9 第329図 PL155	須恵器 椀	カマド 1/3	① 14.8 ②7.8④8.0 ③ 6.7	①細砂粒 ②酸火焰ぎみ ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
10 第329図 PL155	灰釉陶器 椀	床直 3/4	① 13.6 ②6.8④6.2 ③ 5.0	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ヘラナデで不明。高台は貼付。施釉方法は刷毛 塗り、釉調は透明感のない灰色。	光ヶ丘1号窯式 期
11 第329図 PL155	灰釉陶器 長頸壺	埋土 口縁部小片	① 11.4	①夾雑物なし ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。施釉方法不明、釉 調は透明感のある緑色をおびた灰色。	
12 第329図 PL156	須恵器 長頸壺	床直 口縁部・高台 欠	② 10.0 ③ (21.8) 胴径 16.3	①細砂粒 ②還元焰燻 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ナデで不明。高台は貼付であるが欠落。胴部下 位は横方向のヘラ削り。頸部と胴部は二段接合。	
13 第329図 PL155	須恵器 甌	カマド 底部片	② 23.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③橙色	ロクロ成形、回転方向不明。	
14 第329図 PL156	土師器 甕	床直 口縁部～胴部上 位片	① 16.8	①細砂粒 ②良好 ③褐色	頸部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、 胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はハ ケ目。	
15 第329図 PL156	土師器 甕	床直 口縁部～胴部上 位片	① 18.0	①細砂粒 ②良好 ③橙色	頸部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、 胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘ ラナデ。	
16 第329図 PL156	土師器 甕	カマド 口縁部～胴部中 位片	① 19.6 胴径 22.0	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転方向不明。	
17 第329図 PL156	須恵器 羽釜	カマド 1/2	① 20.4 ② 6.0 ③ 25.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。鏝は貼付。胴部は下 半が底部から上位へ向けての斜め方向のヘラ削 り。底部は不定方向のヘラ削り。	
18 第329図 PL155	須恵器 羽釜	カマド 口縁部～胴部上 位片	① 19.8 鏝径 23.4	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい赤橙色	ロクロ成形。鏝は貼付。胴部の上位に一部ヘラ ナデ。	
19 第329図 PL155	須恵器 羽釜	カマド 口縁部～胴部上 半片	① 20.0 鏝径 24.0	①粗砂粒 ②酸火焰 ③褐色	ロクロ成形。鏝は貼付。	
20 第329図	須恵器 羽釜	カマド 胴部片	胴径 27.6	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい赤褐色	ロクロ成形。胴部下半は下位から上位へ向けて の縦方向のヘラ削り。	

96号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第331図	黒色土器 椀	埋土 口縁部片	① 15.0	①細砂粒 ②酸火焰 ③灰褐色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転方向不明。内面は横方向のヘラ磨き後斜格子状ヘラ磨き。	
2 第331図	須恵器 椀	埋土 底部下半片	② 6.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。底部は回転糸切り。	
3 第331図	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 11.2 ② 7.0 ③ (3.9)	①細砂粒 ②還元焰燻 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。	
4 第331図	須恵器 椀	埋土 底部片	② 7.3 ④ 6.9	①粗砂粒 ②酸火焰 ③灰黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
5 第331図	灰釉陶器 椀	埋土 底部片	② 7.0 ④ 6.6	①微砂粒 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。高台端部と内面見込み部に重焼き痕。施釉方法不明、釉調はやや緑色をおびた灰色。	大原2号窯式期
6 第331図	灰釉陶器 皿	埋土 底部片	② 6.8 ④ 6.0	①微砂粒 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形。高台は貼付。施釉方法不明、釉調は透明感のない黒みがかった灰色。	大原2号窯式期
7 第331図 PL156	須恵器 羽釜	埋土、78住 口縁部～胴部上 位片	① 20.4 罅径 24.6	①粗砂粒 ②酸火焰 ③浅黄色	ロクロ成形。罅は貼付。	

97号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第334図 PL156	須恵器 椀	カマド 口縁部一部欠	① 13.0 ②6.0④5.2 ③ 5.0	①細砂粒 ②酸火焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
2 第334図 PL156	須恵器 椀	+11・13 口縁部一部・ 高台欠	① 14.4 ② 6.8 ③ (4.9)	①粗砂粒 ②酸火焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付であるが剥落、剥落後高台貼付箇所を擦り磨き使用か。	
3 第334図 PL156	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 14.8	①細砂粒 ②酸火焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形、回転右回りか。	
4 第334図 PL156	須恵器 椀	カマド 底部片	② 7.3 ④ 7.0	①粗砂粒、小礫 ②酸火焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不明。高台は貼付。	
5 第334図 PL156	灰釉陶器 椀	+17 1/3	① 16.0 ②8.0④7.8 ③ 6.4	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部はナデ。口縁部下位は回転ヘラ削り。内面口唇部に凹線が1条巡る。施釉方法は漬け掛け、釉調は透明感のない灰色。	虎浜山1号窯式期
6 第334図 PL157	土師器 甕	カマド 1/4	① 21.8 ② 2.8 ③ 24.3	①粗砂粒 ②良好 ③明赤褐色	頸部・胴部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデであるが頸部にヘラ削りが及ぶ。胴部は上位が横方向、中位・下位は斜め方向のヘラ削り。	
7 第334図 PL157	土師器 甕	カマド 口縁部～胴部中 位片	① 13.8 胴径 17.0	①粗砂粒 ②良好 ③明赤褐色	頸部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
8 第335図 PL157	土師器 甕	カマド 口縁部～胴部中 位片	① 17.8 胴径 19.8	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい橙色	頸部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向、中位は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
9 第335図 PL157	土師器 甕	カマド 口縁部～胴部上 位片	① 19.8	①粗砂粒 ②良好 ③明赤褐色	頸部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
10 第335図 PL157	須恵器 甕	カマド、埋土 口縁部～胴部上 位片		①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。	
挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm、g)		特 徴 等	備 考
11第335図 PL157	鉄器 釘	埋土 先端部欠	長 (6.0) 厚 0.4~0.6 頭部 1.6×0.7		頭部折り曲げ。	

12第335図 PL157	鉄器 釘	埋土 先端部欠	長 (5.3) 厚 0.7~0.8	頭部折り曲げ、頭部先端欠。使用していたためか全体的に湾曲している。	
13第335図 PL157	鉄器 釘	埋土 先端部から1/2	長 (4.8) 厚0.3~0.5		

### 98号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第338図 PL157	須恵器 椀	埋土 小片	① 12.4 ② 7.0 ③ (4.1)	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付であるが剥落。	
2 第338図 PL157	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 12.0 ② 6.8 ③ (3.7)	①粗砂粒、褐色粒 ②酸火焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形、回転右回りか。高台は貼付。	
3 第338図 PL157	須恵器 椀	+15 口縁部片	① 14.0	①細砂粒 ②還元焰軟質 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。	
4 第338図 PL157	須恵器 椀	埋土 底部	② 7.2 ④ 6.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り、周囲はナデ。高台は貼付。	
5 第338図	灰釉陶器 椀	埋土 口縁部小片	① 11.8	①微砂粒 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形。施釉方法不明、釉調は透明感のない灰色。	大原2号窯式期
6 第338図	灰釉陶器 椀	埋土 底部片	② 7.9 ④ 7.2	①微砂粒 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形。高台は貼付。施釉方法不明、釉調は透明感のない緑灰色。	
7 第338図 PL157	須恵器 瓶	埋土 胴部片	頸径 7.6	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転方向不明。胴部中位は横方向のヘラ削り。	
8 第338図 PL157	須恵器 羽釜	カマド 口縁部~胴部中 位片	① 19.2 鏝径 24.0 胴径 24.0	①粗砂粒 ②酸火焰 ③明褐色	ロクロ成形、回転右回りか。鏝は貼付。内外面に輪積痕が残る。	
9 第338図 PL157	須恵器 羽釜	カマド 口縁部~胴部中 位片	① 19.2 鏝径 22.8 胴径 21.4	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形、回転右回りか。鏝は貼付。内面に輪積痕が残る、中位は横方向のハケ目。	
10 第338図 PL157	須恵器 羽釜	埋土 口縁部~胴部中 位片	① 20.0 鏝径 24.5 胴径 23.0	①粗砂粒 ②酸火焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回りか。鏝は貼付。	
11 第338図	須恵器 羽釜	カマド 底部~胴部下位 片	② 8.0	①粗砂粒 ②酸火焰 ③橙色	ロクロ成形。胴部は縦方向のヘラ削り、底部はヘラ削りか。	

### 99号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第342図 PL158	須恵器 椀	カマド 3/4	① 11.5 ② 5.8 ③ 3.8	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第342図 PL158	須恵器 椀	+10、埋土 1/3	① 13.2 ②6.7④6.5 ③ 5.3	①細砂粒 ②還元焰燼 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
3 第342図 PL158	須恵器 椀	+ 8、埋土 1/3	① 12.7 ②6.9④6.0 ③ 4.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切りか。高台は貼付。	外面口縁部に墨書、「犬」。
4 第342図 PL158	須恵器 椀	+20、埋土 1/2	① 13.2 ②6.7④6.0 ③ 5.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
5 第342図 PL158	須恵器 椀	+ 7、埋土 3/4	① 13.2 ②7.2④6.3 ③ 5.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	

6 第342図 PL158	須恵器 椀	床直、埋土 1/2	① 13.4 ② 7.2 ③ (4.3)	①粗砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付であるが剥落。	
7 第342図 PL158	須恵器 椀	床直 底部	② 5.9 ④ 5.5	①粗砂粒 ②酸焰 ③明赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
8 第342図 PL158	灰釉陶器 椀	埋土、111住 底部	② 8.4 ④ 7.6	①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ヘラナデで不明。高台は貼付。施釉方法不明、 釉調は透明感のない緑灰色。	光ヶ丘1号窯式 期～大原2号窯 式期
9 第343図 PL158	土師器 甕	埋土、98住、 N-13 口縁部～胴片	① 19.6	①粗砂粒 ②やや軟質 ③にぶい赤褐色	頸部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、 胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘ ラナデとハケ目。	
10 第343図	土師器 甕	埋土 底部付近	② 5.0	①細砂粒 ②良好 ③暗褐色	胴部は縦方向のヘラ削り。底部もヘラ削り。内 面はヘラナデ。	
11 第343図 PL158	須恵器 羽釜	+7 口縁部～胴部上 位片	① 20.0 鏝径 25.2 胴径 26.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③黒褐色	ロクロ成形。鏝は貼付。	
12 第343図 PL158	須恵器 羽釜	カマド 口縁部～胴部上 位片	① 24.6 鏝径 28.6	①粗砂粒 ②酸焰 ③明赤褐色	ロクロ成形。鏝は貼付。	
挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm、g)		特 徴 等	備 考
13第343図 PL158	鉄器 鏝	床直 柄部分片	長 (8.6) 幅 0.9 厚 0.7			

### 100号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第346図 PL159	土師器 杯	埋土 1/6	① 10.4 ② 4.0 ③ 3.1	①細砂粒 ②良好 ③にぶい橙色	口唇部は横ナデ、口縁部は上半がナデ、下半が 横方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。	
2 第346図 PL159	須恵器 椀	埋土 1/5	① 13.0 ②6.6④6.0 ③ 4.3	①細砂粒 ②酸焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不 明。高台は貼付。	
3 第346図 PL159	須恵器 椀	床直 底部	② 8.0 ④ 9.0	①細砂粒 ②酸焰 ③橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ナデで不明。高台は貼付。	
4 第346図 PL159	灰釉陶器 椀	埋土 底部片	② 6.4 ④ 5.7	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ナデで不明。高台は貼付。施釉方法不明。	光ヶ丘1号窯式 期～大原2号窯 式期
5 第346図	灰釉陶器 椀	埋土 底部片	② 7.0 ④ 6.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ナデで不明。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け、 釉調は透明感のない灰色。	大原2号窯式期
6 第346図 PL159	須恵器 杯	埋土 1/4	① 12.4 ② 6.8 ③ 3.3	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	混入品
7 第346図	土師器 甕	埋土 口縁部片	① 17.8	①細砂粒 ②良好 ③橙色	頸部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、 胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘ ラナデ。	混入品

### 101号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第349図 PL159	土師器 杯	埋土 1/2	① 12.4 ② 5.2 ③ 4.1	①細砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	口縁部は上位が横ナデ、中位はナデ、下位は横 方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。	
2 第349図 PL159	須恵器 杯	+12 1/2	① 10.0 ② 5.6 ③ 3.6	①粗砂粒 ②酸焰 ③橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	

3 第349図 PL159	須恵器 椀	カマド、床直、+10 1/2	① 13.0 ② 6.4 ③ 3.9	①細砂粒 ②酸火焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
4 第349図 PL159	須恵器 椀	埋土 1/3	① 12.4 ②6.0④5.0 ③ 4.5	①粗砂粒、褐色粒 ②酸火焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
5 第349図 PL159	須恵器 椀	埋土 1/5	① 12.6 ②6.8④5.8 ③ 5.1	①粗砂粒 ②還火焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不明。高台は貼付。	
6 第349図 PL159	須恵器 椀	床直 口唇部一部欠	① 13.8 ②7.2④6.0 ③ 5.7	①粗砂粒 ②還火焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
7 第349図 PL159	須恵器 椀	埋土 1/4	① 14.4 ②7.2④6.2 ③ 5.0	①細砂粒 ②還火焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
8 第349図 PL159	須恵器 椀	+12 1/2	① 14.2 ②7.0④5.6 ③ 4.9	①粗砂粒 ②還火焰燻 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
9 第349図 PL159	須恵器 椀	埋土 1/4	① 14.0 ②8.4④7.2 ③ 4.7	①粗砂粒 ②還火焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不明。高台は貼付。	
10 第349図 PL160	須恵器 椀	埋土 1/4	① 15.5 ②9.0④8.4 ③ 4.5	①粗砂粒 ②酸火焰 ③浅黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不明。高台は貼付。	
11 第350図 PL160	土師器 甕	カマド、+10、埋土、口縁部～胴部下位片	① 19.8 頸径 18.8 胴径 23.8	①粗砂粒 ②良好 ③明赤褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向、中位～下位は斜め方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
12 第349図	土師器 甕	+20 口縁部～胴部上位片同	① 17.8 頸径 18.0 胴径 21.2	①粗砂粒 ②良好 ③明赤褐色	頸部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
13 第350図 PL160	土師器 甕	カマド、埋土 口縁部～胴部上位片	① 18.0 頸径 18.5	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	頸部に輪積痕が残る。口縁部は横ナデ、頸部はナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
14 第350図 PL160	土師器 甕	埋土 口縁部～胴部中位片同	① 18.4 頸径 18.2 型径 22.0	①粗砂粒、褐色粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	頸部に輪積痕が残る。口縁部は横ナデ、頸部はナデ、胴部は上位が横方向、中位は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
15 第350図 PL160	土師器 甕	床直、埋土 口縁部～胴部中位片	① 19.0 頸径 17.8 胴径 21.0	①粗砂粒 ②良好 ③明赤褐色	頸部に輪積痕が残る。口縁部は横ナデ、頸部はナデ、胴部は上位が横方向、中位は斜め方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
16 第350図 PL160	土師器 甕	+18、埋土 底部～胴部中位片	② 5.8	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい橙色	胴部下位は縦方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ、底部はハケ目。	
17 第350図 PL160	土師器 甕	床直 底部～胴部下位片	② 6.3	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい橙色	胴部は縦方向のヘラ削り、底部は離れ砂が残る。内面胴部・底部はヘラナデ。	

## 102号住居

挿図番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第353図	土師器 杯	埋土 1/5	① 11.0 ② 6.0 ③ 3.1	①胎土 ②良好 ③にぶい褐色	口縁部に輪積痕が残る。口唇部は横ナデ、口縁部は上半がナデ、下半が横方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。	
2 第353図 PL160	須恵器 椀	カマド 1/6	① 12.0 ② 6.4 ③ (4.2)	①細砂粒 ②還火焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付であるが剥落。	
3 第354図	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 13.6 ② 6.6 ③ (5.2)	①粗砂粒 ②還火焰燻 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回りか。	
4 第354図 PL160	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 15.6 ② 9.8 ③ (5.7)	①粗砂粒 ②還火焰 ③浅黄色	ロクロ成形、回転右回りか。	

5 第354図 PL160	須恵器 椀	埋土 底部片	② 9.4 ④ 7.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
6 第354図 PL160	灰釉陶器 椀	埋土 底部～口縁部下 半	② 8.0 ④ 7.4	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ヘラナデで不明。高台は貼付。口縁部下位は回 転ヘラ削り。施釉方法は刷毛塗りで底部も一部 施釉。	光ヶ丘1号窯式 期
7 第354図 PL160	須恵器 長頸壺	埋土、67住 口縁部位片	① 12.6	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。	
8 第354図 PL161	土師器 甕	埋土 口縁部～胴部片	① 13.9 胴径 15.2	①細砂粒 ②良好 ③にぶい褐色	口縁部に輪積痕が残る。口縁部は横ナデ、頸部 はナデ、胴部は横方向のヘラ削り。内面胴部は ヘラナデ。	
9 第354図 PL161	土師器 甕	カマド、67住、 C-16 口縁部～胴片	① 19.8	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	頸部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、 胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘ ラナデ。	
10 第354図 PL161	土師器 甕	埋土 口縁部～胴部上 位片	① 18.2	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向 のヘラ削り。内面胴部はハケ目とヘラナデ。	
11 第354図 PL161	土師器 台付甕	+ 6 3/4	① 9.8 ②5.2④7.0 ③ 13.5	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい橙色	頸部・胴部に輪積痕が残る。口縁部は横ナデ、 胴部は横方向のヘラ削り。胴部と脚部は接合、 脚部は横ナデ。内面胴部はヘラナデ。	
12 第354図 PL161	須恵器 羽釜	カマド 口縁部～胴部中 位片	① 21.0 鏝径 26.0 胴径 25.3	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回りか。鏝は貼付。	
13 第354図	須恵器 羽釜	埋土 底部～胴部下位 片	② 7.0	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。胴部下位は斜め方向、 最下位は横方向のヘラ削り。底部もヘラ削りか。	
14 第354図	須恵器 甕	埋土 頸部付近小片		①細砂粒 ②還元焰軟質 ②灰色	胴部は平行叩き。内面はヘラナデ。	
挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm、g)		特 徴 等	石 備 材 備 考
15第354図 PL161	石製品 砥石	埋土 1/2	長 (3.8) 幅 2.4 厚 1.0～1.5 重 21.0		表裏・側面に擦痕が見られる。	
16第354図 PL161	鉄器 鎌	床直 茎端部欠	長 (9.7) 身幅 2.5 身厚 0.2 篋被厚 0.3～0.6 茎厚 0.3		篋被は長く、鎌身カエリは左右対称ではない。	
17第354図 PL161	鉄製品 紡錘車	埋土 軸片	長 12.5・5.1 厚 0.6～0.9		断面多角形を呈す。長片の下部は円盤部との接 合部か。短片は中心が空洞化している。	

### 103号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第357図 PL161	土師器 杯	埋土 1/4	① 11.4 ② 7.4 ③ 2.6	①細砂粒 ②良好 ③にぶい橙色	口縁部は上半が横ナデ、下半がナデ。底部は不 定方向のヘラ削り。	
2 第357図 PL161	須恵器 椀	埋土、90住 口縁部片	① 13.8 ② 7.6 ③ (4.9)	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。高台が貼付か。	

### 104号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第360図 PL161	須恵器 椀	埋土 底部片	② 8.0 ④ 7.6	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
2 第360図 PL161	須恵器 椀	カマド 底部片	② 7.4	①細砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付であるが剥落。	

3 第360図 PL162	土師器 甕	カマド、埋土 H-15・16 口縁部～胴片	① 18.8 頸径 17.0 胴径 20.0	①細砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	口唇部と頸部に凹線が各1条巡る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向、中位は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
4 第360図 PL162	土師器 甕	カマド、埋土、 89・104住 口縁部～胴片	① 19.6 頸径 17.3 胴径 21.0	①細砂粒 ②良好 ③橙色	頸部に凹線が1条巡る。口縁部から頸部は横ナデ。胴部は上位が横方向、中位～下位は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
5 第360図 PL161	須恵器 甕	埋土 口縁部～頸部片	① 17.4 頸径 14.7	①細砂粒、小礫 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。	

### 105号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第363図 PL162	須恵器 杯	カマド、床直、 +7 2/3	① 9.4 ② 5.2 ③ 3.0	①粗砂粒、褐色粒 ②酸火焰 ③明赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後ヘラナデか。	
2 第363図	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 17.2	①粗砂粒、小礫 ②酸火焰 ③橙色	ロクロ成形、回転方向不明。	
3 第363図 PL162	須恵器 短頸壺	掘方 口縁部片	① 14.0 頸径 13.4	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形。	
4 第363図 PL162	土師器 甕	カマド 口縁部～胴部中 位片	① 19.8 頸径 19.4	①粗砂粒 ②良好 ③橙色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデとハケ目。	
5 第363図 PL162	土師器 甕	カマド 口縁部～胴部上 位片	① 24.2	①粗砂粒 ②良好 ③浅黄褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
6 第364図 PL162	土師器 甕	床直 口縁部～胴部中 位片	① 25.0	①粗砂粒 ②良好 ③橙色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が縦方向、中位は一部斜め方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
7 第364図 PL162	土師器 甕	カマド、床直 口縁部～胴部下 位片	① 27.0	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	内面に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向、中位は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
8 第364図 PL162	須恵器 羽釜	埋土 口縁部～胴部中 位片	① 25.4 鏝径 30.0	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転方向不明。鏝は貼付。	

### 106号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第366図 PL163	須恵器 椀	+8、埋土 1/2	① 12.2 ②6.2④5.7 ③ 4.9	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
2 第366図 PL163	須恵器 椀	埋土 1/4	① 12.4 ②5.9④5.4 ③ 4.9	①細砂粒 ②還元焰燻 ③灰黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切りで周囲はナデ。高台は貼付。	
3 第366図 PL163	須恵器 甕	+19 口縁部片	① 17.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形。胴部と頸部は接合。	

### 107号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第369図 PL163	土師器 杯	床直、埋土 口唇部一部欠	① 11.4 ② 6.0 ③ 4.0	①粗砂粒 ②良好 ③明赤褐色	口唇部は横ナデ、口縁部は上半がナデ、下半が横方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。	

2 第369図 PL163	土師器 杯	+14・15 1/5	① 13.6 ② 8.2 ③ (3.0)	①粗砂粒 ②良好 ③褐色	焼成時の歪みが大きい。口唇部は横ナデ、口縁部は横方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り	
3 第369図 PL163	須恵器 椀	埋土 底部～口縁部下位片	② 7.4 ④ 6.4	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
4 第369図 PL163	灰釉陶器 椀	カマド、埋土、 D-13 1/4	① 15.4 ②7.8④7.2 ③ 4.9	①微砂粒 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け釉調は透明感のない灰色。	大原2号窯式期
5 第369図 PL163	灰釉陶器 長頸壺	埋土、34住、 T-14、B-7、D-6 胴部上位片	頸径 15.2	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。胴部は中位が回転ヘラ削りか。施釉方法不明、釉調はやや緑色をおびた灰色。	
6 第369図 PL163	土師器 鉢	+17、埋土 口縁部～体部中位片	① 22.0	①細砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	頸部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
7 第369図 PL163	土師器 鉢	カマド 口縁部片	① 20.5	①細砂粒 ②良好 ③灰褐色	口縁部は上位が横ナデ、中位は横方向のヘラ削り内面は口唇部下から横方向のヘラ磨き。	
8 第369図 PL163	土師器 甕	床直 口縁部～胴部上位片	① 19.6	①粗砂粒 ②良好 ③赤褐色	頸部・胴部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部はやや斜め方向のヘラ削り。内面胴部はハケ目とヘラナデ。	
9 第369図 PL163	須恵器 羽釜	+9、13 口縁部～胴部下位	① 18.6 鏝径 23.2 胴径 23.8	①粗砂粒 ②酸火焰 ③灰黄色	ロクロ成形。鏝は貼付。胴部下位は底部から上位へ向けての縦方向ヘラ削り。	
10 第369図	須恵器 羽釜	埋土 口縁部～胴部上位片	① 21.8 鏝径 26.0	①粗砂粒 ②酸火焰 ③橙色	ロクロ成形。鏝は貼付。	
11 第370図	須恵器 羽釜	床直 口縁部～胴部上位片	① 21.0 鏝径 25.2	①粗砂粒 ②酸火焰 ③橙色	ロクロ成形。鏝は貼付。	
12 第370図 PL163	須恵器 双耳瓶	+13 胴部片		①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形。把手は貼付。	

### 108号住居

挿図番号 図版番号	種類	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1 第373図 PL164	須恵器 椀	+9、埋土、 109住、B-18 3/4	① 15.8 ② 7.4 ③ 11.5	①粗砂粒、褐色粒 ②酸火焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
2 第373図	須恵器 椀	床直、埋土 口縁部片	① 13.7	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。	
3 第373図	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 13.8 ② 7.0 ③ (3.7)	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。高台は貼付であるが欠落。	
4 第373図	須恵器 椀	埋土 底部片	② 6.0 ④ 5.8	①粗砂粒 ②酸火焰 ③明赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
5 第373図 PL164	灰釉陶器 輪花椀	埋土 口縁部片	① 17.8	①微砂粒 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。施釉方法は漬け掛け釉調は透明感のない灰色。	大原2号窯式期
6 第373図 PL164	灰釉陶器 小瓶	+10 底部～胴部下位片	② 5.6	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。施釉方法不明、釉調はやや緑色をおびた灰色。	
7 第373図	須恵器 鉢	+11 口縁部～体部片	① 24.6	①粗砂粒 ②酸火焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。体部下位は斜め方向のヘラ削り。	
8 第373図	土師器 甕	カマド 底部片	② 5.0	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい褐色	胴部は縦方向のヘラ削り。底部は砂底か。内面胴部はヘラナデ。	

9 第373図	須恵器 羽釜	+10 口縁部～胴部中 位片	① 24.0 鏝径 27.0	①粗砂粒 ②酸火焰 ③赤褐色	ロクロ成形。鏝は貼付。	
10 第373図 PL164	須恵器 羽釜	床直 口縁部～胴部上 位片	① 22.0 鏝径 27.0	①粗砂粒 ②酸火焰 ③橙色	ロクロ成形。鏝は貼付。	
11 第373図 PL164	須恵器 羽釜	+6・10・11、埋土 胴部下半～底部 片	② 7.4	①粗砂粒 ②酸火焰 ③褐色	ロクロ成形、回転左回り。胴部下位は横方向と一部縦方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り	
12 第373図 PL164	須恵器 羽釜	床直、+13、 B-18 胴部下半片	② 6.0	①粗砂粒 ②酸火焰 ③橙色	ロクロ成形。胴部下位は底部から上位へ向けての縦方向、最下位は横方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削りか。	
13 第374図	須恵器 羽釜	貯蔵穴、+10、 埋土、109住 胴部片		①粗砂粒 ②酸火焰 ③明赤褐色	ロクロ成形。胴部下位は縦方向のヘラ削り。	
14 第374図	土師器 杯	+25 口縁部片	① 15.8	①粗砂粒 ②良好 ③明赤褐色	口縁部は上半が横ナデ、下半が横方向のヘラ削り内面は雑な放射状暗文。	混入品
挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm、g)		特 徴 等	石 備 材 考
15第374図 PL164	石製品 砥石	+7 1/2	長 (9.0) 幅 4.1~4.4 厚 1.8~4.2 重 213.0		表裏・側面に擦痕がみられ、右側面に深い痕が残る。中ほどの使用が激しく擦り減っている。	砥沢石
16第374図 PL164	鉄器 鏝	+19 完形	長 12.2 身幅 2.4 身厚 0.3 鏝被幅厚 0.2			

#### 109号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第377図 PL164	黒色土器 碗	カマド、床直 1/4	① 14.8 ②7.2④7.3 ③ 7.4	①細砂粒 ②酸火焰 ③橙色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。高台は貼付。内面は口縁部横方向、底部は縦方向のヘラ磨き。	
2 第377図	黒色土器 碗	埋土 口縁部片	① 14.0	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③灰白色	内面黒色処理。ロクロ成形。内面口縁部は横方向のヘラ磨き。	
3 第377図	黒色土器 碗	+6 底部	② 6.8 ④ 6.2	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄橙色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。内面底部は放射状ヘラ磨き。	
4 第377図	黒色土器 碗	+7 底部	② 7.3 ④ 7.1	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい赤褐色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。内面底部はヘラ磨き。	
5 第377図 PL164	須恵器 杯	埋土、C-18 1/2	① 10.0 ② 6.0 ③ 2.6	①細砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
6 第377図 PL164	須恵器 碗	埋土 1/4	① 10.2 ② 4.1 ③ 3.1	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
7 第377図 PL164	須恵器 碗	カマド 1/2	① 11.4 ②6.2④6.0 ③ 5.2	①粗砂粒、小礫 ②酸火焰 ③橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後ナデ。高台は貼付。	
8 第377図 PL164	灰釉陶器 小碗	カマド、埋土 口縁部片	① 10.0	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。施釉方法は漬け掛け、釉調は透明感のない灰色。	
9 第377図 PL164	灰釉陶器 碗	埋土 底部片	② 6.5 ④ (6.0)	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。高台は貼付。施釉方法は刷毛塗りで底部の中ほどに施釉、釉調は透明感のない灰色	光ヶ丘1号窯式 期
10 第377図 PL165	土師器 甕	埋土 口縁部～胴部上 位片	① 21.6 頸径 21.2 胴径 26.8	①粗砂粒 ②良好 ③橙色	頸部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
11 第377図 PL165	土師器 甕	埋土、B-18 底部～胴部下 位片	② 8.2	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい褐色	胴部下位は斜め方向、最下位は横方向のヘラ削り底部は不定方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	

12 第377図 PL165	須恵器 羽釜	埋土 口縁部～胴部中 位片	① 17.7 鏝径 21.7	①粗砂粒 ②酸火焰 ③褐色	ロクロ成形。鏝は貼付。内面胴部に輪積痕が残る。	
13 第377図 PL165	須恵器 羽釜	カマド 口縁部～胴部中 位片	① 23.8 鏝径 26.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形。鏝は貼付。	
挿図番号 図版番号	種 類 種	出土位置 残 存 率	計 (単位 cm、g)	測 値	特 徴 等	備 考
14第377図 PL165	鉄器 刀子	+8 刀身片	長 (9.2) 幅 2.0～2.4 厚 0.4		端部が丸く作られている。	

### 110号住居

挿図番号 図版番号	種 類 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第379図 PL165	須恵器 椀	埋土 2/3	① 13.8 ②6.4④6.8 ③ 5.5	①細砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
2 第379図 PL165	須恵器 椀	埋土、94住 1/4	① 13.6 ②6.6④6.4 ③ 5.0	①細砂粒 ②酸火焰 ③橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
3 第379図	須恵器 椀	埋土 底部片	② 7.0 ④ 7.2	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
4 第379図	灰釉陶器 椀	埋土 口縁部片	① 17.8	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。施釉方法は漬け掛けか、釉調はやや緑色をおびた灰色。	大原2号窯式期

### 111号住居

挿図番号 図版番号	種 類 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第382図 PL165	土師器 杯	床直 完形	① 10.6 ② 6.2 ③ 3.4	①粗砂粒 ②良好 ③橙色	口縁部に輪積痕。口唇部は横ナデ、口縁部上・中位はナデ、下位が横方向のヘラ削り。底部はヘラ削りで中ほどに離れ砂が残る。内面はヘラナデ。	内面口縁部に墨書、「人」。
2 第382図 PL165	土師器 杯	床直、+8 1/4	① 11.0 ② 6.0 ③ 4.2	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	口唇部は横ナデ、口縁部は上半が横ナデ、下半が横方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。	
3 第382図 PL165	土師器 杯	埋土 1/4	① 11.6 ② 6.3 ③ 4.0	①粗砂粒 ②良好 ③橙色	口唇部は横ナデ、口縁部は上半が横ナデ、下半が横方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。	
4 第382図 PL165	須恵器 杯	埋土 1/4	① 11.0 ② 6.0 ③ 4.0	①粗砂粒 ②酸火焰ぎみ ③にぶい橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は不定方向のヘラ削り。	
5 第383図 PL165	須恵器 杯	埋土 1/4	① 13.8 ② 8.0 ③ 3.9	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不明。	
6 第383図	須恵器 椀	+11 底部	② 7.0	①細砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
7 第383図 PL165	須恵器 椀	埋土、N-13 1/3	① 12.0 ②6.8④5.8 ③ 4.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
8 第383図 PL165	須恵器 椀	埋土 1/4	① 13.0 ②6.0④5.4 ③ 5.0	①粗砂粒 ②酸火焰 ③橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不明。高台は貼付。	
9 第383図	須恵器 椀	床直 1/5	① 13.8 ② 8.0 ③ (4.8)	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。高台は貼付。	
10 第383図 PL166	須恵器 椀	カマド、埋土 1/2	① 13.6 ②6.4④6.0 ③ 5.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。高台は貼付。	

11 第383図 PL166	須恵器 椀	+6、埋土 ほぼ完形	① 13.6 ②6.7④6.2 ③ 5.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部と口縁部の輪積痕が残る。底部は回転糸切り。	
12 第383図 PL166	須恵器 椀	床直、埋土 口縁部大半欠	① 13.8 ② 7.6 ③ (5.0)	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付であるが端部欠落、欠落部分を擦り磨き使用か。	
13 第383図 PL166	緑釉陶器 椀	N-13 底部片	② 6.2 ④ 6.0	①夾雑物なし ②還元焰軟質 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。高台は貼付で端部ヘラ削り。内面ヘラ磨き。施釉方法は刷毛塗り、釉調は淡緑色。	東海産
14 第383図 PL166	灰釉陶器 椀	+6・15 口縁部片	① 15.6 ② 8.4 ③ (3.9)	①微砂粒 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。施釉方法は漬け掛け、釉調は透明感のある灰色。	大原2号窯式期
15 第383図 PL166	灰釉陶器 椀	埋土 口縁部片	① 18.8	①微砂粒 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。施釉方法不明、釉調は透明感のある灰色。	
16 第383図	土師器 甕	埋土 口縁部～胴部上位片	① 11.6	①粗砂粒 ②良好 ③橙色	内外面に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はハケ目。	
17 第383図 PL166	土師器 甕	+6・8～11、埋土 口縁部～胴部下位	① 17.6 頸径 16.2 胴径 20.4	①粗砂粒 ②良好 ③赤褐色	内面胴部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向、中位・下位は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
18 第383図 PL166	土師器 甕	カマド、埋土 口縁部～胴部中位片	① 22.0 頸径 20.0 胴径 22.4	①粗砂粒 ②良好 ③赤褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は横方向から斜め方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm、g)		特 徴 等	備 考
19第383図 PL166	鉄器 鏃	+9 茎部片	長(5.7) 幅 0.4～0.6 厚 0.4～0.5		端部付近に木質が付着。	

## 112号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第385図 PL166	土師器 杯	床直、埋土 1/4	① 12.4 ② 7.2 ③ 4.6	①細砂粒 ②良好 ③赤褐色	口縁部に輪積痕が残る。口縁部は上位が横ナデ、中位はナデ、下位は斜めと横方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。内面はヘラナデ。	
2 第385図 PL166	土師器 杯	埋土 1/4	① 12.6 ② 7.0 ③ (4.2)	①粗砂粒 ②良好 ③暗赤褐色	口縁部は上位が横ナデ、中位はナデ、下位は横方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。	
3 第385図 PL166	土師器 杯	埋土 1/5	① 13.6 ② 7.0 ③ 3.8	①粗砂粒 ②良好 ③褐色	口縁部は上位が横ナデ、中位・下位部分的にヘラ削りでナデ部分が残存。底部は不定方向のヘラ削り。	内面底部に墨書文字判読不能。
4 第385図 PL166	土師器 皿	埋土 1/4	① 12.4 ② 5.6 ③ 2.1	①粗砂粒 ②良好 ③明赤褐色	口唇部は横ナデ、口縁部はナデ。底部は不定方向のヘラ削り。	
5 第385図 PL167	須恵器 杯	カマド 1/2	① 13.0 ② 6.1 ③ 3.9	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
6 第385図	須恵器 椀	埋土 1/5	① 13.8 ②6.4④6.1 ③ 4.9	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不明。高台は貼付。	
7 第385図 PL167	須恵器 椀	埋土 1/4	① 13.6 ② 6.6 ③ (4.3)	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付であるが剥落。	
8 第385図	土師器 甕 (台付甕)	カマド、床直 口縁部～胴部中位片	① 10.8	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい褐色	頸部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部は横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
9 第385図 PL167	土師器 甕	埋土 底部～胴部下位片	② 4.0	①粗砂粒 ②良好 ③褐色	胴部は縦方向のヘラ削り。底部もヘラ削り。内面胴部はヘラナデとハケ目。	

10 第386図 PL167	須恵器 羽釜	+11・埋土 口縁部～胴部中 位片	① 18.0 鏝径 25.6 胴径 26.6	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形、回転右回りか。鏝は貼付。	
----------------------	-----------	-------------------------	------------------------------	------------------------	--------------------	--

### 113号住居

挿図番号 図版番号	種 類 種 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第389図 PL167	須恵器 椀	床直、+6 1/2	① 14.0 ② 6.0 ③ 4.3	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第389図 PL167	灰釉陶器 椀	床直、埋土 118住、P・Q-15 1/2	① 15.4 ②8.0④7.2 ③ 5.0	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。高台は貼付。口縁部最下位は回転ヘラ削り。施釉方法は刷毛塗り、釉調は緑灰色。	光ヶ丘1号窯式 期
3 第389図 PL167	土師器 甕	埋土 口縁部～胴部上 位片	① 18.8 頸径17.2 胴径 20.4	①細砂粒 ②良好 ③明赤褐色	口縁部から頸部は横ナデであるが頸部の一部はナデ。胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はハケ目。	
4 第389図 PL167	土師器 甕	カマド、床直 口縁部～胴部上 位片	① 21.4	①細砂粒 ②良好 ③暗赤褐色	頸部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
5 第389図 PL167	土師器 甕	床直、埋土 胴部中位～底部 片	② 4.2	①細砂粒 ②良好 ③暗赤褐色	胴部は中位が斜め方向、下位は縦方向のヘラ削り 底部は不定方向のヘラ削り。内面胴部はヘラ ナデ	
6 第389図 PL167	土師器 甕	カマド、埋土 胴部下位～底部 片	② 4.6	①細砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	胴部は縦方向のヘラ削り。底部はヘラ削り。内 面胴部はヘラナデ、底部はハケ目。	
挿図番号 図版番号	種 類 種 種	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm、g)		特 徴 等	備 考
7 第380図 PL167	鉄器 刀子	埋土 棟～刀身片	長 (7.6) 身幅 0.6～1.9 厚 0.4		全体的に擦り減っており棟も丸みを帯びている。	

### 114号住居

挿図番号 図版番号	種 類 種 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第392図	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 13.0 ② 8.0 ③ (3.8)	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。高台が付く形態か。	
2 第392図	須恵器 椀蓋	埋土 口縁部片	① 18.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。天井部中ほどは回転 ヘラ削り。	
3 第392図 PL167	須恵器 椀	床直 底部片	② 10.0 ④ 9.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台	
4 第392図 PL167	土師器 甕	カマド 口縁部～胴部中 位片	① 22.0	①細砂粒 ②良好 ③にぶい黄褐色	胴部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、 胴部は上位が横方向、中位は斜め方向のヘラ削 り。内面胴部はヘラナデ。	
5 第392図 PL167	須恵器 椀	カマド 底部～口縁部下 半片	② 6.6 ④ 6.0	①粗砂粒 ②還元焰燻 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ナデで不明。高台は貼付。	
6 第392図 PL167	須恵器 羽釜	カマド 口縁部～胴部上 位片	① 19.0 鏝径 23.0	①細砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形。鏝は貼付。内面胴部に輪積痕が残 る	
7 第392図 PL167	須恵器 羽釜	カマド 口縁部～胴部中 位片	① 19.6 鏝径 23.4	①細砂粒 ②酸火焰 ③にぶい赤褐色	ロクロ成形。鏝は貼付。	

## 115号住居

挿図番号 図版番号	種 器 類 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第395図 PL168	須恵器 椀	床直 3/4	① 12.2 ② 6.0 ③ 5.1	①細砂粒 ②還元焰 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第395図	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 13.6 ② 6.0 ③ 4.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切りか。	
3 第395図 PL168	須恵器 椀	床直 完形	① 13.6 ②6.8④6.4 ③ 5.1	①粗砂粒、小礫 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台	

## 116号住居

挿図番号 図版番号	種 器 類 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第397図 PL168	須恵器 杯	+15、埋土、 107住 ほぼ完形	① 12.0 ② 6.8 ③ 3.9	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後 周囲をヘラ削り。	

## 117号住居

挿図番号 図版番号	種 器 類 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第399図 PL168	須恵器 杯	床直 口縁部一部欠	① 11.3 ② 6.2 ③ 3.5	①粗砂粒 ②酸火焰ぎみ ③褐灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第399図 PL168	須恵器 椀	+15 1/3	① 14.4 ② 7.4 ③ (4.5)	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
3 第399図	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 16.0	①細砂粒 ②還元焰軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。	
4 第399図	須恵器 椀	床直 底部片	② 8.2 ④ 7.6	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
5 第399図	灰釉陶器 椀	埋土 底部片	② 7.8 ④ 7.4	①微砂粒、水簸 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。施釉方法は刷毛塗りか、釉調は透 明感のない灰色。	光ヶ丘1号窯式 期
6 第399図 PL168	土師器 甕	埋土 口縁部～胴部中 位片	① 20.0 頸径 18.7 胴径 23.2	①細砂粒 ②良好 ③橙色	内外面に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナ デ。胴部は上半が横方向、下半は縦方向のヘラ 削り。内面胴部はヘラナデ。	

## 118号住居

挿図番号 図版番号	種 器 類 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第402図 PL168	須恵器 椀	+6・9 1/2	① 15.6 ②7.9④7.1 ③ 5.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
2 第402図	須恵器 椀	貯蔵穴 口縁部片	① 15.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。	
3 第402図 PL168	土師器 甕	貯蔵穴 口縁部～胴部上 位片	① 21.0 頸径19.0	①細砂粒 ②良好 ③橙色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向 のヘラ削り。内面胴部はハケ目。	
4 第402図	土師器 甕	埋土 底部～胴部下位 片	② 4.0	①細砂粒 ②良好 ③にぶい橙色	胴部は縦方向のヘラ削り。底部はヘラ削り。内 面胴部はヘラナデ。	

## 119号住居

挿図番号 図版番号	種器 種類	出土位置 残存率	法量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1 第404図	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 17.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。	
2 第404図	須恵器 椀	埋土 底部	② 5.4 ④ 5.4	①粗砂粒 ②酸火焰 ③橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
3 第404図	須恵器 椀	+11 底部	② 6.2 ④ 5.8	①粗砂粒、褐色粒 ②酸火焰 ③橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
4 第404図 PL168	須恵器 甌	+10 底部付近片	② 22.0	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形。輪積痕が残る。	

## 120号住居

挿図番号 図版番号	種器 種類	出土位置 残存率	法量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1 第407図 PL168	須恵器 椀	+17、埋土 口縁部一部欠	① 10.4 ② 5.8 ③ 3.4	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第407図 PL168	須恵器 椀	+12、埋土 口縁部一部欠	① 10.2 ② 5.2 ③ 3.3	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第407図 PL168	須恵器 椀	+11 3/4	① 10.6 ② 6.0 ③ 4.2	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。口縁部はヘラナデ。	
4 第407図 PL168	須恵器 椀	+12、埋土 底部	② 8.0	①粗砂粒 ②酸火焰 ③橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
5 第407図 PL168	須恵器 椀	+11 1/3	① 10.4 ②5.6④5.4 ③ 4.6	①細砂粒 ②酸火焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。口縁部下位に輪積痕が残る。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
6 第408図 PL169	須恵器 椀	埋土、B-18 1/5	① 10.8 ②5.8④5.2 ③ 4.7	①細砂粒 ②酸火焰 ③赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。高台は貼付。	
7 第408図 PL169	須恵器 椀	カマド ほぼ完形	① 11.0 ②7.5④6.7 ③ 4.6	①粗砂粒、小礫 ②酸火焰 ③橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
8 第408図 PL169	須恵器 椀	埋土 1/4	① 11.2 ②6.0④5.7 ③ 4.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
9 第408図 PL169	須恵器 椀	+8 口唇部一部欠	① 11.3 ②6.3④5.9 ③ 4.4	①粗砂粒、小礫 ②酸火焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
10 第408図 PL169	須恵器 椀	埋土 1/2	① 11.4 ②5.8④4.8 ③ 4.7	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
11 第408図 PL169	須恵器 椀	+9、埋土 1/4	① 12.6 ②6.0④5.6 ③ 4.3	①粗砂粒、小礫 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
12 第408図 PL169	須恵器 椀	+11・13・14、 埋土 3/4	① 14.4 ②6.4④5.0 ③ 5.7	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
13 第408図 PL169	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 10.8 ② 5.7 ③ (4.3)	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
14 第408図 PL169	須恵器 椀	埋土 口縁部～高台片	① 14.6 ② 8.0 ③ (4.8)	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	

15 第408図 PL169	須恵器 椀	+10、埋土 底部	② 7.5 ④ 8.8	①粗砂粒、小礫 ②還元焼 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。高台は貼付。	
16 第408図 PL169	緑釉陶器 椀	+11 口縁部小片		①微砂粒 ②還元焼 ③灰色	ロクロ成形。釉調は濃緑色。	
17 第408図 PL169	灰釉陶器 椀	床直 1/5	① 14.2 ②6.8④6.4 ③ 4.3	①微砂粒 ②還元焼 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け、釉調は透明感のない黄灰色。	大原2号窯式期
18 第408図 PL169	灰釉陶器 椀	+13 底部～口縁部下位片	② 7.0 ④ 6.8	①微砂粒 ②還元焼 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。高台は貼付。施釉方法不明。	大原2号窯式期 ～虎溪山1号窯式期
19 第408図 PL169	須恵器 羽釜	床直 胴部下位～底部欠	① 18.0 鏝径 22.4 ③ (24.0)	①粗砂粒 ②酸火焼 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。胴部に輪積痕が残る。鏝は貼付。胴部下半は底部から上位へ向けての縦方向のヘラ削り。	
20 第408図 PL169	須恵器 羽釜	カマド 口縁部～胴部上位片	① 20.6 鏝径 25.6	①粗砂粒 ②酸火焼 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。内面に輪積痕が残る。鏝は貼付。	
21 第408図	須恵器 羽釜	+9 底部片	② 8.8	①粗砂粒 ②酸火焼 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は不定方向のヘラ削り。胴部下位は上位へ向けての縦方向ヘラ削り	
22 第408図 PL170	須恵器 甕	カマド、+11、埋土109・121住 頸部～底部片	② 14.0 頸径 16.4 胴径 27.2	①粗砂粒 ②還元焼 ③灰色	ロクロ成形。胴部は上位が横方向、中位～下位は斜め方向のヘラ削り。底部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm、g)		特 徴 等	石 材 備 考
23第408図 PL169	石製品 紡錘車?	+13 完形	径 6.6×5.6 厚 1.5 孔 1.2×1.2 重 60.0		表裏は研磨を行い平滑面を作っている。側面は雑な打ち欠けのままである。	榛名二ツ岳軽石

### 121号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第412図 PL170	須恵器 椀	埋土、120住 1/2	① 11.1 ②5.8④6.0 ③ 4.3	①粗砂粒 ②還元焼 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
2 第412図	須恵器 椀	埋土 口縁部～高台片	① 12.6 ②6.1④6.5 ③ 5.0	①細砂粒 ②還元焼 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。高台は貼付。	
3 第412図 PL170	須恵器 椀	カマド 2/3	① 14.0 ②6.8④7.5 ③ 6.2	①粗砂粒 ②酸火焼 ③灰色・橙色	焼成時の歪みが大きい。ロクロ成形、回転右回り底部は回転糸切り。高台は貼付。	
4 第412図 PL170	須恵器 椀	埋土 1/4	① 12.6 ②6.2④4.4 ③ 4.0	①粗砂粒 ②還元焼 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付で端部欠損後擦り込み使用か。	
5 第412図	須恵器 椀	床直 1/5	① 13.4 ② 7.0 ③ (3.6)	①細砂粒 ②酸火焼 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
6 第412図	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 14.6 ② 8.0 ③ (3.8)	①細砂粒 ②還元焼 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。	
7 第412図	須恵器 椀	カマド 口縁部片	① 16.0 ② 9.2 ③ (4.5)	①粗砂粒 ②酸火焼 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。	
8 第412図 PL170	須恵器 椀	埋土 底部	② 6.0 ④ 5.2	①粗砂粒 ②酸火焼 ③明褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
9 第412図	須恵器 椀	埋土 高台片	④ 8.2	①粗砂粒 ②酸火焼 ③黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。高台は貼付。	
10 第412図 PL170	灰釉陶器 椀	カマド 1/5	① 16.2 ②8.2④7.8 ③ 5.6	①微砂粒 ②還元焼 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後周囲をヘラナデ。高台は貼付。施釉方法は漬け掛けか、釉調は透明感のない灰色。	大原2号窯式期

11 第412図 PL170	須恵器 長頸壺 or 短頸壺	埋土 胴部下半片	② 10.8 ④ 9.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。高台は貼付。胴部下 半は回転ヘラ削り後一部斜め方向のヘラ削り。	
12 第412図 PL170	須恵器 羽釜	埋土、109住、B -18 口縁部～胴片	① 21.2 鏝径 24.8	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形、回転右回り。鏝は貼付。	

### 139号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第414図 PL170	須恵器 椀	床直、埋土 1/2	① 11.8 ②6.1④6.4 ③ 5.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
2 第414図 PL170	須恵器 椀	床直 高台欠	① 13.6 ② 6.4 ③ (4.6)	①粗砂粒 ②酸火焰 ③明褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ナデで不明。高台は貼付。	
3 第414図 PL170	須恵器 椀	床直 底部～口縁部下 半片	② 7.0 ④ 7.0	①粗砂粒、小礫 ②還元焰軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
4 第414図 PL170	灰釉陶器 椀	床直、埋土 1/4	① 13.4 ②6.8④6.6 ③ 3.8	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ヘラナデで不明。高台は貼付。施釉方法は漬け 掛け釉調は透明感のない灰色。	転用硯(内面) 大原2号窯式期
5 第414図 PL170	灰釉陶器 椀	埋土 底部片	② 6.4 ④ 6.0	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ヘラナデで不明。高台は貼付。施釉方法不明、 釉調はやや緑色をおびた灰色。	大原2号窯式期
6 第414図 PL170	須恵器 羽釜	床直 口縁部～胴部上 位片	① 24.0 鏝径 29.0	①粗砂粒 ②還元焰ぎみ ③浅黄色	ロクロ成形。鏝は貼付。	

### 140号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第416図 PL171	須恵器 椀	埋土 1/5	① 11.6 ② 6.0 ③ 3.7	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第416図 PL171	須恵器 椀	+ 6 2/3	① 12.6 ②7.0④6.7 ③ 4.7	①粗砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
3 第416図 PL171	須恵器 椀	床直 1/3	① 13.8 ②8.4④6.8 ③ 4.6	①粗砂粒 ②還元焰やや軟質 ③淡黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
4 第416図	須恵器 椀	床直 口縁部片	① 12.8 ② 7.2 ③ (6.0)	①粗砂粒 ②酸火焰 ③橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付であるが剥落。	
5 第416図 PL171	須恵器 椀	+ 8、埋土 口縁部片	① 14.2 ② 7.2 ③ (5.1)	①細砂粒 ②酸火焰 ③にぶい赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付であるが剥落。	
6 第416図	須恵器 椀	+14 底部	② 7.4 ④ 6.6	①細砂粒 ②酸火焰 ③赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後 周囲をヘラナデ。高台は貼付。	
7 第416図 PL171	灰釉陶器 椀	埋土、C-7、D-6 口縁部片	① 15.8	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。施釉方法は刷毛塗り か、釉調は透明感のある緑色。	光ヶ丘1号窯式 期

### 141号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第418図 PL171	土師器 杯	床直 2/3	① 11.4 ② 6.8 ③ 4.1	①粗砂粒 ②良好 ③赤褐色	口縁部に輪積痕が残り、口縁部の一部に粘土を 継ぎ足した痕が見られる。口唇部は横ナデ、口 縁部は上半がナデ、下半と底部がヘラ削り。	

2 第418図	須恵器 杯	埋土 口縁部片	① 12.8	①粗砂粒 ②酸火焰 ③明赤褐色	ロクロ成形、回転右回りか。	
3 第418図	須恵器 碗	+21 口縁部片	① 12.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。	
4 第418図 PL171	灰釉陶器 碗	+23・24 1/2	① 13.4 ②7.0④6.2 ③ 3.4	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け、釉調はやや緑色をおびた灰色。	大原2号窯式期
5 第418図 PL171	灰釉陶器 碗	埋土 口縁部片	① 16.0	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。施釉方法は刷毛塗りか、釉調は透明感のある灰色。	光ヶ丘1号窯式期か

### 142号住居

挿図番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第420図 PL171	須恵器 杯	床直、埋土 1/2	① 11.4 ② 5.6 ③ 3.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第420図	須恵器 杯	床直 口縁部片	① 12.6 ② 7.0 ③ 3.3	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	焼成時の歪みが大きい。ロクロ成形、回転右回り底部は回転糸切り。	
3 第420図 PL171	須恵器 碗	床直 1/3	① 12.6 ②6.6④5.8 ③ 4.9	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	高台の凹凸が激しい。ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
4 第420図 PL171	須恵器 碗	床直 底部	② 7.0 ④ 6.4	①粗砂粒 ②酸火焰ぎみ ③明褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	内面底部に刻書。
5 第421図	灰釉陶器 碗	床直 口縁部片	① 13.8 ② 7.0 ③ (4.0)	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。施釉方法不明、釉調は透明感のある灰色。	
6 第421図 PL171	須恵器 羽釜	床直、G-12 口縁部～胴部中 位片	① 26.0 鏝径 28.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。鏝は貼付。	
7 第421図 PL171	須恵器 双耳瓶	床直、+6、 35住、G-11・12 胴部1/2	胴径 28.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形。把手は貼付。胴部は回転ヘラ削り。	
8 第421図 PL171	須恵器 甕	床直、+20 底部付近片	② 15.2	①粗砂粒 ②酸火焰 ③褐色	ロクロ成形。小規模の高台は貼付。胴部は器面の剝離のため不鮮明であるが回転ヘラ削りか。内面に指頭痕が残る。	
挿図番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm、g)		特 徴 等	石 材 備 考
9 第421図 PL171	石製品 砥石	床直 1/2	長 (13.4) 幅 10.5 厚 9.3~10.1 重 1,620.0		表裏・右側面を使用している。	粗粒輝石安山岩

### 143号住居

挿図番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第423図 PL172	土師器 杯	埋土 1/2	① 10.6 ② 6.0 ③ 3.6	①粗砂粒 ②良好 ③橙色・褐色	口縁部に輪積痕が残る。口唇部は横ナデ、口縁部は上半がナデ、下半が横方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。内面はヘラナデ。	
2 第423図 PL172	土師器 杯	+13 D-7 1/2	① 10.8 ② 5.6 ③ 3.2	①粗砂粒 ②良好 ③明赤褐色	口縁部に輪積痕が残る。口縁部は上位が横ナデ、中位はナデ、下位は横方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。	
3 第423図 PL172	土師器 杯	床直 口縁部一部欠	① 11.8 ② 6.2 ③ 2.7	①粗砂粒 ②良好 ③橙色	口縁部に輪積痕が残る。口唇部は横ナデ、口縁部はナデ。底部は不定方向のヘラ削り。	
4 第423図 PL172	須恵器 杯	床直 口縁部1/3欠	① 12.4 ② 6.0 ③ 3.8	①粗砂粒 ②酸火焰ぎみ ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	

5 第423図 PL172	須恵器 椀	埋土 完形	① 12.0 ②5.4④5.4 ③ 5.2	①粗砂粒、白色粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
6 第423図 PL172	須恵器 椀	+9 1/2	① 13.6 ②6.8④6.0 ③ 4.6	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
7 第423図 PL172	須恵器 椀	+15 1/5	① 12.7 ②6.6④5.2 ③ 5.2	①細砂粒 ②酸火焰 ③灰黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
8 第424図 PL172	須恵器 椀	床直 1/3	① 13.9 ②6.6④6.2 ③ 4.7	①粗砂粒 ②酸火焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
9 第424図 PL172	灰釉陶器 椀	+22 底部片	② 9.0 ④ 8.0	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。高台は貼付で端部は重焼き痕による器面剝離。施釉方法不明。	
10 第424図 PL172	灰釉陶器 小瓶	+18、D-6 口縁部欠	② 5.9 胴径 7.4 ③ (9.0)	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。胴部下位は回転ヘラ削り。施釉方法は漬け掛け、釉調はやや緑色をおびた灰色。	
11 第424図 PL172	土師器 甕	+13・17 口縁部～胴部中 位片	① 12.0 頸径 11.4 胴径 13.6	①粗砂粒 ②良好 ③橙色	内外面に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
12 第424図 PL172	土師器 甕	埋土 口縁部～胴部中 位片	① 12.6 頸径 12.4 胴径 13.0	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	頸部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
13 第424図	土師器 甕	床直 口縁部～胴部上 位片	① 17.0	①粗砂粒 ②良好 ③橙色	頸部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
14 第424図	土師器 甕	床直 口縁部～胴部上 位片	① 19.8	①粗砂粒 ②良好 ③橙色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
15 第424図 PL172	土師器 甕	+10 口縁部～胴部中 位片	① 21.4 頸径 19.8 胴径 24.6	①粗砂粒 ②軟質 ③橙色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向、中位は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
16 第424図 PL172	須恵器 羽釜	床直、+6・16 口縁部～胴部下 位片	① 17.8 鏝径 21.8 胴径 22.0	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形、回転右回り。鏝は貼付。胴部下位は底部から上位へ向けての縦方向のヘラ削り。	
17 第424図 PL172	須恵器 羽釜	+19、C-7 口縁部～胴部中 位片	① 17.8 鏝径 22.8 胴径 23.2	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。鏝は貼付。	
18 第424図 PL173	須恵器 甕	+14、埋土、C-8 口縁部片	① 49.6 頸径 40.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形。断面に輪積痕が見られる。口縁部は凹線区画後4段の波状文(単位9条)を施文。	

#### 144号住居

挿図番号 図版番号	種類	出土位置 残存率	法量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1 第427図 PL173	土師器 杯	埋土 1/4	① 11.8 ② 6.0 ③ 3.9	①粗砂粒 ②良好 ③明赤褐色	口縁部に輪積痕が残る。口縁部は上位が横ナデ、中位はナデ、下位は横方向のヘラ削り。	
2 第427図	須恵器 杯	埋土 底部片	② 6.4	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第427図 PL173	須恵器 椀	カマド、床直 1/3	① 13.6 ②6.4④5.6 ③ 5.8	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
4 第427図	須恵器 椀	埋土 底部片	② 6.8 ④ 7.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切りか。高台は貼付。	
5 第427図 PL173	灰釉陶器 椀	埋土 口縁部小片	① 15.6	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。施釉方法は刷毛塗り、釉調は透明感のない灰黒色。	光ヶ丘1号窯式 期

6 第427図 PL173	灰釉陶器 皿	+8 底部片	② 7.4 ④ 7.0	①微砂粒、水簸 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。高台は貼付。施釉方法不明。	光ヶ丘1号窯式期～大原2号窯式期
7 第428図 PL173	土師器 鉢	カマド、埋土 口縁部～体部下 位片	① 27.2 ② 16.0 ③ (15.7)	①粗砂粒、褐色粒 ②還元焰やや軟質 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部と体部は輪積。	
8 第428図	須恵器 羽釜	埋土 底部付近片	② 9.0	①粗砂粒 ②酸火焰軟質 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回りか。胴部下位は横方向のヘラ削り。	
挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm、g)	特 徴 等	石 材 備 考	
9 第426図 PL173	石製品 鈔帯丸軋	床直 完形	縦 2.5 横 3.4 厚 0.6 孔 1.8×0.5 重 8.0		裏面の一部剝離、裏面に留める為の小孔が3カ所開けられている。	碧玉

### 146号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第431図 PL173	土師器 杯	埋土 1/4	① 13.2 ② 6.2 ③ 3.7	①粗砂粒 ②良好 ③赤褐色	口縁部に輪積痕が残る。口縁部は上位が横ナデ、中位・下位はナデ、底部は不定方向のヘラ削り。	
2 第431図 PL173	須恵器 杯	カマド 1/3	① 10.6 ② 5.0 ③ 3.0	①粗砂粒 ②酸火焰 ③明赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第431図 PL173	須恵器 碗	カマド 口縁部一部欠	① 10.3 ② 5.4 ③ 4.0	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
4 第431図 PL173	須恵器 碗	埋土 1/2	① 11.4 ② 5.0 ③ 4.2	①粗砂粒 ②酸火焰 ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
5 第431図 PL173	須恵器 碗	床直、埋土 口唇部・高台 一部欠	① 11.6 ②6.0④5.5 ③ 4.7	①粗砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
6 第431図 PL174	須恵器 碗	床直、埋土 2/3	① 10.8 ②5.5④5.0 ③ 5.1	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
7 第431図 PL174	須恵器 碗	カマド 1/3	① 11.5 ②6.2④6.0 ③ 4.5	①粗砂粒 ②酸火焰 ③橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
8 第431図 PL174	須恵器 碗	床直、埋土 1/2	① 11.3 ②6.4④6.2 ③ 5.2	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
9 第431図 PL174	須恵器 碗	床直 口縁部一部欠	① 11.8 ②7.0④6.3 ③ 5.4	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
10 第432図 PL174	須恵器 碗	床直 完形	① 12.0 ②7.2④6.5 ③ 5.4	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
11 第432図 PL174	須恵器 碗	床直、埋土 1/2	① 12.0 ②6.0④5.8 ④ 4.6	①細砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
12 第432図 PL174	須恵器 碗	カマド、床直 ほぼ完形	① 13.0 ②6.4④7.2 ③ 6.5	①粗砂粒、小礫 ②酸火焰 ③明赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。高台は貼付。	
13 第432図 PL174	須恵器 碗	床直、埋土 口縁部一部・ 高台端部欠	① 13.8 ② 7.0 ③ (6.2)	①粗砂粒、小礫 ②酸火焰 ③にぶい赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
14 第432図 PL174	須恵器 碗	床直 口唇部1/2・高台 端部欠	① 14.4 ② 9.2 ③ (6.0)	①粗砂粒 ②酸火焰やや軟質 ③橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
15 第432図 PL174	須恵器 羽釜	カマド 口縁部～胴部上 位片	① 23.6 鈔径 28.6	①粗砂粒、小礫 ②酸火焰 ③橙色	ロクロ成形。鈔は貼付。	

16 第432図 PL174	須恵器 羽釜	床直 口縁部～胴部中 位片	① 25.6 罎径 28.2	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄色	ロクロ成形。罎は貼付。	
----------------------	-----------	---------------------	-------------------	------------------------	-------------	--

147号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第435図	土師器 杯	埋土 口縁部片	① 13.0	①細砂粒 ②良好 ③橙色	口縁部は上位が横ナデ、中位ナデ、回転ヘラ削り。	
2 第435図 PL175	須恵器 杯	床直 ほぼ完形	① 12.2 ② 5.0 ③ 4.3	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	外面口縁部に墨書、「物」
3 第435図 PL174	須恵器 杯	床直、埋土 3/4	① 13.2 ② 5.2 ③ 3.9	①細砂粒 ②酸火焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
4 第435図 PL174	須恵器 椀	+ 6 2/3	① 13.5 ② 6.6 ③ 4.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
5 第435図 PL175	須恵器 椀	+ 6 口縁部一部欠	① 11.8 ②6.0④5.3 ③ 5.0	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
6 第435図 PL175	須恵器 椀	+10、埋土 ほぼ完形	① 12.3 ②6.2④5.7 ③ 4.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③浅黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
7 第435図 PL175	須恵器 椀	埋土 1/4	① 15.2 ②6.6②6.2 ③ 4.3	①粗砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。高台は貼付。	
8 第435図 PL175	須恵器 椀	+16、埋土 2/3	① 14.0 ② 7.2 ③ (4.8)	①細砂粒、褐色粒 ②酸火焰 ③橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
9 第435図 PL175	須恵器 椀	+ 9 高台欠	① 13.4 ② 6.8 ③ (4.8)	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	焼成時の歪みが大きい。ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
10 第435図 PL175	灰釉陶器 長頸壺	床直 頸部～口縁部上 位片	頸径 5.6	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。頸部と胴部は二段接合。施釉方法不明、釉調は透明感のある緑灰色。	
11 第435図	土師器 甕	埋土 口縁部～胴部中 位片	① 10.0 胴径 11.6	①粗砂粒 ②良好 ③褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
12 第435図 PL175	土師器 甕	床直、埋土 口縁部～胴部中 位片	① 12.6 胴径 15.2	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
13 第435図 PL175	土師器 甕	床直、埋土、 146住 口縁部～胴片	① 18.4 頸径 19.4 胴径 21.0	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	頸部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上半が横方向、下半は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
14 第435図 PL175	土師器 甕	カマド 底部～胴部下位 片	② 4.0	①粗砂粒 ②良好 ③明赤褐色	胴部下位は縦方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ、底部はハケ目。	
15 第435図 PL175	土師器 甕	埋土 底部～胴部下位 片	② 4.0	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	胴部下位は縦方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
16 第435図	土師器 台付甕	床直 胴部下位片	② 5.2	①粗砂粒 ②良好 ③明赤褐色	脚部は接合。胴部下位は縦方向のヘラ削り、脚部との接合部は横ナデ。底部はナデ。内面胴部はヘラナデ。	

## 148号住居

挿図番号 図版番号	種 器 類 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第438図 PL175	土師器 杯	床直 2/3	① 12.0 ② 6.2 ③ 3.4	①粗砂粒 ②良好 ③明赤褐色	口唇部は横ナデ、口縁部は上半がナデ、下半が横方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。	
2 第438図 PL175	土師器 杯	埋土 1/5	① 11.8 ② 6.4 ③ 3.8	①細砂粒 ②良好 ③明赤褐色	口縁部に輪積痕が残る。口縁部は上半がナデ、下半が横方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。	
3 第438図 PL175	須恵器 碗蓋	埋土 1/5	摘径 3.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。内面に椀との重焼きの痕跡が見られる。摘みは貼付。天井部中ほどは回転ヘラ削り。	
4 第438図 PL175	須恵器 杯	床直 ほぼ完形	① 11.4 ② 5.8 ③ 3.7	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
5 第438図 PL176	須恵器 杯	床直 口唇部一部欠	① 12.2 ② 6.0 ③ 3.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
6 第438図 PL176	須恵器 杯	+13 1/5	① 12.0 ② 6.2 ③ 3.5	①粗砂粒 ②還元焰燻 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
7 第438図 PL176	須恵器 碗	+7 口縁部一部欠	① 12.4 ②5.3④4.8 ③ 5.3	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
8 第438図 PL176	須恵器 碗	+13 2/3	① 12.8 ②6.4④6.0 ③ 4.7	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
9 第438図 PL176	須恵器 碗	床直 1/4	① 13.0 ②6.3④5.6 ③ 4.7	①粗砂粒 ②還元焰 ③暗灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。高台は貼付。	
10 第438図 PL176	須恵器 碗	床直、+8 口縁部一部欠	① 13.2 ②7.2④6.6 ③ 4.7	①粗砂粒 ②還元焰やや軟質 ③淡黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
11 第438図 PL176	須恵器 碗	埋土 口縁部～高台片	① 14.0 ②8.0④7.4 ③ 4.5	①粗砂粒 ②還元焰 ③浅黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。高台は貼付。	
12 第438図 PL176	須恵器 碗	埋土 口縁部片	① 15.6	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。	
13 第438図 PL176	灰釉陶器 碗	床直 底部片	② 8.2 ④ 7.8	①微砂粒 ②還元焰 ③浅黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。高台は貼付。施釉方法は刷毛塗り釉調は透明感のない灰色。	光ヶ丘1号窯式期
14 第438図 PL176	灰釉陶器 皿	床直 口縁部一部欠	① 13.3 ②7.5④6.7 ③ 3.0	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。高台は貼付。施釉方法は刷毛塗りか、釉調はやや緑色をおびた灰色。	光ヶ丘1号窯式期
15 第438図 PL176	灰釉陶器 長頸壺	埋土、149住 底部片	② 5.6 ④ 5.0	①微砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。高台は貼付。胴部下位は回転ヘラ削り。	
16 第438図 PL176	須恵器 甕	床直 口縁部片	① 46.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③明褐色	ロクロ成形。口唇部下に貼付した凸帯が一条巡る。	

## 149号住居

挿図番号 図版番号	種 器 類 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第442図 PL176	須恵器 杯	床直、埋土 口縁部一部欠	① 12.8 ② 7.2 ③ 3.4	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第442図 PL176	須恵器 碗	埋土 1/3	① 13.2 ②7.0④5.8 ③ 5.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	

3 第442図 PL176	須恵器 椀	カマド、埋土 1/3	① 16.3 ②7.0④7.2 ③ 5.9	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
4 第442図	灰釉陶器 椀	埋土 底部～口縁部下 半片	② 8.0 ④ 8.2	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ヘラナデで不明。高台は貼付。施釉方法は刷毛 塗り。釉調は透明感のない灰色。	光ヶ丘1号窯式 期
5 第442図 PL176	灰釉陶器 長頸壺	埋土、1住、 C-2・5 胴下半～底部	② 8.2 ④ 7.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ヘラナデで不明。高台は貼付。胴部下半は回転 ヘラ削り。施釉方法不明。	
6 第442図 PL176	須恵器 鉢	埋土 底部片	② 16.0 ④ 16.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形。高台は貼付。体部下半はヘラ削り。	
7 第442図	土師器 甕	埋土 口縁部～頸部上 位片	① 21.8	①細砂粒 ②良好 ③にぶい橙色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向 のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm、g)		特 徴 等	備 考
8第442図 PL176	鉄器 刀子	埋土 刀身片	長 (6.5) 身幅 0.4～1.2 身厚 0.3			

### 150号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第445図	土師器 杯	埋土 口縁部片	① 12.0 ② 9.6 ③ (2.5)	①細砂粒 ②良好 ③にぶい褐色	口縁部は上半が横ナデ、下半がナデ、底部ヘラ 削り。	
2 第445図	土師器 杯	+8 口縁部片	① 12.0 ② 6.8 ③ (3.1)	①粗砂粒 ②良好 ③褐色	口縁部に輪積痕が残る。口唇部は横ナデ、口縁 部はナデ。底部は不定方向のヘラ削り。	
3 第445図 PL177	土師器 杯	+10、埋土 3/4	① 11.8 ② 9.8 ④ 4.0	①細砂粒 ②軟質 ③浅黄色	口縁部は上半が横ナデ、下半が横方向のヘラ削 り。底部は不定方向のヘラ削り。	
4 第445図 PL177	土師器 杯	+6 口縁部一部欠	① 12.0 ② 8.4 ③ 4.2	①細砂粒 ②軟質 ③橙色	口縁部は上位が横ナデ、中位・下位は2段の横 方向ヘラ削り、底部は不定方向のヘラ削りであ るが器面磨耗のためヘラ削りの単位不明。	
5 第445図	土師器 杯	埋土 1/5	① 12.2 ② 8.0 ③ 3.8	①細砂粒 ②やや軟質 ③橙色	口縁部は上半が横ナデ、下半が横方向のヘラ削 り。底部ヘラ削りであるが器面磨耗のためヘラ 削りの単位不明。	
6 第445図	須恵器 杯	埋土 口縁部片	① 12.0 ② 8.4 ③ 3.3	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不 明	
7 第445図 PL177	須恵器 杯	埋土 1/2	① 12.0 ② 7.6 ③ 3.3	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
8 第445図	須恵器 杯	埋土 口縁部～底部小 片	① 11.8 ② 8.0 ③ 4.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
9 第445図 PL177	須恵器 杯	+34、埋土 3/4	① 12.6 ② 7.8 ③ 4.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
10 第445図 PL177	須恵器 杯	+19、埋土 2/3	① 11.8 ② 6.4 ③ 4.4	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
11 第445図 PL177	須恵器 杯	+42、埋土 3/4	① 11.8 ② 6.2 ③ 4.4	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 底部は疑似高台状を呈す。	
12 第445図	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 16.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。	
13 第445図 PL177	須恵器 椀	+42、埋土 口縁部上位～底 部片	② 9.5 ④ 8.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	

14 第445図	灰釉陶器 皿	埋土 口縁部片	① 13.8	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形。口縁部下位は回転ヘラ削り。施釉方法は刷毛塗り、釉調は透明感のない灰色。
15 第445図 PL177	須恵器 長頸壺蓋	+7 完形	① 9.4 摘径 2.1 ③ 3.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。摘みは貼付。天井部中程までは回転ヘラ削り。
16 第445図 PL177	須恵器 短頸壺	埋土 口縁部～胴部中位片	① 12.2 頸径 11.4 胴径 18.4	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。
17 第445図 PL177	土師器 甕	カマド、埋土 口縁部～胴部上位片	① 20.0 頸径 16.6	①細砂粒 ②良好 ③明赤褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。
18 第446図 PL177	土師器 甕	床直、+6～19 口縁部～胴部下位片	① 20.0 頸径 18.0 胴径 20.0	①細砂粒 ②良好 ③橙色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向、中位～下位は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。
19 第446図 PL177	土師器 甕	床直、+7～14 口縁部～胴部下位片	① 20.4 頸径 18.1 胴径 21.8	①細砂粒 ②良好 ③明赤褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上半が横方向、下半は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。
20 第446図	土師器 甕	埋土 口縁部～胴部中位片	① 21.0 頸径 19.0 胴径 22.0	①細砂粒 ②良好 ③明褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向、中位は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。
21 第446図	土師器 甕	カマド 底部～胴部下位片	② 6.0	①細砂粒 ②良好 ③褐色	胴部下位は斜め方向と横方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。
22 第446図	土師器 台付甕	埋土 底部片	② 4.5	①細砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	胴部下位はヘラ削り。脚部は横ナデ。内面胴部はヘラナデ。
23 第446図	須恵器 甕	埋土 口縁部片	① 18.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形。口唇部下に貼付された凸帯が1条巡る。

### 151号住居

挿図番号 図版番号	種類	出土位置 残存率	法量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1 第449図 PL178	土師器 杯	+6・8、埋土 1/2	① 11.8 ② 8.4 ③ 3.4	①粗砂粒、褐色粒 ②やや軟質 ③にぶい橙色	口縁部は上半が横ナデ、下半が横方向のヘラ削り 底部は不定方向のヘラ削り。	内面底部刻書?
2 第449図 PL178	須恵器 杯蓋	床直、埋土 口縁部片	① 18.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。端部折り曲げ。	
3 第449図 PL178	土師器 甕	床直、埋土 口縁部～胴部上位片	① 19.8 頸径 17.8	①細砂粒 ②良好 ③明赤褐色	頸部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、 胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	

### 152号住居

挿図番号 図版番号	種類	出土位置 残存率	法量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1 第452図 PL178	須恵器 椀	床直、埋土 1/4	① 11.8 ② 6.0 ③ 4.3	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第452図 PL178	須恵器 椀	床直 完形	① 12.6 ②6.7④6.4 ③ 5.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
3 第453図 PL178	土師器 甕	床直、+2・13・ 14・16、埋土 口縁部～胴片	① 19.6 頸径 19.2 胴径 22.8	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上半が横方向、 下半は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
4 第453図 PL178	土師器 甕	+12、83・86住 口縁部～胴部上位片	① 16.6 頸径 15.6	①粗砂粒 ②良好 ③明赤褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向 のヘラ削り。内面胴部はハケ目とヘラナデ。	

5 第453図 PL178	須恵器 甕	+32 口縁部片	① 18.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形。口唇部は上下に引き出されている。	
---------------------	----------	-------------	--------	---------------------	------------------------	--

### 153号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第456図	須恵器 杯	埋土 口縁部片	① 9.6	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。口縁部下半は回転ヘラ削り。	
2 第456図 PL178	須恵器 椀	カマド、床直 口縁部一部欠	① 15.4 ②7.6④8.6 ③ 6.4	①多量の細砂粒 ②酸火焰ぎみ ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
3 第456図 PL178	土師器 甕	カマド、埋土 口縁部～胴部下 位片	① 24.8 頸径 23.4 胴径 25.8	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形。胴部下半の上位は横方向、下位は縦方向のヘラ削り。	
4 第456図	須恵器 羽釜	カマド 口縁部～鐙片	① 20.4 鐙径 24.6	①粗砂粒 ②酸火焰 ③明褐色	ロクロ成形。鐙は貼付。	

### 154号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第460図 PL179	黒色土器 椀	床下土坑、床直 底部	② 7.8 ④ 7.4	①細砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。内面はヘラ磨き。	
2 第460図 PL179	須恵器 椀	床直、+6 1/2	① 15.6 ② 7.0 ③ (5.0)	①粗砂粒、褐色粒 ②酸火焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付であるが端部を打ち欠いている。	
3 第460図 PL179	灰釉陶器 皿	床直 底部片	② 7.4 ④ 6.6	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。高台は貼付。施釉方法は刷毛塗りで口縁部と底部の一部に行われている。	光ヶ丘1号窯式 期
4 第460図 PL179	須恵器 羽釜	カマド、O-9 口縁部～胴部下 位片	① 25.0 鐙径 29.2 胴径 28.8	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。鐙は貼付。胴部下位は底部から鐙方向へ向けての縦方向のヘラ削りが一部施されている。	5と同一個体か
5 第460図 PL179	須恵器 羽釜	カマド、+9、埋 土、P-9 底部	② 10.8	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。胴部下位は縦方向、底部上は横方向のヘラ削り。内面底部はヘラナデ。	4の底部か

### 155号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第463図 PL179	須恵器 杯	+42 1/4	① 11.8 ② 6.6 ③ 3.6	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。底部は疑似高台状を呈す。	
2 第463図	須恵器 杯	埋土 1/4	① 13.0 ② 7.4 ③ 3.3	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第464図 PL179	須恵器 杯	埋土 1/4	① 12.0 ② 6.6 ③ 3.6	①細砂粒 ②還元焰 ③明黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
4 第464図 PL179	須恵器 杯	+28 1/4	① 13.2 ② 8.4 ③ 3.9	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
5 第464図	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 13.0 ② 8.0 ③ (4.9)	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。	

6 第464図 PL179	灰釉陶器 小瓶	+48 口縁部～胴部片	頸径 2.0 胴径 7.2	①微砂粒 ②還元焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。施釉方法は刷毛塗り、釉調は透明感のある緑灰色と透明感のない灰色。	
7 第464図	土師器 甗	埋土 底部片	② 14.0	①細砂粒 ②良好 ③褐色	胴部下位は斜め方向のヘラ削り、最下位は横ナデ、底部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
8 第464図	土師器 甗	埋土 口縁部片	① 21.0	①細砂粒 ②良好 ③明褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
9 第464図 PL180	土師器 甗	床直、+46 口縁部片	① 23.0 頸径 21.0	①細砂粒 ②良好 ③橙色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
10 第464図 PL180	土師器 台付甗	カマド 胴部片	② 5.0 胴径 16.2	①細砂粒 ②良好 ③明赤褐色	胴部に輪積痕が残る。胴部は上半が横方向、下半は縦方向のヘラ削り。底部付近は横ナデ。内面胴部はヘラナデ。	

### 156号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第467図 PL180	土師器 杯	カマド 口縁部一部欠	① 11.4 ② 5.8 ③ 3.7	①粗砂粒 ②良好 ③橙色	口縁部に輪積痕が残る。口唇部は横ナデ、口縁部は上半がナデ、下半が横方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。内面はヘラナデ。	
2 第467図 PL180	土師器 杯	埋土 口縁部片	① 12.0	①粗砂粒 ②やや軟質 ③橙色	口縁部に輪積痕が残る。口縁部は上半がナデ、下半が横方向のヘラ削り。	
3 第467図 PL180	須恵器 杯	床直 1/2	① 11.6 ② 6.0 ③ 4.0	①細砂粒 ②還元焰 ③明黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	155号住居からの混入か
4 第467図 PL180	須恵器 椀	床直 完形	① 10.8 ② 4.8 ③ 5.0	①細砂粒 ②酸火焰 ③浅黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。口唇部に煤が付着。	内面口縁部に墨書、「日干」か。
5 第467図 PL180	須恵器 椀	床直 1/3	① 12.6 ② 6.6 ③ 3.6	①細砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
6 第467図 PL180	須恵器 椀	カマド 1/4	① 13.2 ②6.4④6.2 ③ 6.5	①細砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
7 第467図 PL180	須恵器 椀 (底部穿孔)	床直 底部片	② 8.0 ④ 7.0 孔径 1.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。底部に焼成後の穿孔が見られる。	
8 第467図 PL180	灰釉陶器 椀	埋土 底部片	② 7.8 ④ 6.4	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。高台は貼付。施釉方法不明。	大原2号窯式期
9 第467図 PL180	土師器 甗	床直、埋土 口縁部～胴部上位片	① 20.2 頸径 19.0	①粗砂粒 ②良好 ③明赤褐色	口縁部・頸部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
10 第467図 PL180	須恵器 羽釜	カマド、埋土 口縁部～胴部中位片	① 18.0 鏝径 22.6 胴径 22.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄褐色	ロクロ成形。鏝は貼付。	
挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm, g)		特 徴 等	備 考
11第487図 PL180	鉄器 釘	埋土 完形	長 8.8 厚 0.3～0.5 頭部 2.0×1.0		頭部は折り曲げて端部は広がる。針部は使用後再度引き抜いたためか湾曲している。	
12第487図 PL180	鉄器 釘	埋土 完形	長 7.9 厚 0.5～0.7 頭部 1.0×0.7		頭部は折り曲げて小型である。	

### 157号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第471図	土師器 杯	+11 口縁部片	① 11.0 ② 8.2 ③ (3.9)	①細砂粒 ②軟質 ③橙色	口縁部は上半が横ナデ、下半が横方向のヘラ削り。底部はヘラ削り。	

2 第471図 PL181	土師器 杯	カマド 1/4	① 11.7 ② 8.2 ③ (4.1)	①細砂粒 ②軟質 ③にぶい黄橙色	口縁部は上半が横ナデ、下半が横方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。
3 第471図	土師器 杯	+27 口縁部片	① 12.0 ② 8.2 ③ (3.7)	①細砂粒 ②軟質 ③橙色	口縁部は上半が横ナデ、下半が横方向のヘラ削り。底部はヘラ削り。
4 第471図	土師器 杯	埋土 口縁部片	① 13.0 ② 9.4 ③ (2.8)	①細砂粒 ②良好 ③明赤褐色	口縁部は上半が横ナデ、下半がナデ。底部はヘラ削り。
5 第471図 PL181	須恵器 杯蓋	+24・28 1/2	① 16.5 摘径 4.2 ③ 3.9	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。摘みは貼付。天井部中ほどまでは回転ヘラ削り。
6 第471図 PL181	須恵器 杯蓋	+24 2/3	① 17.2 摘径 4.2 ③ 3.9	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。摘みは貼付。天井部中ほどまでは回転ヘラ削り。
7 第471図 PL181	須恵器 杯	カマド、+20・ 24、埋土 2/3	① 12.0 ② 6.8 ③ 4.1	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
8 第471図	須恵器 碗	埋土 口縁部片	① 15.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。
9 第471図 PL181	土師器 甕	カマド 口縁部～胴部下 位片	① 19.6 頸径 17.0 胴径 21.6	①細砂粒 ②良好 ③橙色	頸部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向、中位は斜め方向、下位は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。
10 第471図 PL181	土師器 甕	カマド、+12・33 口縁部～胴部上 位片	① 21.4 頸径 18.8	①細砂粒 ②良好 ③橙色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削りであるが単位・方向は不鮮明。内面胴部はヘラナデ。
11 第471図 PL181	土師器 甕	+33、埋土 口縁部～胴部	① 23.6 頸径 19.8	①細砂粒 ②良好 ③にぶい褐色	頸部・胴部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削りであるが単位・方向は不鮮明。内面胴部はヘラナデ。
12 第471図	土師器 甕	床直 底部～胴部下位 片	② 4.4	①細砂粒 ②良好 ③明赤褐色	胴部下位は縦方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。

### 158号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第474図 PL181	土師器 杯	+ 8 口唇部一部欠	① 11.2 ② 6.7 ③ 3.8	①細砂粒 ②良好 ③にぶい橙色	口縁部に輪積痕が残る。口唇部は横ナデとナデ、口縁部は横方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削りで中ほどに離れ砂が残る。内面はヘラナデ	
2 第474図 PL181	土師器 杯	+19、埋土 口唇部一部欠	① 11.8 ② 6.6 ③ 3.4	①細砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	口縁部に輪積痕が残る。口縁部は上位が横ナデ、中位はナデ、下位は横方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。内面はヘラナデ。	
3 第474図 PL181	土師器 杯	+30、83住 口縁部一部欠	①11.6～ 12.6 ②5.6 ③4.4	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい橙色	焼成時の歪みが大きい。口縁部に輪積痕が残る。口唇部は横ナデ、口縁部は上半がナデ、下半が横方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。	
4 第475図 PL181	須恵器 杯	カマド、152住3/ 4	① 12.4 ② 6.4 ③ 3.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	焼成時の歪みが見られる。ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
5 第475図 PL182	須恵器 碗	カマド、+23、 152住 3/4	① 12.6 ②6.6④6.1 ③ 3.9	①粗砂粒 ②酸火焰ぎみ ③淡橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
6 第475図 PL182	須恵器 碗	カマド 1/3	① 13.0 ②7.3④6.2 ③ 4.8	①粗砂粒、小礫 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
7 第475図 PL182	須恵器 碗	+23、83住 口唇部・高台 一部欠	① 13.0 ②6.7④6.4 ③ 5.1	①粗砂粒、小礫 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後ヘラナデ。高台は貼付。	
8 第475図 PL182	須恵器 碗	+14 完形	① 13.2 ②6.3④5.9 ③ 5.1	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	焼成時の歪みが見られる。ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後ナデ。高台は貼付。	

9 第475図 PL182	須恵器 椀	カマド 2/3	① 13.4 ②6.8④6.4 ③ 4.8	①粗砂粒、小礫 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後ヘラナデ。高台は貼付。	
10 第475図 PL182	須恵器 椀	カマド、+23、 152住、M-10口 縁部一部欠	① 14.0 ②6.8④6.2 ③ 5.4	①粗砂粒 ②酸火焰ぎみ ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
11 第475図 PL182	土師器 小型甕	埋土 口縁部～胴部中 位片	① 13.0	①粗砂粒 ②良好 ③明赤褐色	内外面に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ。胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
12 第475図 PL182	土師器 甕	埋土 口縁部～胴部中 位片	① 19.6 頸径 17.6 胴径 23.0	①粗砂粒 ②良好 ③明赤褐色	頸部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はハケ目。	

### 159号住居

挿図番号 図版番号	種 器 類 種	出土位置 残存率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備 考
1 第477図 PL182	須恵器 椀	壁外 口唇部一部欠	① 12.1 ② 6.8 ③ 4.0	①細砂粒 ②還元焰 ③暗灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第477図 PL182	須恵器 椀	床直 1/4	① 11.6 ② 5.4 ③ 3.7	①細砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第477図 PL182	須恵器 椀	+17 3/4	① 11.6 ② 5.1 ③ 3.3	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい赤褐色	底部・口縁部に輪積痕が見られる。ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
4 第477図 PL182	須恵器 椀	床直 1/4	① 11.9 ②6.2④5.7 ③ 4.7	①細砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
5 第477図 PL182	須恵器 椀	+8、埋土 4/5	① 13.0 ②7.0④7.0 ③ 5.4	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	焼成時の歪みが大きい。ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後ナデ。高台は貼付。	
6 第477図 PL182	須恵器 椀	+20 口唇部・高台 一部欠	① 13.2 ②6.1④5.6 ③ 5.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
7 第477図 PL183	須恵器 椀	+11 1/3	① 13.5 ②6.0④5.4 ③ 5.3	①粗砂粒 ②還元焰燼 ③褐灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不明。高台は貼付。	
8 第477図 PL183	須恵器 椀	+8・11 口唇部大半・ 高台欠	① 17.8 ② 8.6 ③ (5.3)	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付であるが剥落。	
9 第477図 PL183	須恵器 椀	床直、+10、 埋土、D-6 3/4	① 13.4 ② 7.0 ③ (6.2)	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後周囲をヘラナデ。高台は貼付であるが端部欠損。	
10 第477図 PL183	灰釉陶器 椀	埋土、B-7、 C-6、D-6 3/4	① 14.0 ②7.0④6.4 ③ 4.9	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け、釉調は透明感のある灰色。	大原2号窯式期
11 第477図 PL183	須恵器 長頸壺	埋土、C-6 1/2	②7.8④7.3 頸径 5.8 胴径 14.0	①粗砂粒、小礫 ②酸火焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回りか。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。胴部の整形は器面磨滅のため不明。	
12 第477図 PL183	須恵器 鉢	+16、C-7 脚部片	② 12.0 ④ 14.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。脚部は貼付。	
13 第478図 PL183	土師器 甕	+8・9 口縁部～胴部中 位片	① 18.4 頸径 16.4 胴径 20.2	①粗砂粒 ②良好 ③明赤褐色	頸部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
14 第478図	須恵器 甕	+9・20・22 胴部上半片	頸径 17.0 胴径 22.0	①粗砂粒 ②酸火焰 ③浅黄色	ロクロ成形。	
15 第478図 PL183	須恵器 羽釜	+25、埋土、C-6 口縁部～胴部中 位片	① 17.6 鏝径 22.6 胴径 22.8	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。鏝は貼付。	

16 第478図 PL183	須恵器 羽釜	+28、埋土 口縁部～胴部上 位片	① 20.0 鏝径 21.6	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形。鏝は貼付。	
17 第478図 PL183	須恵器 羽釜	+28、埋土 底部～胴部中 位片	② 7.8 胴径 24.2	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。胴部下位は斜め方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。	
18 第478図 PL183	須恵器 甕	+12～25、埋土、 C-6 1/2	② 13.2 頸径 11.6 胴径 22.0	①粗砂粒 ②還元火焰 ③灰色	底部・頸部に接合痕が見られる。ロクロ成形、回転右回り。胴部は上半がヘラナデ、下半は縦方向ヘラ削り後部分的に横方向のヘラ削り。	
19 第478図 PL183	須恵器 甕	床直、+6～28 口縁部と胴部の 一部を欠く	② 16.0 頸径 17.2 胴径 26.0	①粗砂粒 ②還元火焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。胴部は回転ヘラ削り後下位の一部に縦方向のヘラ削り。底部は一定方向のヘラ削り。	
20 第479図 PL183	須恵器 甕	+8～20、壁外 2/3	頸径 16.6 胴径 31.2	①粗砂粒 ②還元火焰 ③明赤褐色	ロクロ成形。胴部は平行叩き後横方向のヘラ削りでらるが部分的に叩き痕が残る。	

### 160号住居

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第481図 PL183	須恵器 杯	埋土 1/3	① 11.0 ② 6.4 ③ 3.6	①細砂粒 ②還元火焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第481図 PL183	須恵器 椀	貯蔵穴 底部	② 6.6 ④ 6.0	①細砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
3 第481図	須恵器 椀	埋土 底部・高台片	② 8.6 ④ 8.0	①細砂粒 ②還元火焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。底部切り離し技法不明。高台は貼付で端部に切れ込みが見られる。	
4 第481図 PL183	須恵器 甕	+15 底部～胴部下位 片	② 21.0	①粗砂粒 ②還元火焰 ③灰色	ロクロ成形。胴部下位は横方向のヘラ削り。底部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	

### 1号建物

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm、g)	特 徴 等	備 考
1 第483図 口絵	銅製品 八稜鏡	埋土 完形	径 9.9 厚 0.5 重 73.3	鏡面に2体の仏像が毛彫りされている。裏面は瑞花双鳥文である。	考察・分析参照

### 4号建物

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第487図	黒色土器 椀	埋土 底部片	② 7.0 ③ 6.6	①細砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄褐色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。高台は貼付。内面は放射状ヘラ磨き。	
2 第487図	須恵器 杯	埋土 口縁部片	① 9.2 ② 5.0 ③ 3.1	①細砂粒、褐色粒 ②酸火焰 ③橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第487図	須恵器 椀	埋土 底部片	② 8.8 ④ 8.6	①細砂粒 ②還元火焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
4 第487図	灰釉陶器 椀	埋土 口縁部下位片	② (7.0)	①微砂粒 ②還元火焰 ③灰白色	ロクロ成形。口縁部下位は回転ヘラ削り。高台が貼付か。施釉方法は漬け掛け、釉調はやや緑色をおびた灰色。	虎溪山1号窯式期
5 第487図	須恵器 羽釜	埋土 口縁部～胴部上 位片	① 20.8 鏝径 23.6	①細砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形。鏝は貼付。	

### 3号井戸

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第493図	須恵器 椀	埋土 1/4	① 15.0 ②8.0④7.5 ③ 5.3	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。底部切り離し技法不明。高台は貼付。	
2 第493図	須恵器 椀	埋土 口縁部下半片	② 8.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付であるが剥落。	

### 1号土坑

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第495図	須恵器 椀	埋土 底部～口縁部下 位片	② 7.2	①細砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第495図	須恵器 椀	埋土 底部片	② 7.4 ④ 7.4	①細砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	

### 3号土坑

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第495図	土師器 杯	埋土 1/4	① 12.4 ② 6.0 ③ 3.5	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	口縁部中に輪積痕が残る。口縁部は上位が横ナデ、中位はナデ、下位は横方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。	
2 第495図	須恵器 椀	埋土 1/5	① 11.6 ②5.8④5.9 ③ 4.4	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不明高台は貼付。	
3 第495図	須恵器 羽釜	埋土 口縁部～胴部	① 22.0 鏝径 25.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形。鏝は貼付。	
4 第495図	須恵器 羽釜	埋土 底部～胴部下 位片	② 9.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形。胴部・底部ともヘラ削りが施されているが単位・方向は不鮮明。	

### 9号土坑

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第497図	黒色土器 椀	埋土 底部片	② 7.6 ④ 7.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③黒褐色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。高台は貼付。	
2 第497図	須恵器 椀	埋土 1/4	① 9.4 ② 4.9 ③ 3.3	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第497図 PL184	須恵器 椀	埋土 1/4	① 11.2 ② 6.0 ③ 3.3	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
4 第497図 PL184	須恵器 椀	埋土 1/5	① 9.4 ② 4.8 ③ 3.1	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
5 第497図 PL184	須恵器 椀	埋土 完形	① 10.6 ② 4.6 ③ 3.1	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
6 第497図 PL184	須恵器 椀	埋土 3/4	① 12.0 ② 5.2 ③ 4.8	①粗砂粒 ②還元焰燻 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	

7 第497図	須恵器 椀	埋土 1/5	① 11.6 ② 5.2 ③ 3.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
8 第497図	須恵器 椀	埋土 1/5	① 12.6 ② 5.2 ③ 3.3	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
9 第497図 PL184	須恵器 椀	埋土 口縁部・高台 大半欠	① 10.5 ②6.9④6.5 ③ 4.5	①粗砂粒 ②酸火焰 ③淡黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転ヘラ削り。 高台は貼付。	
10 第497図 PL184	須恵器 椀	埋土 口縁部一部欠	① 11.6 ②7.6④6.8 ③ 5.0	①粗砂粒 ②還元焰燻 ③黒色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
11 第497図 PL184	須恵器 椀	埋土 口唇部一部欠	① 11.6 ② 5.3 ③ (4.0)	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ヘラナデで不明。高台は貼付であるが剥落。	
12 第497図 PL184	須恵器 椀	埋土 口縁部一部欠	① 11.6 ②5.9③5.6 ③ 4.1	①粗砂粒 ②還元焰燻 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ヘラナデで不明。高台は貼付。	
13 第497図 PL184	須恵器 椀	埋土 口縁部一部欠	① 11.6 ②5.9④5.7 ③ 4.5	①粗砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
14 第497図 PL184	須恵器 椀	埋土 1/2	① 12.0 ②6.0④5.3 ③ 4.4	①粗砂粒 ②酸火焰 ③浅黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
15 第497図 PL184	須恵器 椀	埋土 2/3	① 12.4 ②6.3④6.1 ④ 4.5	①粗砂粒 ②酸火焰 ③浅黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
16 第497図 PL184	須恵器 椀	埋土 1/4	① 12.4 ②5.8④5.6 ③ 4.1	①粗砂粒 ②還元焰燻 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
17 第497図 PL184	須恵器 椀	底面 1/2	① 15.0 ②7.7④8.7 ③ 6.7	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ナデで不明。高台は貼付。	
18 第497図 PL185	須恵器 椀	埋土 1/2	① 14.6 ②7.9④8.9 ③ 7.3	①粗砂粒 ②酸火焰 ③浅黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ナデで不明。高台は貼付。	
19 第497図 PL184	須恵器 椀	埋土 高台片	② 7.0 ④ 9.8	①粗砂粒 ②酸火焰 ③橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ナデで不明。高台は貼付。	
20 第497図 PL185	須恵器 皿	埋土 1/2	① 13.8 ②8.4④8.0 ③ 2.7	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
21 第497図 PL185	灰釉陶器 椀	底面 1/2	① 15.8 ②7.8④7.5 ③ 5.7	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ヘラナデで不明。高台は貼付。施釉方法は漬け 掛け、釉調はやや緑色をおびた灰色。	大原2号窯式期
22 第497図	灰釉陶器 皿	埋土 底部片	② 7.0 ④ 6.8	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ヘラナデで不明。高台は貼付。施釉方法不明、 釉調は透明感のない灰色。	光ヶ丘1号窯式 期～大原2号窯 式期
23 第498図 PL185	須恵器 長頸壺	埋土 胴部上半片	頸径 2.8 胴径 16.4	①粗砂粒 ②酸火焰 ③浅黄色	ロクロ成形、回転右回り。頸部と胴部は二段接 合。頸部は横ナデ、胴部・頸部付近は一部ヘラ 削り。	
24 第497図	須恵器 羽釜	埋土 口縁部～胴部上 位片	① 19.8 鏝径 23.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形。鏝は貼付。口唇部に粘土小塊付着。	
25 第497図 PL185	須恵器 羽釜	底面、埋土 口縁部～胴部下 位片	① 22.0 鏝径 24.8 胴径 24.4	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。鏝は貼付。胴部下半 は底部から上位へ向けての縦方向ヘラ削り。	
26 第497図	須恵器 羽釜	埋土 胴部下半片	② 7.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形。内面に輪積痕が残る。胴部下半は 縦方向、最下位は横方向のヘラ削り。	
27 第497図	須恵器 椀 (底部穿孔)	埋土 高台片	② 12.0 ④ 13.4 孔径 0.5	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。端部に輪積痕が残る。 底部切り離し技法はナデで不明。底部の穿孔は 焼成前。	

15号土坑

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第500図 PL185	須恵器 椀	埋土 口縁部一部欠	① 10.9 ② 5.8 ③ 3.5	①粗砂粒、褐色粒 ②酸火焰 ③橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第500図 PL185	須恵器 椀	埋土 完形	① 10.7 ② 5.4 ③ 4.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	内面底部に輪積痕が残る。ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第500図 PL185	須恵器 椀	埋土 口縁部大半欠	① 11.2 ② 5.0 ③ 4.1	①粗砂粒 ②還元焰 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
4 第500図 PL185	須恵器 椀	埋土 口唇部一部欠	① 10.7 ②5.7④5.0 ③ 4.5	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
5 第500図 PL185	須恵器 椀	埋土 2/3	① 13.4 ②7.2④8.0 ③ 6.5	①細砂粒 ②酸火焰ぎみ ③浅黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。高台は貼付。	
6 第500図	須恵器 椀	埋土 1/5	① 11.8 ② 5.4 ③ (3.9)	①細砂粒 ②還元焰 ③灰褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付であるが剥落。	
7 第500図 PL185	須恵器 椀	底面 口縁部上半欠	② 6.4 ④ 5.7	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
8 第500図	須恵器 椀	埋土 底部片	② 9.0 ④ 7.6	①細砂粒 ②酸火焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
9 第500図 PL185	須恵器 皿	埋土 1/2	① 13.0 ② 6.4 ③ 2.1	①粗砂粒、褐色粒 ②酸火焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
10 第500図	須恵器 耳皿	埋土 口縁部片		①細砂粒 ②還元焰燻 ③黒褐色	ロクロ成形。	
11 第500図	灰釉陶器 椀	埋土 底部片	② 8.0 ④ 7.4	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。高台は貼付。施釉方法不明、釉調は透明感のない灰色。	大原2号窯式期
12 第500図 PL185	須恵器 羽釜	埋土 口縁部～胴部上位片	① 18.0 鏝径 22.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形。鏝は貼付。	
挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm、g)		特 徴 等	備 考
13第500図 PL185	鉄器 釘	埋土 1/2	長 (3.5) 厚 0.4×0.5 頭部 0.7×1.0		頭部は台形状を呈し、折り曲げ。	

16号土坑

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第501図 PL186	須恵器 椀	埋土 底部片	② 7.2 ④ 7.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	

17号土坑

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第501図 PL186	須恵器 杯	底面 2/3	① 12.4 ② 6.0 ③ 3.3	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第501図	須恵器 杯	埋土 口縁部片	① 12.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転方向右回りか。	

3 第501図	須恵器 杯	埋土 底部片	② 5.0	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
------------	----------	-----------	-------	------------------------	-----------------------	--

### 19号土坑

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第501図	須恵器 椀	底面 口縁部片	① 13.8	①細砂粒 ②酸火焰ざみ ③浅黄橙色	ロクロ成形、回転右回りか。	
2 第501図	須恵器 椀	埋土 底部片	② 6.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	

### 21号土坑

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第502図	須恵器 椀	底面 1/5	① 14.0 ② 7.0 ③ 4.1	①粗砂粒、小礫 ②酸火焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第502図 PL186	須恵器 椀	埋土 1/3	① 13.8 ②7.8④7.0 ③ 5.5	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
3 第502図	須恵器 椀	底面 口縁部片	① 11.8	①粗砂粒 ②還元焰燻 ③黒褐色	ロクロ成形。	
4 第502図	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 14.0	①粗砂粒 ②酸火焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回りか。	
5 第502図	須恵器 椀	底面 底部	② 7.0 ④ 6.4	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
6 第502図	須恵器 椀	底面 底部～口縁部下 半片	② 6.4 ④ 5.2	①粗砂粒 ②酸火焰ざみ ③暗灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
7 第502図 PL186	須恵器 椀	底面 底部～口縁部下 半片	② 6.9 ④ 6.2	①粗砂粒 ②還元焰燻 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	

### 25号土坑

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第502図	須恵器 椀	底面 底部～口縁部下 位片	② 5.0	①細砂粒 ②還元焰燻 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は雑な回転糸切り	
2 第502図	須恵器 羽釜	底面 口縁部～胴部上 位片	① 22.0 鑿径 24.0	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形。鑿は貼付。	

### 26号土坑

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第503図 PL186	須恵器 杯	埋土 口唇部一部欠	① 10.5 ② 6.5 ③ 3.2	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 口唇部の一部に煤が付着。	
2 第503図 PL186	須恵器 椀	埋土 1/6	① 9.4 ② 5.0 ③ 3.2	①細砂粒 ②還元焰 ③褐灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	

3 第503図 PL186	須恵器 椀	埋土 口縁部一部欠	① 11.6 ② 5.4 ③ 4.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
4 第503図 PL186	須恵器 椀	埋土 1/4	① 13.8 ②7.2④6.7 ③ 4.7	①細砂粒 ②還元焰燻 ③黒色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
5 第503図 PL186	須恵器 椀	底面 口縁部一部欠	① 15.0 ②7.4④7.2 ③ 6.3	①粗砂粒、褐色粒 ②酸火焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
6 第503図	灰釉陶器 皿	埋土 底部	② 6.8 ④ 6.0	①微砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ヘラナデで不明。高台は貼付。施釉方法不明、 釉調は透明感のない灰色。	大原2号窯式期
7 第503図 PL186	灰釉陶器 耳皿	埋土 1/2	② 3.6	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 施釉方法不明、釉調はやや緑色をおびた灰色。	
8 第503図 PL186	土製品 平瓦	埋土 小片		①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい赤褐色	上面は布目痕。下面はヘラナデ。	

### 27号土坑

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第504図 PL186	土師器 杯	埋土 1/2	① 12.9 ② 6.4 ③ 4.2	①粗砂粒 ②良好 ③明赤褐色	口縁部中ほどに輪積痕が残る。口縁部は上位が 横ナデ、中位はナデ、下位は横方向のヘラ削り。 底部は不定方向のヘラ削り。	
2 第504図 PL186	須恵器 杯	底面 1/4	① 11.8 ② 6.2 ③ 3.5	①粗砂粒、小礫 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切りで 疑似高台状を呈す。	
3 第504図 PL186	須恵器 椀	埋土 ほぼ完形	① 11.6 ②6.2④6.0 ③ 4.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	外面口縁部に墨 書、「物」。
4 第504図 PL186	須恵器 皿	埋土 2/3	① 13.4 ② 6.0 ③ (2.7)	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付であるが剥落。	
5 第504図 PL186	須恵器 平瓶	埋土 口縁部・胴部片	① 4.8 胴径 13.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。頸部と胴部は二段 接合。	
6 第504図 PL187	須恵器 長頸壺	埋土 胴部片	胴径 23.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。	
7 第504図 PL187	須恵器 甕	埋土 口縁部～胴部上 半	① 55.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	口唇部下に凸帯が1条巡る。口縁部は上半に凹 線によって3区画されその内部に波状文(5 ～8条)胴部は外面が平行叩き、内面が同心円状 アテ具痕	

### 29号土坑

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第505図 PL187	須恵器 椀	埋土 1/2	① 11.8 ②6.0④5.7 ③ 4.3	①粗砂粒 ②酸火焰軟質 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ナデで不明。高台は貼付。	
2 第505図	須恵器 椀	埋土 底部～口縁部下 半片	② 5.8 ④ 5.1	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後 ナデか。高台は貼付。	

### 30号土坑

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第505図	土師器 椀	埋土 底部～口縁部下 半片	② 5.2	①粗砂粒 ②良好 ③明黄褐色	口縁部下半はナデ。底部は雑なヘラ削り。	

2 第505図	須恵器 杯	埋土 1/6	① 13.4 ② 6.8 ③ 3.6	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は不明。	
3 第505図 PL187	須恵器 椀	埋土 完形	① 11.6 ② 4.6 ③ 4.6	①粗砂粒 ②酸火焰 ③浅黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。口縁部はヘラナデ。	
4 第505図	須恵器 椀	埋土 底部	② 6.6 ④ 6.2	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	

### 31号土坑

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第505図 PL187	須恵器 椀	埋土 完形	① 11.8 ②6.1④5.8 ③ 4.8	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
2 第505図 PL187	須恵器 椀	埋土 2/3	① 11.5 ②6.0④5.5 ③ 3.9	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
3 第505図 PL187	須恵器 甕	埋土 口縁部片	① 48.4	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	口唇部に貼付された凸帯が1条巡る。口縁部は2段以上の波状文(単位6～)が施文。	

### 33号土坑

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第505図	土師器 杯	埋土 口縁部片	② 6.0	①粗砂粒 ②良好 ③橙色	口縁部下半はナデ。底部はヘラ削り。	
2 第505図 PL187	須恵器 椀	埋土 1/3	① 12.4 ②6.2④6.0 ③ 4.5	①粗砂粒 ②還元焰燻 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
3 第506図 PL187	須恵器 椀	埋土 1/3	① 12.8 ②6.7④6.5 ③ 4.9	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
4 第506図 PL187	須恵器 椀	埋土 1/3	① 12.8 ②7.0④6.2 ③ 4.5	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③浅黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
5 第506図 PL187	須恵器 椀	埋土 1/3	① 13.0 ②8.0④7.3 ③ 4.5	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付で雑な成・整形。内面は酸火焰でにぶい橙色を呈す。	
6 第506図 PL187	須恵器 椀	埋土 1/2	① 12.4 ②6.8④6.4 ③ 4.5	①粗砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
7 第506図	土師器 甕	埋土 口縁部片	① 19.0	①細砂粒 ②良好 ③橙色	口縁部から頸部は横ナデ。	
8 第506図 PL188	須恵器 甕	埋土 口縁部下半～胴 部上位片	頸径33.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形。口縁部上半は凹線による区画がされ波状文(単位5～)が施されている。内面胴部は同心円状アテ具痕。	

### 35号土坑

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第506図	黒色土器 椀	埋土 口縁部片	① 12.8	①粗砂粒 ②還元焰ざみ ③灰黄褐色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転右回り。内面は横方向のヘラ磨き。	
2 第506図	須恵器 椀	埋土 底部～口縁部下 位片	② 6.4 ④ 6.0	①粗砂粒 ②酸火焰 ③浅黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。高台は貼付。	

3 第506図	須恵器 皿	埋土 1/5	① 12.0 ② 6.7 ③ (2.0)	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
4 第506図 PL188	緑釉陶器 椀	埋土 底部片	② 6.0 ④ 6.0	①微砂粒 ②還元焰軟質 ③白色	ロクロ成形、回転方向不明。底部切り離し技法はヘラナデで不明。高台は貼付。釉調は透明感のある淡緑色。	黒笹90号窯式期
5 第506図	土師器 甕	埋土 口縁部～胴部上位片	① 28.0	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
6 第506図	須恵器 羽釜	埋土 口縁部～鐙部片	① 23.8 鐙径 25.0	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形。鐙は貼付。内面は口唇部横ナデ、口縁部が横方向のハケ目。	

### 36号土坑

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第508図	須恵器 羽釜	埋土 口縁部～胴部中 位片	① 20.0 鐙径 23.0	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形、回転右回りか。鐙は貼付。	
挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm、g)		特 徴 等	備 考
2 第508図 PL188	鉄製品 釘	埋土 1/2	長 (5.2) 厚 0.6×0.6		断面は多角形を呈す。	

### 38号土坑

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第508図 PL188	須恵器 杯	埋土 完形	① 10.8 ② 4.6 ③ 3.2	①細砂粒 ②酸火焰 ③浅黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第508図 PL188	須恵器 椀	埋土 1/3	① 12.1 ②5.9④5.9 ③ 4.8	①粗砂粒 ②酸火焰 ③浅黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	
3 第508図	須恵器 椀	埋土 底部片	② 6.0 ④ 5.8	①粗砂粒 ②還元焰燻 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
4 第508図	須恵器 長頸壺	埋土 胴部下位～底部 片	② 11.6 ④ 11.6	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。高台は貼付。胴部下位は回転ヘラ削り。	

### 40号土坑

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第508図	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 12.6	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回りか。	
2 第508図	灰釉陶器 椀	埋土 底部～口縁部下 半片	② 8.0 ④ 8.2	①微砂粒 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。高台は貼付。施釉方法不明、釉調は透明感のない灰色。	大原2号窯式期

### 41号土坑

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第507図 PL188	須恵器 椀	底面 1/2	① 14.0 ②7.1④6.0 ③ 5.3	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	焼成時の歪みが大きい。ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
2 第507図 PL188	須恵器 椀	埋土 1/2	① 13.5 ② 7.5 ③ (4.5)	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後ナデ。高台は貼付。	
3 第507図	須恵器 椀	埋土 底部～口縁部下 位片	② 7.0 ④ 6.6	①細砂粒 ②還元焰軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	

4 第507図	須恵器 椀	底面 底部～口縁部下 位片	② 8.8 ④ 8.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
5 第507図 PL188	緑釉陶器 椀	埋土 底部片	② 6.7 ④ 6.6	①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ヘラナデで不明。高台は貼付。内面はヘラ磨き。 底部に円を陰刻。釉調は透明感のある濃緑色。	東海産10C.前半 代
6 第507図	灰釉陶器 椀	埋土 口縁部片	① 15.0	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。施釉方法は刷毛塗り、 釉調は透明感のない黒色を帯びた灰色。	光ヶ丘1号窯式 期

#### 42号土坑

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第507図 PL188	須恵器 椀	埋土 4/5	① 12.4 ②6.7④5.7 ③ 4.7	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	焼成時の歪みが見られる。ロクロ成形、回転右 回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
2 第507図 PL188	須恵器 椀	埋土 底部・高台	② 7.6 ④ 11.6 台高 4.1	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	内外面に輪積痕が残る。ロクロ成形、回転右回 り底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	

#### 43号土坑

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第507図 PL188	須恵器 杯	埋土 1/2	① 12.2 ② 6.6 ③ 3.6	①粗砂粒 ②酸火焰 ③明赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第507図 PL188	須恵器 椀	埋土 完形	① 11.2 ②6.2④4.8 ③ 4.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
3 第507図 PL188	須恵器 椀	埋土 完形	① 11.8 ②6.2④4.9 ③ 4.5	①粗砂粒、小礫 ②還元焰燻 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 口縁部下半はヘラナデ。高台は貼付。	
4 第507図 PL188	須恵器 椀	埋土 1/2	① 13.2 ②6.6④6.2 ③ 5.7	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	

#### 44号土坑

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第508図	須恵器 椀	埋土 1/2	② 6.2	①粗砂粒 ②還元焰燻 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	

#### 45号土坑

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第509図 PL188	須恵器 椀	埋土 2/3	① 13.6 ②6.6④5.8 ③ 5.5	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
2 第509図	須恵器 椀	埋土 底部片	② 6.0 ④ 6.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切りで 周囲はナデ。高台は貼付。	
3 第509図	土師器 甕	埋土 口縁部片	① 25.6	①細砂粒 ②良好 ③にぶい黄橙色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向 のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	

## 47号土坑

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第509図 PL189	須恵器 杯	埋土 1/4	① 13.4 ② 7.2 ③ 3.5	①細砂粒 ②還元焰燻 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 内面は口縁部中ほどに縄痕が1条巡る。	
2 第509図	須恵器 杯	埋土 1/4	① 13.8 ② 8.0 ③ 3.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	

## 48号土坑

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第510図	須恵器 椀	埋土 1/4	② 7.3 ④ 6.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
2 第510図	土師器 甕	埋土 口縁部片	① 19.6	①細砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	口縁部から頸部は横ナデ。	
3 第510図	須恵器 甕	埋土 口縁部小片		①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	凹線で区画され波状文が施文。	

## 49号土坑

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第509図 PL189	土師器 杯	埋土 口唇部一部欠	① 11.4 ② 5.8 ③ 3.7	①粗砂粒 ②良好 ③明赤褐色	口唇部は横ナデ、口縁部は下位に僅かに横方向 のヘラ削りの他はナデで一部に指頭痕が残る。 底部は不定方向のヘラ削り。	
2 第509図	須恵器 椀	埋土 1/4	① 12.0 ② 6.6 ③ 4.0	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第509図	須恵器 椀	埋土 底部～口縁部中 位片	② 7.4 ④ 7.0	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ナデで不明。高台は貼付。	
4 第509図	須恵器 椀	埋土 底部	② 6.0 ④ 5.4	①粗砂粒 ②還元焰 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	

## 50号土坑

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第510図 PL189	須恵器 椀	埋土 1/3	① 10.2 ② 5.4 ③ 3.5	①粗砂粒、小礫 ②還元焰 ③浅黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第510図 PL189	須恵器 椀	埋土 3/4	① 10.8 ② 4.8 ③ 3.3	①細砂粒 ②還元焰 ③浅黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第510図 PL189	須恵器 椀	埋土 口縁部一部欠	① 11.2 ② 4.4 ③ 4.1	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	外面口縁部に墨 書、「物」。
4 第510図 PL189	灰釉陶器 皿	埋土 口縁部一部欠	① 13.0 ②7.7④7.0 ③ 2.4	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ヘラナデで不明。高台は貼付。施釉方法は漬け 掛け釉調はやや緑色をおびた灰色。	大原2号窯式期
5 第510図 PL189	須恵器 羽釜	埋土 口縁部～胴部上 位片	① 20.0 鑿径 24.2	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形。鑿は貼付。	

6 第510図 PL189	須恵器 羽釜	埋土 口縁部～胴部上 位片	① 28.0 鏝径 30.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形。外面胴部に輪積痕が残る。鏝は貼付。	
挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm、g)	特 徴 等		石 備 材 考
7 第510図 PL189	石製品 砥石	埋土 1/2	長 (7.0) 幅 4.1～4.6 厚 1.0～2.9 重 93.0		表裏・側面に擦痕が残る。中ほどの使用頻度が激しく擦り減っている。	砥沢石

### 51号土坑

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第510図 PL189	須恵器 椀	埋土 4/5	① 11.0 ② 5.0 ③ 3.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第510図	灰釉陶器 椀	埋土 口縁部片	① 12.0	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。施釉方法は刷毛塗りか、釉調は透明感のない黒色を帯びた灰色。	光ヶ丘1号窯式 期か
3 第510図	灰釉陶器 椀	埋土 底部～口縁部中 位片	② 7.3 ④ 6.9	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。高台は貼付。施釉方法不明、釉調はやや緑色をおびた灰色。	大原2号窯式期 か
4 第510図 PL189	須恵器 甕	埋土 底部	② 16.4	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。胴部最下位は横方向のヘラ削り、その上位はヘラナデ。	

### 53号土坑

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第511図	土師器 甕	埋土 口縁部片	① 19.6	①細砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	口縁部は横ナデ、頸部はナデ。口縁部と頸部の間に凹線が1条巡る。	

### 55号土坑

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第511図 PL189	須恵器 椀	底面 完形	① 12.6 ②6.2④5.4 ③ 4.7	①粗砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付。	内外面の口縁部に 漆附着。
2 第511図 PL189	須恵器 椀	底面 1/3	① 13.6 ②7.1④6.8 ③ 4.5	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
3 第511図	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 14.4	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③灰色③	ロクロ成形、回転右回り。	
4 第511図	須恵器 椀	埋土 底部～口縁部中 位片	② 5.6 ④ 5.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。口縁部下位は横方向のヘラ削り。高台は貼付。	
挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm、g)	特 徴 等		備 考
5 第511図 PL189	鉄器 釘	埋土 頭部・先端欠	長 (6.0) 厚 0.4×0.4		断面四角形を呈す。針部は左右に湾曲している。	

### 60号土坑

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第512図	須恵器 椀	埋土 底部	② 5.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄褐色		

2 第512図	須恵器 羽釜	埋土 口縁部～胴部上 位片	① 16.8 鏝径 20.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形。鏝は貼付。	
------------	-----------	---------------------	-------------------	---------------------	-------------	--

### 65号土坑

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第512図	須恵器 羽釜	埋土 口縁部～鏝部片	① 21.0	①粗砂粒 ②酸火焰 ③橙色	ロクロ成形。鏝は貼付。	
2 第512図	須恵器 羽釜	埋土 底部片	② 9.0	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。胴部下位は斜め方向のへら削り。底部はへら削り。	
挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm、g)		特 徴 等	備 考
3 第512図 PL189	鉄器 釘	埋土 2/3	長 (11.1) 厚 0.8×0.8 頭部 1.7×0.9		大型品、頭部は鍛造か。	

### 66号土坑

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第512図	須恵器 羽釜	埋土 口縁部～鏝部小 片	① 20.2 鏝径 24.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形。鏝は貼付。	

### 73号土坑

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第513図 PL189	灰釉陶器 椀	埋土 底部～口縁部下 半片	② 6.6 ④ 6.3	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はへらナデで不明。高台は貼付。口縁部下位は回転へら削り。施釉方法は漬け掛け、釉調は緑灰色。	虎溪山1号窯式 期

### 74号土坑

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第514図	須恵器 椀	埋土 底部片	② 6.0 ④ 5.4	①細砂粒 ②酸火焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不明。高台は貼付。	
挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm、g)		特 徴 等	備 考
2 第514図 PL189	鉄器 釘	埋土 先端部欠	長 4.4 厚 0.5×0.5 頭部 0.6×0.8		断面多角形を呈す。頭部折り曲げ。	
3 第514図 PL189	鉄器 釘	埋土 先端部欠	長 4.2 厚 0.5×0.5 頭部 0.7×0.8		断面多角形を呈す。頭部折り曲げ。	
4 第514図 PL189	鉄器 釘	埋土 先端部欠	長 3.5 厚 0.4×0.5 頭部 0.7×0.7		断面多角形を呈す。頭部折り曲げ。	
5 第514図 PL189	鉄器 釘	埋土 先端部欠	長 3.4 厚 0.5×0.5 頭部 0.6×0.7		断面多角形を呈す。頭部は錆で肥厚している。	

### 80号土坑

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第515図	須恵器 椀	埋土 底部～口縁部下 半片	② 5.0	①細砂粒 ②酸火焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	

2 第515図	須恵器 羽釜	埋土 口縁部～鏝部片	① 20.0 鏝径 24.6	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形。鏝は貼付。	
------------	-----------	---------------	-------------------	------------------------	-------------	--

### 82号土坑

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第515図 PL190	須恵器 椀	埋土 高台一部欠	① 11.6 ②6.6④6.2 ③ 4.6	①粗砂粒 ②還元火焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。底部の整形は内外面とも雑である。	
2 第515図	須恵器 羽釜	底面 口縁部～鏝部片	① 21.6 鏝径 25.2	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形。鏝は貼付。	
3 第515図 PL190	陶器 壺	埋土 口縁部片	① 12.7	①粗砂粒 ②還元火焰 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。内外面に褐釉がかかっている。	

### 103号土坑

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第515図	須恵器 椀	埋土 底部～口縁部下 半片	② 6.8 ④ 6.6	①粗砂粒 ②酸火焰 ③浅黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
2 第515図	須恵器 椀	埋土 底部	② 6.2 ④ 7.1	①粗砂粒 ②還元火焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後 周囲をナデ。高台は貼付。	

### 108号土坑

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第516図	灰釉陶器 皿	埋土 1/4	① 14.4 ②8.2④8.0 ③ 2.8	①微砂粒 ②還元火焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ヘラナデで不明。高台は貼付。施釉方法は刷毛 塗りか、釉調は透明感のない灰色。	光ヶ丘1号窯式 期

### 114号土坑

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第517図	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 11.6 ② 5.4 ③ (4.0)	①粗砂粒 ②還元火焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。高台が貼付。	
2 第517図	須恵器 椀	埋土 底部片	② 7.7 ④ 7.7	①粗砂粒 ②還元火焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。	
3 第517図	須恵器 羽釜	埋土 口縁部～鏝部片	① 20.0 鏝径 22.6	①粗砂粒 ②還元火焰 ③灰色	ロクロ成形。鏝は貼付。	

### 115号土坑

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第517図	須恵器 椀	埋土 底部～口縁部下 半片	② 4.8	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第517図	須恵器 椀	埋土 1/6	① 13.8 ②7.2④6.6 ③ 5.0	①粗砂粒 ②酸火焰 ③浅黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不 明。高台は貼付。	

## 117号土坑

挿図番号 図版番号	種 器 類 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第517図 PL190	黒色土器 椀	埋土 口唇部一部欠	① 15.4 ②7.8④7.6 ③ 5.9	①粗砂粒 ②酸火焰 ③浅黄橙色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。内面は中心から放射状へのヘラ磨き。	
2 第517図 PL190	須恵器 杯	埋土 口縁部一部欠	① 12.8 ② 6.4 ③ 3.7	①細砂粒 ②還元焰軟質 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第517図 PL190	土師器 台付甕	底部1/2	① 12.1 ② 4.3 ③ (14.4)	①細砂粒 ②良好 ③褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上半が横方向、下半は縦方向のヘラ削り。胴部と脚部は接合で接合部は横ナデ。内面胴部はヘラナデ。	

## 118号土坑

挿図番号 図版番号	種 器 類 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第517図 PL190	須恵器 杯	埋土 1/4	① 11.8 ② 7.0 ③ 5.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第517図 PL190	須恵器 杯	底面、埋土 1/2	① 12.6 ② 6.7 ③ 3.7	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
3 第517図	須恵器 椀	底面、埋土 口縁部片	① 15.8 ② 7.8 ③ (4.6)	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。	
4 第518図 PL190	土師器 甕 (台付甕)	埋土 口縁部～胴部下 位片	① 10.8 頸径 10.0 胴径 12.4	①細砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	内面に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部は横方向から斜め方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
5 第518図	土師器 甕	埋土 口縁部～胴部上 位片	① 16.0	①細砂粒 ②良好 ③にぶい橙色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	

## 129号土坑

挿図番号 図版番号	種 器 類 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第519図	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 13.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。	
2 第519図	須恵器 杯	埋土 底部片	② 8.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	

## 10号溝

挿図番号 図版番号	種 器 類 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第526図 PL190	土師器 椀	埋土 3/4	① 14.0 ②5.6④6.6 ③ 5.9	①粗砂粒 ②良好 ③橙色	口縁部に輪積痕が残る。口唇部は横ナデ、口縁部はヘラナデ、底部～高台は横ナデ。高台は貼付。	
2 第526図	黒色土器 椀	埋土 底部	② 5.5	①粗砂粒 ②酸火焰 ③浅黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後ナデ。高台は貼付。内面は底部が不定方向、口縁部下位は横方向のヘラ磨き。	
3 第526図	須恵器 杯	埋土 1/4	① 10.2 ② 6.2 ③ 2.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
4 第526図	須恵器 椀	埋土 1/4	① 12.8 ②6.6④6.0 ③ 4.3	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不明。高台は貼付。	

5 第526図	須恵器 椀	埋土 1/4	① 12.8 ② 6.0 ③ (4.0)	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。高台は貼付であるが剥落。	
6 第526図	須恵器 椀	埋土 1/6	① 10.6 ② 6.3 ③ (3.4)	①粗砂粒 ②酸火焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。	
7 第526図	須恵器 椀	埋土 底部～口縁部下 位片	② 6.4 ④ 6.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付で端部に1条の凹線が巡る。	
8 第526図	須恵器 椀	埋土 底部～口縁部下 位片	② 6.7 ④ 5.7	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
9 第526図	須恵器 椀	埋土 底部～口縁部下 位片	② 8.4 ④ 8.6	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
10 第526図	須恵器 椀	埋土 底部～口縁部下 位片	② 9.2 ④ 9.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
11 第526図	須恵器 椀	埋土 底部～口縁部下 半片	② 9.0 ④ 8.6	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
12 第526図 PL190	青磁 碗	埋土 口縁部片	① 15.0	①微砂粒緻密 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。外面に片彫りによる鎬蓮弁文。釉薬は透明感があり厚く(0.8mm)施釉	中国龍泉窯系 13C, 中～後葉
13 第526図 PL190	青磁 碗	埋土 口縁部片	① 17.0	①微砂粒緻密 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。外面に片彫りによる鎬蓮弁文。釉薬は透明感があるが薄い(0.2mm)施釉	中国龍泉窯系 13C, 中～後葉
14 第526図 PL190	青磁 碗	埋土 口縁部下位片		①微砂粒緻密 ②還元焰焼締め ③灰	ロクロ成形、回転方向不明。蓮弁文。釉薬は透明感があまりなく薄い(0.3mm)ほどの施釉。	中国龍泉窯系 14C代
15 第526図	灰釉陶器 椀	埋土 口縁部片	① 13.0	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。口縁部下位は回転ヘラ削り。施釉方法は漬け掛け、釉調は透明感のある緑色を帯びた灰色。	大原2号窯式期 ～虎溪山1号窯 式期
16 第526図	灰釉陶器 椀	埋土 口縁部片	① 16.0	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。施釉方法は漬け掛けか釉調は透明感のないやや黒みかかった灰色。	大原2号窯式期 ～虎溪山1号窯 式期
17 第526図	灰釉陶器 椀	埋土 底部片	② 7.0 ④ 6.8	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。高台は貼付。施釉方法不明、釉調は透明感のない灰色。	大原2号窯式期
18 第526図	灰釉陶器 椀	埋土 底部片	② 8.4 ④ 8.0	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。高台は貼付。施釉方法不明、釉調は透明感のない灰色。	大原2号窯式期 ～虎溪山1号窯 式期
19 第526図	灰釉陶器 手付瓶	埋土 頸部小片	頸径 7.0	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形。把手は貼付。施釉方法不明、釉調は透明感のある緑灰色。	
20 第526図	灰釉陶器 長頸壺	埋土 底部	② 7.6 ④ 7.2	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。胴部下位は回転ヘラ削り。高台は貼付。	
21 第526図 PL190	須恵器 長頸壺	埋土 頸部片	頸径 7.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形。胴部と頸部の接合は二段接合か。	
22 第526図 PL190	須恵器 瓶	埋土 底部～胴部下 位片	② 8.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。胴部最下位はヘラ削り。	内面にベンガラ 付着。ベンガラ 容器
23 第526図 PL191	土師器 甕	埋土 口縁部～胴部 中位片	① 22.4 頸径 21.4 胴径 25.2	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい黄褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向、中位は縦方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	
24 第526図	土師器 台付甕	埋土 脚部片	② 4.4 ④ 8.4	①細砂粒 ②良好 ③赤褐色	胴部と脚部は接合。脚部は横ナデ。内面胴部はヘラナデ。	
25 第527図	須恵器 羽釜	埋土 口縁部～胴部 中位片	① 17.0 鏝径 21.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形。鏝は貼付。	

26 第527図 PL190	須恵器 羽釜	埋土 口縁部～胴部中 位片	① 19.0 鏝径 22.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形。鏝は貼付。	外面口縁部に刻 書、「中」。
27 第527図	土製品 丸瓦	埋土 小片		①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい橙色	端部はヘラ削り。内面は布目。外面はヘラナデ。	
挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm、g)		特 徴 等	備 考
28第527図 PL190	石製品 凹石	埋土 完形	長 13.0 幅 11.2 厚 3.8 孔 3.8×3.6×0.8 重 500.0		裏面にも2.3×2.3×0.6の凹あり、凹は回転による擦痕が見られる。	
29第527図 PL191	石製品 凹石	埋土 完形	長 13.7 幅 9.7 厚 7.3 孔 4.5×3.7×2.0 重 520.0		周囲を丸く加工し、上面中央部に円錐状の凹を作っている。凹は回転による擦痕が見られる。	
30第527図 PL191	鉄器 刀子	埋土 柄～棟片	長 5.3 幅 0.6～1.2 厚 0.5		棟は片方だけである。	

### 12号溝

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第528図	須恵器 杯	埋土 1/5	① 12.7 ② 8.0 ③ 3.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。内面に自然釉が付着。	
2 第528図	須恵器 椀	埋土 1/5	① 12.2 ②6.6④6.0 ③ 3.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不明口縁部上半は横ナデ、下半はヘラナデ。内面底部はヘラナデ。	
3 第528図	須恵器 椀	埋土 底部	② 8.0 ④ 7.8	①細砂粒 ②還元焰軟質 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。	
4 第528図	灰釉陶器 椀	埋土 底部～口縁部下 位片	② 7.6 ④ 7.5	①微砂粒 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。内面見込み部に重焼き痕が残る。底部切り離し技法はヘラナデで不明。高台は貼付。	

### 13号溝

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第530図	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 12.0	①細砂粒 ②酸火焰 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。口縁部下半は回転ヘラ削り。	
2 第530図	土師器 甕	埋土 口縁部～胴部上 位片	① 19.8 頸径 18.2	①細砂粒 ②良好 ③明褐色	頸部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部は上位が横方向のヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。	

### 15号溝

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第531図 PL191	須恵器 椀	埋土 1/3	① 11.4 ② 5.0 ③ 4.2	①細砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
2 第531図	須恵器 椀	埋土 口縁部片	① 10.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。	
3 第531図	須恵器 椀	埋土 底部片	② 7.6	①細砂粒 ②還元焰軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
4 第531図 PL191	白磁 皿	埋土		①微砂粒 ②還元焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。釉薬は透明感がなく厚く(0.5mm)施釉。	中国産 14C.後葉～15C.
5 第531図	須恵器 甕	埋土 頸部～胴部上位 片	頸径22.0.	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	内外面に輪積痕が残る。胴部は外面平行叩き、内面に同心円状アテ具痕が残る。外面に自然釉付着	

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm、g)	特 徴 等	備 考
6 第531図 PL191	銅製品 用途不明	埋土 完形	長 7.1 幅 0.5~1.4 厚 0.3~1.1		銅板を巻くようにして作られ、片方の端部を銅板で塞いでいる。
7 第531図 PL191	鉄器 釘	埋土 先端部片	長 4.8 厚 0.5×0.6		断面は四角形を呈す。

### 17号溝

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第534図	土師器 杯	埋土 1/6	① 12.0 ② 7.8 ③ (3.4)	①細砂粒 ②良好 ③橙色	口縁部は上半が横ナデ、下半がナデ、底部はヘラ削り。	
2 第534図	須恵器 杯蓋	埋土 口縁部片	① 19.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。天井部中ほどまでは回転ヘラ削り。	
3 第534図	須恵器 杯	埋土 口縁部片	① 12.0 ② 8.6 ③ 3.1	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切りか。	
4 第534図	須恵器 杯	埋土 底部片	② 7.2	①細砂粒 ②還元焰やや軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。	
5 第534図 PL191	須恵器 高盤	埋土 1/2	① 14.6 ④ 10.8 ③ 9.3	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。脚部は貼付。脚部上位に凹線が2条巡る。盤身内面と脚部外面の一部に自然釉が付着。	
挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計 測 値 (単位 cm、g)	特 徴 等	備 考	
6 第534図 PL191	銭貨 和同開珎	完形	外径 2.43 孔 0.65×0.655 郭 0.23 厚 0.12 (単位 cm)		残存状態は非常に良好でほとんど使用されていない状態である。	

### 19号溝

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第537図 PL191	土師器 円筒形土器	埋土 口縁部片	① 25.0	①細砂粒 ②良好 ③明赤褐色	内面に輪積痕が残る。内外面ともヘラナデ。	

### 25号溝

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第540図 PL191	須恵器 長頸壺蓋	埋土 1/2	① 8.4 天井 6.3 ③ 6.9	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。摘みは貼付。天井部は回転ヘラ削り。口縁部に凹線が2条巡る。	
2 第540図 PL191	須恵器 長頸壺	埋土 口縁部~胴部下 位	① 5.4 ② 4.8 肩径 13.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。胴部中位を2条の凹線で区画し内部に波状文を施文、下位は回転ヘラ削り。	
3 第540図 PL191	須恵器 瓶	埋土 胴部片	胴径 14.4	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回りか。胴部下半は外面に縦方向の平行叩き、内面に同心円状アテ具痕が残る	

### 27号溝

挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1 第545図	灰釉陶器 椀	埋土 底部	② 8.6 ④ 8.3	①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。施釉方法不明、釉調は透明感のない灰色。	

遺構外出土遺物

土師器 杯

No.	挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出 土 位 置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
1	第552図 PL192	土師器 杯	86区F-18 1/5	①12.4 ②6.2 ③3.2	①細砂粒 ②良好 ③赤褐色	口縁部は上半が横ナデ、下半が2段の横方向へ ヘラ削り。内面口縁部は斜放射状暗文。
2	第552図 PL192	土師器 杯	86区E-13 1/2	①12.6 ②8.2 ③3.8	①細砂粒 ②良好 ③にぶい褐色	口縁部は上位が横ナデ、中・下位は横方向へ ヘラ削り。内面口縁部は斜放射状、底部は螺旋状暗文。
3	第552図 PL192	土師器 杯	86区C-8 1/4	①16.0 ②11.8 ③(5.2)	①細砂粒 ②軟質 ③にぶい橙色	口縁部は上位が横ナデ、中・下位は横方向へ ヘラ削り。内面口縁部は斜放射状暗文。
4	第552図 PL192	土師器 杯	86区M-4 1/2	①12.2 ②9.0 ③4.3	①粗砂粒、褐色粒 ②良好 ③にぶい褐色	口縁部は上半が横ナデ、下半が横方向のヘラ削 り底部は右方向へのヘラ削り。
5	第552図 PL192	土師器 杯	86区L-8 4/5	①13.1 ②8.6 ③3.9	①細砂粒 ②やや軟質 ③橙色	口縁部は上半が横ナデ、下半が横方向のヘラ削 り底部は不定方向のヘラ削り。
6	第552図 PL192	土師器 杯	86区N-4 1/6	①12.0 ②9.6 ③2.8	①細砂粒 ②良好 ③橙色	口縁部は上半が横ナデ、下半がナデ、底部は不 定方向のヘラ削り。
7	第552図 PL192	土師器 杯	86区C・D-8 1/4	①11.4 ②6.4 ③(3.3)	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	口縁部に輪積痕が残る。口唇部は横ナデ、口縁 部はナデ、底部は不定方向のヘラ削り。
8	第552図 PL192	土師器 杯	86区N-4 3/4	①10.9 ②7.9 ③3.6	①粗砂粒 ②良好 ③にぶい赤褐色	口縁部は上位が横ナデ、中位はナデ、下位は横 方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。
9	第552図 PL192	土師器 杯	86区 2/3	①11.8 ②7.2 ③3.4	①粗砂粒、褐色粒 ②良好 ③橙色	口縁部に輪積痕が残る。口唇部は横ナデ、口縁 部はナデ、底部は不定方向のヘラ削り。
10	第552図 PL192	土師器 杯	86区P-15 1/3	①12.0 ②5.8 ③3.8	①粗砂粒、小礫 ②良好 ③明赤褐色	口縁部は上位が横ナデ、中位はナデ、下位は横 方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。
11	第552図 PL192	土師器 杯	86区F-11 3/4	①12.0 ②5.8 ③4.5	①粗砂粒 ②良好 ③赤褐色	口唇部は横ナデ、口縁部は横ナデで下位に指頭 痕底部は不定方向のヘラ削り。口唇部に煤付着。
12	第552図 PL192	土師器 杯	86区F-3 3/4	①12.2 ②7.0 ③3.8	①粗砂粒 ②良好 ③橙色	口縁部に輪積痕が残る。口唇部は横ナデ、口縁 部はナデ、底部は不定方向のヘラ削り。
13	第552図 PL192	土師器 杯	86区C-9 1/4	①12.4 ②7.0 ③3.5	①粗砂粒 ②良好 ③赤褐色	口唇部は横ナデ、口縁部は上半がナデ、下半が ナデ、底部は不定方向のヘラ削り。
14	第552図 PL192	土師器 杯	86区C-2 1/4	①16.0 ②6.6 ③3.7	①粗砂粒 ②良好 ③明赤褐色	口縁部は上位が横ナデ、中位はナデ、下位は横 方向のヘラ削り。底部は不定方向のヘラ削り。

黒色土器 椀・皿

No.	挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出 土 位 置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
15	第553図 PL192	黒色土器 椀	2次調査区 口縁部一部欠	①12.6 ②7.2 ③4.7 ④6.6	①細砂粒 ②酸火焔 ③明赤褐色	内面黒色処理。ロクロ成形、右回り。底部ヘラ ナデ。高台貼付。内面口縁部は横方向へラ磨き。
16	第553図 PL192	黒色土器 椀	86区F-13 2/5	①14.4 ②6.6 ③(4.3)	①粗砂粒、褐色粒 ②酸火焔 ③赤褐色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転右回り。内面 は口縁部、底部とも横方向のヘラ磨き。
17	第553図 PL192	黒色土器 椀	86区G-12 口縁部片	①12.6	①細砂粒 ②酸火焔 ③橙色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転右回りか。外 面口縁部に墨書、文字判読不能。
18	第553図	黒色土器 椀	86区E-10 口縁部片	①14.8	①細砂粒 ②酸火焔 ③にぶい黄褐色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転右回りか。内 面口縁部は横方向のヘラ磨き。
19	第553図	黒色土器 椀	86区E-11 底～口縁下位片	②6.2	①細砂粒 ②還元火焔 ③灰色	内外面黒色処理。ロクロ成形、回転右回り。底 部は回転糸切り。
20	第553図	黒色土器 椀	86区E-10 底部片	②7.0	①細砂粒 ②酸火焔 ③灰褐色	内外面黒色処理。口縁部は斜め方向、底部は不 定方向のヘラ磨き。内面は放射状へラ磨き。
21	第553図	黒色土器 椀	86区F-12 底～口縁下位片	②7.0 ④6.6	①細砂粒 ②酸火焔 ③にぶい黄褐色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転右回り。底部は ヘラナデ。高台は貼付。内面は放射状へラ磨き。
22	第553図	黒色土器 椀	86区C-6 底～口縁下位片	②6.4 ④6.0	①細砂粒 ②酸火焔 ③にぶい黄褐色	内外面黒色処理。ロクロ成形、回転右回り。底部 はヘラナデ。高台は貼付。内面は放射状へラ磨き
23	第553図	黒色土器 椀	86区F-12 底～口縁下位片	②7.0 ④7.6	①細砂粒 ②酸火焔 ③にぶい橙色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転右回り。底部 は回転糸切り。高台は貼付。
24	第553図 PL192	黒色土器 皿	86区C-14 1/5	①12.4 ②6.6 ③(2.0)	①細砂粒 ②酸火焔 ③にぶい黄褐色	内面黒色処理。ロクロ成形、回転右回り。底部 は回転糸切り。内面は雑な花卉状へラ磨き。

須恵器 杯蓋

No.	挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出 土 位 置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
25	第553図 PL192	須恵器 杯蓋	86区A・B-3 口縁部欠	摘径 2.6	①細砂粒 ②還元火焔 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。摘みは貼付。天井部 中ほどは回転へラ削り。

須恵器 杯

No.	挿図番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存率	法量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴
26	第553図 PL193	須恵器 杯	86区A-12 1/4	①10.2 ② 5.6 ③ 3.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
27	第553図 PL193	須恵器 杯	85区S-5 1/4	①11.4 ② 6.8 ③ 3.7	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
28	第553図 PL193	須恵器 杯	86区J-4 1/3	①11.6 ② 7.4 ③ 4.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
29	第553図 PL193	須恵器 杯	86区A-7 1/3	①11.8 ② 6.6 ③ 3.5	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
30	第553図 PL193	須恵器 杯	86区E-12 1/3	①12.0 ② 7.4 ③ 3.5	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
31	第553図 PL193	須恵器 杯	86区M-4 1/4	①11.8 ② 7.8 ③ 3.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
32	第553図 PL193	須恵器 杯	85区F-11 1/4	①12.0 ② 7.0 ③ 4.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転ヘラ切り 後回転ヘラ削り。
33	第553図 PL193	須恵器 杯	86区M-5 1/4	①12.2 ② 7.0 ③ 3.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 内面見込み部に重焼き痕が残る。
34	第553図 PL193	須恵器 杯	86区O-4 1/2	①12.6 ② 7.1 ③ 4.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
35	第554図 PL193	須恵器 杯	86区C-14 完形	①12.0 ② 7.4 ③ 3.1	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
36	第554図 PL193	須恵器 杯	86区F-9 1/4	①12.0 ② 6.4 ③ 3.3	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。
37	第554図 PL193	須恵器 杯	86区C-15 口唇部一部欠	①12.0 ② 7.2 ③ 3.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
38	第554図 PL193	須恵器 杯	86区B-13 1/4	①12.6 ② 7.0 ③ 3.4	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
39	第554図 PL193	須恵器 杯	2次 3/4	①12.8 ② 8.0 ③ 3.7	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転ヘラ切り 後回転ヘラ削り。
40	第554図 PL193	須恵器 杯	86区A-7 1/4	①12.8 ② 8.0 ③ 3.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転ヘラ削り。
41	第554図 PL193	須恵器 杯	85区S-6 口縁部大半欠	①12.8 ② 7.8 ③ 2.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
42	第554図 PL193	須恵器 杯	86区D-18 1/4	①13.4 ② 8.0 ③ 3.9	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
43	第554図 PL194	須恵器 杯	86区F-4 1/5	①14.2 ② 9.0 ③ 3.6	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
44	第554図 PL193	須恵器 杯	86区D-5 1/6	①11.1 ② 6.4 ③ 3.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
45	第554図 PL194	須恵器 杯	85区S-6 1/4	①12.2 ② 7.8 ③ 3.6	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
46	第554図 PL194	須恵器 杯	86区L-16 1/3	①12.4 ② 6.1 ③ 4.1	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
47	第554図	須恵器 杯	2次 1/5	①12.6 ② 7.6 ③ 3.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
48	第554図 PL194	須恵器 杯	85区 完形	①12.7 ② 7.2 ③ 3.4	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
49	第554図 PL194	須恵器 杯	85区 口縁部一部欠	①13.0 ② 6.5 ③ 3.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
50	第554図 PL194	須恵器 杯	86区D-14 1/4	①13.2 ② 7.4 ③ 3.7	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
51	第554図 PL194	須恵器 杯	85区S-4 1/5	①13.4 ② 7.0 ③ 3.6	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
52	第555図 PL194	須恵器 杯	86区A-6 1/2	①11.2 ② 5.3 ③ 3.0	①細砂粒 ②酸焰 ③明赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
53	第555図 PL194	須恵器 杯	86区J-4 1/4	①12.8 ② 6.6 ③ 3.3	①細砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
54	第555図 PL194	須恵器 杯	86区J-10 1/3	①13.0 ② 6.8 ③ 3.5	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
55	第555図 PL194	須恵器 杯	86区J-10 1/4	①13.0 ② 7.0 ③ 3.7	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。

56	第555図 PL194	須恵器 杯	86区C-14 口縁部大半欠	①13.2 ② 6.2 ③ 3.7	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
57	第555図 PL194	須恵器 杯	85区T-13 1/2	①14.2 ② 7.4 ③ 3.7	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
58	第555図 PL194	須恵器 杯	86区H-18・19 1/2	①14.4 ② 8.0 ③ 3.4	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
59	第555図 PL194	須恵器 杯	86区K-16 口唇部一部欠	① 9.5 ② 5.8 ③ 2.7	①細砂粒 ②酸焰 ③淡黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は静止糸切り。 内外面の口縁部に煤付着。
60	第555図 PL194	須恵器 杯	86区C-14 3/4	① 8.8 ② 4.0 ③ 2.5	①細砂粒 ②酸焰 ③明黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
61	第555図	須恵器 杯	86区G-10 1/5	① 8.2 ② 5.6 ③ 2.1	①細砂粒 ②酸焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は不定方向のへ ら削り。内面に煤付着。

須恵器 椀 (無台)

No	挿図番号 図版番号	種 類	出土位置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
62	第555図 PL194	須恵器 椀	86区C-10 ほぼ完形	①11.0 ② 5.6 ③ 3.0	①細砂粒、褐色粒 ②酸 焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
63	第555図	須恵器 椀	85区S-7 1/6	①11.4 ② 6.0 ③ 3.2	①細砂粒 ②還元焰燻 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
64	第555図	須恵器 椀	86区H-16 3/4	①11.8 ② 5.2 ③ 3.7	①粗砂粒 ②酸焰 ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
65	第555図 PL195	須恵器 椀	86区M-11 1/4	①12.0 ② 5.0 ③ 3.4	①細砂粒 ②還元焰燻 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
66	第555図	須恵器 椀	86区C-10 1/5	①12.0 ② 5.2 ③ 3.4	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
67	第555図 PL195	須恵器 椀	86区F-7 3/4	①12.4 ② 6.3 ③ 4.2	①粗砂粒、褐色粒 ②酸焰 ③橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
68	第555図 PL195	須恵器 椀	86区B-13 1/5	①12.4 ② 6.0 ③ 4.3	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
69	第555図 PL195	須恵器 椀	86区F-13 1/4	①13.2 ② 6.2 ③ 4.3	①細砂粒 ②還元焰燻 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
70	第555図 PL195	須恵器 椀	86区E-10 1/4	①13.2 ② 6.8 ③ 4.2	①細砂粒 ②還元焰燻 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
71	第555図 PL195	須恵器 椀	86区 1/4	①13.6 ② 7.0 ③ 3.7	①細砂粒 ②還元焰燻 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
72	第556図	須恵器 椀	85区T-11 1/4	①14.0 ② 7.0 ③ 3.5	①細砂粒 ②還元焰軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
73	第556図 PL195	須恵器 椀	86区N-4 口縁部上半欠	② 7.6	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
74	第556図 PL195	須恵器 椀	86区B-7 1/4	①10.0 ② 4.9 ③ 3.0	①粗砂粒 ②還元焰燻 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
75	第556図 PL195	須恵器 椀	86区B-7 1/3	①10.0 ② 4.6 ③ 3.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
76	第556図 PL195	須恵器 椀	86区F-10 1/5	①10.0 ② 6.0 ③ 3.4	①粗砂粒 ②還元焰燻 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
77	第556図 PL195	須恵器 椀	86区C-10 3/4	①10.2 ② 6.0 ③ 3.4	①粗砂粒 ②還元焰燻 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
78	第556図 PL195	須恵器 椀	86区C-8 1/3	①10.4 ② 5.4 ③ 3.2	①粗砂粒 ②酸焰ざきみ ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
79	第556図 PL195	須恵器 椀	86区C-10 完形	①10.6 ② 5.2 ③ 3.2	①粗砂粒 ②還元焰燻 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
80	第556図 PL195	須恵器 椀	86区C-8 3/4	①10.6 ② 6.0 ③ 3.3	①粗砂粒 ②還元焰燻 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
81	第556図 PL195	須恵器 椀	86区A-6 1/2	①10.7 ② 5.0 ③ 3.1	①細砂粒、褐色粒 ②酸焰 ③明赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
82	第556図 PL195	須恵器 椀	86区C-10 完形	①10.7 ② 5.6 ③ 3.4	①粗砂粒 ②還元焰燻 ③にぶい黄橙色	焼成時の歪みあり。ロクロ成形、回転右回り。 底部は回転糸切り。
83	第556図 PL195	須恵器 椀	86区E-13 2/3	①10.8 ② 5.4 ③ 3.2	①細砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
84	第556図 PL195	須恵器 椀	85区R-8 口縁部大半欠	①10.8 ② 5.6 ③ 3.2	①粗砂粒 ②酸焰 ③橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。

85	第556図 PL196	須恵器 椀	86区A-7 口唇部一部欠	①11.0 ② 4.8 ③ 3.9	①粗砂粒 ②還元焰 ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
86	第556図 PL196	須恵器 椀	86区A-7 1/5	①11.0 ② 6.6 ③ 3.3	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はナデで不明。
87	第556図 PL196	須恵器 椀	86区B-18 2/3	①11.0 ② 5.8 ③ 3.7	①細砂粒 ②還元焰軟質 ③浅黄色	ロクロ成形、回転右回り。
88	第556図 PL196	須恵器 椀	85区S-5 1/6	①11.1 ② 5.6 ③ 3.9	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。
89	第556図 PL196	須恵器 椀	86区L-2 1/2	①11.4 ② 5.2 ③ 3.7	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
90	第557図 PL196	須恵器 椀	86区K-10 1/4	①11.6 ② 7.0 ③ 4.5	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
91	第557図 PL196	須恵器 椀	86区L-9 1/4	①12.0 ② 6.4 ③ 3.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
92	第557図 PL196	須恵器 椀	86区D-9 口唇部一部欠	①12.1 ② 6.4 ③ 4.2	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
93	第557図 PL196	須恵器 椀	85区T-16 1/2	①12.2 ② 6.0 ③ 4.1	①粗砂粒 ②還元焰燻 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
94	第557図 PL196	須恵器 椀	86区F-16 1/3	①12.6 ② 6.5 ③ 3.9	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③浅黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
95	第557図 PL196	須恵器 椀	86区B-3 口唇部一部欠	①12.6 ② 6.2 ③ 4.4	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③浅黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
96	第557図 PL196	須恵器 椀	86区F-9 1/3	①13.0 ② 6.7 ③ 4.4	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
97	第557図 PL196	須恵器 椀	86区C-8 1/3	①13.4 ② 6.2 ③ 4.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
98	第557図 PL196	須恵器 椀	86区E-12 2/3	①11.9 ② 4.4 ③ 4.2	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③灰白色	焼成時の歪みが大きい。ロクロ成形、回転右回り底部は回転糸切り。口縁部下半にヘラナデ。
99	第557図 PL196	須恵器 椀	86区C-16 3/4	①10.2 ② 5.6 ③ 3.5	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
100	第557図 PL196	須恵器 椀	86区E-11 完形	①10.8 ② 5.3 ③ 3.5	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
101	第557図 PL196	須恵器 椀	86区H-12 完形	①12.8 ② 6.8 ③ 4.0	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。外面口縁部に墨書「？」と「物」。
102	第557図 PL196	須恵器 椀	86区D・F-11 1/3	①11.0 ② 5.8 ③ 4.2	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
103	第557図 PL197	須恵器 椀	86区B-10 1/2	①11.8 ② 5.4 ③ 3.7	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。内面口唇部に煤付着。
104	第557図 PL197	須恵器 椀	86区C-9 1/3	①10.6 ② 5.0 ③ 3.3	①粗砂粒 ②還元焰燻 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
105	第558図 PL197	須恵器 椀	86区F-10 口唇部僅か欠	①10.8 ② 4.7 ③ 4.1	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は雑な回転糸切り。
106	第558図 PL197	須恵器 椀	86区A-6 1/4	①11.0 ② 4.8 ③ 3.5	①粗砂粒 ②酸火焰 ③明赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
107	第558図 PL197	須恵器 椀	86区F-11 1/5	①11.6 ② 5.0 ③ 3.2	①粗砂粒 ②酸火焰 ③橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
108	第558図 PL197	須恵器 椀	86区C-4 2/3	①11.4 ② 4.6 ③ 4.0	①粗砂粒 ②酸火焰 ③赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
109	第558図 PL197	須恵器 椀	86区D-10 1/4	①13.6 ② 5.6 ③ 4.2	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。内面に漆？が付着。

須恵器 椀 (有台)

No	挿図番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存率	法量 残(単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴
110	第558図 PL197	須恵器 椀	86区J-12 1/3	①12.6 ② 7.0 ③(6.1)	①細砂粒、小礫 ②還元焰 ③灰色	焼成時の歪みが大きい。底部高台接合面に重焼き痕。ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り
111	第558図 PL197	須恵器 椀	85区T-10 1/5	①14.0 ② 6.8 ③(5.0)	①細砂粒 ②還元焰軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切りか。高台は貼付であるが剥落。
112	第558図 PL197	須恵器 椀	86区D-6 1/4	①12.2 ② 6.8 ③ 4.4 ④ 6.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切りか。高台は貼付。
113	第558図 PL197	須恵器 椀	86区D-11 1/3	①14.0 ① 7.1 ③ 4.7 ④ 7.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。

114	第558図 PL197	須恵器 椀	86区G-3 1/3	①15.9 ②7.2 ③6.9 ④5.7	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
115	第558図 PL197	須恵器 椀	86区J-10 口縁部大半欠	②9.0 ④9.3	①細砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
116	第558図 PL197	須恵器 椀	85区R-5 1/3	①16.0 ②7.6 ③(3.7)	①粗砂粒 ②酸火焰ぎみ ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付であるが剥落。
117	第558図 PL197	須恵器 椀	次調査区 1/4	①10.6 ②6.8 ③5.0 ④6.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ヘラナデで不明。高台は貼付。
118	第558図 PL197	須恵器 椀	86区A-12 1/2	①11.3 ②6.1 ③4.6 ④5.7	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
119	第558図 PL197	須恵器 椀	86区A-12 口縁部大半欠	①11.4 ②6.3 ③4.1 ④6.0	①粗砂粒 ②酸火焰ぎみ ③にぶい黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
120	第558図 PL197	須恵器 椀	86区D-18 口縁部大半欠	①11.6 ②6.6 ③3.8 ④3.8	①粗砂粒、小礫 ②酸火焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
121	第559図 PL198	須恵器 椀	85区T-6 2/3	①12.2 ②6.3 ③4.9 ④6.3	①粗砂粒、褐色粒 ②酸火焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。口唇部に煤付着。
122	第559図 PL198	須恵器 椀	86区B-18 2/3	①12.2 ②5.3 ③3.9 ④4.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
123	第559図 PL198	須恵器 椀	86区M-4 口縁部大半欠	①14.0 ②9.1 ③5.3 ④8.5	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
124	第559図 PL198	須恵器 椀	86区P-15 1/4	①14.2 ②7.8 ③9.2 ④4.7	①粗砂粒、小円礫 ②酸火焰ぎみ ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
125	第559図 PL198	須恵器 椀	86区E-8 ほぼ完形	①15.0 ②8.8 ③6.4 ④7.0	①粗砂粒、小円礫 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
126	第559図	須恵器 椀	86区J-9 1/5	①11.3 ②5.6 ③4.3 ④4.9	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不 明。高台は貼付。
127	第559図 PL198	須恵器 椀	85区T-7 1/5	①11.8 ②6.4 ③4.4 ④6.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
128	第559図 PL198	須恵器 椀	86区M-12 1/2	①11.8 ②7.3 ③6.6 ④6.6	①粗砂粒 ②還元焰燻 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
129	第559図 PL198	須恵器 椀	85区S-6 1/4	①12.0 ②6.0 ③4.8 ④5.0	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
130	第559図 PL198	須恵器 椀	86区E-11 口縁部大半欠	①12.0 ②7.0 ③5.4 ④6.6	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
131	第559図 PL198	須恵器 椀	86区E-12 1/5	①12.2 ②7.0 ③5.0 ④6.7	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不 明。高台は貼付。
132	第559図 PL198	須恵器 椀	86区M-12 1/4	①12.4 ②6.6 ③5.4 ④6.1	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不 明。高台は貼付。
133	第559図 PL198	須恵器 椀	86区B-3 1/4	①12.6 ②6.2 ③5.8 ④4.8	①粗砂粒 ②酸火焰 ③橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後 薄い粘土板を貼付か。高台は貼付。
134	第559図 PL198	須恵器 椀	86区M-12 口縁部一部欠	①12.8 ②6.6 ③4.7 ④6.1	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
135	第559図 PL198	須恵器 椀	86区F-8 口縁部一部欠	①12.8 ②6.2 ③4.6 ④5.1	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
136	第559図 PL198	須恵器 椀	86区L-5 1/5	①12.8 ②6.0 ③4.3 ④5.5	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
137	第559図 PL198	須恵器 椀	86区 1/4	①13.1 ②6.6 ③5.1 ④6.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
138	第559図	須恵器 椀	86区F-8 1/5	①13.0 ②7.0 ③4.5 ④6.0	①粗砂粒 ②酸火焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
139	第560図 PL198	須恵器 椀	86区C-10 完形	①13.0 ②6.8 ③6.4 ④5.3	①粗砂粒 ②還元焰ぎみ ③浅黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
140	第560図 PL198	須恵器 椀	86区C-4 1/4	①13.4 ②6.2 ③4.5 ④6.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切りで 周囲はナデ。高台は貼付。
141	第560図 PL199	須恵器 椀	86区F-11 完形	①13.6 ②6.8 ③5.3 ④6.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高 台は貼付。外面口縁部に墨書か、文字判読不能。
142	第560図 PL199	須恵器 椀	86区F-11 1/3	①13.8 ②6.8 ③4.9 ④6.5	①粗砂粒、小礫 ②酸火焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
143	第560図 PL199	須恵器 椀	86区E-11 1/4	①14.0 ②6.8 ③5.1 ④5.9	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不 明。高台は貼付。
144	第560図 PL199	須恵器 椀	86区L-3 口縁部一部欠	①14.0 ②7.5 ③5.1 ④6.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。

145	第560図 PL199	須恵器 椀	85区S-6 1/4	①14.2 ②7.0 ③5.4 ④6.6	①粗砂粒 ②還元焰燻 ③黒褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
146	第560図 PL199	須恵器 椀	86区L-15 1/3	①14.4 ②7.6 ③5.1 ④6.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
147	第560図 PL199	須恵器 椀	85区T-7 口縁部一部欠	①14.6 ②6.9 ③6.0 ④6.3	①粗砂粒 ②還元焰 ③浅黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
148	第560図 PL199	須恵器 椀	86区D-10 高台欠	①14.8 ②6.4 ③(5.9)	①粗砂粒 ②還元焰燻 ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
149	第560図 PL199	須恵器 椀	86区A-19 3/4	①14.8 ②7.0 ③5.7 ④6.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
150	第560図 PL199	須恵器 椀	86区C-9 1/3	①14.8 ②7.0 ③(5.2)	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不 明。高台は貼付。
151	第560図 PL199	須恵器 椀	86区F-10 1/4	①14.9 ②7.6 ③(5.0)	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付であるが剥落。
152	第560図 PL199	須恵器 椀	86区C-10 1/4	①11.7 ②6.6 ③5.7 ④5.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。
153	第560図 PL199	須恵器 椀	85区S-6 1/3	①11.0 ②6.0 ③5.0 ④6.0	①粗砂粒 ②酸火焰 ③明赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
154	第561図 PL199	須恵器 椀	86区E-10 1/4	①11.6 ②5.0 ③4.6 ④4.4	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不 明。高台は貼付。
155	第561図 PL199	須恵器 椀	86区D-10 1/2	①11.8 ②6.2 ③5.8 ④5.4	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
156	第561図 PL199	須恵器 椀	86区A-10 1/3	①12.0 ②6.2 ③4.0 ④5.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
157	第561図 PL199	須恵器 椀	86区C-6 1/2	①12.1 ②7.0 ③(4.8)	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付であるが剥落。
158	第561図 PL199	須恵器 椀	86区E-11 1/3	①12.2 ②6.0 ③4.3 ④5.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切りで 周囲をナデ。高台は貼付。
159	第561図 PL200	須恵器 椀	86区K-12 2/3	①12.2 ②6.0 ③5.7 ④6.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
160	第561図 PL200	須恵器 椀	86区C-8 1/4	①12.3 ②7.2 ③5.0 ④6.5	①粗砂粒 ②還元焰 ③褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
161	第561図 PL200	須恵器 椀	86区B-12 ほぼ完形	①12.4 ②6.2 ③4.8 ④5.2	①粗砂粒 ②還元焰 ③浅黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
162	第561図 PL200	須恵器 椀	85区R-8 1/5	①12.8 ②7.0 ③4.8 ④6.6	①粗砂粒 ②酸火焰 ③明赤褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
163	第561図 PL200	須恵器 椀	86区E-12 完形	①13.0 ②7.1 ③6.0 ④7.4	①粗砂粒 ②還元焰燻 ③にぶい褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ヘラナデで不明。高台は貼付。
164	第561図 PL200	須恵器 椀	86区M-12 1/3	①13.2 ②6.9 ③5.2 ④6.3	①粗砂粒 ②還元焰 ③浅黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付で乾燥時の置き台痕が残る。
165	第561図 PL200	須恵器 椀	86区D-11 2/3	①13.6 ②7.2 ③6.4 ④4.5	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
166	第561図 PL200	須恵器 椀	86区A-11 1/4	①15.4 ②8.5 ③5.4 ④7.8	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不 明。高台は貼付。
167	第561図 PL200	須恵器 椀	86区N-7 1/4	①13.8 ②8.0 ④(5.1)	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ナデで不明。高台は貼付であるが剥落。
168	第561図 PL200	須恵器 椀	86区D-11 1/4	①9.8 ②6.0 ③4.2 ④5.6	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。口縁部はヘラナデ。
169	第561図 PL200	須恵器 椀	85区Q-5 1/2	①10.6 ②5.9 ③4.3 ④5.9	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。内外面口唇部に煤付着。
170	第561図 PL200	須恵器 椀	86区E-11 1/3	①11.0 ②5.4 ③4.6 ④5.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ヘラナデで不明。高台は貼付。
171	第561図 PL200	須恵器 椀	86区C-18 高台端部欠	①11.5 ②6.1 ③(4.5)	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付であるが端部が打ち欠かされている。
172	第561図 PL200	須恵器 椀	86区A-12 3/4	①12.6 ②5.8 ③4.7 ④6.0	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ヘラナデで不明。高台は貼付。
173	第561図 PL200	須恵器 椀	86区A-12 3/4	①12.7 ②6.0 ③5.4 ④6.4	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法は ヘラナデで不明。高台は貼付。
174	第562図 PL200	須恵器 椀	86区C-10 1/4	①13.6 ②6.8 ③(6.1)	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不 明。高台は貼付であるが剥落。
175	第562図	須恵器 椀	85区T-6 1/5	①12.8 ②6.5 ③4.3 ④6.1	①粗砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切りか。 高台は貼付。

176	第562図 PL200	須恵器 椀	86区A-7 1/2	①13.2 ② 7.2 ③ 4.6 ④ 6.8	①粗砂粒 ②還元火焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
177	第562図 PL200	須恵器 椀	86区C-11 1/4	①13.8 ② 6.4 ③ 5.0 ④ 5.6	①粗砂粒 ②還元火焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法不明。 高台は貼付。
178	第562図 PL201	須恵器 椀	86区A-19 1/3	①14.0 ② 6.0 ③ 4.6 ④ 5.7	①粗砂粒 ②還元火焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
179	第562図 PL201	須恵器 椀	86区A-7 1/4	①13.4 ② 6.8 ③ 7.1 ④ 7.6	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。 口縁部下半ヘラナデ。外面に墨書「物」
180	第562図 PL201	須恵器 椀	86区L-5 1/5	①14.6 ② 6.6 ③ 5.5 ④ 7.2	①粗砂粒、褐色粒 ②酸火焰 ③橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。一部煤付着。
181	第562図 PL201	須恵器 椀	86区G-12 1/3	①14.7 ② 7.0 ③ 6.4 ④ 8.4	①粗砂粒、褐色粒 ②酸火焰 ③にぶい黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。 高台は貼付。
182	第562図 PL201	須恵器 椀	86区D-11 1/2	①15.4 ② 8.0 ③ 6.7 ④ 8.5	①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。 高台は貼付。
183	第562図 PL201	須恵器 椀	85区T-8 1/4	①17.6 ② 8.7 ③ (5.0)	①粗砂粒、褐色粒 ②還元火焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部切り離し技法はヘラナデで不明。 高台は貼付であるが剥落。
184	第562図 PL201	須恵器 椀	86区N-5 底部片	② 6.2 ④ 6.0	①粗砂粒 ②還元火焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。内面に放射状の線刻。
185	第562図 PL201	須恵器 椀	86区D-5 底部片	② 6.2 ④ 5.4	①粗砂粒 ②還元火焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。内面にも回転糸切り痕。

#### 須恵器 皿

No.	挿図番号 図版番号	種類	出土位置 残存率	法量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴
186	第562図 PL201	須恵器 皿	86区E-11 1/4	①12.8 ② 6.2 ③ 2.2 ④ 6.8	①細砂粒 ②還元火焰 ③灰黄褐色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
187	第562図 PL201	須恵器 皿	86区C-2 1/4	①13.0 ② 7.4 ③ 3.0 ④ 8.0	①細砂粒 ②還元火焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切りか。 高台は貼付。
188	第562図 PL201	須恵器 皿	86区C-4 1/4	①13.6 ② 8.3 ③ 2.4 ④ 8.2	①細砂粒 ②還元火焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転ヘラ削り。 高台は貼付。
189	第562図 PL201	須恵器 皿	85区R-6 1/3	①13.4 ② 7.0 ③ 2.9 ④ 7.0	①細砂粒 ②還元火焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。 高台は貼付。
190	第562図 PL201	須恵器 皿	86区C-11 1/2	①12.2 ② 5.7 ③ (1.8)	①細砂粒 ②還元火焰 ③灰色	内面に輪積痕が残る。ロクロ成形、回転右回り。 底部は回転糸切り。高台は貼付であるが剥落。
191	第562図 PL201	須恵器 皿	86区D-14 1/4	①13.0 ② 5.8 ③ (2.5)	①細砂粒 ②酸火焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後ナデ。 高台は貼付であるが剥落。

#### 須恵器 盤・高杯・鉢

No.	挿図番号 図版番号	種類	出土位置 残存率	法量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴
192	第563図 PL201	須恵器 盤	86区B-12 底部片	②13.0 ④12.8	①細砂粒 ②還元火焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転ヘラ削り。 高台は貼付。
193	第563図 PL201	須恵器 高杯	86区E-12 脚部片	接合部径 5.0	①粗砂粒 ②還元火焰軟質 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。脚部は杯身に貼付。
194	第563図	須恵器 鉢(鉄鉢)	86区H-15 口縁部片	①15.8 最大径17.2	①細砂粒 ②還元火焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。

#### 青磁・白磁 椀

No.	挿図番号 図版番号	種類	出土位置 残存率	法量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴
195	第563図	青磁 碗	86区D-6 口縁部小片		①緻密 ②還元火焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。外面片彫りによる 鎊蓮弁文。釉葉は透明感あり厚く(0.6mm)施釉。
196	第563図	青磁 碗	86区F-17 口縁部小片		①緻密 ②還元火焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。外面片彫りによる鎊 蓮弁文。釉葉はやや不透明で厚く(0.5mm)施釉。
197	第563図	白磁 碗	86区D-9 口縁部小片		①緻密 ②還元火焰焼締め ③灰白色	ロクロ成形、回転方向不明。口唇部は玉縁状。釉 葉は不透明で厚く(0.4mm)施釉、刷減している。

#### 緑釉陶器 椀・皿

No.	挿図番号 図版番号	種類	出土位置 残存率	法量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴
198	第563図 PL201	緑釉陶器 稜椀	85・T-18、86・A -14口縁部片	①18.0	①微砂粒 ②還元火焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。釉調は透明感のある 濃緑色。東海産10C.代
199	第563図	緑釉陶器 稜椀	86区A-14 口縁部小片		①微砂粒 ②還元火焰 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。内面に陰刻。釉調 は透明感のある淡緑色。東海産10C.代前半

200	第563区	緑釉陶器 椀	86区C-13 口縁部小片		①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。釉調は透明感のある淡黄緑色。東海10C.代
201	第563区 PL201	緑釉陶器 椀	86区E-11 底部片	② 7.0 ④ 6.6	①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。内外面にトチン痕が見られる。高台は貼付。東海10C.代
202	第563区	緑釉陶器 椀	3次調査区 底部片	② 6.2 ④ 6.0	①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部回転ヘラ削り。高台削り出し。外面底部以外を施釉。京都10C.代
203	第563区 PL201	緑釉陶器 輪花椀	86区A-6 口縁部小片	② 7.5	①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。外面に輪花。内外面に雑なヘラ磨き。高台は貼付か。東海産10C.後半
204	第563区	緑釉陶器 耳皿	86区F-5 口縁部小片		①微砂粒 ②還元焰軟質 ③灰黄色	ロクロ成形。釉調は透明感のある淡黄緑色。東海産10C.後半
205	第563区	緑釉陶器 耳皿	86区A-12 口縁部小片		①微砂粒 ②還元焰 ②灰色	ロクロ成形、回転方向不明。釉調は透明感のある濃緑色。東海産10C.後半
206	第563区	緑釉陶器 椀	85区T-5 口縁部小片		①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。釉調は透明感のない濃緑色。東海産10C.後半
207	第563区	緑釉陶器 椀?	口縁部小片		①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。釉調は透明感のある淡黄緑色。東海産10C.後半
208	第563区	緑釉陶器 椀	口縁部小片		①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。釉調は透明感のある淡緑色。猿投産K-90窯式期
209	第563区	緑釉陶器 椀	86区F-9 口縁部小片		①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。釉調は透明感のある濃緑色。猿投産K-90窯式期
210	第563区	緑釉陶器 椀	口縁部小片		①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。釉調は透明感のある淡緑色。東海産10C.代
211	第563区	緑釉陶器 椀	調査区 口縁部小片		①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。釉調は透明感のある緑色。東海産10C.代
212	第563区	緑釉陶器 椀	86区F-9 口縁部下位片		①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。口縁部下位は回転ヘラ削り。釉調は透明感のある緑色。猿投産K-90
213	第563区	緑釉陶器 椀	86区B-16 口縁部小片		①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。釉調は透明感のある淡緑色。東海産10C.代
214	第563区	緑釉陶器 椀	口縁部小片		①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。釉調は透明感のある緑色。東海産10C.代
215	第563区 PL202	緑釉陶器 椀	86区B-9 口縁部小片		①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転方向不明。釉調は透明感のある濃緑色。東海産10C.代
216	第563区	緑釉陶器 椀	86区A-7 口縁部小片		①微砂粒 ②酸火焰ざみ ③黄橙色	ロクロ成形、回転方向不明。釉調は透明感のある淡緑色。
217	第563区	緑釉陶器 皿	86区D-11 口縁部小片		①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。口縁部下位は回転ヘラ削り。東海産10C.代

#### 灰釉陶器 椀

No.	挿図番号 図版番号	種類	出土位置 残存率	法量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴
218	第563区 PL202	灰釉陶器 椀	86区G-8 1/3	①13.0 ② 6.4 ③ 4.2 ④ 5.8	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。高台は貼付。施釉方法は刷毛塗り。
219	第563区 PL202	灰釉陶器 椀	85区Q-5 2/3	①13.2 ② 6.6 ③ 4.1 ④ 6.2	①微砂粒 ②還元焰焼締 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。高台は貼付。施釉方法は刷毛塗り。
220	第563区 PL202	灰釉陶器 椀	86区D-11 1/4	①13.8 ② 7.0 ③ 4.4 ④ 6.6	①微砂粒 ②還元焰焼締 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。高台は貼付。施釉方法は刷毛塗り。
221	第563区 PL202	灰釉陶器 椀	86区D-11 3/4	①14.9 ② 8.4 ③ 4.6 ④ 8.0	①微砂粒 ②還元焰 ③灰黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。高台は貼付。施釉方法は刷毛塗り。
222	第563区	灰釉陶器 椀	2次調査区 底部	② 6.8 ④ 6.0	①微砂粒、緻密 ②還元焰焼締 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。高台は貼付。施釉方法不明。
223	第563区	灰釉陶器 椀	86区D-14 1/5	①13.3 ② 6.4 ③ 6.0 ④ 4.7	①微砂粒 ②還元焰焼締 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け。
224	第563区 PL204	灰釉陶器 椀	86区C-2 1/4	①13.8 ② 7.0 ③ 4.7 ④ 6.6	①微砂粒 ②還元焰焼締 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け。
225	第563区 PL202	灰釉陶器 椀	86区B-11・12 1/4	①14.8 ② 8.0 ③ 5.1 ④ 7.2	①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け。
226	第563区	灰釉陶器 椀	86区E-10 1/4	①15.4 ② 7.4 ③ 4.8 ④ 7.0	①微砂粒 ②還元焰焼締 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け。
227	第564区 PL202	灰釉陶器 椀	86区A-10 1/3	①15.4 ② 7.4 ③ 5.4 ④ 5.4	①微砂粒 ②還元焰焼締 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け。
228	第564区 PL202	灰釉陶器 椀	85区R-6、S-4 1/3	①16.0 ② 8.6 ③ 5.3 ④ 8.4	①微砂粒、緻密 ②還元焰焼締 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後ヘラナデ。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け。

229	第564図 PL202	灰釉陶器 椀	86区C-12 1/3	①16.2 ② 7.8 ③ 4.7 ④ 7.8	①微砂粒、緻密 ②還元焼締 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。高台は貼付。施釉方法不明。
230	第564図 PL202	灰釉陶器 椀	86区A-19 1/4	①16.8 ② 8.6 ③ 5.7 ④ 8.0	①微砂粒、緻密 ②還元焼締 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。高台は貼付。施釉方法は漬け掛けか。
231	第564図 PL202	灰釉陶器 椀	85区S-5 口縁部一部欠	①17.1 ② 8.8 ③ 6.2 ④ 8.0	①微砂粒 ②還元焼 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け。
232	第564図 PL202	灰釉陶器 椀	86区D-5・6 1/4	①18.6 ② 8.0 ③ 6.0 ④ 7.8	①微砂粒 ②還元焼締 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け。
233	第564図 PL202	灰釉陶器 椀	85区Q-5 1/5	①19.6 ② 8.8 ③ 8.0 ④ 5.5	①微砂粒 ②還元焼締 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。高台は貼付。施釉方法は漬け掛けか。
234	第564図 PL203	灰釉陶器 椀	86区G-10・11 1/4	② 6.6 ④ 6.0	①微砂粒 ②還元焼 ③浅黄色	ロクロ成形、回転右回り。底部ヘラナデ。施釉方法漬け掛け。内外面底部に墨書、内「佐」、外「千山」
235	第564図 PL203	灰釉陶器 椀	86区F-11 1/4	② 6.8 ④ 6.4	①微砂粒 ②還元焼締 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ高台は貼付。施釉方法は漬け掛け。
236	第564図	灰釉陶器 椀	2次調査区 底部	② 8.0 ④ 6.8	①微砂粒 ②還元焼 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。施釉方法は漬け掛けか。
237	第564図 PL203	灰釉陶器 椀	86区 1/4	①14.4 ② 7.2 ③ 5.4 ④ 7.2	①微砂粒 ②還元焼 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け。
238	第564図 PL203	灰釉陶器 椀	86区O-10 底部	② 7.0 ④	①微砂粒 ②還元焼 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り後ヘラナデ。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け。
239	第564図 PL203	灰釉陶器 椀	86区C-5 口縁部下位片	② 8.0	①微砂粒 ②還元焼締 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。高台は貼付であるが剥落。施釉方法は漬け掛け。
240	第564図	灰釉陶器 小椀	85区R-5 1/5	①11.2 ② 6.4 ③ 3.7 ④ 6.0	①微砂粒 ②還元焼 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け。
241	第564図	灰釉陶器 小椀	86区G-9 1/3	① 9.2 ② 4.4 ③ 3.2 ④ 4.0	①微砂粒 ②還元焼 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部ヘラナデ。高台貼付。口縁部下位は回転ヘラ削り。施釉は漬け掛け
242	第564図	灰釉陶器 小椀	85区S-8 1/5	①11.0 ② 6.2 ③ 3.1 ④ 6.0	①微砂粒 ②還元焼 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。高台は貼付。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け。
243	第564図	灰釉陶器 小椀	2次調査区 1/5	①12.2 ② 7.0 ③ 4.2 ④ 6.8	①微砂粒 ②還元焼 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け。
244	第564図	灰釉陶器 稜椀	86区E-3 口縁部片	稜径11.6	①微砂粒 ②還元焼 ③灰色	ロクロ成形。口縁部下位は回転ヘラ削り。施釉方法は刷毛塗りか。

#### 灰釉陶器 皿

No.	挿図番号 図版番号	種類 器種	出土位置 残存率	法量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴
245	第564図	灰釉陶器 段皿	86区N-13 底部片	② 7.4 ④ 7.6	①微砂粒 ②還元焼 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転ヘラ削り。高台は貼付。内面底部にトチン痕。内面全面施釉
246	第564図 PL203	灰釉陶器 皿	86区E-9 1/3	①14.8 ② 7.0 ③ 2.4 ④ 6.6	①微砂粒 ②還元焼 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。高台は貼付。施釉方法は刷毛塗り。
247	第564図	灰釉陶器 皿	86区K-10 2/3	①13.8 ② 6.4 ③ 5.8 ④ 5.8	①微砂粒 ②還元焼 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部ヘラナデ。高台貼付。見込み部に重焼き痕。施釉方法は刷毛塗り。
248	第564図 PL203	灰釉陶器 皿	86区G-8・9 1/2	①14.0 ② 7.2 ③ 2.5 ④ 6.6	①微砂粒 ②還元焼 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。高台は貼付。施釉方法は刷毛塗り。
249	第564図 PL203	灰釉陶器 皿	86区H-4、E-11 3/4	①12.2 ② 7.0 ③ 2.4 ④ 6.7	①微砂粒 ②還元焼 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。高台は貼付。施釉方法は刷毛塗り。
250	第564図	灰釉陶器 皿	86区C-11 1/5	①13.5 ② 7.4 ③ 2.7 ④ 7.0	①微砂粒 ②還元焼 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部ヘラナデ。高台貼付。見込み部に重焼き痕。施釉方法は刷毛塗り。
251	第565図 PL203	灰釉陶器 皿	86区E-10 1/4	①13.4 ② 7.4 ③ 2.7 ④ 7.0	①微砂粒 ②還元焼 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。高台は貼付。施釉方法は刷毛塗り。
252	第565図 PL203	灰釉陶器 皿	85区T-4 1/4	①12.0 ② 6.8 ③ 2.2 ④ 6.4	①微砂粒 ②還元焼 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。高台は貼付。施釉方法は漬け掛けか。
253	第565図	灰釉陶器 皿	85区S-7 1/4	①12.0 ② 7.0 ③ 2.2 ④ 6.4	①微砂粒 ②還元焼 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け。
254	第565図 PL203	灰釉陶器 皿	86区C-11 1/2	①12.4 ② 6.8 ③ 4.5 ④ 6.0	①微砂粒 ②還元焼 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け。
255	第565図 PL203	灰釉陶器 皿	86区P-13 ほぼ完形	①13.2 ② 7.0 ③ 2.9 ④ 6.4	①微砂粒 ②還元焼 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部ヘラナデ。高台貼付。口縁部下位は回転ヘラ削り。施釉は漬け掛け
256	第565図 PL203	灰釉陶器 皿	85区R・S-7 1/2	①13.0 ② 6.8 ③ 2.5 ④ 6.4	①微砂粒 ②還元焼 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け。
257	第565図 PL203	灰釉陶器 皿	86区A-11 1/3	①12.2 ② 5.8 ③(2.0)	①微砂粒 ②還元焼 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け。

258	第565図	灰釉陶器 皿	86区C-7 1/4	①12.2 ② 6.7 ③ 2.1 ④ 6.1	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。高台は貼付。施釉方法不明。
259	第565図 PL203	灰釉陶器 皿	86区A-3 1/2	①12.2 ② 7.0 ③ 2.8 ④ 6.6	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け。
260	第565図	灰釉陶器 皿	85区T-6 1/2	①12.6 ② 6.5 ③ 2.7 ④ 6.0	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け。
261	第565図	灰釉陶器 皿	86区A-7 1/4	①12.8 ② 6.7 ③ 2.8 ④ 6.1	①微砂粒 ②還元焰焼締 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部ヘラナデ。高台貼付。見込み部に重焼き痕。施釉方法は漬け掛け。
262	第565図	灰釉陶器 小皿	2次調査区 1/5	①10.8 ② 5.6 ③ 2.3 ④ 4.6	①微砂粒 ②還元焰焼締 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け。
263	第565図	灰釉陶器 小皿	86区B-9 1/5	①11.4 ② 6.6 ③ 2.1 ④ 6.0	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け。
264	第565図	灰釉陶器 小皿	86区C-8 1/5	①11.8 ② 5.6 ③ 2.9 ④ 5.2	①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け。
265	第565図	灰釉陶器 段皿	85区T-14 1/3	①12.6 ② 7.2 ③ 2.3 ④ 6.8	①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け。
266	第565図	灰釉陶器 折縁皿	86区D-8 口縁部片	①11.4	①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形。口縁部下位は回転ヘラ削り。施釉方法は漬け掛けか。
267	第565図 PL203	灰釉陶器 皿	86区F-9 1/3	①10.6 ② 6.2 ③ 6.0 ④ 2.4	①微砂粒 ②還元焰 ③にぶい黄橙色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け。

灰釉陶器 瓶類

No	挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出 土 位 置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
268	第565図 PL203	灰釉陶器 短頸壺蓋	85区S-6 1/3	①11.4 摘径1.9 ③ 2.8	①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。摘みは貼付。施釉範囲は天井部だけであることから自然釉か。
269	第565図 PL203	灰釉陶器 小瓶	86区L-9 胴下位～底部	② 5.0	①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。胴部下位は回転ヘラ削り。施釉方法不明。
270	第565図	灰釉陶器 長頸壺	86区O-9 口縁部片	①13.6	①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形。施釉方法不明。
271	第565図 PL203	灰釉陶器 長頸壺	86区B-10 頸部～胴部片	頸径6.0	①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。頸部と胴部は接合。施釉方法不明。
272	第565図 PL204	灰釉陶器 長頸壺	86区B-7、D-7・8 頸部片	頸径5.2	①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。頸部と胴部は接合。施釉方法不明。
273	第565図	灰釉陶器 長頸壺	86区A-3・5 頸部片	頸径6.4	①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。頸部と胴部は接合。施釉方法不明。
274	第565図 PL204	灰釉陶器 長頸壺	85区T-4 頸部片	頸径7.0	①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。頸部に凹線が1条巡る頸部と胴部は接合。施釉方法不明。
275	第565図 PL204	灰釉陶器 長頸壺	85区S-5 胴部小片		①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形。胴部に陰刻文。施釉方法不明。
276	第565図 PL204	灰釉陶器 長頸壺	86区D-6、E-6 底部～胴部下位	② 7.8 ④ 7.6	①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。高台は貼付。施釉方法は漬け掛け。
277	第565図	灰釉陶器 長頸壺	86区P-10、N-10 底部～胴部下位	② 8.0 ④ 8.0	①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。高台は貼付。胴部下位は回転ヘラ削り。
278	第565図 PL204	灰釉陶器 長頸壺	86区G-2・3、F-3 底部～胴部下位	② 8.8 ④ 9.2	①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。高台は貼付。胴部下位は回転ヘラ削り。施釉方法不明
279	第565図 PL204	灰釉陶器 長頸壺	86区D-18、C-16 底部～胴部下半	② 8.6 ④ 8.6	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。高台は貼付。胴部下半は回転ヘラ削り。施釉方法不明
280	第565図	灰釉陶器 長頸壺	85区T-4 底部～胴部下位	②11.4 ④ 10.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。高台は貼付。胴部下位は回転ヘラ削り。施釉方法不明
281	第566図	灰釉陶器 広口壺	85区T-4 口縁部片	①18.0	①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形。施釉方法不明、釉調は透明感のある緑灰色。
282	第566図	灰釉陶器 手付瓶	86区D-11、E-11 胴部片		①微砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形。胴部は回転ヘラ削り。施釉方法は刷毛塗りか、釉調は透明感のある緑灰色。
283	第566図 PL204	灰釉陶器 手付瓶	86区L-9 把手片		①微砂粒 ②還元焰 ③灰色	表面の施釉方法は刷毛塗りか。裏側はヘラ削りで施釉されていない。

須恵器 瓶類

No	挿図番号 図版番号	種 類 器 種	出 土 位 置 残 存 率	法 量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴
284	第566図	須恵器 長頸壺	86区H-10 頸部	頸径6.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。頸部下位に凹線が2条巡る。胴部と頸部は接合。

285	第566図 PL204	須恵器 長頸壺	86区A-5 胴部下位片	②13.6 ④12.4	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。高台は貼付。
286	第566図 PL204	須恵器 短頸壺蓋	86区G-6、F-5 1/4	①17.0 ③(3.7) 天井径 15.8	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。罫は貼付。天井部は回転ヘラ削り。外面に自然釉付着。
287	第566図 PL204	須恵器 短頸壺	86区N-5、O-4 口縁～胴部上位	①11.6 胴径 15.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回りか。
288	第566図 PL204	須恵器 短頸壺	86区N-4・5、O-5 胴部片	胴径 15.2	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。
289	第566図 PL205	須恵器 短頸壺	86区A・B-12 2/3	①9.7 ②11.6 ③14.0 ④10.4	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。高台は貼付。胴部最下位は回転ヘラ削り。
290	第566図 PL205	須恵器 短頸壺	86区F-11 口縁～胴部中位	①15.6 胴径 29.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。胴部下半は平行叩き痕が残る。

#### 須恵器 甕

No.	挿図番号 図版番号	種類	出土位置 残存率	法量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴
291	第566図 PL205	須恵器 甕	H-10、L-11、M-10 口縁～胴部上位	①48.0 頸径36.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形。口縁部と胴部は接合。胴部は平行叩き。
292	第567図 PL205	須恵器 甕	86区F-11 頸部～胴部上位	頸径32.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形。口縁部と胴部は接合。胴部は平行叩き。内面頸部はヘラナデ。
293	第567図 PL205	須恵器 甕	86区N-4、M-4 胴部下位片	②20.8	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形。胴部は外面平行叩き後一部ヘラナデ内面は同心円状アテ具痕。

#### 須恵器 椀 (底部穿孔)

No.	挿図番号 図版番号	種類	出土位置 残存率	法量 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴
294	第567図 PL205	須恵器 椀	86区F-5 底部の1/3	②7.4 ④7.4 孔径1.0	①粗砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部はヘラナデ。高台は貼付。穿孔は焼成前。
295	第567図 PL205	須恵器 椀	86区E-5 底部	②8.4 ④7.4 孔径1.0	①粗砂粒 ②還元焰軟質 ③黄灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。穿孔は焼成前。
296	第567図 PL205	須恵器 椀	86区B-12 底部の1/2	②8.0 ④8.2 孔径1.0	①細砂粒 ②還元焰軟質 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。穿孔は焼成前。
297	第567図 PL205	須恵器 椀	86区E-4 底部～口縁下位	②8.0 ④7.2 孔径1.4	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。高台は貼付。穿孔は焼成前。

#### 土製品 硯・紡錘車他

No.	挿図番号 図版番号	種類	出土位置 残存率	計測値 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴
298	第567図 PL204	土製品 風字硯	86区F-17 端部小片		①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	側面・下面はヘラナデ。硯面は二分割。
299	第567図 PL205	土製品 紡錘車	86区C-5 一部欠	外径6.0×6.2 厚0.9 孔1.0	①細砂粒 ②還元焰 ③灰白色	ロクロ成形、回転右回り。底部は回転糸切り。穿孔は焼成前。
300	第567図 PL205	土製品 瓦具	86区B-11 一部片	厚1.9	①細砂粒 ②還元焰 ③黄灰色	上面は布目。側面・下面はヘラナデ。
301	第568図	土製品 円盤状製品	86区A-13 一部欠	径4.2 厚0.6	①細砂粒 ②還元焰 ③暗灰黄色	上下面是整形痕不明。側面はヘラナデか。
302	第568図 PL205	土製品 棒状製品	86区C-10 一部	長(4.1)幅1.7 厚1.3	①細砂粒 ②還元焰 ③灰色	整形はヘラ削り。

#### 土製品 瓦

No.	挿図番号 図版番号	種類	出土位置 残存率	計測値 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴
303	第568図 PL206	土製品 丸瓦	86区L-5 一部片		①粗砂粒 ②還元焰 ③灰黑色	上面はヘラナデ、側面はヘラ削り、下面は布目。
304	第568図 PL206	土製品 平瓦	86区C-10・11 一部片		①粗砂粒 ②酸火焰 ③にぶい赤褐色	上面は布目、側面はヘラ削り、下面はヘラナデ。
305	第568図	土製品 平瓦	86区2次 一部片		①粗砂粒 ②酸火焰 ③灰黄色	上面は布目、側面はヘラ削り、下面はヘラナデ。

#### 土製品 埴輪

No.	挿図番号 図版番号	種類	出土位置 残存率	計測値 (単位 cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴
306	第568図 PL206	埴輪 円筒	86区B-8 小片	凸帯径19.0	①粗砂粒 ②酸火焰 ③橙色	凸帯は台形状で貼付。外面は縦方向のハケ目。内面は斜め方向のハケ目で一部ナデが施されている

石製品

No	挿図番号	図版番号	種類・器種	出土位置	残存率	計測値(単位 cm、g)	石材等
307	第568図	PL206	鈴帯 蛇尾	86区B-6	1/3	長(5.5) 幅(3.0) 厚 0.75 重(18)	珪質頁岩  榛名ニッ岳軽石 榛名ニッ岳軽石 榛名ニッ岳軽石 榛名ニッ岳軽石
308	第568図	PL206	鈴帯 丸柄	86区D-7	裏面一部剝離	長 4.5 幅 2.7 厚 0.65~0.8 重	
309	第568図	PL206	紡錘車	86区B-7	下面一部欠損	径 3.8×3.8 厚 1.1 孔 0.8 重 19	
310	第568図	PL206	紡錘車	86区	完形	径 4.1×4.2 厚 1.5 孔 0.7 重 25	
311	第569図	PL206	碁石	86区F-5	完形	径 1.9×2.5 厚 0.85 重 5	
312	第569図	PL206	砥石	85区T-14	1/2	長(7.7) 幅2.0~2.6 厚1.8~2.4 重(74)	
313	第569図	PL206	砥石	86区E-9	1/3	長(5.9) 幅3.0~3.6 厚1.2~2.6 重(56)	
314	第569図	PL206	石皿	86区	1/5程度か	長(10.7) 幅(25.7) 厚(7.2) 重(1,700)	
315	第569図	PL206	用途不明品	86区	完形	長 8.8 幅 8.0 厚 3.5 重190	
316	第569図	PL206	凹石	86区B-5	完形	長12.3幅 8.8厚 6.8孔6.8×5.3×1.8 重 380	
317	第569図	PL206	凹石	86区B-6	完形	長14.0幅13.5厚 7.0孔6.6×6.4×2.0 重 700	
318	第569図	PL206	凹石	86区	完形	長17.5幅13.0厚 9.5孔5.1×4.2×1.8 重1,100	

金属製品

No	挿図番号	図版番号	種類・器種	出土位置	残存率	計測値(単位 cm、g)	適要等
319	第570図	PL207	銅製品 印	6区A-3	完形	方 2.74×2.89 鈕幅 2.11 厚 0.61	「犬甘」 「黒寧元寶」  柳葉式 雁又式  端部平坦面 紡錘車軸? 鍔柄?  紡錘車軸? 頭部折り曲げ 頭部折り曲げ 頭部折り曲げ 頭部折り曲げ 頭部は若干肥厚 先端部平坦 先端折れ曲がる
320	第570図	PL207	銅製品 銭貨	黄色砂層下	完形	径 2.42 郭幅 0.24 孔 0.70×0.705	
321	第570図	PL207	銅製品 キセル	表土	吸い口部分	長 5.33 径 0.63~1.02	
322	第570図	PL207	鉄器 紡錘車	86区E-9	円盤、軸一部欠	軸 長(3.9)厚 0.5~0.6 円盤 径 6.1 厚 0.3	
323	第570図	PL207	鉄器 紡錘車	86区F-9	軸片	長(9.8)厚 0.5~0.65	
324	第570図	PL207	鉄器 鋤先	86区N-5	完形	長 21.2 幅 16.3 厚 1.5	
325	第570図	PL207	鉄器 鍬		柄を欠損	長 6.1 鍬身長3.2 幅1.5 厚0.4 寛被0.8	
326	第570図	PL207	鉄器 鍬	86区D-9	柄を1/2欠損	長 6.3 鍬身長3.9 幅3.6 厚0.3~0.8 柄0.5	
327	第571図	PL207	鉄器 刀子	85区S-4	両端を欠損	長 9.5 刀身幅1.0~1.6 厚0.3~0.4 関幅1.1	
328	第571図	PL207	鉄器 刀子	86区B-12	刀身大部分欠損	長 5.4 刀身幅1.0 厚0.4 関幅0.7、厚0.3	
329	第571図	PL207	鉄器 刀子		関前後片	長 5.5 刀身幅0.8~1.5 厚0.2 関幅1.0	
330	第571図	PL207	鉄器 刀子	86区N-10	刀身先端部片	長 5.2 幅 1.5 厚 0.5	
331	第571図	PL207	鉄器 刀子		刀身先端部小片	長 3.2 幅 0.9 厚 0.3	
332	第571図	PL207	鉄器 鍵	86区I-5	柄部分	長 3.9 幅 1.1 孔 0.4 径 0.5×0.6	
333	第571図	PL207	鉄器 角金具		角部片	長 4.2 幅 0.8、0.9 厚 0.3	
334	第571図	PL208	鉄器 棒状	86区B-3	片端部欠損	長 15.0 幅 0.3~0.5 厚 0.2~0.4	
335	第571図	PL208	鉄器 棒状		両端部欠損	長 8.3 幅 0.5~0.6 厚 0.3~0.5	
336	第571図	PL208	鉄器 棒状		両端部欠損	長 8.4 幅 0.5~0.7 厚 0.4~0.6	
337	第571図	PL208	鉄器 棒状	86区O-12	両端部欠損	長 5.8 幅 0.4 厚 0.4	
338	第571図	PL208	鉄器 棒状		両端部欠損	長 8.4 幅 0.4~0.6 厚 0.3~0.5	
339	第571図	PL208	鉄器 釘	86区J-9	先端部側欠損	長 7.1 径 0.7×0.8 頭部 1.4×1.5	
340	第571図	PL208	鉄器 釘	86区C-5	先端部側欠損	長 6.0 径 0.8×1.0 頭部 0.4×1.2	
341	第571図	PL208	鉄器 釘		先端部側欠損	長 4.3 径 0.5×0.8 頭部 0.5×1.2	
342	第571図	PL208	鉄器 釘		先端部側欠損	長 4.2 径 0.5×0.5 頭部 0.7×1.0	
343	第571図	PL208	鉄器 釘	86区A-3	先端部側欠損	長 3.7 径 0.4×0.5 頭部 0.9×1.2	
344	第571図	PL208	鉄器 釘		先端部側欠損	長 4.9 径 0.4×0.6 頭部 0.5×0.6	
345	第571図	PL208	鉄器 釘	86区A-13	頭部側欠損	長 6.3 径 0.5×0.5	
346	第571図	PL208	鉄器 釘	86区F-5	頭部側欠損	長 4.3 径 0.5×0.8	
347	第571図	PL208	鉄器 釘	85区T-14	先端部片	長 3.1 径 0.4×0.6	
348	第571図	PL208	鉄器 釘		先端部側片	長 4.2 径 0.4×0.6	
349	第571図	PL208	鉄器 釘	86区C-6	先端部側片	長 3.5 径 0.4×0.4	
350		PL208	銅 剥片	86区B-4			
351		PL208	銅 剥片	85区T-3			
352		PL208	銅 剥片	85区T-3			
353		PL208	銅 剥片	85区T-3			
354		PL208	鉄 鉄宰	86区L-9			
355		PL208	鉄 鉄宰				
356		PL208	鉄 鉄宰				



群馬県埋蔵文化財調査事業団  
調査報告第250集

## 下芝五反田遺跡—奈良平安時代以降編—《第3分冊》

北陸新幹線地域埋蔵文化財発掘調査報告書第6集

---

1999年(平成11年)3月20日 印刷

1999年(平成11年)3月25日 発行

編集・発行／群馬県埋蔵文化財調査事業団

〒377-8555 勢多郡北橘村大字下箱田784番地の2

電話 (0279) 52-2511 (代表)

印刷／朝日印刷工業株式会社

---